

令和5年度

主要な施策の成果報告

岡垣町

# 目 次

	頁	
1 一般会計成果報告	1	
歳入	2	～ 10
歳出	11	～ 18
総合評価	19	～ 20
施策の成果報告書		
見方	21	～ 22
基本目標1 自然を守り、活かし交流を生むまち	23	～ 47
基本目標2 地域資源を活かし発展するまち	48	～ 67
基本目標3 人・つながりが育つまち	68	～ 105
基本目標4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち	106	～ 138
基本目標5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち	139	～ 173
計画推進の基盤	174	～ 191
地方消費税交付金が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費		192
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実績について		193
物価高騰対応重点支援助地方創生臨時交付金を活用した事業の実績について	194	～ 195
新型コロナワクチン接種実績報告(全接種期間分)	196	～ 197
教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書(概要)	198	～ 199
2 特別会計成果報告		
国民健康保険事業特別会計	200	～ 207
後期高齢者医療特別会計	208	～ 211

※歳入の収入額・歳出の事業額における金額の単位は千円です。

なお、千円未満の金額は、四捨五入を基本として処理しています。

令和5年度  
一般会計成果報告

歳入合計	13,317,877,506 円
歳出合計	12,738,128,611 円
差 引	579,748,895 円

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容																																																																																																															
1 町 税	3,072,091	<p>令和5年度町税収納状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>税 目</th> <th>調定額 (単位:円)</th> <th>収納額 (単位:円)</th> <th>収納率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人町民税</td> <td>1,402,390,433</td> <td>1,388,900,965</td> <td>99.04</td> </tr> <tr> <td>法人町民税</td> <td>94,317,300</td> <td>94,134,100</td> <td>99.81</td> </tr> <tr> <td>町民税計</td> <td>1,496,707,733</td> <td>1,483,035,065</td> <td>99.09</td> </tr> <tr> <td>純固定資産税</td> <td>1,279,591,200</td> <td>1,259,097,540</td> <td>98.40</td> </tr> <tr> <td>国有資産交付金</td> <td>3,399,400</td> <td>3,399,400</td> <td>100.00</td> </tr> <tr> <td>固定資産税計</td> <td>1,282,990,600</td> <td>1,262,496,940</td> <td>98.40</td> </tr> <tr> <td>軽自動車税</td> <td>100,551,800</td> <td>98,620,700</td> <td>98.08</td> </tr> <tr> <td>市町村たばこ税</td> <td>197,715,725</td> <td>197,715,725</td> <td>100.00</td> </tr> <tr> <td>現 年 分</td> <td>3,077,965,858</td> <td>3,041,868,430</td> <td>98.83</td> </tr> <tr> <td>滞 納 繰 越 分</td> <td>168,662,831</td> <td>30,222,251</td> <td>17.92</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,246,628,689</td> <td>3,072,090,681</td> <td>94.62</td> </tr> </tbody> </table> <p>納税義務者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>税目</th> <th>納税義務者数</th> <th>税目</th> <th>納税義務者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人町民税</td> <td>14,737</td> <td>法人町民税</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>固定資産税</td> <td>13,927</td> <td>軽自動車税</td> <td>12,474</td> </tr> <tr> <td>市町村たばこ</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>町税の口座振替件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>税 目</th> <th>納税義務者数</th> <th>口座件数</th> <th>実施率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町民税 (普通徴収)</td> <td>1,639</td> <td>1,058</td> <td>64.6</td> </tr> <tr> <td>固定資産税</td> <td>13,927</td> <td>7,942</td> <td>57.0</td> </tr> <tr> <td>軽自動車税</td> <td>12,474</td> <td>2,909</td> <td>23.3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28,040</td> <td>11,909</td> <td>42.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>徴収実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件 数</th> <th>件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納 税 誓 約</td> <td>472</td> <td>公 売 (動 産)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>交 付 要 求</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差 押 (不 動 産)</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差 押 (動 産)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差 押 (債 権)</td> <td>155</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>公 売 (不 動 産)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	税 目	調定額 (単位:円)	収納額 (単位:円)	収納率 (%)	個人町民税	1,402,390,433	1,388,900,965	99.04	法人町民税	94,317,300	94,134,100	99.81	町民税計	1,496,707,733	1,483,035,065	99.09	純固定資産税	1,279,591,200	1,259,097,540	98.40	国有資産交付金	3,399,400	3,399,400	100.00	固定資産税計	1,282,990,600	1,262,496,940	98.40	軽自動車税	100,551,800	98,620,700	98.08	市町村たばこ税	197,715,725	197,715,725	100.00	現 年 分	3,077,965,858	3,041,868,430	98.83	滞 納 繰 越 分	168,662,831	30,222,251	17.92	合 計	3,246,628,689	3,072,090,681	94.62	税目	納税義務者数	税目	納税義務者数	個人町民税	14,737	法人町民税	604	固定資産税	13,927	軽自動車税	12,474	市町村たばこ	2			税 目	納税義務者数	口座件数	実施率 (%)	町民税 (普通徴収)	1,639	1,058	64.6	固定資産税	13,927	7,942	57.0	軽自動車税	12,474	2,909	23.3	合 計	28,040	11,909	42.5		件 数	件 数	納 税 誓 約	472	公 売 (動 産)	0	交 付 要 求	18			差 押 (不 動 産)	2			差 押 (動 産)	0			差 押 (債 権)	155			公 売 (不 動 産)	0		
税 目	調定額 (単位:円)	収納額 (単位:円)	収納率 (%)																																																																																																														
個人町民税	1,402,390,433	1,388,900,965	99.04																																																																																																														
法人町民税	94,317,300	94,134,100	99.81																																																																																																														
町民税計	1,496,707,733	1,483,035,065	99.09																																																																																																														
純固定資産税	1,279,591,200	1,259,097,540	98.40																																																																																																														
国有資産交付金	3,399,400	3,399,400	100.00																																																																																																														
固定資産税計	1,282,990,600	1,262,496,940	98.40																																																																																																														
軽自動車税	100,551,800	98,620,700	98.08																																																																																																														
市町村たばこ税	197,715,725	197,715,725	100.00																																																																																																														
現 年 分	3,077,965,858	3,041,868,430	98.83																																																																																																														
滞 納 繰 越 分	168,662,831	30,222,251	17.92																																																																																																														
合 計	3,246,628,689	3,072,090,681	94.62																																																																																																														
税目	納税義務者数	税目	納税義務者数																																																																																																														
個人町民税	14,737	法人町民税	604																																																																																																														
固定資産税	13,927	軽自動車税	12,474																																																																																																														
市町村たばこ	2																																																																																																																
税 目	納税義務者数	口座件数	実施率 (%)																																																																																																														
町民税 (普通徴収)	1,639	1,058	64.6																																																																																																														
固定資産税	13,927	7,942	57.0																																																																																																														
軽自動車税	12,474	2,909	23.3																																																																																																														
合 計	28,040	11,909	42.5																																																																																																														
	件 数	件 数																																																																																																															
納 税 誓 約	472	公 売 (動 産)	0																																																																																																														
交 付 要 求	18																																																																																																																
差 押 (不 動 産)	2																																																																																																																
差 押 (動 産)	0																																																																																																																
差 押 (債 権)	155																																																																																																																
公 売 (不 動 産)	0																																																																																																																
2 地方譲与税	102,155	地方揮発油譲与税 24,029 自動車重量譲与税 72,440 森林環境譲与税 5,686																																																																																																															
3 利子割交付金	898	利子割交付金 898																																																																																																															
4 配当割交付金	18,546	配当割交付金 18,546																																																																																																															
5 株式等譲渡 所得割交付金	22,965	株式等譲渡所得割交付金 22,965																																																																																																															
6 法人事業税 交付金	43,139	法人事業税交付金 43,139																																																																																																															
7 地方消費税 交付金	678,301	地方消費税交付金 263,794 社会保障財源交付金 414,507																																																																																																															
8 環境性能割 交付金	18,665	環境性能割交付金 18,665																																																																																																															

## 《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容	
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	12,660	国有提供施設等所在市町村助成交付金	12,660
10 地方特例交付金	49,830	地方特例交付金 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	47,455 2,375
11 地方交付税	3,021,434	普通交付税 特別交付税	2,859,661 161,773
12 交通安全対策特別交付金	3,842	交通安全対策特別交付金	3,842
13 分担金及び負担金	47,782	○分担金 日本スポーツ振興センター分担金 農業基盤整備費分担金  ○負担金 電算処理業務負担金 保育所児童入所保護者負担金 延長保育保護者負担金 老人福祉施設入所者費用負担金	 1,061 2,390  15,313 28,774 55 189
14 使用料及び手数料	124,565	○使用料 岡垣サンリーアイ施設使用料 地域交流センター施設使用料 庁舎等使用料 いこいの里施設使用料 保育所用地使用料 道路等占用料 水路等占用料 ため池使用料 観光ステーション北斗七星施設使用料 町営住宅使用料 町営住宅駐車場使用料 都市公園使用料 社会教育施設使用料 学校体育館使用料 町民陶芸所使用料 小学校用地使用料 中学校用地使用料 駅前広場駐車場使用料  ○手数料 督促手数料 戸籍手数料 住民票手数料 印鑑証明手数料 諸証明手数料 町営駐車場整理手数料 畜犬登録鑑札交付手数料 狂犬病予防注射済票交付手数料 屋外広告物等申請手数料	 34,614 3 789 2,464 1 12,683 380 785 7 35,057 1,446 105 9,036 849 200 10 29 476  197 3,729 4,156 2,614 1,438 12,294 398 489 316

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容
15 国庫支出金	2,544,017	<p>○国庫負担金</p> <p>養育医療負担金 1,403</p> <p>子どものための教育・保育給付交付金(保育所) 261,058</p> <p>子どものための教育・保育給付交付金(認定こども園) 75,705</p> <p>子育てのための施設等利用給付交付金(一時預かり) 508</p> <p>子育てのための施設等利用給付交付金(届出保育施設) 1,483</p> <p>子育てのための施設等利用給付交付金(認定こども園一時預かり) 3,142</p> <p>国民健康保険基盤安定負担金 26,817</p> <p>国民健康保険未就学児均等割保険税負担金 585</p> <p>国民健康保険産前産後保険税負担金 20</p> <p>障害者医療費負担金 47,989</p> <p>身体障害者補装具給付費負担金 3,147</p> <p>身体障害児補装具給付費負担金 1,787</p> <p>自立支援サービス事業費負担金 383,065</p> <p>障害児通所支援事業費負担金 139,550</p> <p>児童手当負担金 324,261</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種事業費負担金 54,913</p> <p>子どものための教育・保育給付交付金(幼稚園) 6,732</p> <p>子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園) 40,655</p> <p>子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園預かり保育) 3,585</p> <p>子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園一時預かり) 279</p> <p>○国庫補助金</p> <p>社会保障・税番号制度補助金(個人番号カード交付事業) 12,428</p> <p>情報システム標準化・共通化関連補助金 8,197</p> <p>情報通信技術講習事業費補助金 264</p> <p>社会資本整備総合交付金(定住促進対策) 1,286</p> <p>社会資本整備総合交付金(交通安全対策施設整備事業) 10,068</p> <p>交通安全対策事業補助金(通学路緊急対策) 7,531</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 218,502</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 756</p> <p>物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 376,714</p> <p>地域生活支援事業費補助金 4,096</p> <p>重層的支援体制整備事業交付金 26,415</p> <p>子ども・子育て支援交付金(延長保育事業) 2,383</p> <p>子ども・子育て支援交付金(一時預かり事業) 5,484</p> <p>子ども・子育て支援交付金(子育て短期支援事業) 185</p> <p>子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業等) 19,319</p> <p>子ども・子育て支援交付金(子どもを守る地域ネットワーク) 1,011</p> <p>子ども・子育て支援交付金(新型コロナウイルス感染症対策) 1,429</p> <p>児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(子ども家庭総合支援拠点) 1,748</p> <p>児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(支援対象児童等見守り) 400</p> <p>児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(地域障害児支援体制) 292</p> <p>児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(医療的ケア児等総合支援) 360</p> <p>地域子どもの未来応援交付金 533</p> <p>保育対策総合支援事業費補助金(新型コロナウイルス感染症対策) 800</p> <p>保育対策総合支援事業費補助金(ICT化推進事業) 963</p> <p>保育対策総合支援事業費補助金(安全対策導入支援) 120</p> <p>保育対策総合支援事業費補助金(繰越明許分) 525</p> <p>疾病予防対策事業費等補助金 701</p> <p>子ども・子育て支援交付金(乳児家庭全戸訪問等事業) 581</p>

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容
		特定感染症検査等事業費補助金 912 浄化槽設置整備事業費交付金 926 産後ケア事業補助金 1,019 母子保健対策強化事業補助金 980 出産・子育て応援交付金(伴走型相談支援分) 555 出産・子育て応援交付金(経済的支援分) 15,367 社会資本整備総合交付金(町道改良事業) 18,202 道路メンテナンス事業補助金 28,995 社会資本整備総合交付金(後退道路整備) 499 社会資本整備総合交付金(木造戸建て住宅耐震改修事業) 245 社会資本整備総合交付金(ブロック塀等撤去促進事業) 100 社会資本整備総合交付金(老朽空き家等解体) 101 学用品費等補助金 71 特別支援学級学用品費等補助金 491 特別支援学級給食費補助金 417 子ども・子育て支援交付金(副食費補足給付) 1,018 特定防衛施設周辺整備調整交付金 66,403 消防団設備整備費補助金 480 社会資本整備総合交付金(ハザードマップ作成) 2,342 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(事業費分) 19,600 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(事務費分) 1,770 就学前教育・保育施設整備交付金 123,255 こども政策推進事業費補助金 643 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金 113,128 公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金(GIGAスクール運営支援センター整備事業) 1,225 学校施設環境改善交付金 38,335 デジタル田園都市国家構想推進交付金(中学校教材等整備) 8,319 公共土木施設災害復旧費補助金 4,692 学校保健特別対策事業費補助金(学校等における感染症対策等支援事業) 234 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業補助金 3,942  ○委託金 外国人中長期在留者住居地届出等事務委託金 212 年金事務委託金 9,635 特別児童扶養手当事務委託金 129
16 県支出金	1,105,507	○県負担金 養育医療負担金 701 子どものための教育・保育給付交付金(保育所) 106,069 子どものための教育・保育給付交付金(認定こども園) 37,852 子育てのための施設等利用給付交付金(一時預かり) 272 子育てのための施設等利用給付交付金(届出保育施設) 724 子育てのための施設等利用給付交付金(認定こども園一時預かり) 1,571 国民健康保険基盤安定負担金 97,230 国民健康保険未就学児均等割保険税負担金 292 国民健康保険産前産後保険税負担金 10 後期高齢者医療保険基盤安定負担金 95,986 障害者医療費負担金 23,994 身体障害者補装具給付費負担金 1,573 身体障害児補装具給付費負担金 894 自立支援サービス事業費負担金 191,533

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容	
		障害児通所支援事業費負担金	69,775
		児童手当負担金	71,822
		子どものための教育・保育給付交付金(幼稚園)	3,366
		子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園)	19,988
		子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園預かり保育)	1,792
		子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園一時預かり)	140
		市町村権限移譲事務負担金	643
		○県補助金	
		国土利用法に基づく土地対策費補助金	35
		遺族援護事務費補助金	10
		地域少子化対策重点推進補助金	6,280
		ひとり親家庭等医療費補助金	8,685
		ひとり親家庭等医療事務費補助金	196
		高齢者等在宅生活支援事業費補助金	300
		老人クラブ助成事業費補助金	900
		老人クラブ連合会活動促進事業費補助金	286
		高齢者社会活動推進等事業費補助金	300
		単位老人クラブ活動支援事業補助金	23
		運転免許自主返納支援事業費補助金	179
		重度障がい者医療費補助金	29,132
		重度障がい者医療事務費補助金	127
		地域生活支援事業費補助金	1,958
		重層的支援体制整備事業交付金	11,261
		人権・同和問題啓発事業費補助金	368
		放課後児童健全育成事業費補助金	20,233
		母子家庭等日常生活支援事業費補助金	357
		地域子ども・子育て支援事業費補助金(子育て短期支援)	116
		地域子ども・子育て支援事業費補助金(一時預かり)	4,934
		地域子ども・子育て支援事業費補助金(子どもを守る地域ネットワーク)	1,011
		地域子ども・子育て支援事業費補助金(延長保育事業)	392
		保育対策総合支援事業費補助金	3,411
		子ども医療費補助金	59,933
		子ども医療事務費補助金	1,581
		地域障害児支援体制強化事業費等補助金(地域障害児支援体制強化)	146
		地域障害児支援体制強化事業費等補助金(医療的ケア児等総合支援)	180
		浄化槽設置整備事業費補助金	926
		健康増進事業費補助金	1,023
		地域子ども・子育て支援事業費補助金(乳児家庭全戸訪問等事業)	368
		出産・子育て応援交付金(伴走型相談支援分)	128
		出産・子育て応援交付金(経済的支援分)	3,091
		予防接種事故対策費補助金	27
		風しん予防接種助成費補助金	39
		アピアランスケア推進事業補助金	55
		自殺対策緊急強化基金事業補助金	27
		地域猫活動支援事業補助金	102
		農業委員会費補助金	3,112
		中山間地域等直接支払交付金	6,984
		中山間地域等直接支払推進交付金	50
		活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金	333
		水田農業担い手機械導入支援事業費補助金	6,371

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容	
		水田農業DX推進事業補助金	603
		経営所得安定対策等推進事業費補助金	2,165
		農業次世代人材投資事業補助金	3,848
		有害鳥獣広域捕獲対策補助金	63
		多面的機能支払交付金	11,245
		多面的機能支払推進交付金	100
		環境保全型農業直接支払交付金	61
		農村環境整備事業費補助金	7,935
		溜池等整備事業費補助金	40,870
		環境の森林保全交付金	168
		荒廃森林整備事業交付金	3,840
		展示林整備事業交付金	2,936
		野生動物緩衝林整備事業補助金	12,846
		野生動物緩衝林整備推進事務補助金	1,926
		水産多面的機能発揮対策事業費交付金	18
		消費者行政活性化基金事業補助金	1,982
		宿泊税市町村交付金	1,738
		生活交通確保対策補助金	5,261
		木造戸建て住宅耐震改修促進事業補助金	508
		ブロック塀等撤去促進事業補助金	128
		地域活動指導員設置事業費補助金	1,455
		石油貯蔵施設立地対策等交付金	3,186
		心身障がい者扶養共済掛金補助金	35
		子どものための教育・保育給付交付金補助金(認定こども園)	26,049
		認定こども園における教育の質の向上のための研修支援事業補助金	9
		保育所等整備事業費補助金	3,040
		保育所等給食費支援補助金	3,123
		保育所等物価高騰対策費補助金	677
		子どものための教育・保育給付交付金補助金(幼稚園)	2,316
		地域子ども・子育て支援事業費補助金(副食費補足給付)	986
		移住支援事業費補助金	1,200
		防犯対策カメラ設置支援事業補助金	170
		学習指導員等配置事業補助金	1,528
		新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	88
		地域コミュニティ活性化支援事業補助金	100
		市町村洪水ハザードマップ充実支援事業補助金	391
		安全・安心まちづくり団体支援事業補助金	52
		読書好きを育む環境づくり応援事業補助金	80
		地域における運動習慣定着促進事業費補助金	142
		○委託金	
		自衛官募集事務委託金	12
		人口動態事務委託金	34
		県税事務委託金	46,264
		学校基本調査市町村交付金	14
		経済センサス委託金	7
		住宅土地統計調査委託金	1,152
		国勢調査準備経費交付金	3
		漁業センサス委託金	160
		農林業センサス委託金	5
		遠賀宗像自転車道休憩施設管理委託金	2,650

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容	
		福岡県議会議員一般選挙執行経費交付金	8,517
		在外選挙管理経費交付金	3
		人権啓発活動地方委託事業委託金	39
		騒音振動規制法事務委託金	14
		建築確認申請事務取扱委託金	53
		開発許可等市町村事務取扱委託金	11
		汐入川等防潮樋門管理委託金	1,505
		情報活用能力向上事業委託金	1,000
17 財産収入	18,618	○財産運用収入	
		土地貸付収入	5,502
		財政調整基金積立金利子	2,738
		特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金(岡垣サンリーアイ管理運営事業)積立金利子	11
		特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金(岡垣町地域情報伝達無線システム管理運営事業)積立金利子	1
		○財産売払収入	
		土地売払収入	10,341
		物品売払収入	25
18 寄附金	409,119	一般寄附金	554
		おかがき応援寄附金	396,336
		おかがき応援寄附金(企業版ふるさと納税)	11,700
		民生費寄附金	405
		障がい者支援事業寄附金	124
19 繰入金	375,664	減債基金繰入金	5,554
		おかがき応援寄附基金繰入金	201,000
		まちづくり整備基金繰入金	34,800
		特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金繰入金	29,570
		財政調整基金繰入金	84,740
		退職準備基金繰入金	20,000
20 繰越金	740,663	前年度繰越金(うち繰越財源分86,180)	740,663
21 諸収入	380,691	町税延滞金	3,643
		商工業者融資預託金返戻金	50,000
		子ども医療費補助金(過年度分)	3,079
		障害児通所支援事業費国庫負担金(過年度分)	4,039
		障害児通所支援事業費県費負担金(過年度分)	2,019
		子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園)県費負担金(過年度分)	681
		子育てのための施設等利用給付交付金(幼稚園預かり保育)県費負担金(過年度分)	209
		子どものための教育・保育給付国庫負担金(過年度分)	33
		子どものための教育・保育給付県費負担金(過年度分)	17
		重度障がい者医療費補助金(過年度分)	1,384
		消防団員退職報償費	1,807
		光熱水費納入金	974
		職員健康診断負担金	12
		県広報配布手数料	830
		福岡県介護保険広域連合派遣職員人件費負担金	29,168
		保育所職員等給食費負担金	872
		健康教室参加料	7
		病院賠償保険各市町村負担金	83
		町民農園利用料	434

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容	
		図面販売等収入	779
		生活保護事業郵送電話電報料	11
		一時保育利用者負担金	2,087
		広告掲載料	1,550
		芦屋競艇地元対策交付金	7,000
		自動給水機利用料	2,147
		新市町村振興宝くじ交付金	6,448
		交通共済特別事務補助金	132
		保険事務取扱手数料	12
		公民館講座受講生負担金納入金	93
		地域支援事業交付金	67,584
		重層的支援体制整備事業交付金	73,346
		献血推進協議会運営費補助金	22
		市町村等職員研修助成金	300
		不法投棄未然防止事業協力金	403
		介護予防サービス計画費収入	29,142
		岡垣町PRグッズ販売収入	1,236
		公金受払手数料	357
		自動販売機清涼飲料水売上手数料	2,546
		地域公共交通確保維持改善事業費補助金	3,222
		地域交流センター使用負担金(郡体育協会分)	77
		太陽光発電売電収入	1,096
		広告設置料(吉木区防犯灯分)	45
		米の需給調整情報管理業務委託金	601
		農業者年金事務委託金	130
		こども未来館事業参加料	81
		にこにこクッキング参加者負担金	14
		学校給食共同調理場連絡協議会教材助成金	3
		保育所入所児童副食費負担金	1,143
		農地中間管理事業事務委託金	680
		定期券収入	2,076
		回数券収入	4,107
		知的障がい者デイサービス事業負担金返還金	3,926
		後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金返還金(過年度分)	902
		福岡県後期高齢者医療広域連合事務費繰出金返還金(過年度分)	304
		生ごみ処理機等売上金	76
		県防災・行政通信ネットワーク整備事業助成金	390
		コロナワクチン接種費等負担金(他市町村分)	217
		福岡県自治振興組合派遣職員人件費負担金	8,185
		スポーツ振興くじ助成金	43,523
		災害共済給付金	8,979
		災害応援職員派遣経費	941
		福岡県介護保険広域連合遠賀支部移転負担金	2,513
		その他の諸収入	2,974
22 町 債	526,726	公共事業等債(交通安全対策施設整備事業)	7,400
		公共事業等債(交通安全対策事業(通学路緊急対策))	5,500
		緊急防災・減災事業債(情報プラザ空調設備整備事業)	2,900
		脱炭素化推進事業債(防犯灯LED更新事業)	4,900
		公共施設等適正管理推進事業債(岡垣サンリーアイアリーナ床改修事業)	28,400
		一般補助施設整備等事業債(認定こども園施設整備事業)	34,500
		公共施設等適正管理推進事業債(中部保育所防水改修事業)	5,400
		公共事業等債(地域ため池(県営)総合整備事業)	6,000

《歳入》

単位:千円

款	歳入決算額	主要な歳入内容
		公共事業等債(新松原第1排水機場整備事業) 2,000
		地域活性化事業債(農村環境整備事業) 8,600
		防災対策事業債(地域ため池(県営)総合整備事業) 1,800
		防災対策事業債(新松原第2排水機場整備事業) 3,200
		防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(地域ため池(県営)総合整備事業) 6,600
		防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(新松原第1排水機場整備事業) 3,700
		公共事業等債(町道改良事業) 16,300
		公共事業等債(道路メンテナンス事業) 17,500
		地域活性化事業債(JR海老津駅北側トイレ改修事業) 18,300
		公共施設等適正管理推進事業債(道路維持補修事業) 41,300
		緊急浚渫推進事業債(河川維持補修事業) 2,800
		緊急防災・減災事業債(緊急防災無線整備事業) 6,800
		学校教育施設等整備事業債(岡垣東中学校外壁及びび渡り廊下改修事業) 19,400
		学校教育施設等整備事業債(岡垣東中学校駐輪場改修事業) 9,500
		地域活性化事業債(岡垣サンリーアイ文化財展示室改修事業) 8,400
		緊急防災・減災事業債(東部公民館空調設備整備事業) 18,400
		緊急防災・減災事業債(吉木小学校校舎及びび体育館外壁改修事業) 60,100
		緊急防災・減災事業債(中央公民館外壁改修事業) 1,300
		緊急防災・減災事業債(町民武道館空調設備整備事業) 1,800
		公共施設等適正管理推進事業債(吉木小学校校舎屋上防水改修事業) 23,600
		公共施設等適正管理推進事業債(岡垣東中学校校舎屋上防水改修事業) 32,500
		公共施設等適正管理推進事業債(町民武道館屋根改修事業) 8,200
		公共施設等適正管理推進事業債(内浦小学校体育館屋上防水改修事業) 5,800
		公共施設等適正管理推進事業債(中央公民館防水改修事業) 800
		防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(岡垣東中学校外壁改修事業) 51,400
		単独災害復旧事業債(公共土木施設災害復旧事業) 1,100
		単独災害復旧事業債(農業施設災害復旧事業) 1,100
		補助災害復旧事業債(公共土木施設災害復旧事業) 2,300
		公共施設等適正管理推進事業債(山田小学校体育館屋上防水改修事業)(繰越明許分) 2,100
		臨時財政対策債 55,026

一般会計 《 歳 出 》

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
1款1項1目	町議会費	109,997			
2款1項1目 (企画政策室)	一般管理費	382,747	職員研修事業	計画-2	181
2款1項2目 (おかがきPR課)	文書広報費	13,943	広報事業	計画-2	187
			広聴事業	計画-2	191
2款1項3目	財政管理費	2,096			
2款1項4目	会計管理費	9,674			
2款1項5目	財産管理費	67,568			
2款1項6目	公平委員会費	0			
2款1項7目	報酬審議会費	98			
2款1項8目	財政調整等基金費	739,227			
2款1項9目	基地対策費	6			
2款1項10目	土地対策費	35			
2款1項11目	町営駐車場管理費	15,800			
2款1項12目 (デジタル推進課)	電子計算機費	156,635	電子計算機関連事業	計画-2	182
			DX推進事業	計画-2	182
2款1項13目 (地域づくり課) (福祉課)	地域振興費	101,358	防犯対策推進事業	5-4	167
			防犯灯整備事業	5-4	168
			地域振興事業	計画-1	175
			コミュニティ活動支援事業	計画-1	176
			ボランティアセンター運営事業	計画-1	178
2款1項14目 (地域づくり課)	地域情報伝達無線システム費	6,476	地域情報伝達無線システム管理運営事業	5-3	164
2款2項1目	税務総務費	92,848			
2款2項2目 (税務課)	賦課徴収費	22,288	町税確保対策事業	計画-2	185
2款3項1目 (住民環境課)	戸籍住民登録費	52,770	戸籍住民登録経費(マイナンバーカード普及促進経費)	計画-2	183

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
2款3項2目	住居表示事業費	138			
2款4項1目	選挙管理委員会費	477			
2款4項2目	選挙常時啓発費	0			
2款4項3目	福岡県議会議員一般選挙費	6,650			
2款4項4目	岡垣町議会議員一般選挙費	15,098			
2款5項1目	統計調査総務費	121			
2款5項2目	指定統計調査費	1,168			
2款6項1目	監査委員費	893			
2款7項1目 (地域づくり課) (都市建設課)	交通安全対策費	38,587	交通安全対策一般事業 交通安全対策施設整備事業 交通安全対策施設整備事業(社会資本整備総合交付金) 交通安全対策施設整備事業(通学路緊急対策)	5-4 5-4 5-4 5-4	170 170 171 171
2款8項1目 (福祉課) (都市建設課) (おかがきPR課) (企画政策室)	企画費	234,246	核兵器廃絶平和の町宣言事業 定住促進対策事業 岡垣町PR戦略推進事業 おかがき応援寄附金推進事業 政策推進事業	4-3 5-1 計画-2 計画-2 計画-2	134 144 188 189 191
2款8項2目 (生涯学習課)	ふるさとづくり事業費	700	国内短期留学事業	3-2	93
2款8項3目 (地域づくり課)	国際交流事業費	2,894	草の根交流(国際交流)事業	3-3	97
2款8項4目 (生涯学習課)	岡垣サンリーアイ 施設管理運営費	319,058	サンリーアイ施設管理運営事業 サンリーアイ大規模改修事業	3-3 3-3	98 99
2款8項5目 (デジタル推進課)	情報プラザ施設管 理運営費	48,033	情報プラザ施設管理経費	計画-2	185
2款8項6目	新型コロナウイルス 感染症対策費	555,670			
2款8項7目	物価高騰対策費	105,789			

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
3款1項1目 (健康づくり課) (福祉課) (こども未来課)	社会福祉総務費	1,216,596	国保特別会計繰出金	4-1	112
			ひとり親家庭等医療事業費	4-1	112
			後期高齢者事業	4-1	113
			地域共生社会推進事業	4-2	116
			重層的支援体制整備事業	4-2	116
			社会福祉協議会活動支援事業	4-2	117
			地域での支え合い活動支援事業費補助金交付事業	4-2	117
			結婚新生活支援事業	5-1	144
			避難行動要支援者避難支援事業	5-3	164
福祉ボランティアポイント事業	計画-1	178			
3款1項2目 (長寿あんしん課)	老人福祉費	72,701	高齢者福祉事業	4-2	120
			老人クラブ事業	4-2	121
			シルバー人材センター事業	4-2	121
			敬老事業	4-2	122
			認知症施策推進事業	4-2	122
3款1項3目 (福祉課) (生涯学習課)	人権擁護啓発・男女共同参画事業費	1,784	男女共同参画事業	4-3	134
			人権教育啓発事業	4-3	135
			DV・障がい者虐待防止対策事業	4-3	137
3款1項4目	国民年金事業費	1,896			
3款1項5目 (健康づくり課) (福祉課)	障がい者福祉費	1,260,979	重度障がい者医療事業費	4-1	113
			自立支援医療(更生医療・育成医療)・補装具等給付事業	4-2	129
			地域生活支援事業	4-2	130
			在宅福祉給付サービス事業	4-2	131
			自立支援サービス事業費	4-2	131
			知的障がい者デイサービス事業負担金	4-2	132
			障害児通所支援事業	4-2	132
DV・障がい者虐待防止対策事業(再掲)	4-3	137			
3款1項6目 (福祉課)	いこいの里施設管理運営費	73,766	いこいの里運営経費	4-2	118
			いこいの里施設整備事業	4-2	118
3款1項7目 (長寿あんしん課)	介護保険事業費	687,796	介護保険事業	4-2	123
			介護予防・日常生活支援総合事業	4-2	124
			包括的支援事業	4-2	125
			指定介護予防支援事業	4-2	125
			生活支援体制整備事業	4-2	126
			在宅医療・介護連携推進事業	4-2	126
			成年後見制度利用促進事業	4-2	127
			権利擁護推進事業	4-3	137
3款1項8目	住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費	78,989			

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
3款1項9目	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費	8,732			
3款2項1目 (こども未来課) (子育てあんしん課) (健康づくり課)	児童福祉総務費	687,722	こども計画及び子ども・子育て支援事業計画策定事業 子育て応援金支給事業 障がい児保育実施補助事業 保育士等確保対策事業 子ども家庭総合支援拠点事業 子ども食堂運営支援事業 子ども医療事業費 養育医療事業費 要保護児童対策地域協議会事業	3-1 3-1 3-1 3-1 3-1 3-1 4-1 4-1 4-3	69 69 70 70 71 71 113 114 138
3款2項2目 (こども未来課)	児童福祉施設費	1,026,022	認定こども園施設整備事業 中部保育所管理運営事業	3-1 3-1	72 72
3款2項3目 (こども未来課)	放課後児童健全育成事業費	64,796	学童保育所管理運営事業	3-1	73
3款2項4目 (子育てあんしん課)	児童センター施設管理運営費	29,846	こども未来館運営事業	3-1	73
3款3項1目	生活保護総務費	33			
4款1項1目 (健康づくり課)	保健衛生総務費	92,002	地域医療施設等対策事業	4-1	114
4款1項2目 (子育てあんしん課) (健康づくり課)	感染症予防費	92,166	乳幼児感染症予防事業 感染症予防事業	3-1 4-1	78 110
4款1項3目 (住民環境課)	狂犬病予防費	364	狂犬病予防事業	1-2	41
4款1項4目 (住民環境課)	環境衛生費	46,168	三里松原海岸保全事業 森林・河川保全事業 希少生物・生態系保全事業 環境啓発・人材育成事業 生活環境改善事業 空地等適正管理支援事業 地球温暖化防止事業(省エネルギー) 地球温暖化防止事業(再生可能エネルギー) 環境啓発・人材育成事業(再掲)	1-1 1-1 1-1 1-1 1-2 1-2 1-3 1-3 3-2	24 26 29 31 33・41 43 45 47 87
4款1項5目 (子育てあんしん課)	母子衛生費	49,910	子育て世代包括支援センター事業 出産・子育て応援事業 妊産婦赤ちゃん訪問・健康相談事業 乳幼児・妊産婦健康診査事業	3-1 3-1 3-1 3-1	74 75 78 79

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
4款1項6目 (健康づくり課)	健康対策事業費	35,010	健康啓発事業	4-1	107
			地域健康づくり推進事業	4-1	107
			健診等事業	4-1	108
4款1項7目	新型コロナウイルス ワクチン接種事 業費	143,475			
4款2項1目 (住民環境課)	じん芥処理費	335,715	ごみ処理事業	1-2	39
			ごみ減量化・再資源化事業	1-2	39
4款2項2目 (住民環境課)	し尿処理費	36,342	小型浄化槽設置支援事業	1-2	36
			し尿処理事業	1-2	36
5款1項1目	失業対策総務費	0			
6款1項1目	農業委員会費	6,876			
6款1項2目	農業総務費	52,317			
6款1項3目 (農林水産課)	農地費	34,735	多面的機能支払交付金事業	2-1	49
			排水施設管理事業	2-1	49
			土地改良施設維持管理適正化事業	2-1	50
6款1項4目 (農林水産課)	農業振興費	36,194	中山間地域等直接支払交付金交付事業	2-1	54
			土地利用型農業・施設園芸産地育成事業	2-1	54
			水稻種子補助事業	2-1	54
			有害鳥獣駆除事業	2-1	55
			就農支援事業	2-1	55
			経営所得安定対策事業	2-1	56
			地産地消推進事業	2-1	58
6款1項5目	農業者年金事業費	45			
6款1項6目	農業振興地域整備促進費	0			
6款1項7目 (農林水産課)	溜池整備事業費	78,625	ため池維持補修等事業費	2-1	50
			ため池(農村環境整備事業)	5-3	160
			地域ため池(県営)総合整備事業	5-3	160
			ため池防災減災対策事業	5-3	161
6款1項8目 (農林水産課)	農業用水路費	25,336	農業用水路維持補修経費	2-1	50
			農村環境整備(かんがい排水)事業	2-1	51
6款1項9目 (農林水産課)	農道管理費	3,415	農道維持補修経費	2-1	51
6款2項1目 (農林水産課)	林業総務費	2,269	森林公園整備事業	1-1	31

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
6款2項2目 (農林水産課)	林業振興費	28,670	三里松原保全対策事業	1-1	24
			荒廃森林整備事業	1-1	26
			森林吸収源対策等事業	1-1	27
			野生動物緩衝林整備事業	2-1	56
6款2項3目 (農林水産課)	林道改良費	2,360	林道維持補修経費	2-1	51
6款3項1目 (農林水産課)	漁業振興費	4,606	漁港施設管理事業	2-1	52
			漁業振興対策事業	2-1	56
7款1項1目 (おかがきPR課)	商工業振興費	130,112	商工業振興事業	2-2	60
			企業誘致・創業支援推進事業	2-2	62
7款1項2目 (おかがきPR課)	観光費	42,608	地下水PR事業	1-2	33
			観光推進事業	2-3	64
			観光ステーション北斗七星管理運営事業	2-3	65
			観光施設維持管理事業	2-3	65
			観光情報発信事業	2-3	67
			駅前イルミネーション整備事業	5-1	147
			まつり岡垣補助金交付事業	計画-1	179
7款1項3目 (地域づくり課)	消費生活対策費	3,943	消費生活対策経費	5-4	173
8款1項1目	土木総務費	45,254			
8款2項1目	道路橋梁総務費	4,759			
8款2項2目 (都市建設課)	道路維持費	130,685	道路維持補修事業	5-2	152
8款2項3目 (都市建設課)	道路改良費	59,938	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	5-2	152
			町道改良事業	5-2	153
			町道改良事業(社会資本整備総合交付金)	5-2	153
8款2項4目 (都市建設課)	橋梁維持費	57,568	橋梁維持改良事業	5-2	153
			道路メンテナンス事業	5-2	154
8款3項1目	河川総務費	2,110			
8款3項2目 (都市建設課)	河川維持費	2,857	河川維持補修事業	5-3	161
8款3項3目 (都市建設課)	排水路費	39,763	排水路整備事業	5-3	161
8款3項4目 (都市建設課)	河川改良費	1,884	河川改良事業	5-3	162
8款4項1目 (都市建設課)	町営住宅管理費	27,772	町営住宅維持管理事業	5-1	145

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
8款4項2目 (都市建設課)	空き家対策事業費	1,526	空き家対策推進事業	5-1	145
8款5項1目 (都市建設課)	都市計画費	43,449	都市計画一般事業費	1-2	43
			都市計画策定等事業	5-1	140
			海老津駅前周辺整備事業	5-1	147
			国道3号岡垣バイパス4車線化推進事業	5-2	150
			後退道路用地に関する整備事業	5-2	154
			耐震改修促進事業	5-3	162
8款5項2目 (都市建設課)	公園等整備事業費	51,162	公園等管理事業(緑地管理)	1-2	43
			駅前広場管理事業	5-1	148
			公園等改修整備事業	5-2	156
			公園等管理事業(遊具管理・樹木伐採等)	5-2	156
8款5項3目	街路整備事業費	120			
8款5項4目 (都市建設課)	公共下水道事業費	129,990	公共下水道事業	1-2	36
8款5項5目 (都市建設課)	公共交通体系整備 事業費	83,541	公共交通体系整備事業	5-1	142
9款1項1目	非常備消防費	22,667			
9款1項2目 (地域づくり課)	消防施設費	391,022	緊急防災無線管理運営事業	5-3	165
9款1項3目	水防費	0			
9款1項4目 (地域づくり課)	災害対策費	14,045	消防・防災一般経費	5-3	158
			自主防災組織活動等支援事業	5-3	165
9款1項5目	災害救助費	6,341			
10款1項1目	教育委員会費	1,628			
10款1項2目 (教育総務課)	事務局費	261,942	外国語指導助手事業	3-2	81
			教育相談等事業	3-2	81
			学校ICT支援事業	3-2	82
			学校施設適正配置検討事業	3-2	89
			学校運営協議会推進事業	3-2	93
10款2項1目 (教育総務課)	学校管理費	299,506	小学校国際化推進事業	3-2	82
			小学校教材等整備事業	3-2	83
			特別支援学級等設置事業(小学校)	3-2	83
			自然環境学習事業	3-2	87
			小学校施設整備事業	3-2	90
			学校運営協議会推進事業(再掲)	3-2	93
10款2項2目 (教育総務課)	学校振興費	8,916	小学校就学援助費	3-1	76
10款2項3目 (教育総務課)	学校給食費	98,507	小学校給食管理一般経費	3-2	84

款・項・目 (課 名)	目の名称	事業費 (千円)	事務事業内容	事業別シート	
				体系コード	ページ
10款3項1目 (教育総務課)	学校管理費	275,380	中学校教材等整備事業	3-2	84
			特別支援学級等設置事業(中学校)	3-2	85
			中学校施設整備事業	3-2	91
			学校運営協議会推進事業(再掲)	3-2	93
10款3項2目 (教育総務課)	学校振興費	7,629	中学校就学援助費	3-1	76
10款3項3目 (教育総務課)	学校給食費	55,861	中学校給食管理一般経費	3-2	85
10款4項1目	社会教育総務費	7,875			
10款4項2目 (生涯学習課)	公民館費	69,088	公民館講座事業	3-3	99
			文化推進事業	3-3	100
			公民館施設整備事業	3-3	100
			自治公民館活動支援事業	計画-1	176
10款4項3目 (生涯学習課)	青少年育成費	2,870	青少年健全育成一般事業	3-2	94
			通学合宿「夢の体験塾」補助事業	3-2	94
			家庭教育啓発事業	3-2	95
10款4項4目 (生涯学習課)	文化費	24,794	文化財保護事業	3-3	105
10款5項1目 (生涯学習課)	保健体育総務費	44,985	保健体育推進事業	3-3	102
			体育協会育成事業費	3-3	102
			保健体育施設整備事業	3-3	103
11款1項1目	公共土木施設災害復旧費	19,221			
11款1項2目	農業施設災害復旧費	1,836			
11款1項3目	治山施設災害復旧費	5,186			
11款2項1目	家屋等鉦害復旧費	0			
12款1項1目	元金	816,376			
12款1項2目	利子	22,062			
13款1項1目	土地取得費	0			
14款1項1目	予備費	0			
公営企業会計 (上下水道課)			水道管修繕事業	1-2	34
			配水管新設、改良事業	1-2	34
			浄水場、配水池、水源地改築更新事業	1-2	34
			処理場等改築更新事業	1-2	37
			下水道管渠整備事業	1-2	37

## ◆ 総合評価

### ■ 施策の進捗状況

岡垣町第6次総合計画で示す全54施策のうち、A評価である「施策の方向性に沿って順調に進行している」は16施策(29.6%)、B評価である「施策の方向性に沿って概ね順調に進行している」は37施策(68.5%)となっています。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行し、近年活動が縮小または中止されていた様々な事業や講座などが再開したこともあり、約98%の施策が順調に進捗しています。

### 【基本目標別施策の進捗状況】

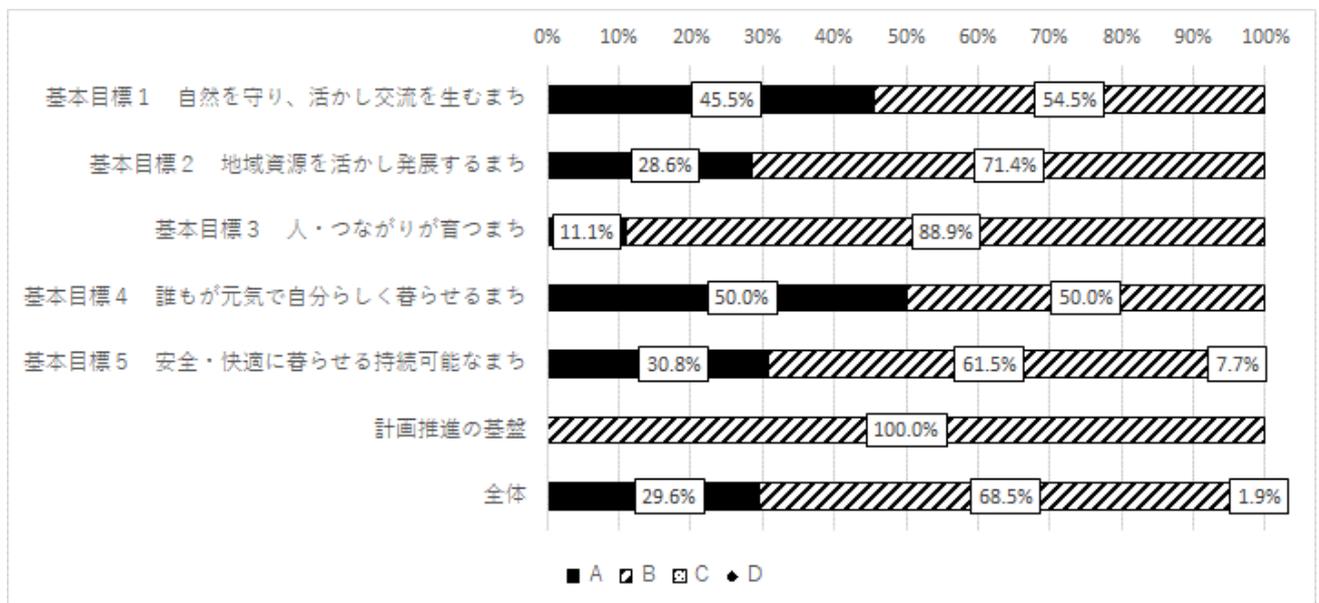
項目	進捗状況 ※単位: 施策数				
	A	B	C	D	合計
基本目標1 自然を守り、活かし交流を生むまち	5	6			11
基本目標2 地域資源を活かし発展するまち	2	5			7
基本目標3 人・つながりが育つまち	1	8			9
基本目標4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち	4	4			8
基本目標5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち	4	8	1		13
計画推進の基盤		6			6
合計	16	37	1		54

※進捗状況については基本目標ごとの施策について結果を示しています。

#### 【施策の評価方法について】

A: 施策の方向性に沿って順調に進行している B: 施策の方向性に沿って概ね順調に進行している

C: 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D: 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている



### ■ 今後の方向性

目指すまちの将来像の実現に向け、施策が着実に進捗しているものについては、引き続き計画的に進めるとともに、進行にやや遅れが生じている施策などについては、評価結果を踏まえた改善を図りながら、各種事業に取り組みます。また、これまで以上に住み良さを実感できる町を目指すため、民間のスイミング施設を活用した新たな事業なども検討します。

●施策の体系

将来像	基本目標	政策	施策	
自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣	自然を守り、活かし交流を生むまち	1 豊かな自然を守り、育てる	1 三里松原と美しい海岸を守ります	
			2 豊かな緑と清らかな河川を守ります	
			3 多様な生物が生息する環境を保護します	
			4 自然とふれあう機会をつくり、人の輪を広げます	
		2 おいしい水、きれいなまちを守る	5 おいしい水を安定して供給します	
			6 生活排水をきれいに処理します	
			7 ごみの減量化・再資源化を推進します	
			8 生活の環境悪化を防止します	
			9 美しい都市景観をつくります	
		3 地域から地球温暖化を防止する	10 一人ひとりの省エネ対策により環境負荷を軽減します	
			11 環境にやさしいエネルギーの導入を進めます	
	地域資源を活かし発展するまち	1 農業・漁業を守り、育てる	12 農業・漁業の生産基盤を守ります	
			13 農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します	
			14 地産地消に取り組みます	
		2 商工業を支援し、地域経済を活性化する	15 商工業者の経営を支援します	
			16 新たな企業の誘致、起業・創業の支援に取り組みます	
			17 町の魅力を活かした観光商品を開発します	
		3 地域資源を活かした観光を推進する	18 町の魅力ある観光情報を発信します	
			19 安心して子育てができるまちをつくる	
	人・つながりが育つまち	1 安心して子育てができるまちをつくる	20 母子の健康づくりを支援します	
			21 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します	
			22 地域特性を活かした学校教育を推進します	
			23 安全で快適な教育環境を整備します	
		2 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる	24 家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます	
			25 住民が学び、育つ生涯学習の環境をつくります	
			26 住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げます	
			27 郷土の歴史・文化を育むまちをつくります	
		誰もが元気で自分らしく暮らせるまち	1 住民が健康で暮らせるまちをつくる	28 住民の健康づくりを支援し、健康意識を高めます
				29 感染症を予防します
				30 安心して医療が受けられる環境を整えます
	2 誰もが安心して暮らせるまちをつくる		31 みんながつながるお互いさまの地域をつくります	
			32 高齢者の暮らしを支える福祉環境をつくります	
			33 障害のある人の暮らしと自立を支援します	
	3 互いに支えあい、ともに歩むまちをつくる		34 互いに支えあい、人権を尊重するまちをつくります	
			35 相談体制を強化し、DVや虐待被害者に寄り添い、支援します	
	安全・快適に暮らせる持続可能なまち	1 成熟した都市の再生を推進する	36 都市の再生に向けた土地利用を進めます	
			37 新しい公共交通体系を構築します	
			38 定住を促進するための支援に取り組みます	
			39 海老津駅周辺の活性化に取り組みます	
		2 安全で便利な都市基盤をつくる	40 利便性の高い道路交通ネットワークをつくります	
			41 安全で快適な道路・橋梁を整備します	
			42 地域が求める公園づくりを進めます	
		3 災害から住民を守る	43 計画的に災害対策を強化します	
			44 災害に強いインフラを整備します	
			45 自助・共助による防災活動を促進します	
		4 犯罪・事故から住民を守る	46 地域の犯罪を抑止します	
			47 交通事故から運転者・歩行者などを守ります	
			48 消費生活問題に対応します	
		計画推進の基盤	1 住民とともにまちづくり活動を広げる	49 地域のコミュニティ活動を促進します
				50 自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します
			2 社会変化に対応した行財政運営を推進する	51 社会変化に対応できる組織をつくります
	52 将来を見据えた計画的な行財政運営を推進します			
	53 町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります			
	54 住民の意見をまちづくりに取り入れます			

# 施策の成果報告書の見方

## 施策の成果報告書

### 施策5 2 将来を見据えた計画的な行財政運営を推進します

課・係	企画政策室 企画政策係
	デジタル推進課 デジタル推進係
	総務課 財政係
	税務課 収納係
	長寿あんしん課 長寿支援係

#### 1. 総合計画の内容

政策	2	計画推進の基盤
		社会変化に対応した行財政運営を推進する

まちづくりの成果指標 (政策)	指標	単位	現状値	R12目標値	票値
①	まちへの愛着度※「とても好き」を10点、「嫌い」を0点として調査	点	6.96	増加 ③	
②	まちの認知度 (県内) ※まちを「知っている」と回答した割合	%	21.9	増加 ④	

### 第6次総合計画の記載事項

施策名	(2) 将来を見据えた計画的な行財政運営を推進します	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢の変化、国や県の施策の動向などを踏まえ、中・長期的な財政計画による計画的な財政運営を推進します。</li> <li>○町税の適正な賦課・徴収を推進します。</li> <li>○公共施設の運営について、人口減少などを見据えた計画的な管理を推進します。</li> <li>○近隣自治体などとの広域連携を図り、町単独で取り組むことが困難な課題を解決するための取組を推進します。</li> </ul>		

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
①	町税収納率 (現年分)	%	98.88	98.50	98.83	③				
②	町税収納率 (滞納繰越分)	%	19.36	19.81	17.92	④				

施策評価	B	<p>A: 施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B: 施策の方向性に沿って進行している</p> <p>C: 施策の方向性に沿って進行している</p> <p>D: 施策の方向性に沿って進行している</p>	<p>切なき</p> <p>今後の方向性</p>
	評価理由	<p><b>&lt; 施策評価 &gt; CHECK</b></p> <p>このページの施策が「将来を見据えた計画的な行財政運営を推進します」であるため、この施策の上記内容に対する評価について記載しています。</p> <p>※令和2年度までは、事業ごとに評価点数を記載</p> <p>(総務課) ・物価高騰 ・滞納者に を執行する (企画政策) ・人口減少などを見据えた計画的な公共施設の管理運営に向け、公共施設等総合管理計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況や今後の方針等について審議するとともに、計画の一部改訂を行った。また、各公共施設等の利用実態を調査し、開館時間等の変更について検証した。</p>	

(総務課)  
・物価高騰  
・滞納者に  
を執行する  
(企画政策)  
・人口減少などを見据えた計画的な公共施設の管理運営に向け、公共施設等総合管理計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況や今後の方針等について審議するとともに、計画の一部改訂を行った。また、各公共施設等の利用実態を調査し、開館時間等の変更について検証した。

**< 改善・改革 > ACTION**

左記の評価や今後予想される課題・社会情勢の変化などを踏まえ、今後の町の方針等について記載しています。

※令和2年度までは、事業ごとに今後の取組を記載

り巻く状況を踏ま  
政運営に努める。  
向け、口座振替の  
を進める。また、  
努めるとともに、  
る。  
、収納率の向上に  
もに、第2期計画  
める。また、公共  
施設等の効率的な管理運営のため、一部の施設において、令和7年4月から稼働率の低い時間帯における開館及び使用時間の変更を行う。

**★協働のまちづくりの推進目標**

・第6次総合計画に示している「これからの“協働のまちづくり”の基本方針」(P29)に沿った目標を設定し、目標に対する評価と今後の方向性を記載しています。

※第6次総合計画では、人口減少や高齢化が更に進むことで、活動の担い手が不足し、従来から行われてきた活動が衰退してしまう懸念があることから、今までの協働のまちづくりで培われてきたまちづくりの輪を基本に、「伝える・育てる・広げる」をキーワードとした協働のまちづくりをより推進していくこととしています。

協働のまちづくりの推進	
目標	①
	②
評価	<p>A: 設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B: 住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C: 設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D: 設定した目標を達成できなかった</p>
評価理由	

# 事業別シートの見方

## 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 5 2 将来を見据えた計画的な行財政運営を推進します

課・係	デジタル推進課 デジタル推進係
	税務課 収納係

### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）							
				財源							
町税確保対策事業 (税務課)	町税の適正な賦課や滞納者に対して適宜滞納処分を執行するなど収納率の向上に努めるとともに、納付しやすい環境を整えることで、税収を確保し、計画的な行財政運営を推進する。	1. 収納率の向上及び納付環境整備 ・滞納者に督促状・催告状を送付するとともに、夜間電話催告や臨戸訪問により納付を促す。 ・口座振替の推進および休日・夜間でも身近なコンビニやスマホアプリで税金や料金	1. 収納率の向上及び納付環境整備 ・督促状発送 毎月1回 発送件数 13,407件 ・催告状発送 4月、6月、11月に実施 発送件数 4,672件 ・夜間電話催告 7月、12月に実施 ・臨 ・口 ・口	国庫支出金							
				県支出金							
				その他の特定財源							
				財源内訳	1,058						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>&lt;実施計画&gt; PLAN</b></p> <p>各事業を実施するにあたり、何のためにどのような事業を実施するのかなど、事業目的・事業概要を記載しています。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>&lt;事業実施&gt; DO</b></p> <p>その年度に取り組んだ内容や決算額を記載しています。</p> <p>※令和2年度までは、事業ごとの点数評価・方向性・今後の取組を記載。</p> </div> </div>					1,058						
					1,058						
					1,058						
<p>【参町後</p> <p>2. 債 ・債</p>											
<p>&lt;予算科目&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>						款	項	目	2	2	2
款	項	目									
2	2	2									
情報プラザ施設管理経費 (デジタル推進課)	交流・ふれあい・にぎわいの創出、中心市街地活性化の促進、情報化推進の拠点を目的とし、町の地域情報化を推進するとともに、住民の交流の場を提供する。	○指定管理者による管理運営 民間のノウハウによる管理運営の効率化や利用者の増加を目指すため、平成27年度から指定管理者制度を導入。 指定管理者制度の導入に合わせ、3階に「Book 座 Cafe」を設置するなど、一部運用形態を変更している。  ・地域情報の受発信及び情報化を通じた交流の促進 ・地域情報の収集及び集積 ・各種情報通信技術の普及促進 ・その他目的達成のために必要な事業	○指定管理料 43,450千円 指定管理者 JR九州サービスサポート・アクティオ共同企業体 ○OA機器リース料 716千円 ○修繕料 693千円  <運営実績> 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、施設利用者数及び利用料収入は回復してきた。 ・利用者数 51,541人 ・開館日数 309日 ・利用料等収入 4,665千円 (貸館、カフェ等)	国庫支出金							
				県支出金							
				その他の特定財源	16						
				町費	起債 4,200 一般財源 43,818 計 48,018						
				合計	48,034						
<p>&lt;予算科目&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8</td> <td>6</td> </tr> </table>						款	項	目	2	8	6
款	項	目									
2	8	6									

施策の成果報告書

施策1 三里松原と美しい海岸を守ります

課・係	住民環境課 環境政策係
	農林水産課 振興係

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	1	豊かな自然を守り、育てる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	町の自然環境のよさに対し、「満足」「やや満足」とした割合	%	63.7	70	③				
②	再生すべき荒廃森林面積	ha	304	全て解消	④					

施策名	(1)	三里松原と美しい海岸を守ります	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	○海岸侵食や松枯れ対策など、海岸の保全・維持管理・整備を国や県とともに推進します。 ○住民・団体・企業などと連携し、美しい海岸の保全に取り組みます。					

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	松枯れ本数	本	1,015	1,000	548	③	アダプト制度活動団体	団体	12	12	12
②	ラブアースクリーンアップ参加者	人	696※雨天	1,500	795	④						

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	(住民環境課) ・協議会と連携し、矢矧川の突堤建設の進捗を確認するとともに、海岸侵食や堆砂問題等を解決するための取組を引き続き県に要望する。また、海岸の美化活動を推進するため、住民等に美化活動を広く周知し、環境意識の向上や活動への参画を促進することで、海岸保全につなげる。 (農林水産課) ・広域的な松枯れ防止対策や松の植樹等については、引き続き筑前海沿岸市町による国、県、三里松原防風保安林保全対策協議会による国への要望活動を継続すると同時に、近年、野生生物の侵入による農業被害が発生していることから、侵入防止対策及び野生生物減少に向けた対策についても要望を行う。 また、三里松原防風保安林保全対策協議会の活動によって、住民が三里松原をより身近なものとして感じられるよう、西側においては可視化を進め、アダプト活動団体の活動範囲を拡大する。東側においては、同協議会の松原保全活動への支援と合わせ、松の生育環境の改善に努める。
	評価理由	(住民環境課) ・芦屋町・岡垣町海岸保全対策協議会で長年行ってきた県への要望の中で、特に海岸侵食対策に効果的とされている矢矧川左岸の突堤建設工事が令和3年度に着工され、令和5年度も継続して工事が行われ、海岸侵食対策が進んだ。 (農林水産課) ・三里松原保全対策事業においては、筑前海沿岸4市5町で構成する保全対策協議会により国と県に、また、三里松原防風保安林保全対策協議会により国に、松枯れ被害低減・松の植樹等の要望活動を継続して行った。国によって、松枯れ被害木の伐倒、防除作業が継続的に行われ、松枯れ本数は減少傾向にあり、三里松原の保全に繋がっている。	

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①	新たな町内外の企業・団体によるアダプト制度への加入（新たな活動団体が加わることで、更に三里松原への理解が促進される）		
	②			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	(農林水産課) ・引き続き企業や団体への訪問や働きかけを行うなど、アダプト制度への加入を促進する。また、三里松原の可視化整備を進め、1団体当たりの活動範囲の拡大を図るとともに、団体の活動状況等を町公式ホームページや看板設置にてPRし、活動団体の意欲向上を図る。	
	評価理由	(農林水産課) ・令和5年度は新規団体の加入には至らなかったが、アダプト実施地区の間伐等整備に努めた。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策1 三里松原と美しい海岸を守ります

課・係	住民環境課 環境政策係
	農林水産課 振興係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				町費	合計
三里松原海岸保全事業 (住民環境課)	国や県とともに、海岸侵食を防止することや、住民・団体・企業などと連携した美化活動に取り組むことで、三里松原海岸を保全する。	<p>1. 海岸侵食防止対策                      芦屋町及び岡垣町の海岸侵食・堆砂問題を解決するために設立された「芦屋町・岡垣町海岸保全対策協議会」と連携し、海岸管理者である県に対策を求めらる。</p> <p>※両町からの要望内容                      (岡垣町分のみ記載)                      ○海岸調査の実施                      ○波津海水浴場～汐入川の侵食対策の実施                      ○矢矧川の突堤建設                      ○矢矧川・汐入川の堆積砂の除去                      ○車両乗り入れ防止対策</p> <p>2. ラブアースクリーンアップ等の支援                      美しい三里松原海岸を守るため、住民や団体等で構成されている環境衛生協議会と連携し、海岸清掃活動等を実施する。</p>	<p>1. 海岸侵食防止対策  <b>【三里松原保全連絡会議】</b>                      ・日程 8月29日                      ・内容 令和元年度に芦屋町・岡垣町から県に提出した要望事項の進捗確認                      ※県事業により、令和3年度から矢矧川左岸に全長約140mの突堤建設工事を実施（令和5年度：20m）  <b>【芦屋町・岡垣町海岸保全対策協議会】</b>                      ・日程：①10月31日（芦屋町開催）                      ② 2月13日（岡垣町開催）                      ・内容：①総会、進捗状況の共有や要望の見直しの実施、現地確認（芦屋町・岡垣町）                      ②現地確認（芦屋町・岡垣町）、意見交換</p> <p>2. ラブアースクリーンアップ等の支援  <b>【ラブアースクリーンアップ】</b>                      ・日程 6月4日                      ・内容 環境衛生協議会と連携した清掃活動の実施                      参加者：795名                      回収したごみ：5.5 t</p>	国庫支出金	
				県支出金	
				その他の特定財源	769
				町費	計
				合計	796
<予算科目>					
款	項	目			
4	1	4			
三里松原保全対策事業 (農林水産課)	関係団体とともに松枯れ対策に取り組むことで、町の住みよさの魅力の一つである三里松原を良好な状態で保つ。	<p>1. 福岡県筑前海沿岸市町海岸松林保全対策協議会による松林保全の要望活動                      芦屋町から糸島市まで広がる松原の保全について、4市5町で連携して国と県に松枯れの被害低減・松の植樹について要望活動を行う。</p> <p>2. 三里松原防風保安林保全対策協議会による松林保全事業                      三里松原を良好な状態に保ち、また、多くの町民に三里松原を身近に感じてもらえるよう、町内の様々な団体で構成する協議会において、住民参加型の保全活動や要望活動を行う。</p>	<p>1. 福岡県筑前海沿岸市町海岸松林保全対策協議会による松林保全の要望活動                      ・国及び地元選出の国会議員への要望活動（8月24日）                      ・県及び県議会への要望活動（11月13日）                      ・地元選出県議への要望活動（11月～1月：8件）</p> <p>2. 三里松原防風保安林保全対策協議会による松林保全事業                      ・松葉かき（12月10日、2月11日）                      ・西側地域でのアダプト制度（12区画）                      ・愛し守る会（月2回保全活動を実施）への支援                      ・巡視員による松原のパトロール（20名、2回/月）                      ・福岡森林管理署への要望活動（12月22日）                      ・アダプト制度による活動を推進させるための企業への説明 2社</p>	国庫支出金	
				県支出金	1,890
				その他の特定財源	2,000
				町費	計
				合計	4,654
<予算科目>					
款	項	目			
6	2	2			

## 施策の成果報告書

### 施策2 豊かな緑と清らかな河川を守ります

課・係	住民環境課 環境政策係
	農林水産課 振興係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	1	豊かな自然を守り、育てる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 町の自然環境のよさに対し、「満足」「やや満足」とした割合		%	63.7	70	③				
② 再生すべき荒廃森林面積		ha	304	全て解消	④					

施策名	(2)	豊かな緑と清らかな河川を守ります	重点テーマ		地方創生	○
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林の間伐、竹の伐採、植樹活動により、荒廃した森林の再生に取り組みます。</li> <li>○清掃などの環境美化活動や水質の監視を行い、水質悪化を防止します。</li> <li>○森林や河川の保全に取り組む団体と連携し、意識啓発に取り組みます。</li> </ul>					

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 森林・河川保全団体への新規加入者数		人	0	3	0	③ 民有林（人工林）整備		ha	12.95	10.91	9.55
② 町有林（人工林）整備		ha	2.80	3.10	6.81	④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も環境ボランティア団体と協力し、町内の河川や森林、公共用地での活動等を継続し、森林や河川の保全を推進する。また、ボランティア団体の後継者育成に努める。</li> </ul> <p>(農林水産課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、荒廃森林や森林吸収源対策として、県の森林環境税や国の森林環境譲与税を活用し、人工林の間伐や侵入竹の除伐を行うなど、森林の多面的機能向上を図る。</li> </ul>
	評価理由	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生協議会やボランティア団体と連携した町内の森林における植樹活動や河川の清掃活動、また、ボランティア団体や住民等への周知・事業参画を促すなどの意識啓発により、森林や河川の保全に取り組んだ。</li> </ul> <p>(農林水産課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の多面的機能向上を図るため、県の森林環境税や国の森林環境譲与税を活用した間伐や侵入竹伐採を行うなど、森林整備に取り組んだ。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①環境ボランティア団体への新規加入者の増加に向けた取り組み	今後の 方向性	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境ボランティア団体への新規加入者数増に向け、関係団体と協議しながら意識啓発などに取り組む。</li> </ul>
	②		
評価	<p>A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境ボランティア団体への新規加入者数増に向け、関係団体と協議しながら意識啓発などに取り組む。</li> </ul>
	評価理由		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策2 豊かな緑と清らかな河川を守ります

課・係	住民環境課 環境政策係
	農林水産課 振興係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
				財源内訳		
森林・河川保全事業 (住民環境課)  <予算科目> 款 項 目 4 1 4	関係機関やボランティアと連携した清掃などの環境美化活動や、環境ボランティアの育成、住民参加型の環境保全活動などにより、森林の保全や河川の水質悪化を防止することで、美しい森林や河川を保つ。	1. 住民参加による環境保全活動の支援 住民による環境保全活動を促進する。  2. 住民による主体的な環境保全を促進するための人材育成 住民の環境への意識を高め、町の自然環境を後世に残すため、講座などを実施し、保全活動に参画できる人材を育成する。  3. 良好な環境を守るための取り組み 良好な自然環境を守るため、精霊流し用品の回収などの取り組みを進める。	1. 住民参加による環境保全活動の支援 ○地域・ボランティアの支援 【環境保全団体の活動支援・連携】 ・支援回数：5件 ・支援対象：緑のまちづくりの会、矢矧川を清流に戻す会、里山宮の森等 【清掃活動や森林保全活動に必要な備品の貸出】 ・樹木粉碎機：4件 ・草刈り機：7件  2. 良好な環境を守るための取り組み ○精霊流し用品回収 ・日程：8月15日 ・内容 ※河川に悪影響を与えるため、供養物の回収を行う ○諸検査の実施 ※事業費は生活環境改善事業（P41）に計上 ・水質、悪臭等の検査 実績なし	財源内訳	国庫支出金	
				町費	県支出金	
					その他の特定財源	
					起債	
	一般財源	50				
	計	50				
	合計	50				
荒廃森林整備事業 (農林水産課)  <予算科目> 款 項 目 6 2 2	森林が有する水源のかん養や土砂災害防止等の公益的機能を長期的に発揮できるよう、荒廃した森林を整備する。	荒廃した森林を再生するため、県の森林環境税を活用し、民有林の間伐や侵入竹除伐等を行う。（県費 10/10）  ○間伐 樹木の成長促進、水土保全機能向上、生物多様性の拡大などの効果が期待されるため、計画的に間伐する。 ○侵入竹除伐 水源かん養などの公益的機能を高度に発揮させるため、竹林を除伐する。	○間伐 5.54ha（高倉地区） ※実施場所は意向調査の結果により実施 ○侵入竹除伐 4.01ha（高倉・海老津地区） 【整備面積】 36.42ha/304ha（11.98%）	財源内訳	国庫支出金	
				町費	県支出金	3,798
					その他の特定財源	
					起債	
	一般財源	0				
	計	0				
	合計	3,798				

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
森林吸収源対策等事業 (農林水産課)			国土の保全、水源かん養及び地球温暖化防止などの多面的機能を発揮させるため、森林を計画的に整備する。	町に譲与される森林環境譲与税を財源とし、森林整備促進を図る。  1. 森林経営管理制度事業 森林整備の拡大を図るため、森林所有者に対し整備意向調査を行う。  2. 町有林モデル整備事業 地域における森林整備のモデル林として、町有林の森林整備を行う。  3. 竹林改良事業 竹林の駆除及び竹林の荒廃の未然防止のため、竹林の改良を行う。	1. 森林経営管理制度事業 【意向調査】 37件 440千円  2. 町有林モデル整備事業 (高倉・手野地区) 【強度間伐】 5.25ha、侵入竹伐採 0.1ha 2,200千円 【下草刈】 (内浦地区) 0.47ha 535千円  3. 竹林改良事業 地拵え、ヤマザクラ植栽 (内浦地内) 0.21ha、420本 1,120千円 (高倉地内) 1.25ha、2,625本 (福岡県治山事業)	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
<予算科目>						町費	その他の特定財源	4,468
							起債	
							一般財源	0
							計	0
						合計		4,468
款	項	目						
6	2	2						

施策の成果報告書

施策3 多様な生物が息息する環境を保護します

課・係	住民環境課 環境政策係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	1	豊かな自然を守り、育てる

まちづくりの	指標	単位	現状値	R12目標値	指標	単位	現状値	R12目標値
成果指標 (政策)	① 町の自然環境のよさに対し、「満足」「やや満足」とした割合	%	63.7	70	③			
	② 再生すべき荒廃森林面積	ha	304	全て解消	④			

施策名	(3)	多様な生物が息息する環境を保護します	重点テーマ		地方創生	○
施策の内容	○アカウミガメをはじめとした絶滅危惧種の保護活動に取り組みます。 ○生態系や人の生活などに被害を及ぼしている特定外来生物を防除します。					

2. 施策の成果

成果指標	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 絶滅危惧種の保護活動等支援件数	件	2	2	2	③				
	②					④				

施策評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の方向性	・ボランティア団体と連携し、絶滅危惧種であるアカウミガメやハマユウ等の生息調査・保護活動を継続する。また、ボランティア団体における活動状況の周知啓発を支援することにより、保護活動の輪を広げる。 ・町公式ホームページ等で周知や注意喚起を行いながら、ボランティア団体と協力し、特定外来生物を駆除することで、生態系の保全に努める。
	評価理由	・絶滅危惧種であるアカウミガメの生態調査や、福岡県レッドデータブック絶滅危惧I B類のハマユウの保護活動などを行うボランティア団体を支援することで、成育環境の保全に努めた。 ・ボランティア団体における活動状況の周知啓発の支援に取り組んだ。 ・ボランティア団体と協力し、オオキンケイギク等の特定外来生物を駆除することで、既存生物の保護と環境保護に取り組んだ。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①希少生物の保護や特定外来生物の防除を推進するため、環境ボランティアや住民の輪を広げる			
	②			
評価	A	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の方向性	・希少生物の保護・保全を行う環境ボランティア団体の活動の輪を広げるため、ボランティア団体の活動を伝える場を設け、住民が興味関心を持てる機会づくりに努めることで、担い手となる人材育成に取り組む。
	評価理由	・環境ボランティア等を支援することで、希少生物の保護や特定外来生物の駆除に取り組むことができたが、ボランティア団体の高齢化も進み、団体の担い手が減少している。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策3 多様な生物が生息する環境を保護します

課・係	住民環境課 環境政策係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
希少生物・生態系 保全事業 (住民環境課)			アカウミガメやハマボウ、ハマユウ など、絶滅危惧種に指定されている希 少生物の保護や、オオキンケイギクや セアカゴケグモ、ヒアリやアライグマ などの特定外来生物に指定されている 生物の駆除等を行うことで、生態系の 保全に努める。	1. 希少生物の保全 絶滅危惧種であり、町のキャッチフ レーズ「海がめもかえる町」にもなっ ているアカウミガメについて、産卵・ 孵化状況などの生息調査及び保護活動 を行う。その他の希少生物についても ボランティア団体と連携して保全す る。  2. 特定外来生物の駆除 存在が確認された場合、関係部署や 関係機関と連携して駆除する。	1. 希少生物の保全 【ウミガメ産卵・ふ化調査】 岡垣ウミガメ倶楽部と連携し、生息調査を実 施。 ・調査期間 6月15日～7月31日 ・調査結果 上陸確認1件 ※産卵は確認されなかった  2. 特定外来生物の駆除 住民への周知啓発を行うとともに、発見された 場合は速やかに関係部署・関係機関と連携して駆 除を実施した。 ・駆除実績 オオキンケイギク3件	財 源 内 訳	国庫支出金	
							県支出金	
<予算科目>						町 費	その他の特定財源	
							起債	
款	項	目					一般財源	166
4	1	4					計	166
							合計	166

## 施策の成果報告書

### 施策4 自然とふれあう機会をつくり、人の輪を広げます

課・係	住民環境課 環境政策係
	農林水産課 振興係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	1	豊かな自然を守り、育てる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	町の自然環境のよさに対し、「満足」「やや満足」とした割合	%	63.7	70	③				
②	再生すべき荒廃森林面積	ha	304	全て解消	④					

施策名	(4) 自然とふれあう機会をつくり、人の輪を広げます	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民に対し、町の豊かな自然とふれあう機会を提供し、環境を守る意識を啓発します。</li> <li>○自然を守るボランティア活動団体と連携し、環境保全を実践する人材育成に取り組みます。</li> <li>○海岸清掃や植樹活動などの取組を情報発信し、住民・団体・企業などの環境保全活動への参加を拡大します。</li> </ul>			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	自然体験学習参加校	校	5	5	5	③					
②						④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の自然を大切にすることを高め、郷土を愛する気持ちを醸成できるよう、体験学習や講座など、自然とふれあう機会をつくる取り組みを継続する。また、環境保全活動やワンヘルスの取組などをPRすることで、今まで参画のない住民や企業などを巻き込みながら、保全活動の輪を広げる。</li> </ul> <p>(農林水産課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も吉木森林公園の整備や金毘羅山参道の管理を行い、森林公園としての機能を維持する。</li> </ul>
	評価理由	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生を対象とした自然体験学習や、環境問題講演会の実施など、環境関連の学習機会の提供により、自然とのふれあいや人の輪の拡大に繋がった。</li> <li>・「人と動物の健康と環境の健全性是一つ」として捉えるワンヘルスについて、福岡県と連携し推進していくため、推進宣言を表明した。</li> </ul> <p>(農林水産課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金毘羅山において、桜育成管理の助成や枯損木伐採・草刈りを実施、また、吉木森林公園では、草刈りや県の展示林事業を用いた手すりの設置など、森林公園としての機能を保った。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①体験機会・学習機会を提供することで、町の豊かな自然を愛し、保全活動に積極的に参加する人材を育成する。			
	②			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の魅力である良好な自然環境の保全について、より多くの人の意識を高めるとともに、引き続き保全活動等への参画・体験・学習の機会を提供するほか、各種広報媒体を活用して啓発することで、環境保全活動を実践する人材を育成する。</li> </ul>
	評価理由	<p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験機会や座学等の学習機会を通じて、住民の環境保全に対する意識を醸成し、人材育成を図った。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策4 自然とふれあう機会をつくり、人の輪を広げます

課・係	住民環境課 環境政策係
	農林水産課 振興係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
環境啓発・人材育成事業 (住民環境課)	豊かな自然を守るため、自然体験学習や環境講演会等を通じて、子どもから大人まですべての住民の環境意識の向上を図るとともに、環境保全を实践する人材を育成する。	1. 自然体験学習 郷土愛の醸成・自然の大切さを学ぶことを目的に、小学4年生を対象に海や川の水生生物を採取し、その生物から水質を調べる学習を提供する。  2. 環境問題講演会・環境保全リーダー講座 ボランティア団体の自主的な環境保全活動をより多くの人に伝え、活動の輪を広げるため、講演会や講座を実施する。  3. ワンヘルス推進宣言の表明 「人と動物の健康と環境の健全性是一つ」として捉えるワンヘルスについて、福岡県と連携し推進していくため、推進宣言を表明する。	1. 自然体験学習 ・日程 5月18日～8月29日 ・内容 町内小学4年生を対象に自然体験学習を実施 ・参加者数 308名  2. 環境問題講演会・環境保全リーダー養成講座【環境問題講演会】※2年に1回 ・日程：1月20日 ・講師：九州共立大学 小島 治幸名誉教授 ・内容：「福岡県のなごさーなごさの魅力とそれを守り未来へ継承するためにはー」 ・参加者数 70名 ※環境保全リーダー養成講座と隔年毎で実施。  3. ワンヘルス推進宣言の表明 ・宣言日：令和6年3月22日 ・周知：県知事報告、広報おかがき、町公式ホームページ	財源内訳	1,600
				町費	82
				合計	1,682
				国庫支出金	
<予算科目>					
款 項 目					
4 1 4					
森林公園整備事業 (農林水産課)	町の魅力である自然環境に触れる機会を提供するため、森林公園の維持管理を行うとともに、森林を良好な状況に保つため、森林整備を行う。	1. 展示林整備事業 県の森林公園として位置付けられている金毘羅山と吉木森林公園について、山道沿いの枯損木の伐採や手すりの設置を行う。(県費 10/10)  2. 森林公園整備事業 森林公園の樹木や山道等の維持管理を行う。	1. 展示林整備事業 岡城址（吉木森林公園内）通路沿いの森林整備及び手すりの設置  2. 森林公園整備事業【金毘羅山】 ・千本桜の管理及び南側参道の草刈り委託 ・金毘羅山西側から山頂までの参道側面の草刈り委託  【吉木森林公園】 ・草刈りやその他維持管理を委託	財源内訳	800
				町費	1,469
				合計	2,269
				国庫支出金	
<予算科目>					
款 項 目					
6 2 1					

施策の成果報告書

施策5 おいしい水を安定して供給します

課・係	おかがきPR課 商工観光係
	住民環境課 環境政策係
	上下水道課 業務係
	上下水道課 上水道工務係

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	2	おいしい水、きれいなまちを守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標	単位	現状値	R12目標値
	① 上水道有収率		%	83.1	87		③		
② 住民1人当たりのごみの排出量		kg	285	275	④				

施策名	(1)	おいしい水を安定して供給します	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	○耐用年数を迎える老朽管や老朽施設を計画的に更新します。 ○「水のおいしさ」を、町公式ホームページや広報おかがき、イベントなどを通じて町内外に幅広くPRし、定住・交流・関係人口などの増加につなげます。					

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 老朽管更新率		%	62.8	63.0	63.3		③			
②						④					

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(上下水道課) ・上水道中長期基本計画(アセットマネジメント計画)に基づき、現在の更新計画を修正しつつ、計画的に管路の更新工事を行う。 ・R6年度も引き続き給水区域内全域での漏水調査に取り組む。併せて、AI等を用いた漏水調査や管路の劣化診断等の新技術の活用について検討する。 ・地域と共存し、将来にわたり地下水の安定的な確保及び活用を目的として、新たな水源開発を行う。これにより各水源の取水量について再検討を行い、水道事業の持続的な運営を目指す。 (住民環境課) ・「岡垣町地下水の保全に関する条例」に基づき、さらなる地下水の保全に取り組む。(おかがきPR課) ・地下水は町の大きな魅力の一つとなっていることから、作成したペットボトルを町外向けのPRに活用するとともに、引き続き地下水ブランドの磨き上げを行う。
	評価理由	(上下水道課) ・R5年度は「有収率向上対策業務」として給水区域内全域の漏水調査と水量解析等に取り組んだ結果、有収率は一時的に87%を超えた。 ・計画的に老朽管等の更新工事を実施した。 ・小学生を対象とした浄水場の施設見学を通じ、水のおいしさや地下水の重要性を伝えるとともに、原水の試飲等など、水とふれ合う機会を提供した。 (住民環境課) ・地下水をいっそう保全するため要綱を拡充し「地下水の保全に関する条例」を制定した。 (おかがきPR課) ・イベント、特産品販売、企業誘致など様々な場面でおいしい地下水のPRを行った。 ・おいしい地下水を求めて進出してきた企業が製造生産するお酒等の商品を通じた地下水のPRを行った。 ・地下水のペットボトル化(岡垣のおいしい水)を行ったほか、ランディングページを作成して幅広く発信するなど、地下水ブランドの磨き上げを行った。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		今後の 方向性
	②		
評価		A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性
	評価理由		

## 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

### 施策5 おいしい水を安定して供給します

課・係	おかがきPR課 商工観光係
	住民環境課 環境政策係
	上下水道課 業務係
	上下水道課 上水道工務係

### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）							
				財源内訳	合計						
地下水PR事業 (おかがきPR課)	町の魅力の一つであるおいしい地下水について、イベントなどを通じて町内外に幅広くPRを行い、定住・交流・関係人口などの増加を図る。	1. 自動給水機の運営 自動給水機により地下水を提供し、おいしい水のPRを行う。  2. 交流及び移住イベントでのPR 主に町外での集客が見込めるイベントでおいしい水のPRを行う。	1. 自動給水機の運営 岡垣源水「大地の水」として自動給水機により20リットル100円で提供 実績 21,473件（R4年度21,792件）  2. 交流及び移住イベントでのPR 「百年の歳月に磨かれた天然地下水」であることについて、イベントや特産品販売、企業誘致などあらゆる場面で、チラシの配布などによりPRを行った。 （PRのポイント） ●九州大学との共同研究の結果、100年以上前の雨から生まれている水であることが判明（100年水としてのPR） ●水道水の85%が地下水 ●厚生労働省「おいしい水」の基準をほぼ満たしたカルシウムやマグネシウムをたっぷり含んだ硬水 ●良質な地下水を求めて企業が進出し、地下水を活用したクラフトビール、日本酒、焼酎など様々なお酒が楽しめる。  3. おいしい水のブランディング ●ペットボトル化（岡垣のおいしい水） 2400本のペットボトル化を行った。ふるさと納税型クラウドファンディングで資金調達を行い、4件：593千円の寄附を受入れ充当した。 ●「岡垣のおいしい水」のランディングページ作成 ※事業費は岡垣町PR戦略推進事業（P188）に計上	財源内訳	1,100						
				町費	1,100						
				合計	1,100						
<予算科目>											
<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </table>	款	項	目	7	1	2					
款	項	目									
7	1	2									
生活環境改善事業 (住民環境課)	地下水資源の保全及び地盤沈下等の障害の防止のため、地下水資源の合理的な利用の確保及び生活環境の保全を図る。	○地下水採取者への指導 令和4年10月に施行した「地下水の採取に関する指導要綱」に基づき、一日最大10m <sup>3</sup> を超える地下水を採取する者に対し届出等を行っていただき、必要に応じて指導・助言等を行う。  ○地下水の保全に関する条例の制定 地下水の保全をよりいっそう強化するため、要綱を拡充させ「地下水の保全に関する条例」を制定する。	○要綱による届出数 1件  ○条例制定 令和5年12月（施行：令和6年7月） 【周知状況】 ・広報おかがき 2回 ・町公式ホームページ 1件 ・商工会報 1回	財源内訳							
				町費							
				合計							
<予算科目>											
<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table>	款	項	目	4	1	4					
款	項	目									
4	1	4									

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)
水道管修繕事業 (上下水道課)  <予算科目> 款 項 目 水道事業会計	水道管路の適切な維持管理を行うこと で、有収率の向上に努め、水道事業 の効率的で健全な事業運営と水道水の 安定供給を図る。	1. 漏水調査事業 給水区域内で定期的に漏水調査を行 うことで、漏水箇所の早期発見を目指 す。  2. 配水管等修繕事業 町内に布設されている配水管、導水 管、送水管の計約243kmの適切な維持 管理を行う。	1. 漏水調査事業 前年度と比べ、漏水調査延長の増加や職員による パトロールの強化等漏水箇所の早期発見のための取 り組みを強化した。 漏水調査延長 L=246.1km  2. 配水管等修繕事業 漏水事故発生時に、速やかな修繕工事を実施した ため、昨年度の有収率を上回った。 修繕工事件数 N=330件 年間有収率 83.65%  調査費: 8,220千円 (税抜き) 修繕費: 40,230千円 (税抜き)	公営企業会計のため記載なし
配水管新設、改良事業 (上下水道課)  <予算科目> 款 項 目 水道事業会計	管路の計画的な更新を行い、漏水事 故等の発生を未然に防ぎ、水道事業の 効率的で健全な事業運営と水道水の安 定供給を図る。	○配水管改良事業 水道水の安定供給のため、布設から 40年を経過する配水管や漏水の多い路 線を中心に計画的な更新を行う。	○配水管改良事業 造成から40年を経過する団地に布設されている配 水管を中心に計画的に更新を行ったが、人件費の高 騰、国・県との調整により当初計画した延長を下 回った。(東山田地区、新松原地区、糠塚地区、旭 台団地、東高倉地区等) 更新延長 L=1,346m 更新率 N=63.3%  事業費: 139,187千円 (税抜き)	
浄水場、配水池、 水源地改築更新事業 (上下水道課)  <予算科目> 款 項 目 水道事業会計	取水施設、浄水施設の計画的な更新 を行うことで、水道水の基となる原水 を確保し、水道水の安定供給に努め る。	1. 水源地改築更新事業 取水量が減少してきた水源の更新 (掘り替え)や、水源地に設置されて いる各種設備について、予防保全的な 更新を行い、原水を安定的に確保す る。  2. 浄水場改築更新事業 浄水場内の耐用年数を迎える設備を 中心に計画的な更新を行い、水道水の 安定供給に努める。  3. 配水池改築更新事業 配水池の耐用年数を迎える設備を中 心に計画的な更新を行い、水道水の安 定供給に努める。	1. 水源地改築更新事業 取水量が減少してきた水源の取水ポンプと流量計 の更新を行ったことで、安定的な取水が可能となっ た。 黒山3号井戸ポンプ更新工事 黒山2号水源電源ケーブル本設工事 黒山2号水源ポンプ取替工事 黒山水源流量計更新工事  2. 浄水場改築更新事業 浄水場内の耐用年数を迎える電気設備、機械設備 を中心に予防保全的な更新を行った。 浄水場高圧受電盤他更新工事 3号ろ過機電動弁更新工事 浄水場 I T V カメラ設置工事 曝気塔No.1送風機更新工事他  3. 配水池改築更新事業 配水池の耐用年数を迎える電気設備、機械設備を 中心に予防保全的な更新を行った。 海老津配水池投込式水位計更新  事業費: 55,523千円 (税抜き)	

施策の成果報告書

施策6 生活排水をきれいに処理します

課・係	住民環境課	環境政策係
	都市建設課	都市計画係
	上下水道課	業務係
	上下水道課	下水道工務係

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	2	おいしい水、きれいなまちを守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	上水道有収率	%	83.1	87	③				
②	住民1人当たりのごみの排出量	kg	285	275	④					

施策名	(2)	生活排水をきれいに処理します	重点テーマ		地方創生
施策の内容	○下水道施設の整備・改築更新を計画的に進めます。また、下水道処理区域外では、小型合併処理浄化槽の設置を促進します。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	し尿汲み取り処理量	m <sup>3</sup>	2,064	2,100	2,098	③					
②						④						

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(上下水道課) ・令和5年度に見直したストックマネジメント計画に基づき、重要な管渠のテレビカメラ調査・点検を計画的に進め、緊急度及び健全度を判定し、老朽化した管渠・マンホール蓋は、更生工事を実施する。 (住民環境課・上下水道課) ・岡垣町浄化センターについては、効率性・経済性を考慮したOD法新設及びし尿等共同処理(単独M I C S)の実現に向け、取り組みを進める。 (住民環境課) ・下水道区域外については、引き続き小型合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水の処理向上に努める。 ・遠賀・中間地域広域行政事務組合のし尿等処理施設「曲水苑」について、令和10年3月31日に廃止することが決定されているため、本町のし尿等処理は、岡垣町浄化センターでの共同処理(単独M I C S)で進めることとしている。
	評価理由	(上下水道課) ・老朽化等により劣化した管渠、マンホールの更生工事等を実施したことで、機能維持と安全性の確保を図った。 ・昨年度に実施した下水道全体計画の見直しを踏まえ、事業計画の変更を行った。 ・下水道ストックマネジメント計画の見直しを行った。 (住民環境課) ・浄化槽設置整備事業補助金により浄化槽の設置を促進することで、生活排水の処理向上を図った。 ・し尿汲み取り処理量は2,098m <sup>3</sup> となり、前年度から34m <sup>3</sup> 増加した。 ・遠賀・中間地域広域行政事務組合のし尿等処理施設「曲水苑」について、令和10年3月31日の廃止に向け、同組合や関係市町と協議を進めた。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		今後の 方向性
	②		
評価		A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性
	評価理由		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策6 生活排水をきれいに処理します

課・係	住民環境課	環境政策係
	都市建設課	都市計画係
	上下水道課	業務係
	上下水道課	下水道工務係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
小型浄化槽設置 支援事業 (住民環境課)  <予算科目> 款 項 目 4 2 2			公共下水道計画区域以外の区域について、小型浄化槽の設置を促進することで、水質汚濁を防止し、生活排水をきれいに処理する。	公共下水道計画区域以外の世帯の浄化槽設置者に対して補助を行う。  ○人槽別の補助上限基準 ・5人槽 837千円 ・6～7人槽 1,043千円 ・8人槽以上 1,375千円	○小型浄化槽設置整備事業補助金 【補助額】 ・令和5年度：6,796千円 （内訳：5人槽3基、7人槽3基、10人槽1基） ・令和4年度：837千円 （内訳：5人槽1基） ・令和3年度：1,880千円 （内訳：5人槽1基、7人槽1基）  ○県合併浄化槽普及促進協議会負担金 11千円	財源内訳	国庫支出金	926
							県支出金	926
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	4,955						
	計	4,955						
		合計	6,807					
し尿処理事業 (住民環境課)  <予算科目> 款 項 目 4 2 2			遠賀・中間地域広域行政事務組合と連携し、し尿を適正に処理する。	本町のし尿処理を担う遠賀・中間地域広域行政事務組合に負担金を支出するほか、地元調整や広報等の事務支援を行う。	○遠賀・中間地域広域行政事務組合への負担金 29,345千円 ○遠賀・中間地域広域行政事務組合への補助金（汲み取り困難地区補助金） 191千円 ○住民への周知啓発 広報誌、町公式ホームページ等 ○し尿汲み取り実績 2,098m <sup>3</sup>	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	29,536						
	計	29,536						
		合計	29,536					
公共下水道事業 (都市建設課)  <予算科目> 款 項 目 8 5 4			地方公営企業法第17条の2（経費の負担の原則）に基づき、地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費を一般会計において負担することで、安定的な事業運営を図り、快適な生活環境を確保する。	○下水道事業会計負担金・補助金 汚水処理に要する経費の一部（分流式下水道に要する経費）、及び経営に伴う収入では賅うことができない経費分を下水道事業会計に繰り出しを行う。	下水道事業会計への繰出金 【事業概要】 ・下水道事業会計負担金 128,990千円 ・下水道事業会計補助金 1,000千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	129,990						
	計	129,990						
		合計	129,990					

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)
処理場等改築更新事業 (上下水道課)  <予算科目> 款 項 目 下水道事業会計	老朽化が進行する処理場施設等の機能を維持するため、効率的な改築更新を実施し、公共水域の水質保全を図り、快適な生活環境を維持する。	人口減少等に伴う計画処理水量の減少を踏まえ、浄化センターの水処理方式を標準活性汚泥法からオキシデーションディッチ法 (OD法) に変更し、今後のライフサイクルコストの低減を図っていく。 また、し尿等共同処理 (単独MICS) の実現に向け、し尿等受入施設の整備を進める。	社会資本整備総合交付金により実施した。 補助率 (国費) (5/10)  <b>【岡垣町公共下水道事業効率的な下水道計画等策定業務】</b> (内容) ・下水道事業計画の見直し ・下水道ストックマネジメント計画の見直し  委託費: 28,800千円 (税抜き)	公営企業会計のため記載なし
下水道管渠整備事業 (上下水道課)  <予算科目> 款 項 目 下水道事業会計	スtockマネジメント計画に基づく予防保全型施設管理により、管渠施設の機能及び安全性を確保し、公共水域の水質保全と快適な生活環境を維持する。	スtockマネジメント計画に基づき、管渠施設のテレビカメラ調査等を実施し、老朽化や劣化が進行した管渠とマンホール蓋の更生工事を実施する。	社会資本整備総合交付金により実施した。 補助率 (国費) (1/2)  <b>【ストックマネジメント計画に基づく事業】</b> ・旭台地区管更生 L=170.9m ・旭台地区マンホール蓋更新 N=25箇所 ・管渠テレビカメラ調査 L=4,007m ・MP場自動通報装置更新 N=10箇所  事業費: 47,821千円 (税抜き)	

施策の成果報告書

施策7 ごみの減量化・再資源化を推進します

課・係	住民環境課 環境政策係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	2	おいしい水、きれいなまちを守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 上水道有収率		%	83.1	87	③				
② 住民1人当たりのごみの排出量		kg	285	275	④					

施策名	(3)	ごみの減量化・再資源化を推進します	重点テーマ		地方創生
施策の内容	○ごみの減量化・再資源化に向けた啓発などに取り組み、住民の意識を高めます。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① ごみの年間排出量		t 以下	8,588	8,800	8,318	③					
②						④						

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの分別や、リサイクルに対する住民の意識が向上し、定着してきているため、引き続き、啓発活動など住民の意識高揚に向けた取り組みを推進する。</li> <li>令和5年3月に改定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に基づき、ごみの適正処理及びごみの減量・資源化を進める。</li> <li>ごみステーションに係る要綱（設置及び管理、ネット支給、集積容器等設置補助金）に基づき、ごみステーションの適切な管理運用を図り、適正なごみの排出を促進する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化や再資源化に向けた啓発などを進め、住民意識を高めたことで、ごみの排出量は8,318tとなり、目標値より482t減となった。また、令和5年度末の住民1人当たりのごみ排出量は264kgとなり、遠賀・中間地域広域行政事務組合構成市町では排出量が最も少ない結果となった。</li> <li>持続可能な自治区の取り組みの一環で、ごみステーションに係る要綱（設置及び管理、ネット支給、集積容器等設置補助金）を整備した。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①	家庭や事業所から出るごみの減量化やリサイクルなどの啓発に取り組むことで、環境意識を持った住民や企業の増加を図る。		
	②			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続して自治区や校区コミュニティと連携した啓発活動を行い、住民や企業の環境意識の向上に努める。また、資源物回収量が減少傾向にあるため、資源物回収活動団体に働きかけを行いながら、資源物回収量の増加を図る。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治区やコミュニティによる啓発活動などを通して、住民・事業者の減量化に対する意識が醸成されたことで、本町のごみ排出量は目標を達成した。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策7 ごみの減量化・再資源化を推進します

課・係	住民環境課 環境政策係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
ごみ処理事業 (住民環境課)	遠賀・中間地域広域行政事務組合と連携し、ごみを適正に処理するとともに、ごみの分別についての周知などにより、住民の環境意識の向上を図り、きれいなまちを守る。	本町のごみ処理を担っている遠賀・中間地域広域行政事務組合に負担金を支出するほか、地元調整や広報等の事務支援を行う。 また、公道等における動物の死骸処理のほか、災害発生時の廃棄物の処理及びその支援を行う。 持続可能な自治体の取り組みの一環で、ごみステーションに係る要綱（設置及び管理、ネット支給、集積容器等設置補助金）を整備する。	○遠賀・中間地域広域行政事務組合への負担金 330,898千円 ○一人当たりのごみの年間排出量 264kg ※前年比△9kg ○販売用指定ごみ袋の配付（27店舗対象） ○住民へのごみ分別周知啓発 広報おかがき、町公式ホームページ等 ○公道等における動物の死骸処理 猫 44件、タヌキ・鳥等 44件 ○災害廃棄物の処理及びその支援 廃棄物搬入減免（火災2件） ○ごみステーションに係る要綱（設置及び管理、ネット支給、集積容器等設置補助金）の整備	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	
				起債		
				一般財源	331,887	
				計	331,887	
				合計	331,887	
<予算科目>						
款	項	目				
4	2	1				
ごみ減量化・再資源化事業 (住民環境課)	ごみの減量化・再資源化に向けた講座や補助を行い、住民の環境意識を高めることで、きれいなまちを守る。	住民がごみの減量化・資源化の取り組みを加速できるよう、普及啓発及び補助等を行う。	○普及啓発講座 生ごみの減量化・資源化に取り組みやすいダンボールコンポストの利用講座を行った。 ○生ごみ処理容器等購入支援 生ごみの堆肥化機材購入に対し補助を行った。また、民間で取扱いの少ないダンボールコンポスト関連物品の販売等を行った。 ・機材購入補助 105件、370千円 ○資源物回収活動奨励金 地域の団体が実施する資源物回収活動について、回収量に応じて奨励金を交付した。 ・登録団体数 72団体 回収実施回数 延べ449回 補助金額合計 3,005千円 ○資源回収ボックスの管理・運営 公共施設等に設置している資源物回収ボックス（ペットボトル・乾電池・牛乳パック・廃油・衣類・蛍光灯・小型家電等）の管理運営を行った。 ・回収、整理委託料 305千円	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	75
					町費	
				起債		
				一般財源	3,753	
				計	3,753	
				合計	3,828	
<予算科目>						
款	項	目				
4	2	1				

施策の成果報告書

施策8 生活の環境悪化を防止します

課・係	住民環境課 環境政策係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	2	おいしい水、きれいなまちを守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	上水道有収率	%	83.1	87	③				
②	住民1人当たりのごみの排出量	kg	285	275	④					

施策名	(4)	生活の環境悪化を防止します	重点テーマ		地方創生
施策の内容	○不法投棄、騒音や悪臭、ペットの飼い方や動物による被害など、環境悪化を防ぐための取組を推進します。 ○地域の清掃活動を支援し、促進するなど、住民が暮らしやすい環境づくりに取り組みます。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①							③				
②							④					

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・今後も引き続き環境パトロールの実施や動物関係の周知啓発活動、自治区等が行う清掃活動への支援などを実施するとともに、関係機関との連携し、生活環境の悪化の防止や町の環境美化を推進する。 ・狂犬病予防事業については、畜犬登録申請のDX化を検討する。 ・一斉清掃補助金については、自治区の負担軽減等を目的に自治区活動支援交付金に統合する方向で検討する。
	評価理由	・環境パトロールの実施や自治区が行う清掃活動への支援のほか、動物関係の周知啓発や地域猫活動への支援などの取り組みを推進した。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①環境悪化を防ぐため、地域で行われる環境活動を推進			
	②			
評価	A	A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	・引き続き校区コミュニティや自治区による巡視活動が推進できるよう連携を図るとともに、環境パトロールの情報の蓄積から、重点的に監視を強化する地点を設け、環境悪化防止に努める。
	評価理由	・町による環境パトロールのほか、校区コミュニティや自治区での巡視活動を促進することで、環境悪化の未然防止に努めた。また、被害発生時には、当事者への指導・助言などの対応を迅速に行い、被害を最小限にとどめた。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 8 生活の環境悪化を防止します

課・係	住民環境課 環境政策係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
狂犬病予防事業 (住民環境課)  <予算科目> 款 項 目 4 1 3			狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し、及びこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。	狂犬病予防法に基づき、犬の登録や狂犬病予防注射にかかる以下の事務を行う。 ・登録及び鑑札の交付 ・狂犬病予防注射の支援及び注射済票の交付 ・周知啓発	【登録及び鑑札の交付】 通年、窓口で対応 【狂犬病予防注射の支援及び注射済票の交付】 ・通年、窓口で対応 ・毎春、公園や公民館等で集合注射を実施 【周知啓発】 保健所等関係機関と連携した飼い方の指導及び広報等	財源内訳	国庫支出金
							県支出金
							その他の特定財源 364
						町費	起債
	一般財源						
	計						
		合計	364				
生活環境改善事業 (住民環境課)  <予算科目> 款 項 目 4 1 4			不法投棄、騒音、悪臭、ペットの飼い方や動物による被害への対応や、地域の一斉清掃などのボランティア活動の支援などにより、まちの生活環境の悪化を防止し、住民の暮らしやすさの向上を図る。	1. 環境悪化防止の取り組み 水質・騒音・振動・臭気等の悪化防止の取り組みを行う。  2. 不法投棄防止の取り組み 車両でパトロール及び投棄者の追跡・投棄物の回収等を行う。  3. 地域の清掃活動支援 自治区等が行う一斉清掃等の清掃活動を支援する。  4. 動物による環境悪化防止 飼い犬等のペットのマナー向上対策を実施する。また、無秩序な野良猫の繁殖の増加等による生活環境の悪化を防止する取り組みを行う。	1. 環境悪化防止の取り組み 必要に応じ、指導・勧告・測定等、法に基づく対応を行った。  2. 不法投棄防止の取り組み ・環境パトロール 60回 ・不法投棄物の回収 3.7t ・不法投棄防止等看板・のぼり旗の設置 35か所  3. 地域の清掃活動支援 ・自治区への補助金交付 56区、1,581千円 ・ボランティア袋の配付・回収 12,310袋  4. 動物による環境悪化防止 ・フン害防止、野良猫防止看板 15か所 ・地域猫活動の支援 3団体 認定地域猫 オス5匹、メス8匹  (その他) 【環境衛生団体との連携など】 ・遠賀・中間地域広域行政事務組合（火葬施設）への負担金 34,598千円 ・福岡県地区衛生連合会・食品衛生協会への負担金 57千円	財源内訳	国庫支出金
							県支出金 120
							その他の特定財源 402
						町費	起債
	一般財源 39,543						
	計 39,543						
		合計	40,065				

## 施策の成果報告書

### 施策9 美しい都市景観をつくります

課・係	住民環境課 環境政策係
	都市建設課 都市計画係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	2	おいしい水、きれいなまちを守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	上水道有収率		%	83.1	87	③			
②	住民1人当たりのごみの排出量		kg	285	275	④				

施策名	(5)	美しい都市景観をつくります	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緑化された公共施設、都市公園などの広場の維持管理に取り組みます。</li> <li>○景観を阻害する違法広告物の撤去の実施や空き地などの適切な管理を促進します。</li> </ul>				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①							③				
②							④					

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(住民環境課・都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き違法広告物の撤去や公園、空き地を適切に維持管理することで、美しい町の景観づくりに努める。</li> </ul>
	評価理由	<p>(住民環境課・都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・違法広告物の撤去(6件)や、都市公園、空き地などの適切な維持管理により、都市景観を維持した。また、管理が適正に行われていない空き地について、自治区からの要望に基づき77筆(73件)に対し改善要請等を行った。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①良好な景観を形成するため、住民の協力や理解を深めるための啓発活動を行う。			
	②			
評価	C	<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、住民による地域活動や団体によるボランティア活動などが活発に行えるよう景観保全の啓発の取り組みを推進する。</li> </ul>
	評価理由	<p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアで公園の清掃や花植え活動をされている方々と連携し、景観の維持に努めた。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策9 美しい都市景観をつくります

課・係	住民環境課 環境政策係
	都市建設課 都市計画係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
空地等適正管理支援事業 (住民環境課)  <予算科目>			空き地等の適正管理を地権者に促すことで、ごみの不法投棄などを防止し、町の景観や住民の生活環境を守る。	地域等から要望のあった適正に管理がされていない空地等について、地権者に適正な管理を依頼する。	地域等からの要望により、職員による現地確認を行い、地権者に適正管理の依頼（電話・対面協議・文書通知等）を行った。 ・指導件数 73件、通信費 0千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
款	項	目			一般財源			
4	1	4			計			
						合計		
都市計画一般事業費 (都市建設課)  <予算科目>			都市計画事業の推進や景観を阻害する違法広告物の撤去などにより、町の景観を守る。	○福岡県都市計画協会負担金 全国都市計画協会の行う事業への協力や、都市計画事業に関する必要な情報収集や講習会などの活動に対する負担金。  ○屋外広告物撤去 屋外広告物及び屋外広告業について必要な規制を行うことで、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害を防止する。	違反広告物の定期パトロールを実施し、対象広告物の所有者に対し、撤去等の指導を行った。 ・年4回実施（6月、9月、12月、3月） 告示件数：0件 文書発送：6件	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	180
							その他の特定財源	80
							町費	起債
款	項	目			一般財源			
8	5	1			計			
						合計	260	
公園等管理事業 (緑地管理) (都市建設課)  <予算科目>			公園内の樹木管理や除草、緑道の樹木剪定や清掃などの管理を行うことで、美しい都市景観を守る。	自治区やシルバー人材センターに管理を委託し、年間を通じて維持管理を行う。	公園内の樹木管理や除草などの維持管理を行い、景観維持に努めた。 ・公園管理業務 関係自治区年間管理 36公園 シルバー人材センター年間管理 17公園	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	105
							町費	起債
款	項	目			一般財源	20,524		
8	5	2			計	20,524		
						合計	20,629	

施策の成果報告書

施策10 一人ひとりの省エネ対策により環境負荷を軽減します

課・係	住民環境課 環境政策係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	3	地域から地球温暖化を防止する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	町の事務・事業による温室効果ガス排出量	t-CO2	5,123	3,074	③				
②										④

施策名	(1)	一人ひとりの省エネ対策により環境負荷を軽減します	重点テーマ		地方創生
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活における節電など、環境負荷の軽減に向けた取組を促進します。</li> <li>○公共施設における照明のLED化などの省エネ対策により、温室効果ガス排出量の削減を図ります。</li> </ul>				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	環境家計簿提出数	枚	28	30	26	③					
②												④

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定した「岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」に基づき、「再生可能エネルギー設備の導入」「低公害車、電動車の導入」「森林保全」など、住民・事業者と協力して地球温暖化防止に関する施策及び対策を推進する。</li> <li>・環境負荷の軽減に向けた様々な取組について検討し、適宜周知を行う。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡垣町環境家計簿やノーマイカーデーの周知などにより、環境負荷の軽減に取り組んだ。</li> <li>・「岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」を中間市及び遠賀郡四町で共同策定し、地球温暖化防止に関する具体的な施策や対策を定め、行政・住民・事業者が一体となって取り組む環境を整えた。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①環境家計簿等による電力の可視化を通じて、日常における節電の取組を行う住民や企業を増やす。			
	②			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷軽減の取組は、行政から住民への啓発が主体であったが、今後は自治区やコミュニティ、事業者等と連携しながら啓発活動を行うことで、今まで参画のない住民や企業を増やす。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境家計簿をより取組みやすくするため、広報折込のペーパー版に加え電子データでの取組み、提出を可能とするExcel版を作成し、町公式HP上で配布を開始した。</li> </ul>		

### 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策10 一人ひとりの省エネ対策により環境負荷を軽減します

課・係	住民環境課 環境政策係

#### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
地球温暖化防止事業 (省エネルギー) (住民環境課)	日常生活における節電などの取組みを推進することで、環境負荷を軽減する。	1. 環境家計簿 家庭の使用電力について、可視化できる簡易な点検表「環境家計簿」を全世帯に配布し、省エネルギー化の意識向上を図る。  2. ノーマイカーデーの実施 毎月第2金曜日をノーマイカーデーと定め、自家用車をできるだけ使わず、徒歩や自転車、公共交通の利用を奨める。  3. 岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定及び運用 地球温暖化防止に関する具体的な施策や対策を定め、行政・住民・事業者が一体となって取り組む環境を整える。	1. 環境家計簿 【配布】13,670世帯 【表彰等の実施】 ・提出 26世帯 ・表彰 9世帯（電力量が前年比5%減の世帯）  2. ノーマイカーデーの実施 ・周知 広報おかがき  3. 岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 ・計画期間 令和6年度～令和12年度 ・周知 議会報告、広報おかがき及び町公式ホームページ	財源	国庫支出金
					県支出金
					その他の特定財源
				町費	起債
					一般財源
					計
					合計
					2,591

<予算科目>

款	項	目
4	1	4

施策の成果報告書

施策1 1 環境にやさしいエネルギーの導入を進めます

課・係	住民環境課 環境政策係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	1	自然を守り、活かし交流を生むまち
政策	3	地域から地球温暖化を防止する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	町の事務・事業による温室効果ガス排出量	t-CO2	5,123	3,074	③				
②					④					

施策名	(2)	環境にやさしいエネルギーの導入を進めます	重点テーマ		地方創生
施策の内容	○家庭や事業所に再生可能エネルギーの導入効果などを情報発信し、再生可能エネルギーの活用を促進します。 ○公共施設への再生可能エネルギー設備などの導入を進めます。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	公共施設への太陽光発電設備の導入	施設	0	1	0	③					
②						④						

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・環境省「脱炭素先行地域」選定に伴い、国の交付金を活用し、公共施設への再生可能エネルギー設備の設置を加速させ、国の目指す2050年カーボンニュートラル実現に向け、先行的に導入を進める。 ・引き続き公共施設への再生可能エネルギー100%の電力供給への切り替えや公用車のEV化（電気自動車化）を検討する。 ・国県が進める響灘沖の洋上風力発電事業について、動向を注視しながら対応する。 ・「太陽光発電事業と地域環境との調和に関する条例」に基づき、対象事業者に届出等を求め、必要に応じて指導・助言等を行うことにより、事業の促進と生活環境の保全を図る。 ・策定した「岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」に基づき、「再生可能エネルギー設備の導入」「低公害車、電動車の導入」「森林保全」など、住民・事業者と協力して地球温暖化防止に関する施策及び対策を推進する。（再掲）
	評価理由	・環境省「脱炭素先行地域」選定に伴い、国の交付金を活用して太陽光発電設備を導入する公共施設を整理し検討を進めたが、令和5年度に予定していた町民武道館については、事業性がないとの判断に至ったため設置しないこととした。 ・太陽光発電事業が地域環境と調和した形で適正に実施されることで、町の豊かな自然や町民の生活等を守るため、一定の規模を超える太陽光発電事業について必要な事項を定めた「太陽光発電事業と地域環境との調和に関する条例」を制定した。 ・「岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」を中間市及び遠賀郡四町で共同策定し、地球温暖化防止に関する具体的な施策や対策を定め、行政・住民・事業者が一体となって取り組む環境を整えた。（再掲）		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		今後の 方向性
	②		
評価		A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性
	評価理由		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 1 1 環境にやさしいエネルギーの導入を進めます

課・係	住民環境課 環境政策係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）																															
				財源内訳	合計																														
地球温暖化防止事業 (再生可能エネルギー) (住民環境課)	公共施設への再生可能エネルギー設備の導入や、各家庭、事業者等に再生可能エネルギーの活用を推進することで、地球温暖化を防止する脱炭素・循環型社会を構築する。	<p>1. 脱炭素に向けた取組み (1) 再生可能エネルギー電力の導入 公共施設の電力について、100%再生可能エネルギー由来のものへの転換を検討し、可能な場合は転換する。 (2) 脱炭素に向けた先行的取組 2030年までに設置可能な公共施設において太陽光発電設備等を導入する。</p> <p>2. 国県が進める洋上風力発電の取組 響灘沖の洋上風力発電の取り組みについて、関係市町と連携し動向等を把握する。</p> <p>3. 太陽光発電事業と地域環境との調和に関する条例の制定 太陽光発電事業の促進、町民の生活環境の保全を目的に条例を制定する。</p> <p>4. 岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定及び運用 地球温暖化防止に関する具体的な施策や対策を定め、行政・住民・事業者が一体となって取り組む環境を整える。（再掲）</p>	<p>1. 脱炭素に向けた取組み (1) 再生可能エネルギー電力の導入 (2) 脱炭素に向けた先行的取組 令和4年4月に環境省の「脱炭素先行地域」に選定されたことに伴い、国の交付金を活用し、太陽光パネルを第三者所有方式で公共施設に導入する検討を行った。結果、設置予定の町民武道館について、事業性がないとの判断に至ったため、設置しないこととした。</p> <p>2. 国県が進める洋上風力発電の取組 令和5年10月に響灘沖が「一定の準備段階が進んでいる区域」に整理され、前回と同内容の整理となった。</p> <p>3. 太陽光発電事業と地域環境との調和に関する条例の制定 ○条例制定 令和5年12月（施行：令和6年7月） 【周知状況】 ・広報おかがき 2回 ・町公式ホームページ 1件 ・商工会報 1回</p> <p>4. 岡垣町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 ・計画期間 令和6年度～令和12年度 ・周知 議会報告、広報おかがき及び町公式ホームページ</p>	国庫支出金																															
				町費	509																														
				合計	509																														
<table border="1"> <tr> <td colspan="6">財源内訳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>起債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> <td>509</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>509</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>合計</td> <td>509</td> </tr> </table>						財源内訳							起債						一般財源		509				計		509							合計	509
財源内訳																																			
	起債																																		
	一般財源		509																																
	計		509																																
				合計	509																														
<table border="1"> <tr> <td colspan="6">＜予算科目＞</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1</td> <td>4</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						＜予算科目＞						款	項	目				4	1	4															
＜予算科目＞																																			
款	項	目																																	
4	1	4																																	

施策の成果報告書

施策12 農業・漁業の生産基盤を守ります

課・係	農林水産課 振興係
	農林水産課 工務係

1. 総合計画の内容

基本目標	2	地域資源を活かし発展するまち
政策	1	農業・漁業を守り、育てる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 農業産出額		百万円	1,360	1,400	③				
② 漁獲量（陸揚高）		百万円	53	現状を維持	④					

施策名	(1) 農業・漁業の生産基盤を守ります	重点テーマ		地方創生	○
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業生産の基盤となる用排水路、農道、ため池などの補修や維持管理を進めます。</li> <li>○漁業施設の生産基盤を維持管理するとともに、有効活用を図ります。</li> </ul>				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①							③				
②							④					

施策 評価	A	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農漁業施設については、要望等を踏まえ、必要性や緊急性を検討した上で、計画的な維持補修を行うとともに、農業者等による清掃や簡易補修などの維持管理を支援する。</li> <li>・策定した漁港の利活用計画に基づき、低利用となっている施設等を有効活用するための計画的な整備に取り組む。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産の基盤となる用排水路、農道、ため池などの施設の維持管理を計画的に行うことで、生産基盤の維持に努めた。</li> <li>・漁港施設の維持管理を計画的に行い、機能保全に努めた。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	① 農業者による農道や水路等の草刈りや簡易な整備の推進			
	②			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用排水路、農道、ため池などの農業用施設について、計画的な整備を行うとともに、農業者等が主体となった活動組織による清掃や簡易補修を推進する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業組合や農業者から成る活動組織などの住民が主体となり、農道や用排水路の草刈りを行うなど、適切な維持管理に努めることができた。また、草刈り等の実施にあわせ、農業用施設の点検を行うことで施設の不具合を早期発見し、補修につなげた。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策12 農業・漁業の生産基盤を守ります

課・係	農林水産課 振興係
	農林水産課 工務係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）								
多面的機能支払交付金 事業 (農林水産課)  <予算科目> <table border="1"> <tr><td>款</td><td>項</td><td>目</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td><td>3</td></tr> </table>			款	項	目	6	1	3	農地・水路・農道の維持管理や地域住民の共同による集落機能の維持などの多面的機能を支援することで、農村環境の向上を図るとともに、農業の生産基盤を守る。	地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動を支援する。 (農地維持) 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持の実施 (資源向上) 水路、農道、ため池の軽微な補修、植栽による景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動等の実施 (長寿命化) 老朽化が進む水路、農道などの長寿命化のための補修の実施	(農地維持) 10,024千円 (14組織) ※上高倉、手野、糠塚、東黒山、下戸切、吉木、湯川、原、上畑、三吉、元松原、内浦、高倉、山田  (資源向上) 2,102千円 (5組織) ※上高倉、手野、糠塚、東黒山、内浦  (長寿命化) 2,869千円 (4組織) ※上高倉、手野、糠塚、内浦  【補助率】国1/2、県1/4、町1/4	財源内訳	国庫支出金	
			款	項	目									
			6	1	3									
			県支出金	11,345										
その他の特定財源														
町費														
起債														
一般財源	3,850													
計	3,850													
合計	15,195													
排水施設管理事業 (農林水産課)  <予算科目> <table border="1"> <tr><td>款</td><td>項</td><td>目</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td><td>3</td></tr> </table>			款	項	目	6	1	3	農業生産を行う際に必要となる湛水防除及び大雨時の内水氾濫対策等の防災面において重要な役割を担っている3排水機場を適切に管理することで、農業の生産基盤を守る。	○対象地域 新松原第1排水機場：内浦、手野、新松原 (運転は新松原第1排水機場管理組合へ委託) 新松原第2排水機場：三吉、吉木、元松原 (運転は新松原第2排水機場管理組合へ委託) 東黒山排水機場：東黒山、糠塚 (運転は東黒山排水機場管理組合へ委託)  【農業水利施設保全対策事業】 老朽化等により改修が必要となった新松原第1及び第2排水機場の施設整備を県営事業にて実施する。  ・工事期間 新松原第1排水機場 R6～R9 新松原第2排水機場 R3～R6	【運転管理】 ・排水機場の運転及び施設管理を地元管理組合に委託し、毎月1回試運転により稼働確認を実施した。 ・大雨時、確実に稼働するよう出水期前に点検を行った。  【農業水利施設保全対策事業】 老朽化等により改修が必要となった新松原第2及び第1排水機場の施設整備を県営事業により実施した。  ・新松原第2排水機場 1号機 ポンプ及び設備、建屋改修 事業費：16,370千円 負担金：3,274千円 ※負担割合 国50%、県30%、町20%  ・新松原第1排水機場 設計業務 事業費：24,130千円 負担金：6,033千円 ※負担割合 国50%、県25%、町25%	財源内訳	国庫支出金	
			款	項	目									
			6	1	3									
			県支出金											
その他の特定財源	1,095													
町費														
起債	8,900													
一般財源	2,042													
計	10,942													
合計	12,037													

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
土地改良施設維持管理 適正化事業 (農林水産課)  <予算科目> 款 項 目 6 1 3			農業用施設を適切に管理し、良好な状態に保つことで、生産基盤を守り、安定した農業生産活動に繋げる。	○土地改良施設維持管理適正化事業 老朽化した農業用施設を改修する。 土地改良事業団体連合会、県及び町が必要な資金を5ヶ年で拠出し、拠出期間中に農業用施設の整備に取り組む。  ・負担割合 土地改良事業団体連合会30%、 県30%、町40%	老朽化等により改修が必要となっている東黒山・千手寺田水路の工事発注のための調査設計を行った。 ・東黒山・千手寺田水路測量設計 4,950千円  ・拠出金 三吉井堰 (R1~R5) 557千円 工事費 11,748千円 (R3工事) 拠出対象事業費 9,280千円 千手寺田水路 (R2~R6) 936千円 工事費 (R6工事予定) 拠出対象事業費 15,600千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	6,443						
	計	6,443						
合計		6,443						
ため池維持補修等 事業費 (農林水産課)  <予算科目> 款 項 目 6 1 7			ため池を適切に維持管理し、良好な状態に保つことで、用水を確保し、安定した農業生産活動に繋げる。	補助事業等の対象にならない比較的軽微な補修が必要なため池の維持補修を行う。	老朽化や損壊等により補修が必要なため池の整備工事を行った。 ・門田ため池管理通路整備工事 3,080千円 ・中浦ため池補修工事 986千円 ・清崎ため池洗堀補修工事 666千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	6,963						
	計	6,963						
合計		6,963						
農業用水路維持補修 経費 (農林水産課)  <予算科目> 款 項 目 6 1 8			農業用水路を適切に維持管理し、良好な状態に保つことで、農業の生産基盤を守る。	補助事業等の対象にならない比較的軽微な水路整備や地元農業組合による水路維持補修作業に必要な原材料の支給を行う。	<b>【維持補修作業】</b> ・農業用水路の草刈り等の実施 ・地元農業組合へ水路維持補修作業に必要な資材の支給  <b>【整備事業】</b> 老朽化等により補修が必要となっている農業用施設の整備を行った。 野間3丁目井堰開閉器整備工事 他27件 10,538千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	2,551
							町費	起債
	一般財源	10,023						
	計	10,023						
合計		12,574						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
農村環境整備 (かんがい排水) 事業 (農林水産課)  <予算科目> 款 項 目 6 1 8			取水機能に支障をきたす農業用水路の改修工事等を行い、適切に維持管理することで、農業の生産基盤を守り、安定した農業生活活動に繋げる。	○農村整備総合事業 取水機能に支障をきたしている農用地内に受益地を持つ農業用水路の改修工事を行う。  ・負担割合 県40%、町60%  事業要件 対象受益: 農用地 受益面積: 1.0~5.0ha 受益者: 2戸以上	○農村整備総合事業 上畑地区内の水路の機能回復を県補助事業により実施するため、測量設計業務を行った。 ・上畑地区内水路改良測量設計 10,890千円 (工期: R6~R11予定)  糠塚・友田地区において、ため池からの取水を管路に改良し用水管理の省力化を図った。 ・糠塚・友田パイプライン改良工事 1,870千円	財源内訳	国庫支出金	
							町費	起債
							県支出金	748
							その他の特定財源	1,426
							一般財源	1,989
							計	10,589
							合計	12,763
農道維持補修経費 (農林水産課)  <予算科目> 款 項 目 6 1 9			農道を維持補修し、良好な状態を保つことで、農業の生産基盤を守り、安定した農業生産活動に繋げる。	補助事業等の対象にならない比較的軽微な農道整備や地元農業組合による維持補修作業に必要な原材料の支給を行う。	<b>【維持補修作業】</b> ・農道の草刈り等の実施 ・地元農業組合へ維持補修作業に必要な資材の支給  <b>【整備事業】</b> 整備が必要である農道の改良工事を行った。 ・海老津駅前地内通路改良工事 他4件 1,356千円	財源内訳	国庫支出金	
							町費	起債
							県支出金	
							その他の特定財源	515
							一般財源	2,901
							計	2,901
							合計	3,416
林道維持補修経費 (農林水産課)  <予算科目> 款 項 目 6 2 3			農道としても使用する林道を維持補修し、良好な状態を保つことで、農業の生産基盤を守り、安定した農業生産活動に繋げる。	○林道維持 林道維持のために必要となる軽微な補修や地元農業組合による維持補修作業に必要な原材料の支給を行う。	○林道維持 ・林道の草刈り等を実施 ・林道整備が必要となっている箇所を整備工事を実施した。 吉木東1丁目道路改良工事 他3件 1,419千円	財源内訳	国庫支出金	
							町費	起債
							県支出金	
							その他の特定財源	
							一般財源	2,301
							計	2,301
							合計	2,301

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
漁港施設管理事業 (農林水産課)  <予算科目>			漁業施設の維持管理や有効活用を図ること、漁業の生産基盤を守り、漁業者の安定経営を図る。	○漁港維持管理 漁業活動の生産基盤を保全するため、維持管理を行う。	○漁港維持管理 ・トイレの清掃及び用地の草刈り等を実施 ・漁港区域内の施設維持工事を実施  簡易標識の改良を行うための設計を行う。 ・簡易標識改良設計業務 979千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
その他の特定財源								
町費	起債							
	一般財源	2,652						
計		2,652						
合計						2,652		
款	項	目						
6	3	1						

## 施策の成果報告書

### 施策13 農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します

課・係	農林水産課 振興係
	農林水産課 工務係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	2	地域資源を活かし発展するまち
政策	1	農業・漁業を守り、育てる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 農業産出額		百万円	1,360	1,400	③				
② 漁獲量（陸揚高）		百万円	53	現状を維持	④					

施策名	(2) 農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業生産の向上につながる先進技術や省力機械の導入、大規模化に対する支援など、農業経営の改善を支援します。</li> <li>○中山間地域の農地を守るため、直接支払制度などを活用し、営農の継続を支援します。</li> <li>○有害鳥獣対策として、駆除や電気柵を設置するための支援などにより、被害の軽減を図ります。</li> <li>○町内における農地の有効活用や農業経営の安定化を図るため、新規就農者の育成に取り組みます。</li> <li>○漁場の藻場回復や漁業従事者の育成など、漁獲量の増加に向けた取組を進めます。</li> <li>○漁業の生産基盤である漁場の保全や根付漁業などの振興を図ります。</li> </ul>				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 新規就農者		人	0	1	0	③					
② 有害鳥獣による被害件数		件	減少	減少	減少	④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業者の規模拡大、経営安定、新規就農者の育成など、各種制度を活用した支援を継続して行う。</li> <li>・ 今後も猟友会によるイノシシの巻き狩りや駆除を実施するとともに、電気柵やワイヤーメッシュによる防除を実施する。また、各地域からの要望に応じてイノシシ生息状況調査や緩衝林整備事業を実施し、有害鳥獣による被害軽減を図る。</li> <li>・ ため池の草刈等の負担軽減を図るため、ラジコン草刈り機の導入及び令和7年度に実施するセンチピートグラス吹付事業のモデル地域の選定を行う。</li> <li>・ 令和7年度より、農作業受託補助や小規模農家への機械導入補助事業等を行い、耕作放棄地対策に努める。</li> <li>・ 漁協が実施している有害生物駆除作業、母藻投入作業などの漁場の保全や漁獲量の増加に向けた取り組みを引き続き支援することで、漁業従事者の育成や漁業振興を図る。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種補助制度の活用などによる経営支援により、農漁業経営の安定化、担い手の育成につなげた。</li> <li>・ 昨年に引き続き、緩衝林整備を行い、イノシシ等野生動物による被害低減に努めた。</li> <li>・ 令和6年度からの新規就農者の支援として、農地の斡旋・貸借、サポートチームによる指導を行い、令和6年度の就農に向けて準備を行った。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	
	評価理由			

## 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

### 施策13 農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します

課・係	農林水産課 振興係
	農林水産課 工務係

### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
中山間地域等直接 支払交付金交付事業 (農林水産課)  <予算科目>	中山間地域の農地を守るため、直接 支払制度などを活用し、農地の維持管 理の継続を支援することで、水源涵 養、洪水や土砂崩れなどの災害を防 ぎ、町の自然環境を守る。	条件が不利な中山間地域等におい て、集落等を単位に、農用地を維持・ 管理する活動等を行う場合に、面積に 応じて一定額を交付する。 1. 急傾斜地 2. 緩傾斜地 3. 小区画・不整形な田 等  活動内容例 水路・農道等の管理(泥上げ、草刈 等)  (負担割合) 国：1/3、県：1/3、町：1/3	・対象地区 湯川、原、上高倉、上畑、上戸切 ・対象戸数 60戸 ・対象面積 田54.0ha、畑1.4ha ・交付金額 10,476千円	財 源 内 訳	国庫支出金	
					県支出金	7,034
					その他の特定財源	
					町 費	起債
一般財源	3,493					
計	3,493					
合計					10,527	
土地利用型農業・施設園芸 産地育成事業 (農林水産課)  <予算科目>	農業機械や施設の購入費の一部を支 援することで、生産性を向上させ、農 業経営の改善や担い手の確保につなげ る。	認定農業者等が農業機械及び施設等 を購入する際に、県と町が購入費用の 一部を補助する。 1. 水田農業担い手機械導入支援事業 費補助金 県:1/3、町:1/6  2. 活力ある高収益型園芸産地育成事 業補助金 県:1/3、町:5%  3. 水田農業DX推進事業補助金 件:1/3、町:1/6	1. 水田農業担い手機械導入支援事業費補助金 ・乗用管理機3台 補助金額 9,557千円  2. 活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金 ・高性能省力機械（乗用芝刈機） 補助金額 384千円  3. 水田農業DX推進事業補助金 ・農業用ドローン 補助金額 905千円	財 源 内 訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	7,307
					町 費	起債
一般財源	3,538					
計	3,538					
合計					10,845	
水稻種子補助事業 (農林水産課)  <予算科目>	稲作に優良な品種を導入し、水稻の 品質を維持するとともに、町内各地域 で希望に沿った品種を作付けするこ とで、安定した農業経営を図る。	○良質米生産対策事業補助金 元気づくし、夢つくし、コシヒカリ 等の品質維持と自家採取による交配防 止のために、福岡県の検定に合格した 水稻種子の購入に対する補助を行う。 ※水稻種子の購入に係る経費のうち1/2 を補助	○良質米生産対策事業補助金 対象地区 24地区 対象戸数 119件 補助金額 2,357千円 (572.5円×8,235kg×1/2)  (過去の実績) R4 2,461千円 R3 2,418千円 R2 2,643千円	財 源 内 訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町 費	起債
一般財源	2,357					
計	2,357					
合計					2,357	

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)								
有害鳥獣駆除事業 (農林水産課)  <予算科目> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">款</td> <td style="width: 33%;">項</td> <td style="width: 33%;">目</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table>			款	項	目	6	1	4	野生鳥獣の駆除による個体数の減少や侵入防止対策を行い、農作物被害の軽減、防止を図る。	1. 農作物被害防止対策事業 (駆除) ・ 猟友会 (2組織) に駆除を委託 (防除) ・ 農業組合等に対し電気柵設置等を補助 ・ 定期的な巻き狩りを猟友会に委託  2. 宗像市他2市1町鳥獣加工処理施設運営 ・ 加工処理施設の運営費用を負担する。 ・ 報奨金の実績報告と支払処理を行う。 ※有害鳥獣を捕獲した場合、捕獲個体により報奨金が支給される。 <b>【イノシシ成獣】</b> 9,000円/頭 (施設で食肉加工) 8,000円/頭 (施設で廃棄) 7,000円/頭 (施設利用無し)	1. 農作物被害防止対策事業 ・ 巻き狩りの実施 9回 ・ 農業組合長を通じた電気柵等の要望取りまとめ、購入補助等の実施 6組合 ・ 広域連絡協議会による国補助ワイヤーメッシュの配布 5組合、5,279枚 ・ 狩猟免許新規取得補助 2件  2. 宗像市他2市1町鳥獣加工処理施設運営 ・ 加工処理施設の利用実績に応じて宗像市他2市1町有害鳥獣対策広域連絡協議会への負担金を支出 <b>【施設への搬入実績】</b> 食肉加工: 25頭、廃棄: 19頭	財源内訳	国庫支出金	
			款	項	目									
			6	1	4									
			県支出金	63										
その他の特定財源														
町費	起債													
	一般財源	2,479												
	計	2,479												
合計		2,542												
就農支援事業 (農林水産課)  <予算科目> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">款</td> <td style="width: 33%;">項</td> <td style="width: 33%;">目</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table>			款	項	目	6	1	4	農地の有効活用や農業経営の安定化を図るため、新規就農者を支援し、担い手を育成する。	1. 就農支援事業 岡垣町認定・志向農業者連絡会等による新規就農者へのサポートを行う。  2. 農業次世代人材投資資金交付事業 50歳未満の青年就農者に対し、経営が安定するまでの期間 (就農から5年間) に年額最大150万円 (夫婦での就農は年額最大225万円) を支給する。  3. ビワ栽培研修事業補助金 JA北九ビワ部会が主催するビワ栽培研修に対し事業費の補助を行う。(定額)	1. 就農支援事業 ・ 認定農業者等による新規就農者のほ場確認、新規就農者認定審査会、就農後の状況確認 ・ 町・農協・普及センターによる担い手チーム会議を開催し新規就農者のフォローアップ等を毎月実施 ・ 未利用の農業施設を把握し、新規就農者に紹介 (随時)  2. 農業次世代人材投資資金交付 単身型通年1経営体 1,500千円 夫婦型通年1経営体 2,250千円  3. ビワ栽培研修事業補助金 実績なし	財源内訳	国庫支出金	
			款	項	目									
			6	1	4									
			県支出金	3,848										
その他の特定財源														
町費	起債													
	一般財源													
	計													
合計		3,848												

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)			
経営所得安定対策事業 (農林水産課)  <予算科目>			ナラシ対策 (収入減少影響緩和交付金) やゲタ対策 (畑作物の直接支払交付金) の事務手続きを行うことで、認定農業者や集落営農等を支援し、農業経営の安定化を図る。	米や麦、大豆等の戦略作物の生産に対する国からの交付金の推進事務費を岡垣町生産対策協議会に補助する。 ※国からの交付金は直接協議会に交付される	<ul style="list-style-type: none"> <li>需給調整現地確認 8月17・18日</li> <li>水田活用の直接支払交付金申請事務 59名 (61,123千円)</li> <li>畑作物の直接支払交付金申請事務 16名 (71,530千円)</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金		
							県支出金	2,165	
							その他の特定財源	601	
							町費	起債	
款	項	目						一般財源	59
6	1	4						計	59
								合計	2,825
野生動物緩衝林整備事業 (農林水産課)  <予算科目>			人と野生動物の距離が近くなり、生活被害・農業被害が発生している里山において、野生動物が身を隠すことができない緩衝地帯を整備し、野生動物との棲み分けを図る。	不要木・侵入竹の伐採等により、居住地域や農地と山林との間に緩衝地帯を整備し、野生動物との棲み分けを図る。	野生動物緩衝林整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域イノシシ生息状況調査</li> <li>下刈り・枝打ち・除伐</li> <li>不要木の伐採</li> <li>伐採木等の整理</li> <li>緩衝林整備後の生息状況調査 整備面積: 0.34ha (上畑) 2.17ha (戸切)</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金		
							県支出金	14,772	
							その他の特定財源		
							町費	起債	
款	項	目						一般財源	979
6	2	2						計	979
								合計	15,751
漁業振興対策事業 (農林水産課)  <予算科目>			漁場の藻場回復や保全、根付漁業の振興を図ることで、漁業経営を支援するとともに、漁業従事者を育成する。	漁協が行っている漁場の回復や漁獲量の増加に向けた水産振興の取り組みを支援する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>種苗放流 アワビの水揚量を確保するため、種苗を放流し、資源を維持する。</li> <li>藻場再生作業・有害生物駆除作業 ウニやアワビ等の生育に欠かせない藻場を維持するため、母藻投入や増えすぎたウニの駆除などにより、漁場の保全を図る。</li> </ul>	漁協が実施している水産振興のための活動への助成を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>種苗放流 (アワビ稚貝放流 11,200個)</li> <li>藻場再生作業 (母藻投入 年4回)</li> <li>有害生物駆除作業 (ウニ駆除、移植作業 年5回)</li> <li>漁業経済システム更新</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金	655	
							県支出金		
							その他の特定財源		
							町費	起債	
款	項	目						一般財源	1,300
6	3	1						計	1,300
								合計	1,955

施策の成果報告書

施策14 地産地消に取り組みます

課・係	農林水産課 振興係
	教育総務課 学校給食係

1. 総合計画の内容

基本目標	2	地域資源を活かし発展するまち
政策	1	農業・漁業を守り、育てる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 農業産出額		百万円	1,360	1,400	③				
② 漁獲量(陸揚高)		百万円	53	現状を維持	④					

施策名	(3)	地産地消に取り組みます	重点テーマ		地方創生	○
施策の内容	○町内販売施設において、地元農水産物の販売の拡大を支援します。 ○地元食材を取り入れた学校給食を提供します。					

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 給食食材地場産率(福岡県産)		%	36.2	41	35.2	③					
②						④						

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(農林水産課) ・町公式ホームページで、地元農産物のPRや直売等の情報を掲載し、町内外への周知と販路の拡大を図る。 (教育総務課) ・引き続き、栄養教諭や地元食材納入業者と連携し、地元食材を取り入れた学校給食を提供する。また、特に岡垣町産の食材を多く取り入れた給食を提供する日を設けることで、地元農産物への関心を深め、地産地消に繋げていく。
	評価理由	(教育総務課) ・栄養教諭による献立作成の際や食材発注時に、県産及び近隣自治体産の食材の使用に努めたほか、特に岡垣産の食材を使用した給食を提供する「岡垣の日」を設け、地元食材を取り入れた学校給食を提供した。 ・物価上昇等の影響を受け、県産地場産率は35.2%と前年度実績を下回っているが、国県の地場産使用率の目標値である30%は上回っている。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①農業体験などを通じて、住民と生産者がふれあう機会をつくります			
	②			
評価	A	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	(農林水産課・教育総務課) ・継続的に農業巡りツアーや農作物収穫などの農業体験を通じ、消費者と生産者との対話や農産物生産現場に出向くなど、農業に触れ合う機会を増やすことで、地元農産物への理解を深め、愛着心向上に努めることで、地産地消の拡大につなげる。 ・今後も農業体験などを通じ、消費者と生産者が触れ合う機会をつくることで、農業や地産地消への理解を深める。
	評価理由	(農林水産課・教育総務課) ・農業巡りツアーが再開され、住民と生産者がふれあう機会を設けることができた。 ・農業巡りツアーや黄金千貫の苗植えなどの収穫体験を通して、住民に地元食材への愛着心や貢献意識を持たせることで、地元食材に対する愛着心向上に努めた。 (農林水産課) ・黄金千貫収穫作業の際に、岡垣産米「元気つくし」を昼食で提供し、地元産のPRを行った。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 1 4 地産地消に取り組みます

課・係	農林水産課 振興係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	町費
地産地消推進事業 (農林水産課)	地元農水産物を取り入れた学校給食や町内販売施設における販路拡大など、農産物の地域生産や地域消費（地産地消）を推進することで、地域特性を生かした食生活や地元農水産物への理解を深める。	1. 農業振興事業 ・教員やPTAを対象に町内の農地を見学してもらい、農業に対する理解を深め教育に活用することで地元農産物のPRと購入を推進する。 ・町内のほ場で枝豆や焼酎岡垣の原料となるイモを栽培し、町民を対象に枝豆刈りやイモの収穫作業を実施することで、農業への関心を高めてもらい地産地消を推進する。  2. 直売所の支援 ・直売所を支援することで、町の農産物等をPRし、消費拡大を推進する。	1. 農業振興事業 ・農業巡りツアー 4/26 教員6名、PTA10名参加 ・枝豆狩り体験 生育不良のため中止 ・イモ収穫作業 11/11 参加者 約100名  2. 直売所の支援 ・町公式ホームページでのPR	国庫支出金	
				県支出金	
<予算科目>				その他の特定財源	
				起債	
款	項	目		一般財源	85
6	1	4		計	85
				合計	85

## 施策の成果報告書

### 施策15 商工業者の経営を支援します

課・係	おかがきPR課 商工観光係
-----	---------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	2	地域資源を活かし発展するまち
政策	2	商工業を支援し、地域経済を活性化させる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標				
	① 製造品出荷額	単位	現状値	R12目標値	③ 売上金額(民営)	単位	現状値	R12目標値
② 商業年間販売額	百万円	13,661	18,000	④	百万円	74,846	80,000	
	百万円	22,684	25,000					

施策名	(1) 商工業者の経営を支援します	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容	○商工業の振興や安定経営を支援するため、制度融資などによる経営支援を図るとともに、商工会などと連携し、社会情勢に応じた活性化策に取り組みます。			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標						
	① 商工会会員数	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
②	店	478	470	497	④					

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・物価高騰等の社会経済情勢の変化を踏まえ、引き続き商工会と連携し、活性化策に取り組む。引き続き、商工業者のデジタル化による生産性向上につなげるため、キャッシュレス商品券の発行促進などに取り組む。
	評価理由	・商工会と連携し、プレミアム付商品券販売事業や物価高騰対策などの活性化策を行ったことで、商工業の振興や安定経営の支援につながった。 ・また、プレミアム付商品券の一部をキャッシュレス商品券として販売し、商工業者のデジタル化による生産性の向上を後押しした。		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①	町内商工業者の商工会への加入促進(町が商工会事業を支援するとともに連携することで、町内事業者の輪を広げ地域経済の活性化を図る)	今後の 方向性	・引き続き、町内商工業者の商工会への加入促進に努めるとともに、町内事業者の輪を広げる機会を創出する。
	②			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由	・地域の事業者が業種に関わりなく会員となり、相互の事業や地域の発展のために、総合的な活動を行う団体である商工会への加入促進に努めていることや、日頃からの丁寧な経営支援などが事業者から高い評価を得たことで、加入拡大につながった。 ・商工会主催のえびつぼたるの夕べへの支援により、町内の事業者間の連携や住民に憩いと潤いを提供する機会となり、地域の活性化につながった。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 15 商工業者の経営を支援します

課・係	おかがきPR課 商工観光係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）							
				財源内訳	合計						
商工業振興事業 (おかがきPR課)	制度融資などによる経営支援を行うとともに、商工会などと連携し、社会情勢に応じた活性化策に取り組むことで、商工業の振興や安定経営を図る。	<p>1. 商工会支援 町の商工業の総合的な改善発達を図るための組織である商工会を支援することにより、町内の商工業及び経済の活性化を図る。また、商工会が主催するイベントについても支援し、商工会の魅力を向上させ、会員増加につなげる。</p> <p>2. 制度融資 商工業者に必要な融資支援を行い、産業の振興や安定経営を支援する。</p>	<p>1. 商工会支援 【商工会補助金】 ○経営指導員等設置事業 6,510千円 ○商工業振興事業 2,653千円 （内訳）商工業振興本体 1,100千円     税務相談 1,053千円     後継者育成 500千円 ○活性化イベント事業 2,000千円 （えびつはたるのタベ） ○プレミアム商品券事業 20,447千円 プレミアム率20% （県10%、町9.5%、商工会0.5%） 販売総額 200,000千円 うちキャッシュレス商品券 40,000千円 発行総額（プレミアム含）240,000千円 うちキャッシュレス商品券 48,000千円</p> <p>換金額 239,331千円 換金率 99.72%</p> <p>※商工会加盟店舗数 497店</p> <p>2. 制度融資 【商工業者融資預託金】 50,000千円 （年度当初預託、年度末返還） ・年度末貸付残高 100件、193,855千円 【制度融資資金保証料補助金】 3,924千円 ・補助件数 51件</p>	国庫支出金							
				町費	3						
				その他の特定財源	50,000						
				起債							
				一般財源	37,396						
				計	37,396						
				合計	87,399						
<p>&lt;予算科目&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>						款	項	目	7	1	1
款	項	目									
7	1	1									

## 施策の成果報告書

### 施策16 新たな企業の誘致、起業・創業の支援に取り組みます

課・係	おかがきPR課 商工観光係
-----	---------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	2	地域資源を活かし発展するまち
政策	2	商工業を支援し、地域経済を活性化する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標				指標			
	① 製造品出荷額	単位	現状値	R12目標値	③ 売上金額(民営)	単位	現状値	R12目標値
	② 商業年間販売額	百万円	13,661	18,000	④	百万円	74,846	80,000

施策名	(2) 新たな企業の誘致、起業・創業の支援に取り組みます	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容	○本町の立地や特性を活かすことができる企業の誘致を進めます。 ○新たな起業・創業や地元企業の事業拡大などを支援し、雇用を促進します。			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標					指標				
	① 企業誘致条例新規適用企業件数	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	② 町内創業開始件数	件	1	2	1	④				
		件	10	5	10					

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・町内での新たな起業・創業や地元企業の事業拡大を支援するため、「おなが創業支援協議会」の中で、支援の取り組みを進める。 ・引き続き、企業や金融機関等に訪問し、様々な情報収集に努め、企業誘致を推進するとともに、企業が進出しやすい環境をより整えるため、誘致可能土地の調査を行う。
	評価理由	・企業や金融機関等への訪問に加え、企業からの相談に対してきめ細かな対応を行ったことで、1件の企業誘致条例を適用し、町内雇用の拡大につながった。 ・「おなが創業支援協議会」の中で、創業塾、創業セミナーを開催するなど起業・創業希望者に体制支援を行い、町内で10件の創業につながった。		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 16 新たな企業の誘致、起業・創業の支援に取り組みます

課・係	おかがきPR課 商工観光係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	町費
企業誘致・創業支援 推進事業 (おかがきPR課)	本町の立地や特性を活かした企業の誘致を進めるとともに、新たな起業や創業を適切に支援することで、地域の活性化や町内雇用の促進を図る。	1. 企業誘致・訪問 町内外の企業及び金融機関等を訪問し、景況感や増設等の意向調査、企業進出動向調査を行う。また、町内主要企業に対して、制度等の情報提供を行うなどにより支援し、町内企業を育成する。  2. 工場立地調査（誘致可能土地調査） 町内遊休地と進出希望土地の条件をマッチングし、工場適地となり得るか調査を行い、企業誘致を推進する。  3. おんが創業支援協議会 遠賀郡4町、4町商工会、遠賀信用金庫、日本政策金融公庫で構成する「おんが創業支援協議会」により、創業支援等事業計画に基づき、官民一体となった創業支援を実施する。	1. 企業誘致・訪問 ○企業誘致条例新規適用企業件数 1件 ○企業等の訪問 【訪問件数（延べ）】 町内企業38件、町外企業18件 金融機関13件、その他6件 【活動内容】 ・景況感及び増設等の意向確認 ・金融機関に対しての企業進出動向調査 ・進出（増設）意向がある企業へのアプローチ ・ふるさと納税及び観光等の町のPR ○スイミング施設の公募による誘致活動  2. 工場立地調査（誘致可能土地調査） 広報おかがきで1,000㎡以上の売買、賃貸等が可能な土地情報を収集するほか、進出希望がある企業の土地の調査を行った。 ○紹介可能土地情報 21か所  3. おんが創業支援協議会 遠賀郡内の行政及び商工会、遠賀信金、日本政策金融公庫の10団体で構成されている協議会 ・おんが創業支援協議会負担金 120千円 ・窓口相談（商工会：随時） ・創業塾の開催（3回）参加者64人 ・創業セミナー 参加者26人 ・町内創業開始件数 10件	国庫支出金	
				町費	329
				合計	329
<予算科目>					
款	項	目			
7	1	1			

## 施策の成果報告書

### 施策17 町の魅力を活かした観光商品を開発します

課・係	おかがきPR課 商工観光係
-----	---------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	2	地域資源を活かし発展するまち
政策	3	地域資源を活かした観光を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標		
	① 観光入込客数	千人	570	700	③	④
②						

施策名	(1)	町の魅力を活かした観光商品を開発します	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光協会と連携し、自然や食などの地域資源を活かした体験型観光の開発など、町内を周遊できるような魅力ある観光ルートづくりに取り組みます。</li> <li>○マリンスポーツや海沿いのサイクリングロードを活かし、スポーツをターゲットにした観光商品を開発します。</li> <li>○近隣の観光ニーズとのマッチングを行い、ワーケーション向けプランや外国人観光客へ対応したプランなど時代のニーズにあった観光商品を開発します。</li> </ul>				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標		
	① 体験プログラム等の造成	件	4	4	3	③ レンタサイクル利用者数
② 観光商品の開発	件	2	2	1	④	

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海やサイクリングなど家族で楽しめる体験コンテンツを多数有することや、北九州及び福岡都市圏から1時間以内という地理的な強みがあることから、引き続き近隣エリアのファミリー層をメインターゲットとした取り組みを進める。</li> <li>・観光協会や観光事業者と連携し、「体験型観光のさらなる充実」、「周遊性の向上」、「滞在時間の長時間化」をキーワードとした取り組みを進め、町を周遊しながら「泊まる」「体験する」「食べる」を一体とした新しい岡垣町の旅のスタイルを確立する。</li> <li>・マイナビ ツール・ド・九州2024福岡ステージが本町で開催されることから、様々なサイクリングイベントを実施し、これまで本町を訪れたことのない観光客やインバウンド客の誘致に向けた取組を推進する。</li> <li>・マイナビ ツール・ド・九州2024開催の地であることをPRし、サイクリストにとって特別な場所となるよう様々な仕掛けを行う。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホゲーム北斗の拳LEGENDS ReVIVEとコラボした様々な企画により、町の認知度向上、観光入込客数の増加、地域経済の活性化に大きく寄与した。</li> <li>・町と観光協会が連携し、新たに「岡垣ほろ酔いバスツアー」のモニターツアーを行い、観光商品の開発を行ったほか、リョカンピングやフルーツライドなどの既存の観光商品やレンタサイクルなどの体験プログラムの磨き上げを行った。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①観光協会を中心に観光事業者や民間団体（町民）と連携した観光事業を推進する	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町、観光協会、観光事業者が一体となって取り組む体制を一層強化し、観光施策を展開することで、町の魅力を創出する。</li> </ul>
	②		
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、観光協会を中心に、地域の観光事業者と一体となって観光事業を展開した。</li> <li>・スマホゲーム北斗の拳LEGENDS ReVIVEとのコラボに数多くの事業者が参加し、19商品、22のスタンプラリーポイントを用意することが出来た。</li> </ul>	

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 17 町の魅力を活かした観光商品を開発します

課・係	おかがきPR課 商工観光係
-----	---------------

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
観光推進事業 (おかがきPR課)	近隣市町や各種団体と連携した観光を推進し、新たな観光商品の開発や観光ルートづくりを行うことで、観光客や関係人口の増加を図る。	<p>1. 岡垣町の観光推進 観光推進団体への補助金交付等により、特産品や新たな観光商品の開発、イベント事業、観光資源の情報発信等を行う。 中西部地域を拠点とした町内全域の観光地の周遊性を高め、観光客の滞在時間の長時間化及び観光消費額の増加を図るため、観光協会、地域の観光事業者と連携した取組を行う。</p> <p>2. 広域的な観光推進 近隣市町で構成する各種協議会により、広域的な魅力向上等による観光推進を図る。</p>	<p>1. 岡垣町の観光推進 ○岡垣町観光協会補助金 19,310千円 【事業費】 ・観光宣伝事業 1,351千円 ・観光看板改修 275千円 ・ホームページ作成等 894千円 ・海水浴運営 1,340千円 ・その他 1,482千円 事務費（人件費等） 13,968千円 ○スマホゲーム北斗の拳LEGENDS ReVIVEとのコラボによる観光振興 ・町の認知度向上と魅力発信、観光入込客数の増加、地域経済の活性化を図ることを目的に様々なイベントを実施 ※事業費は、岡垣町PR戦略推進事業（P188）に計上</p> <p>○岡垣町の特産品を育てる会補助金 348千円 ・R4年度に引き続き黄金千貫の作付け及び収穫を実施 ・岡垣びわ酒については、スマホゲーム北斗の拳LEGENDS ReVIVEとのコラボラベルで販売</p> <p>2. 広域的な観光推進 ・筑前玄海地域観光推進協議会 318千円 ・北九州地区観光連絡協議会 50千円 ・福岡県観光推進協議会 53千円 ・連携中枢都市北九州都市圏事業 ※予算は企画政策室が計上</p>	国庫支出金	
				県支出金	312
				その他の特定財源	
				町費	
				起債	
				一般財源	19,852
				計	19,852
				合計	20,164
<予算科目>					
款	項	目			
7	1	2			

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
観光ステーション 北斗七星管理運営事業 (おかがきPR課)  <予算科目>			町内外への情報発信や効果的な観光事業の推進、観光客等を集客する拠点施設として適切に管理運営することで、多くの方に観光情報や体験型観光を提供し、町の魅力(観光価値)を高める。	1. 指定管理事業 岡垣町観光協会を指定管理者とし、施設の管理運営を行う。  2. 施設の長寿命化・修繕 施設の長寿命化を図る改修等は、町が直接行う。また、指定管理者との協定により、10万円以上の修繕についても町が直接行う。	○指定管理委託料 6,300千円 ○修繕料 370千円 ○備品購入費 604千円 ○運営実績 ・施設利用者数 24,952人 (前年 21,006人) ・シャワー利用 2,526回 253千円 ・コインロッカー利用 133回 13千円 ・休憩室利用 898人 247千円 ・北斗七星イベントの実施(参加者105人) (星空観望会、北斗の水くみコンサート)	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
						町費	その他の特定財源	7
						町費	起債	
							一般財源	7,267
							計	7,267
						合計		7,274
款	項	目						
7	1	2						
観光施設維持管理事業 (おかがきPR課)  <予算科目>			観光資源及び観光施設を適切に管理し、施設等の安全や快適な利用環境を確保し、町内に観光客を誘客する。	観光施設の光熱水費負担や草刈り、害虫防除等の維持管理、整備を行う。	○家族旅行村(ふれあい公園・遊歩道) トイレの維持管理 ふれあい公園の維持管理 遊歩道の草刈り ○湯川山さくら道 桜の剪定・伐採、害虫防除、下草刈り ○遠賀宗像自転車道 トイレの維持管理、リンリンクラブ岡垣の管理 ○波津海水浴場 海水浴シーズン前の整備 ○施設共通 その他、必要に応じた修繕等	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	2,650
							その他の特定財源	
						町費	起債	
							一般財源	4,928
							計	4,928
						合計		7,578
款	項	目						
7	1	2						

施策の成果報告書

施策18 町の魅力ある観光情報を発信します

課・係	おかがきPR課 商工観光係
-----	---------------

1. 総合計画の内容

基本目標	2	地域資源を活かし発展するまち
政策	3	地域資源を活かした観光を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	観光入込客数	千人	570	700	③				
②					④					

施策名	(2)	町の魅力ある観光情報を発信します	重点テーマ		地方創生	○
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然や食などの町の魅力をSNSなどの媒体を通じて効果的に発信します。</li> <li>○観光客や関係人口などの増加を目指し、観光に関する情報発信を強化します。</li> <li>○筑前玄海エリアなどの各市町との広域的な観光連携を進めます。</li> </ul>					

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	観光協会SNSフォロワー	人	3,359	3,200	4,030	③					
②	メディア情報発信・掲載	件	79	60	113	④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に策定したブランド戦略に基づき、町の魅力ある観光資源などを町内外に戦略的に情報発信する。</li> <li>・令和5年度に引き続き、スマホゲーム北斗の拳LEGENDS ReVIVEとコラボした取組によるPR、マイナビ ツール・ド・九州2024福岡ステージ開催を契機として、町の魅力を町内外に幅広く情報発信する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会が中心となり、町の魅力ある観光情報をインスタグラムやフェイスブックなどのSNSを通じて発信したことで、SNSフォロワー数の増加につながった。</li> <li>・スマホゲーム北斗の拳LEGENDS ReVIVEとコラボした新たな取組を通して、町内外にPRを行い、町の認知度拡大につながった。</li> <li>・パブリシティ活動の強化、プレスリリース配信サイトの活用などにより、テレビ、ラジオ、新聞、ネットニュースなど様々な媒体で取り上げられ、町内外に観光情報を発信することができた。</li> <li>・福岡、大分DCに向け、様々なPRイベントや商談会に町と観光協会が連携して参加し、プロモーション活動を行い、町の観光情報のPRを行った。</li> <li>・筑前玄海エリアをPRする「イカ王国」事業など広域的な観光連携を進めた。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①町の魅力をSNSなどの媒体を通じて効果的に発信し、フォロワーを増やす（フォロワーを増やすことで、情報の拡散に繋げる）			
	②			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会のSNSフォロワーも順調に増え、フォロワーからの「口コミ」による情報拡散が期待できることから、積極的にSNSに投稿することで、町の魅力を発信する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS上で観光協会と観光事業者が町の魅力等の情報を共有し、相互に発信することで、情報が拡散された。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 18 町の魅力ある観光情報を発信します

課・係	おかがきPR課 商工観光係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	町費
観光情報発信事業 (おかがきPR課)	町の魅力ある観光情報を効果的に発信するとともに、広域的な観光連携を進めることで、観光客や関係人口の増加を図る。	○観光情報の発信 岡垣町観光協会と連携し、自然や食などの町の魅力をSNSなどの媒体を通じて効果的に発信する。	○観光情報の発信 (町) ・観光情報広告掲載 ・SNS等を通じた発信 ・観光協会等が作成するチラシ、ポスター等の配架 ・報道機関等を通じたPR ・各種イベント等への出店 (岡垣町観光協会) ※岡垣町観光協会補助金 ・SNS、HP等を通じた発信 ・報道機関等を通じたPR ・チラシ、ポスターの作成 ・各種イベント等への出店 ※主な事業費は観光推進事業（P64）に計上	国庫支出金	
				県支出金	
<予算科目>				その他の特定財源	
				起債	
款	項	目	町費	一般財源	55
7	1	2		計	55
				合計	55

施策の成果報告書

施策19 安心して子育てができる環境をつくります

課・係	こども未来課	こども未来係
	こども未来課	保育・幼稚園係
	こども未来課	中部保育所
	子育てあんしん課	こども家庭支援係
	子育てあんしん課	未来館係
	教育総務課	学校教育係
	教育総務課	学校給食係

1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	1	安心して子育てができるまちをつくる

まちづくりの成果	指標	単位	現状値	R12目標値	指標	単位	現状値	R12目標値
果指標 (政策)	① 子育て支援施策に対し、「満足」「やや満足」とした割合	%	29.2	34	③ こども未来館での子育て支援事業に対し、「満足」「やや満足」とした割合	%	28.6	33
	② 待機児童数	人	25	0	④			

施策名	(1) 安心して子育てができる環境をつくります	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	<p>○子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点を中心とした総合的な子育て支援を促進するとともに、妊娠期から子育て期にわたる、健康管理や相談支援・養育支援などの充実を図ります。</p> <p>○子どもの発達状況に応じた巡回相談などの相談体制や保育・教育環境整備を行い、子どもの健やかな成長を支援します。</p> <p>○子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、子どもの成長段階や家庭環境に応じた生活支援、学習支援や経済的支援などを進めます。</p> <p>○保育需要の高まりに対応できるよう、保育士の確保など保育体制を整備します。</p> <p>○待機児童の解消に向け、認定こども園などの設置や民間保育所の定員の拡大などの取組を支援します。</p> <p>○こども未来館では、子どもの遊びの場を提供し、健やかな成長を促進します。また、親子遊びを通じた子育て家庭の相互の出会いの場をつくることともに、子育て支援グループなどの活動を支援することで、子育てへの不安を解消し、子育て家庭の孤立を防ぎます。</p>				

2. 施策の成果

成果指標	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
①	今後もこの地域で子育てをしていきたいと思う親の割合	%	96.7	98	96.2	③				
	②					④				

施策評価	B	評価理由	今後の方向性
		<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p> <p>(こども未来課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内保育所等の保育士への処遇改善や認定こども園の施設整備に向けた支援等を実施することで、利用希望者全員が保育サービス等利用できる環境整備に取り組んだ。</li> <li>・おかがき子育て応援パッケージ掲載事業（おかがき1stパスデーギフト、保育料の負担軽減、学童保育所へのICT導入等）の実施により、安心して子育てができる環境の充実を図った。</li> <li>・こども政策に関する基本的な方針等を定めるこども計画（計画期間：令和7～11年度）を策定するため、策定会議の開催及び推進協議会への諮問等を行うとともに、アンケート調査の実施準備等を行った。</li> </ul> <p>(子育てあんしん課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳発行、赤ちゃん訪問、出産・子育て応援事業時の面談等による相談支援と併せ経済的支援を実施し子育て世帯の支援を行うことができた。また、産後ケア事業の利用方法の見直しやメニュー拡充により、利用促進につなげ、周産期の母親の負担軽減を図ることができた。</li> <li>・こども未来館では、子育てに不安を抱える保護者などが気軽に集えるイベントを定期的に開催し、子育て家庭の交流の場を提供した。</li> </ul>	<p>(こども未来課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査やこども世代を対象としたワークショップの開催等を行いながら、こども計画の策定を完了する。</li> <li>・待機児童解消に向け、保育士確保対策の効果検証や認可保育所の施設整備に係る支援を行う。</li> <li>・おかがき子育て応援パッケージ掲載事業（保育料軽減の取組、1stパスデー事業等）を継続的に実施するとともに、他課所管事業を含めた事業の成果を測りながら、内容の充実に向け継続的に精査を行う。</li> <li>・学童保育における児童の安全確保、保護者の利便性向上を図るため、登降所管理に関する連絡アプリを全ての学童保育所に導入するとともに、将来的に学校施設を利用しての受入体制について検討する。</li> <li>・庵老津小学校区の学童保育所利用児童数増加に対応するため、学童保育所を拡充する。</li> </ul> <p>(子育てあんしん課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭センターを設置し、母子保健・児童福祉双方の観点から支援が必要な世帯に対する支援プランの作成や定期的なケース会議を開催することで、切れ目ない支援を展開する。</li> <li>・県の産後ケア事業の利用料減免制度の活用に向けて、遠賀中間地域の自治体と共同で制度改正に向けた協議を進める。</li> <li>・こども未来館では、利用者のニーズに合ったイベントを開催し、子育て家庭の孤立防止に向け、交流の場の提供や子育てサークル等に関する情報を広報やSNSで積極的に発信する。</li> <li>・町の子育て相談時に未来館の保育士が同席し、子育て親子と関わることで気軽に相談できる関係性を作る。</li> </ul> <p>(こども未来課・子育てあんしん課・福祉課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達相談に対応できる支援・連携体制の充実に向け、関係課で検討する。</li> </ul> <p>(教育総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て応援パッケージの一環として、物価高騰により食料費が上昇する中、小中学校給食の食料費上昇分を町が負担するほか、一般的に教育費が増加するといわれる中学生を持つ保護者に対し、経済的支援として食料費の上昇分も含め給食費の半額を町が負担する。給食費の補助に関しては、今後の国の動向も注視しながら対応していく。</li> </ul>

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①住民主体の子育て支援の取り組みの促進（子育てサークルやこどもの居場所づくりを行う団体への助言・支援）	
	②	
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>
	評価理由	<p>(子育てあんしん課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児サークルや子育て支援団体に活動場所を提供するとともに、SNSを活用してサークルの紹介等の支援を行った。</li> <li>・子ども食堂との情報交換を密にし、運営や財源確保に向けた助言や支援を行うなど、子どもの居場所をつくることで、見守りにもつながった。</li> </ul>

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策19 安心して子育てができる環境をつくりま

課・係	こども未来課  こども未来係
	こども未来課  保育・幼稚園係
	こども未来課  中部保育所
	子育てあんしん課  こども家庭支援係
	子育てあんしん課  未来館係
	教育総務課  学校教育係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	町費
こども計画及び子ども・子育て支援事業計画策定事業 (こども未来課)  <予算科目> 款 項 目 3 2 1	全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会を実現していくことを目的として、こども基本法に基づき、こども大綱等を勘案した「こども計画」を策定するもの。 また、こども計画は既存の各法令に基づく市町村計画と一体のものとして策定することができることから、子ども・子育て支援法に基づき、こども施策に関する事項を定める「子ども・子育て支援事業計画」と一体的に策定する。	令和2年3月に策定した「岡垣町第3次エンゼルプラン第2期子ども・子育て支援事業計画」は、次世代育成支援行動計画及び子ども・子育て支援事業計画を含んだ計画として策定され、令和3年7月には計画変更を行い、「岡垣町子どもの貧困対策推進計画」を包含する計画とされた。 令和6年度には、子ども・子育て支援事業計画の計画期間が終了するため、令和5年度にニーズ調査を実施するとともに、その調査・分析結果をこども政策推進協議会で審議し、令和6年度に次期の計画（『岡垣町こども計画』）を策定する。	こども計画策定に伴うアンケート調査の設問設計を行い、若者へのアンケート調査票を発送。 ※年度内に事業が完了しなかったため、令和6年度に繰越ししており、保護者及びこどもを対象としたアンケート調査は令和6年6月に実施。  ○アンケート調査概要 ①若者へのアンケート調査（800件） ②保護者へのアンケート調査（1,400件） ③こどもへのアンケート調査（約600件） ○会議等の開催 ①こども計画等策定会議：3回 ②こども政策推進協議会：2回	国庫支出金 643 県支出金 その他の特定財源 町費 起債 一般財源 113 計 113 合計 756	
子育て応援金支給事業 (こども未来課)  <予算科目> 款 項 目 3 2 1	子育て世帯の様々なニーズの把握及び子育て世帯が必要とする情報の発信を行うとともに、子どもの誕生及び1歳到達を祝福し、子育てに伴う経済的負担の軽減を行う。	○概要 令和4年4月1日以降に出生し、満1歳に到達した者の養育者に、第2子までの場合は3万円、第3子以降の場合は5万円を支給する。  ○対象児童 次に当てはまる児童 ・令和4年4月1日以降に出生し、満1歳に到達した者 ・基準月に町の住民基本台帳に記録されている又はされていた者	○ニーズの把握 ・アンケートの実施  ○子育て世帯が必要とする情報の発信 ・申請案内時に子育て応援パッケージのチラシを同封 ・アンケートに記載のあった内容について、個人に情報を発信  ○補助金の交付 195人 ・第1子・第2子（3万円） 145人 ・第3子以降（5万円） 50人 合計 6,850,000円	国庫支出金 県支出金 その他の特定財源 町費 起債 一般財源 6,925 計 6,925 合計 6,925	

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
障がい児保育実施 補助事業 (こども未来課)			子どもの発達状況に応じた保育・教育環境を整備することで、障がい児や発達に偏り、遅れが見られる子どもの健やかな成長に繋げる。	○概要 障がい児(発達に偏りや遅れが見られる児童も含む)を保育している施設に対し、障がい児保育を実施するにあたり、加配した保育士・幼稚園教諭・保育教諭(以下「保育士等」という。)の人件費を補助する。  ○対象施設 障がい児保育を実施するにあたって、保育士等を加配した町内私立保育所、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、認定こども園、幼稚園	○補助金の交付 交付件数 1件 (合計 6,384千円)  ○加配状況 ・障がい児6人に対し、加配保育士 3人(内訳) ・保育所 障がい児6人に対し、加配保育士 3人	財源内訳		
						国庫支出金		
						県支出金		
						その他の特定財源		
<予算科目>						町費	起債	
款	項	目					一般財源	6,384
3	2	1					計	6,384
						合計		6,384
保育士等確保対策事業 (こども未来課)			保育士等の円滑な採用や離職防止に向けた環境を整備することで、必要な保育士を安定的に確保し、待機児童の解消を図る。	○概要 ・奨学金返還支援補助金 保育士・幼稚園教諭・保育教諭(以下「保育士等」という。)に対し、保育士資格を取得するにあたって借りた奨学金の返還費用の一部を補助する。補助上限月額15千円×36月分  ・就職奨励金 町内保育所等に新たに採用され、一定以上の勤務実績のある保育士等に対し、3万円を支給する。  ○対象者 認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、届出保育施設(居宅訪問型を除く。)、幼稚園に勤務する保育士等	○補助金の交付(合計 2,438千円) ・奨学金返還支援補助金交付決定者数 12人 (内訳) 保育所 2人 認定こども園 6人 小規模保育事業所 1人 幼稚園 3人  ・就職奨励金交付決定者数 21人 (内訳) 保育所 2人 認定こども園 7人 小規模保育事業所 5人 事業所内保育事業所 1人 幼稚園 6人	財源内訳		
						国庫支出金		
						県支出金		
						その他の特定財源		300
<予算科目>						町費	起債	
款	項	目					一般財源	2,138
3	2	1					計	2,138
						合計		2,438

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
子ども家庭総合支援 拠点事業 (子育てあんしん課)			子どもの将来が生まれ育った環境に 左右されないよう、子どもの成長段階 や家庭環境に応じた支援を行うこと で、健全な育成を図る。	1. 児童家庭相談事業 ・住民や関係機関からの通告、相談を 基に支援対象児童の家庭環境等のアセ スメントを行い、必要な支援を行う。 ・小中学生に関する諸問題 (不登校、 養育環境等) について、専門の子ども 家庭支援員を配置し、児童・生徒及び その保護者への面談等を継続的に実施 することで、家庭環境の改善等を支援 する。  2. 年中児巡回相談事業 町内の保育所・幼稚園等に通う満4歳 児クラスを臨床心理士等が巡回し、各 施設や家庭での関わり方等を保育士や 幼稚園教諭に助言する。	1. 児童家庭相談事業 ・相談通告内容に応じたアセスメントを実施 ・小中学校専門子ども家庭支援員による相談支援 ※ ( ) 内は前年度比 出務日数 146日 (-13日) 854時間 (-14時間) 71H/月 対応件数 学校訪問 100件 (+15) 面談・相談: 340件 (-114) (内訳) ・保護者 38件 (-31) ・児童生徒 12件 (-2) ・教員等 290件 (-81) 電話相談: 144件 (-40) (内訳) ・保護者 40件 (-22) ・児童生徒 0件 (-1) ・教員等 104件 (-17) ・教育委員会との定期報告会議を開催 (週1回)  2. 年中児巡回相談事業 ・保護者へのアンケート調査を実施 ・町内の保育所・幼稚園等を巡回 ・必要に応じて児童記録を作成 ・町内6施設対象に10回実施 観察実施年中児童数 230人	財 源 内 訳	国庫支出金	2,404
							県支出金	175
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	2,153						
	計	2,153						
合計		4,732						
<予算科目>								
款	項	目						
3	2	1						
子ども食堂 運営支援事業 (子育てあんしん課)			子どもの将来が生まれ育った環境に 左右されないよう、子どもの成長段階 や家庭環境に応じた支援を提供するこ とで、子どもの居場所づくりを推進す るとともに、子どもの人権を守る。	○子ども食堂開設等支援補助 子ども食堂の開設を検討している民 間団体や子ども食堂を運営する民間団 体の取り組みに対する助成を行い、町 内での広がり継続した運営体制の構 築を支援することで、子どもの見守り の機会を増やし、子どもの貧困対策と 子どもの居場所づくりを推進する。	○子ども食堂開設等支援補助 【支援対象】 町内で子ども食堂の開設を検討している又は運営 している団体  【支援内容】 (開設補助) 開設に必要な工事請負費又は備品購入 費を最大10万円補助 (※原則開設初年度のみ) ・実績 3件 245千円 ※うち1件は対象経費実支出額に基づき45千円交 付  (運営補助) 運営に必要な賃借料、需用費 (印刷製 本費に限る)、役務費を開催頻度に応じて補助。原 則申請初年度から3年間に限る。 ・実績 4件 849千円  ※開催頻度に応じた補助限度額 月1回以上: 10万円 R5交付実績 2件 週1回以上: 30万円 1件 週3回以上: 40万円 1件 ※月1回以上の交付実績のうち1件は、対象経費実 支出額に基づき49千円交付。	財 源 内 訳	国庫支出金	533
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	561						
	計	561						
合計		1,094						
<予算科目>								
款	項	目						
3	2	1						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)			
認定こども園施設整備 事業 (こども未来課)  <予算科目>			幼保連携型認定こども園への移行に伴う施設整備を支援し、保育定員を拡充することで、保育所待機児童の解消を図るとともに、安全で快適な教育・保育環境を整備し、児童福祉の向上を図る。	待機児童解消のため、町内の私立幼稚園の認定こども園への移行に伴う施設整備費を補助する。 事業は、3か年事業(令和3~5年度)で実施し、整備後は、保育定員が60人増加する予定である。  ○定員内訳 R4年度(幼稚園型) ・保育部分27人 (3~5歳児:9人ずつ) ・教育部分173人 (満3歳児:20人、年少:41人、年中:61人、年長:51人) R6年度(幼保連携型) ・保育部分60人 (0歳児:9人、1~2歳児:12人ずつ、3~5歳児:9人ずつ) ・教育部分140人 (満3歳児:20人、年少~年長:40人ずつ)	○補助金の交付 岡垣中央幼稚園の施設整備に伴い、令和5年度分の補助金を交付した。  【令和3年度】 7,255千円(2%) 【令和4年度】 205,918千円(56%) 【令和5年度】 166,450千円(42%)  ○補助率 ・就学前教育・保育施設整備交付金 ①保育部分 国2/3、町1/12、事業者1/4 ②教育部分 国1/2、町1/4、事業者1/4  ※令和4年度までは、①については保育所等整備交付金として、②については認定こども園施設整備交付金として、それぞれ交付されていた。	財源内訳 国庫支出金 123,255 県支出金 その他の特定財源 町費 起債 34,500 一般財源 8,695 計 43,195 合計 166,450			
							款	項	目
							3	2	2
							中部保育所管理運営経費 (こども未来課)  <予算科目>		
款	項	目							
3	2	2							

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
学童保育所管理運営事業 (こども未来課)  <予算科目> 款 項 目 3 2 3			児童の健全育成と保護者の就労支援等を目的とし、放課後に児童の保育を実施している。平成19年度から指定管理者制度を導入し、5か年の基本協定を締結している。(令和4年度～令和8年度)	放課後に保育が必要な児童の健全育成と保護者の就労支援等を図るため、利用希望者全員が利用できるよう、必要に応じて定員拡大等の環境を整備しながら学童保育所を運営している。 <b>【保育時間】</b> 平日 放課後～18:00 土曜、春・夏・冬休み 8:00～18:00 <b>【延長保育】</b> 18:00～19:00	○学童保育所別入所人員 (令和6年3月) 合計 357人 ・山田学童保育所 49人 ・山田第二学童保育所 53人 ・山田第三学童保育所 34人 ・海老津学童保育所 65人 ・海老津第二学童保育所 53人 ・吉木学童保育所 56人 ・吉木第二学童保育所 14人 ・内浦学童保育所 16人 ・戸切学童保育所 17人  ○吉木・吉木第二学童保育所にICTシステムを導入し、登降所管理等保護者の利便性向上を図った。	財源内訳	国庫支出金	19,319
							県支出金	19,576
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	25,901						
	計	25,901						
合計		64,796						
こども未来館運営事業 (子育てあんしん課)  <予算科目> 款 項 目 3 2 4			親子遊びを通じた子育て家庭の相互の出会いの場をつくとともに、子育てサークルへの支援などを行うことで、子育てへの不安を解消し、子育て家庭の孤立を防ぐ。	1. 地域子育て支援拠点事業 妊婦や子育て中の親、乳幼児とその保護者が一緒に参加できるイベントの開催や住民の主体的な活動への支援を充実させることで、子育て世代の幅広い交流機会を提供する。  2. 児童センター事業 就学期の児童に対する体験型イベントを開催し、児童の健全育成を図る。  3. 一時保育事業 就労や疾病などのため家庭での保育が一時的に困難となった家庭の児童を預かり、保護者に代わって保育を提供する。	○施設状況 <b>【開館日数】</b> 297日 <b>【延べ利用者数】</b> 13,910人 (前年比+2,412人) ・内訳: 就学前児童5,377人 小学生2,862人、中学生176人、高校生57人、大人5,438人 <b>【開館時間】</b> 9:00～18:00 ※7・8月は19:00まで開館  1. 地域子育て支援拠点事業 ・乳児向けイベント(ベビーのひろば)年11回開催 ・幼児向けイベント(幼児のひろば)年30回 (自由広場19回、イベント11回) ・子育てサークルへの支援(会員募集・イベント周知、活動場所提供等)  2. 児童センター事業 ・就学児向けイベント(みんなのひろば)年8回開催 ・クラブ活動(合唱)月2回開催 ・天体観望 月2回開催 ・出張児童館 こども会を対象に2回実施  3. 一時保育事業 ・登録者数410人(内新規97人) 利用件数 1,019人 (前年比+194人) ・利用時間 9:00～17:00 利用定員10人 ・利用料金 400円/時間 3,000円/日 ※きょうだい利用は200円/時間	財源内訳	国庫支出金	2,348
							県支出金	2,348
							その他の特定財源	2,167
							町費	起債
	一般財源	8,589						
	計	8,589						
合計		15,452						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
子育て世代包括支援センター事業 (子育てあんしん課)			子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点を中心とした総合的な子育て支援を推進するとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談支援体制などの充実を図ることで、子育てに関する悩みの解消や母子の健康を守る。	1. 妊娠期のアセスメント実施 母子手帳交付時に妊婦の心身の健康状態を把握し、支援プランを作成。状況に応じた支援サービスを提供する。  2. 養育支援訪問事業 母親が出産前後で体調不良のために家事や育児が困難であり、日中介助者がいない家庭や養育環境の問題などから特に支援が必要と判断した家庭に支援ヘルパーを派遣する。  3. 産後ケア事業 育児支援を特に必要とする出産後1年を経過しない母子に対し、医療機関等が授乳の指導や乳房ケア、母親の話の傾聴による心理的支援、具体的な育児指導等を行う。  4. 発育・発達に関する相談 乳幼児の心身の発達状況に応じた相談を受け、必要に応じて、専門機関の紹介等を行う。	1. 妊娠期のアセスメント実施 ・健康状態の把握方法 母子手帳交付時にアンケート・面談 ・母子健康手帳発行件数 165件 (前年度比 -30件) アセスメント件数 165件 (前年度比 -30件)  2. 養育支援訪問事業 (育児・家事援助) ・利用限度 原則1世帯当たり20回/年、利用時間は2H/日 ・支援内容 食事の準備、清掃、沐浴補助、きょうだい児の世話等 ・実績 3人・29回利用 (前年度比 +3)  3. 産後ケア事業 ・産婦人科、助産院等12機関に業務委託 ・支援内容 新たに通所型 (短時間)、居宅訪問型を追加 宿泊型、通所型、通所型 (短時間)、居宅訪問型 ※4類型通算7回利用可 母親の身体的ケア及び保健指導等、心理的ケア、適切な授乳へのケア等 ・実績 登録者 81人、利用者 38人 宿泊型 37件 (前年度比 +34) 通所型 37件 (前年度比 -19) 通所型 (短時間) 40件 居宅訪問型 10件  4. 発育・発達に関する相談 ・子育て相談自由広場 専門資格を持つ職員による相談対応、身体測定など (実績) 12回開催 相談件数 156件 (前年度比 +11件) ・子どもの発達相談 発達状況に関する臨床心理士への相談 (実績) 12回開催 相談件数延べ 94件 (前年度比 +6件) ・かるがも親子教室 発達等に不安を抱える児童を対象とした小集団での親子遊び教室 (実績) 12回開催 延べ 109人参加 (前年度比 -29人)	財源内訳	国庫支出金	2,583
							県支出金	718
							その他の特定財源	35
							町費	
						起債		
一般財源	3,306							
計	3,306							
合計	6,642							
<予算科目>								
款	項	目						
4	1	5						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
出産・子育て応援事業 (子育てあんしん課)			全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型支援の充実を図るとともに、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯に対し経済的支援を行うことで、出産育児関連用品の購入費補助や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る。	1. 伴走型相談支援事業 (1) 妊娠届出時の面談等 妊娠届出時にアンケート及び面談を実施し、妊娠期から出産後の見通しや過ごし方、必要となる各種手続、利用できる支援サービスを確認後、当該事項を示した子育てガイドを交付する。 (2) 妊娠8ヵ月頃のアンケート 出産間近で妊婦が産前休暇に入る時期にアンケートを実施し、希望に応じて面談や訪問を行う。 (3) 出生後の面談等 乳児家庭全戸訪問事業時にアンケートや面談を実施し、出産後の見通しや過ごし方、必要となる各種手続、利用できる支援サービスを確認する。  2. 出産・子育て応援ギフト支給 (1) 出産応援ギフト 妊娠届出時の面談等を受けた妊婦を対象に、妊娠1回につき5万円の現金を支給。 (2) 子育て応援ギフト 出産後の面談等を受けた養育者を対象に、出生した児童1人につき5万円の現金を支給。	1. 伴走型相談支援事業 (1) 妊娠届出時の面談等 対象者 162人 アンケート・面談実施者 163人 実施率100% (2) 妊娠8ヵ月頃のアンケート 回答者数 152人 実施率100% (3) 出産後の面談等 対象者 190人 アンケート・面談実施者 190人 実施率100%  2. 出産・子育て応援ギフト支給 (1) 出産応援ギフト 支給件数 178件 8,900千円 (2) 子育て応援ギフト 支給件数 193件 9,650千円	財 源 内 訳	国庫支出金	12,847
							県支出金	3,219
							その他の特定財源	
							町費	
							起債	
一般財源	3,211							
計	3,211							
合計	19,277							
<予算科目>								
款	項	目						
4	1	5						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
小学校就学援助費 (教育総務課)			○就学援助費 学校教育法 (昭和22年法律第26号) 第19条の規定に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者又は入学予定者の保護者に対し、必要な援助を行うことで、義務教育の円滑な実施や子どもの健全な育成を図る。  ○特別支援学級就学奨励費 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱第2条第2項の規定に基づき、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための支援を行う。	○就学援助費 経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者 (生活保護に準じた世帯で町が認定する世帯) に対し、学用品費等の一部を補助する。  ○特別支援学級就学奨励費 小学校の特別支援学級への就学の特殊事情をかんがみ、障がいのある児童生徒等の保護者等の経済的負担を軽減するために必要な援助を行い、就学を奨励する。	○就学援助費 17,162千円 (前年度 15,163千円) ・要保護児童 15人 (前年度 16人) 医療費、修学旅行費の支援 ・準要保護児童 193人 (172人) 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、準教科書費、入学用品費、オンライン学習通信費、給食費  ○特別支援教育就学奨励費 1,090千円 (前年度 1,047千円) ・対象者 24人 (前年度 21人) ・学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、準教科書費、入学用品費、オンライン学習通信費、給食費	財源内訳	国庫支出金	534
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	17,718						
	計	17,718						
合計		18,252						
<予算科目>								
款	項	目						
10	2	2						
中学校就学援助費 (教育総務課)			○就学援助費 学校教育法 (昭和22年法律第26号) 第19条の規定に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者又は入学予定者の保護者に対し、必要な援助を行うことで、義務教育の円滑な実施や子どもの健全な育成を図る。  ○特別支援学級就学奨励費 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱第2条第2項の規定に基づき、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための支援を行う。	○就学援助費 経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者 (生活保護に準じた世帯で町が認定する世帯) に対し、学用品費等の一部を補助する。  ○特別支援学級就学奨励費 中学校の特別支援学級への就学の特殊事情をかんがみ、障がいのある児童生徒等の保護者等の経済的負担を軽減するために必要な援助を行い、就学を奨励する。	○就学援助費 12,791千円 (前年度 12,356千円) ・要保護児童生徒 13人 (前年度 12人) 医療費、修学旅行費の支援 ・準要保護児童生徒 105人 (前年度 120人) 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、準教科書費、入学用品費、オンライン学習通信費、給食費  ○特別支援教育就学奨励費 801千円 (前年度 945千円) ・対象者 12人 (前年度 13人) ・学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、準教科書費、入学用品費、オンライン学習通信費、給食費	財源内訳	国庫支出金	445
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	13,147						
	計	13,147						
合計		13,592						
<予算科目>								
款	項	目						
10	3	2						

施策の成果報告書

施策20 母子の健康づくりを支援します

課・係	子育てあんしん課 こども家庭支援係
-----	-------------------

1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	1	安心して子育てができるまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	子育て支援施策に対し、「満足」「やや満足」とした割合	%	29.2	34	③	こども未来館での子育て支援事業に対し、「満足」「やや満足」とした割合	%	28.6	33
②	待機児童数	人	25	0	④					

施策名	(2) 母子の健康づくりを支援します	重点テーマ		地方創生	○
施策の内容	○ワクチンで防げる病気から子どもを守るために、定められた期間でのワクチン接種を促すなど、定期予防接種の啓発などに取り組みます。 ○乳幼児健診や訪問などにより、母子の健康状況を把握し、適切なアドバイスを行います。また、必要に応じて相談や支援サービスの利用などを促進します。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	乳幼児健診受診率	%	94.5	100	96.8	③	妊娠・出産について満足している者の割合	%	87.3	83.0	92.0
②	麻疹・風疹 (MR) 予防接種率	%	90.2	95	94.2	④						

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・発達に課題を抱える児童の早期発見・早期療育を促すための手法の検討を行う。 ・幼児期・学齢期に接種の適齢期を迎えるワクチンについては、就学前健診などで、専門職が直接チラシの配布などを行い接種勧奨することで、接種率の向上を図る。 ・子育て応援LINE等による周知にて定期予防接種の有効性や健診受診の必要性を啓発する取り組みを継続するとともに、未受診者との信頼関係を向上させるため、家庭訪問や電話連絡などを積極的に実施する。
	評価理由	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類となったことに伴い、感染リスク回避よりも従来の健康増進事業の必要性が重視されるようになったため、定期予防接種や乳幼児健診の受診率も上昇した。 ・麻疹・風疹 (MR) 2期の適齢期における接種を促進するため、就学前健診会場での保護者への啓発を実施した結果、接種率向上につながった。 ・3歳児健診で屈折検査機器を使った視覚検査を導入した結果、従来方法では補足できなかった異常が発見可能となり、早期の医療機関受診につなげることができた。 ・新生児聴覚検査費の補助を行ったことにより、受検率の向上につなげることができた。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		
	②		
評価		A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性
	評価理由		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 20 母子の健康づくりを支援します

課・係	子育てあんしん課 こども家庭支援係
-----	-------------------

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
				財源内訳	合計	
乳幼児感染症予防事業 (子育てあんしん課)	定期予防接種の啓発など、定められた期間でのワクチン接種を促すことで、ワクチンで防げる病気から子どもを守る。	1. 定期予防接種 感染症予防のため、定期予防接種を医療機関等に委託。また、接種率向上のため、広域接種が可能な体制整備や里帰り期間における接種に対する費用の償還払いなどを実施する。  2. 子どものインフルエンザ予防接種助成 1歳～15歳の児童を対象にインフルエンザの任意予防接種の費用を一部助成し、流行期における感染予防を促す。	1. 定期予防接種 ・定期予防接種 11種類（四種混合、ヒブ、小児肺炎球菌等） ・接種時期 2カ月～16歳 ※ワクチンにより適齢期あり。 ※子宮頸がん予防ワクチンに9価ワクチンが追加 【MR（麻疹・風疹）】 ・接種時期 1期/1歳～2歳未満 2期/小学校入学1年前の児童 ・MR2期接種率 94.2% （前年度比 +4.0%） ※MR（麻疹・風疹）は国が接種率目標（95%）を設定している。  2. 子どものインフルエンザ予防接種助成 ・接種券発行 10月 ・接種期間 10月～翌年2月末 ・助成対象 1歳～15歳の児童 ・助成内容 1回あたり2,000円を2回を限度に助成 ・助成券利用枚数/発行枚数 2,477枚/7,495枚 利用率 33.0%（前年度比 -0.7%） 【啓発活動】 ・広報おかがきへの啓発記事掲載（6月：四混・HPV、7・3月：2混・MR2期・日脳、10月：インフルエンザ）	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
				町費	その他の特定財源	4,900
					起債	
一般財源	61,489					
計	61,489					
合計	66,389					
<予算科目>						
款	項	目				
4	1	2				
妊産婦赤ちゃん訪問・健康相談事業 (子育てあんしん課)	妊娠期から出産、子育て期において、それぞれの段階に応じた支援サービスを提供することで、安心して子育てができる環境を整える。	1. 妊産婦赤ちゃん訪問事業 妊娠中や出生後の母子の健康状態を把握するため、助産師や保健師が家庭訪問し、子育てに関する助言・指導を行う。  2. 教育事業 乳幼児の食事に関する相談を受け、適切に助言・指導を行う。	1. 妊産婦赤ちゃん訪問事業 妊娠中や出生後～4か月までに母子保健推進員や保健師が家庭訪問を実施。 ※（ ）は前年度比 妊婦 14件（±0）産婦 193件（+8） 乳児 195件（+8）電話訪問 20件（-7）  2. 教育事業 にこにこクッキング 離乳食に関する相談や離乳食のサンプルの見学。 ・年11回開催、延参加者数61人（前年度比+9）  ※事業費は、子育て世代包括支援センター事業（P74）に計上	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
				町費	その他の特定財源	
					起債	
一般財源						
計						
合計						
<予算科目>						
款	項	目				
4	1	5				

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)			
乳幼児・妊産婦 健康診査事業 (子育てあんしん課)			定期的に母子の健康状態を確認することに加え、医師や歯科医師、保健師などに相談できる機会を設けることで、安心して出産・育児ができる環境を整える。	<p>1. 乳幼児健康診査 生後4カ月～3歳到達時までの期間に計5回実施。年齢に応じ内科診察や歯科診察、身体計測、尿検査、育児相談、発達相談等を行う。</p> <p>2. 妊産婦健康診査 母子手帳交付時に妊婦健康診査14回分の受診券を発行し、受診費用を町が負担することで、母体の健康状態と胎児の発育状況の定期的な確認を促進する。</p> <p>3. 妊産婦歯科健診 妊娠に伴う口腔環境の悪化を予防するため、妊娠期と産後の母親を対象に歯科健診を実施する。</p> <p>4. 新生児聴覚検査補助 新生児(生後27日以内の児童)の聴覚障がい早期発見・早期療育を図るため、受検費用の一部を補助し、すべての新生児が新生児聴覚検査を受診する体制を構築する。</p>	<p>1. 乳幼児健康診査 ・受診者数/対象者数 1,040人/1,074人 受診率 96.8% (前年度比 +2.3%) ・4カ月児健診(内科診察、身体計測、育児相談) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から医療機関での個別受診を実施 ・7カ月児健診(内科診察、身体計測、育児相談、離乳食・歯科講話) ・1歳6カ月児健診(法定)(内科・歯科診察、身体計測、育児・栄養・歯科相談・フッ素塗布) ・2歳児相談(歯科診察、育児・栄養・歯科・発達相談、フッ素塗布) ・3歳児健診(法定)(内科・歯科診察、尿検査、身体計測、視覚・聴覚検査、育児・栄養・歯科・発達相談、フッ素塗布) ※従前の視覚検査と併せて、R5年10月から屈折検査機器を用いた検査を導入 ・屈折検査機器導入後の視覚検査による医療機関受診勧奨児童数 12人 ・うち従来方式により実施した場合の医療機関受診勧奨児童数 4人</p> <p>2. 妊婦健康診査 診査項目 基本健診・血液検査・超音波など 助成費用 5,100円～21,080円 ※診査項目により変動 ※( )は前年度比 妊婦健診補助券発行者数 190人 (-21人) 妊婦健診補助券利用者数 189人 (-18人) 受診者数 270人 (-22人) 受診率 99.4% (+0.9%)</p> <p>3. 妊産婦歯科健診 実施時期 妊娠中に1回、7カ月児健診時に1回実施 ・妊婦歯科健診 受診者数/対象者数 47人/162人 受診率 29.0% (前年度比 +4.9%) ・産婦歯科健診 受診者数/対象者数 192人/210人 受診率 91.4% (前年度比 +0.4%)</p> <p>4. 新生児聴覚検査補助 ※R5年4月から実施 ・受検者数/出生者数 R5 179人/182人 受検率 98.3% (前年度比 +1.1%) ・R5受検補助券使用者数 68人 償還払い請求者数 62人</p>	財 源 内 訳	国庫支出金	729	
							町費	起債	
							一般財源	23,260	
							計	23,260	
							合計	23,989	
<予算科目>									
款	項	目							
4	1	5							

## 施策の成果報告書

### 施策2 1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します

課・係	教育総務課 学校教育係
	教育総務課 学校給食係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	2	未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 英検3級相当生徒の割合(中学3年生)			%	46.2	50	③			
② 岡垣町について、「とても好き」「ある程度好き」とした割合※中学生アンケート			%	72.8	増加	④				

施策名	(1) 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	<p>○確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組み、子どもの個性や能力を伸ばす教育を推進します。</p> <p>○英語教育やICTを活用した教育の推進により、社会情勢に対応した資質や能力を育てます。</p> <p>○指導主事・スクールカウンセラーなどの配置により、児童生徒のいじめや不登校などに対する教育相談・指導体制の充実を図ります。</p> <p>○児童生徒の障害や発達状況に応じた特別支援教育を推進します。</p>				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 英検3級相当生徒の割合(中学3年生)			%	49.5	増加	55.0	③				
② 不登校児童生徒数			人	56	減少	68	④					

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育は、引き続き安河内先生の指導も受けながら、英語教育改革イニシアティブを推進する。</li> <li>・ICT支援員については、限りある支援時間の中で、ICT支援員の支援内容が多岐にわたっていることから、タブレット端末を活用した授業の充実を図るため、現状を精査し、技術的な助言等の時間が十分確保できる支援体制について検証する。また、機器についても計画的な更新を進め、令和6年度は、校務用パソコンの更新や校務支援システムの導入などを行う。</li> <li>・現代社会の変容の中で、児童生徒や保護者、学校が抱える悩みや問題が多様化・深刻化し、不登校児童生徒が増えているため、令和6年度から指導主事・教育指導員の人員及び配置時数やスクールカウンセラーの配置時数を増やし、相談体制を強化するなど、児童生徒に寄り添った支援の充実化を図る。</li> <li>・特別支援教育が必要な児童生徒は増加傾向にあり、また、一人ひとりの特徴が異なることから、学級担任への負担が増加しており、特別支援教育を必要とする全ての児童生徒に十分な指導ができるよう、引き続き、支援員の適切な配置について検証する。</li> <li>・学校給食の安定的な実施、会計処理の透明性の向上等を目的に、給食費公会計導入について検討する。</li> <li>・中学校部活動地域移行について、学校・関係団体等と協議の場を設置し、可能な部活動から土日の地域移行の方向性を検討する。</li> <li>・水泳授業の充実とプール施設老朽化などの課題への対応として、民間スイミング施設を活用した水泳授業に向けた検討を進める。</li> <li>・教育課題の解決のため、今後も子育て応援パッケージに教育関係施策も位置づけ、総合的な教育の充実を図っていく。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育は、英語教育アドバイザーの安河内先生の指導を受け、継続的に英語教育改革イニシアティブに取り組み、目標値を達成することができた。</li> <li>・中学校への電子黒板設置や保護者連絡アプリの導入などを行い、ICTを活用した教育環境が整ってきている。</li> <li>・ICT支援員を各学校に配置し、授業での調べもの学習や発音などの効果的な場面、学校行事等においてタブレット端末の活用等を行った。また、学級閉鎖時等をはじめ、定期的なタブレット端末の持ち帰りを促進し、ICTの利点を生かした活用を図った。</li> <li>・指導主事、教育指導員、スクールカウンセラーを配置し、子ども家庭支援員やその他関係機関と連携することで、教育相談や指導体制の充実化を図っているが、不登校児童生徒数は増加傾向となっている。</li> <li>・いじめ防止対策については、学校だけでなく町においても対応を行うとともに、体制強化に向けて、町及び教育委員会に専門家で構成する付属機関の設置準備を進めた。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策2-1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します

課・係	教育総務課 学校教育係
	教育総務課 学校給食係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
外国語指導助手事業 (教育総務課)  <予算科目> 款 項 目 10 1 2			グローバル化が進む中で、英語教育の推進や国際理解の促進は重要であることから、専門性のある外部講師を招へいすることで、基礎的・実践的なコミュニケーション能力や異文化への理解力の向上など、社会情勢に対応した資質や能力を育てる。	英語教育改革イニシアティブに基づき、ALTを小中学校に配置し、ネイティブな音声に触れる機会を提供することで、英語力の向上を図る。	民間事業者への委託により、ALTを小学校に1名、中学校に1名配置した。小学校では主に3年生・4年生の外国語活動の支援を行い、中学校では隔週でALTを配置し、教師とのチームティーチングにより授業を行った。  <参考> 小学校：ALTによる授業支援（小3・4） 1学級あたり35回 中学校：ALTによる授業支援（中1・2・3） 隔週で2校に配置。	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	9,504						
	計	9,504						
合計		9,504						
教育相談等事業 (教育総務課)  <予算科目> 款 項 目 10 1 2			現代社会の変容の中で、家庭の教育力の低下や地域における住民相互のつながりが希薄化するとともに、児童の抱える問題が多様化・深刻化している。 児童生徒のいじめや不登校などに対する教育相談や指導体制の充実を図ることで、全ての児童生徒が安心して学校生活を提供する。	1. 教育支援委員会の開催 障がいのある又は何らかの要因により、学校生活に不安や問題のある児童・生徒が安心して学校生活を送ることができ、将来的な自立に向けた就学支援として適正な指導・判定等を行う。  2. 指導主事・教育指導員の配置 教育現場で実践経験のある指導主事・教育指導員を配置し、教職員・児童・生徒・保護者の相談対応を行うほか、学校の指導研修等を実施する。  3. 適応指導教室 自立と学校生活への適応に関わる指導等を行う「岡垣町・遠賀町学校適応指導教室」を遠賀町と共同で設置・運営し、不登校児童生徒の学校復帰を支援する。	1. 教育支援委員会の開催 年3回（6月・9月・1月）  2. 指導主事・教育指導員の配置 ・指導主事1名（学校経営及び教育課程等に関する指導・初任者研修等） ・教育指導員1名（教育相談・生徒指導等）  3. 適応指導教室（遠賀町と共同設置） ・場所 遠賀町コミュニティセンター内 ・開設日 月・火・金（週3回）10時から15時 ・指導員 2名 ・入室児童生徒数 16名 ・開設日数 122日 ・支援回数 延べ448回 ・不登校の解消に至った者 8名	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	7,000
							町費	起債
	一般財源	773						
	計	773						
合計		7,773						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)	
学校ICT支援事業 (教育総務課)  <予算科目> 款 項 目 10 1 2			教育委員会では、GIGAスクール構想に伴う高速大容量通信ネットワークや一人一台端末及び電子黒板など、多種多様なICT機器の整備を推進している。ICT支援員を配置し、ICT整備における技術的な助言や整備後の管理・運用・活用方法の提案、教職員のスキル研修等を行い、学校におけるICT環境の向上や利活用を促進することで、社会情勢に対応した子どもの資質や能力を育てる。	各小中学校の高速大容量通信ネットワーク、パソコン教室及び児童生徒一人一台端末、電子黒板の整備など、学校におけるICT環境を活用したICT教育の推進を図る。  ○ICT支援員の配置 ・ICT環境整備についての助言及び活用の提案 ・技術的サポート ・使用マニュアル、ルール作成等 ・教職員への研修 ・機器トラブルの初期対応	GIGAスクールサポーターとしてICT支援員3名を配置し、各小中学校のICT機器の活用やトラブルシューティングなどの支援を行った。  ○訪問頻度 ・内浦小、戸切小、吉木小 …週1日程度 ・海老津小、山田小、岡垣中、岡垣東中 …週2日程度  ○相談件数: 1,741件	財源内訳	
						国庫支出金	1,225
						県支出金	
						その他の特定財源	12,000
						町費	起債
	一般財源	913					
	計	913					
合計		14,138					
小学校国際化推進事業 (教育総務課)  <予算科目> 款 項 目 10 2 1			グローバル化が進む中で、英語教育の推進や国際理解の促進は重要であることから、専門性のある外部講師を招へいすることで、基礎的・実践的なコミュニケーション能力や異文化への理解力向上など、社会情勢に対応した資質や能力を育てる。	○JTE (日本人英語講師) による外国語授業 英語教育改革イニシアティブに基づき、JTEを各小学校に配置することで、授業支援や教諭への研修を行う。	○JTE (日本人英語講師) による外国語授業 ・JTE3名を各小学校に配置。 ・支援対象授業は、令和2年度から教科化された小学校5・6年生の全ての授業。 ・各学期1回、担当校の教諭に対し、外国語授業のパフォーマンス向上のための研修を行った。  <参考> JTEによる授業支援回数 1学級あたり全70回のうち平均68.05回 (97.2%)	財源内訳	
						国庫支出金	
						県支出金	
						その他の特定財源	4,000
						町費	起債
	一般財源	591					
	計	591					
合計		4,591					

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
小学校教材等整備事業 (教育総務課)			平成29年度に改訂された新学習指導要領に基づき整備した指導書等の教材やICT機器を適切に管理・活用することで、児童生徒の学習活動の充実を図るとともに、子どもの個性や能力を育てる。	小学校の学習活動上必要となる教材等の整備事業  1. 指導書等 4年に1度、小学校教科書改訂に伴う教師用指導書の購入を行う。今回は、令和6年度の予定。改訂に伴い主要教科のデジタル教科書の購入も行う。  2. ICT環境整備 国が示すICT整備とGIGAスクール構想の実現に向けて環境整備を実施しているため、令和3年度以降は、その運用経費が主になる。 ・児童用PC・サーバ ・校務用PC ・GIGAスクール端末	1. 指導書等 <b>【指導書購入】</b> 127千円 ※令和5年度は教科書改訂の年ではないため補充のみ。  2. ICT環境整備 <b>【サーバ保守委託料】</b> ※GIGA関連 (校内LAN他) 11,556千円 <b>【校務用PC・児童用PC・電子黒板 (リース)】</b> 7,641千円 <b>【デジタル教科書等使用料】</b> 247千円 <b>【ICT機器修繕料】</b> 462千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	35,000
							町費	起債
<予算科目>							一般財源	5,036
款	項	目					計	5,036
10	2	1					合計	40,036
特別支援学級等 設置事業 (小学校) (教育総務課)			視覚・聴覚・知的障がい、肢体不自由・病弱のほか、学習障がい、多動性障がい・自閉症など、児童の障がいや発達の状況に応じた指導、支援を行うことで、障がいのある全ての子ども達が自立して社会参加する際に必要な力を養う。	特別支援学級において、児童数や障がい程度等の状況に応じて適切な支援が行えるように、学級担任に加え、支援員を配置する。	[学級数] [区分] [支援員数] ・内浦小 1学級 (知的1)、支援員なし ・海老津小 3学級 (知的1、情緒2) 支援員4名 ・戸切小 1学級 (情緒1) 支援員なし ・山田小 4学級 (知的2、情緒2) 支援員4名 ・吉木小 3学級 (知的1、情緒2) 支援員2名  合計 12学級 支援員10名	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
<予算科目>							一般財源	9,241
款	項	目					計	9,241
10	2	1					合計	9,241

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
小学校給食管理 一般経費 (教育総務課)			児童に安全な学校給食を提供することで、心身の健全な発達や日常生活における食事についての正しい理解や望ましい食習慣を養うなどの食育の推進を図るとともに、健全な食生活を営むことができる判断力を培う。	1. 調理等業務 小学校の学校給食調理等業務は、5校のうち内浦小を除く4校を一事業者に民間委託して実施している。 ○委託期間 1年ごとの契約更新 (最長継続委託期間5年間) ※5年に1回業者選考を実施 ○民間委託開始時期 H15年9月(海老津小、山田小) H20年9月(吉木小) R3年9月(戸切小)  2. 施設整備・機器等更新 学校給食衛生管理基準に基づき、施設整備や機器更新を行う。	1. 調理等業務 <b>【給食調理等業務民間委託】</b> 委託校(海老津小・山田小・吉木小・戸切小) 委託業者 ハーベストネクスト(株) 調理等業務委託料 49,192千円  2. 施設整備・機器等更新 学校給食衛生管理基準に基づき、施設の整備や老朽化に伴う調理機器の更新を行った。  <b>【施設整備】</b> ・内浦小 給食室床塗替え工事 924千円 ・山田小 検収室通路シート補修工事 176千円 <b>【機器等更新】</b> ・冷蔵庫 539千円(内浦小) ・真空式温水ヒーター 2,156千円(海老津小) ・ガス炊飯器、球根皮剥機 1,097千円(海老津小) ・スチームコンベクションオープン 4,521千円(山田小) ・昇降式消毒保管機 5,500千円(山田小)  <参考> ・残食率4.5% ・地場産の使用率34.8%	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
<予算科目>						一般財源	70,166	
款	項	目				計	70,166	
10	2	3				合計	70,166	
中学校教材等整備事業 (教育総務課)			平成29年度に改訂された新学習指導要領に基づき整備した指導書等の教材やICT機器を適切に管理・活用することで、児童生徒の学習活動の充実を図るとともに、子どもの個性や能力を育てる。	中学校の学習活動上必要となる教材等の整備事業  1. 指導書等 令和3年度に中学校教科書改訂に伴う教師用指導書の購入を行った。次回は、令和7年度に教科書が改訂される。  2. ICT環境整備 国が示すICT整備とGIGAスクール構想の実現に向けて環境整備を実施しているため、令和3年度以降は、その運用経費が主になる。 ・生徒用PC・サーバ ・校務用PC ・GIGAスクール端末	1. 指導書等 <b>【指導書購入費】</b> 0千円 ※令和5年度は教科書改訂の年ではなく、実績なし。  2. ICT環境整備 <b>【①サーバー保守費用(リース)】</b> <b>【②通信ネットワーク保守委託料】</b> ①②5,089千円 <b>【教職員PC等整備費用(リース)】</b> 7,944千円 <b>【ICT機器修繕料】</b> 57千円  ※電子黒板設置 <b>【電子黒板導入委託料】</b> 17,380千円 52台整備	財源内訳	国庫支出金	8,318
							県支出金	
							その他の特定財源	16,800
							町費	起債
<予算科目>						一般財源	5,351	
款	項	目				計	5,351	
10	3	1				合計	30,469	

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
特別支援学級等 設置事業 (中学校) (教育総務課)  <予算科目> 款 項 目 1 0 3 1			視覚・聴覚・知的障がい、肢体不自由・病弱のほか、学習障がい、多動性障がい・自閉症など、生徒の障がいや発達の状況に応じた指導、支援を行うことで、障がいのある全ての子ども達が自立して社会参加する際に必要な力を養う。	特別支援学級において、生徒数や障がい程度等の状況に応じて適切な支援が行えるように、学級担任に加え、支援員を配置している。	[学級数] [区分] [支援員数] ・岡垣中 3学級 (知的1、情緒2) 支援員2名 ・岡垣東中 3学級 (知的1、情緒1、難聴1) 支援員2名  合計 6学級 支援員4名	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	4,772						
	計	4,772						
合計		4,772						
中学校給食管理 一般経費 (教育総務課)  <予算科目> 款 項 目 1 0 3 3			生徒に安全な学校給食を提供することで、心身の健全な発達や日常生活における食事についての正しい理解や望ましい食習慣を養うなどの食育の推進を図るとともに、健全な食生活を営むことができる判断力を培う。	1. 調理等業務 中学校では、平成17年1月(3学期)から、センター方式により完全給食を実施している。岡垣東中学校敷地内に設置した中学校給食センターにて2校分の調理を行い、福岡県シルバー人材センターに委託し、岡垣中学校に搬送している。  ○委託期間 1年ごとの契約更新 (最長継続委託期間5年間) ※5年に1回業者選考を実施  2. 施設整備・機器等更新 学校給食衛生管理基準に基づき、施設整備や機器更新を行う。	1. 調理等業務 【給食調理等業務民間委託】 調理等業務、搬送業務 (給食センターから岡垣中学校) を民間委託し、給食を提供した。 ・調理等業務委託料 26,128千円 委託業者 日本国民食 (株) ・搬送業務委託料 2,501千円 委託業者 福岡県シルバー人材センター連合会  2. 機器等更新 老朽化に伴う調理機器等の更新を行った。 【機器等更新】 ・事務室内コピー機 385千円 ・給食用デジタルはかり 113千円  <参考> ・残食率 0.4% ・地場産の使用率 37.4%	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	3
							町費	起債
	一般財源	40,856						
	計	40,856						
合計		40,859						

## 施策の成果報告書

### 施策2 2 地域特性を活かした学校教育を推進します

課・係	住民環境課 環境政策係
	教育総務課 学校教育係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	2	未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標				
	① 英検3級相当生徒の割合 (中学3年生)	%	現状値	R12目標値	③	④	⑤	⑥
② 岡垣町について、「とても好き」「ある程度好き」とした割合※中学生アンケート	%	72.8	増加	④				

施策名	(2)	地域特性を活かした学校教育を推進します	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容	○自然環境学習などの特色ある教育を推進し、児童生徒が町の魅力である自然環境にふれ、学ぶ機会の充実を図ります。				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標				
	① 児童自然体験学習の実施校	校	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③	④	⑤
②						④		

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(教育総務課) ・引き続き児童自然体験学習、ふれあい農園事業等を行うことで町の自然環境に触れる機会をつくるとともに、郷土愛の醸成を図る。 ・地域特性を活かした学校教育は、町の魅力として町内外に発信することで定住促進策としても一定の効果があると考えられ、令和5年3月策定の岡垣町ブランド戦略の「発信カテゴリー」の一つとして掲げており、定例記者発表などを活用し、町内学校の行事等の周知について効果的な情報発信を行っていく。
	評価理由	(教育総務課) ・学校内に農園を作り作物を栽培することや、地域の農地で米作り体験等を行うなど、町の自然と触れ合い学ぶ機会を持つことができた。例年実施している小学4年生が海や川の生き物を採取して観察する児童体験学習についても、町内全ての小学校で実施することができた。		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

## 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

### 施策 2 2 地域特性を活かした学校教育を推進します

課・係	住民環境課 環境政策係
	教育総務課 学校教育係

### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
環境啓発・人材育成事業 (住民環境課) <再掲>  <予算科目>	豊かな自然を守るため、自然体験学習や環境講演会等を通じて、子どもから大人まですべての住民の環境意識の向上を図るとともに、環境保全を実践する人材を育成する。	○自然体験学習 郷土愛の醸成・自然の大切さを学ぶことを目的に、小学4年生を対象に海や川の水生生物を採取し、その生物から水質を調べる学習を提供する。	○自然体験学習 ・日程 5月18日～8月29日 ・内容 町内小学4年生を対象に自然体験学習を実施 ・参加者数 308名  ※事業費は（P27）に計上	財 源 内 訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	起債
4	1	4		一般財源		
				計		
				合計		
自然環境学習事業 (教育総務課)  <予算科目>	自然環境学習などの特色のある教育を推進し、町の魅力ある自然環境にふれ、学ぶ機会の充実を図ることで、児童生徒が町に住み続けたいくなる愛郷心を育む。	町の海・川・山といった豊かな自然の恵み、食の恵みを与える農業、まちの歴史や文化など、先人たちが築き上げた大切な町の恵みとふれあうことで、ふるさと岡垣を愛する心を高め、分かちあう教育を推進する。	・ふれあい農園事業 米づくり体験（全小学校5年） びわの袋かけ・収穫（内浦小5年, 吉木小3年） 学校農園（全小学校、全学年） ・特色のある学校づくり推進事業 ほたる飼育事業（吉木小） ・地域清掃 学校内外の一斉清掃活動（全小中学校、全学年） ・サーフィン教室（内浦小・戸切小） ・陶芸教室（戸切小）	財 源 内 訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	起債
10	2	1		一般財源	830	
				計	830	
				合計	830	

## 施策の成果報告書

### 施策23 安全で快適な教育環境を整備します

課・係	教育総務課 教育総務係
-----	-------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	2	未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 英検3級相当生徒の割合(中学3年生)		%		46.2	50	③			
② 岡垣町について、「とても好き」「ある程度好き」とした割合※中学生アンケート		%		72.8	増加	④				

施策名	(3)	安全で快適な教育環境を整備します	重点テーマ	地方創生
施策の内容		○計画的に小中学校施設の改修・建替を進め、安全で快適な教育環境をつくれます。		

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 学校施設の長寿命化(校舎外壁改修)		校		0	2	2	③				
② トイレ改修(実施済みの学校数)		校		完了	完了	完了	④					

施策 評価	B	A: 施策の方向性に沿って順調に進行している B: 施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C: 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D: 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・安全安心な教育環境を確保するとともに、老朽化している学校施設の計画的な改修を行う。 ・学校施設の配置や整備の方向性などに関しては、町長部局と教育委員会部局が連携し、令和5年度に引き続き「岡垣町学校施設適正配置検討委員会」において、整備方針を検討していく。それに加えて、学校施設の適正配置などについて調査審議し、意見を具申する「岡垣町学校施設適正配置検討審議会」を設置し、住民等へ広く意見を求めながら、慎重かつ丁寧に検討を進める。
	評価理由	・予定していた吉木小学校の外壁及び屋上防水改修工事や、岡垣東中学校の外壁、屋上防水及び渡り廊下の改修工事などを行った。 ・学校施設の配置や整備などに関しては、他の公共施設の配置や地域コミュニティの観点などまちづくり全体を捉え、数十年先を見据え、時間をかけて慎重で丁寧な議論や準備が必要との認識の下で、教育委員会と町長部局が連携し検討を進めている。 ・令和5年度は、岡垣町学校施設適正配置検討委員会を立ち上げ、学校施設整備に関する議論を進めた。		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		A: 設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B: 住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C: 設定した目標を一部達成することができた D: 設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 2 3 安全で快適な教育環境を整備します

課・係	教育総務課 教育総務係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
学校施設適正配置 検討事業 (教育総務課)			小中学校施設の老朽化が進んでいることを踏まえ、将来にわたり児童生徒に安全快適で、質の高い教育を提供できるように、今後の人口推移、他の公共施設の配置や地域コミュニティーなど、まちづくり全体を捉えた学校施設の適正配置に向けた検討を進め、計画的な整備を図る。	学校施設適正配置検討にあたっては、様々な意見も想定されることから、長期的にかつ慎重に広く議論が行えるよう、庁内の検討組織に加え、外部の審議会等における議論を進める。なお、第一段階として岡垣中学校整備にあたっての基本方針について検討を進める。  <b>【検討体制】</b> 教育委員会をはじめ、学校施設適正配置検討委員会、ワーキング会議、審議会	1 会議の開催 ・岡垣町学校施設適正配置検討委員会（年3回） ・岡垣町学校施設適正配置検討委員会ワーキン会議（年2回）  2. 委託（1件 945千円） ・岡垣町立学校施設適正配置検討委員会支援業務委託 945千円	財 源 内 訳	国庫支出金	
							県支出金	
<予算科目>						町 費	その他の特定財源	
							起債	
款	項	目					一般財源	945
1 0	1	2					計	945
							合計	945

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 2 3 安全で快適な教育環境を整備します

課・係	教育総務課 教育総務係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
小学校施設整備事業 (教育総務課)	学校施設や設備を計画的に修繕・改修することで、学校における事故、加害行為、災害等による危険を防止し、児童生徒の安全を確保するとともに、安全で快適な教育環境を整備する。	1. 修繕 施設の老朽化に伴い発生する小規模な補修など。  2. 委託・工事 大規模改修に必要な工事請負費や設計委託料、施工監理委託料など。  3. リース 教室数不足に対応するために必要なプレハブ校舎等の賃貸借。	1. 修繕 (37件 8,676千円) ・雨漏り、漏水等の修繕 ・内浦小 外壁補修工事 455千円 ・山田小 運動場フェンス改修工事 465千円 体育館 ドア取替工事 907千円  2. 委託・工事 (20件 123,352千円) 【内浦小】 ・体育館屋上防水改修工事 6,467千円 <財源> ・公共施設等適正管理推進事業債 5,800千円 【海老津小】 ・グラウンド改修工事実施設計 5,036千円 ※グラウンド改修工事費は全額次年度に繰越 【戸切小】 ・自動火災報知設備更新工事 880千円 【山田小】 ・体育館屋上防水改修工事 13,548千円 (13,548千円) ※令和4年度からの繰越事業( )は全体決算額 <財源> ・建物災害共済金 7,216千円 (7,216千円) ・公共施設等適正管理推進事業債 2,100千円 (6,100千円) 【吉木小】 ・外壁等改修工事 86,386千円 <財源> ・緊急防災・減債事業債 60,100千円 ・公共施設等適正管理推進事業債 23,600千円  3. リース 【山田小】 ・プレハブ校舎等リース(H20.4～) 2,728千円 【吉木小】 ・プレハブ倉庫リース(H15.4～) 251千円	財源内訳	
					国庫支出金 県支出金 その他の特定財源 7,216 町費 起債 91,600 一般財源 36,191 計 127,791 合計 135,007
<予算科目>					
款	項	目			
10	2	1			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 2 3 安全で快適な教育環境を整備します

課・係	教育総務課 教育総務係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
中学校施設整備事業 (教育総務課)	学校施設や設備を計画的に修繕・改修することで、学校における事故、加害行為、災害等による危険を防止し、児童生徒の安全を確保するとともに、安全で快適な教育環境を整備する。	1. 修繕 施設の老朽化に伴い発生する小規模な補修など。  2. 委託・工事 大規模改修に必要な工事請負費や施工監理委託料など。	1. 修繕 (17件 3,887千円) 【岡垣中】 ・教室等床改修工事 405千円 【岡垣東中】 ・体育館電動カーテン改修工事 927千円 ・校務員室改修工事 616千円  2. 委託・工事 (9件 176,568千円) 【岡垣中】 ※防火シャッター取替工事費は全額次年度に繰越 【岡垣東中】 ・外壁等改修工事 157,910千円 ・外壁等改修工事監理業務 2,750千円 <財源> ・学校施設環境改善交付金 38,335千円 ・学校教育施設等整備事業債 19,400千円 ・公共施設等適正管理推進事業債 32,500千円 ・防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債 51,400千円 ・駐輪場改修工事 12,210千円 <財源> ・学校教育施設等整備事業債 9,500千円	財源内訳	38,335
				町費	142,144
				合計	180,479
<予算科目>					
款	項	目			
10	3	1			

## 施策の成果報告書

### 施策2-4 家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます

課・係	教育総務課 学校教育係
	生涯学習課 社会教育係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	2	未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		現状値	R12目標値	③	指標	単位	現状値	R12目標値
	① 英検3級相当生徒の割合(中学3年生)	%	46.2	50			④		
② 岡垣町について、「とても好き」「ある程度好き」とした割合※中学生アンケート	%	72.8	増加	④					

施策名	(4) 家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ・スクールの取組の充実を図り、学校と地域のつながりを深めます。</li> <li>○通学合宿「夢の体験塾」など、子どもがふるさとの良さにふれる体験活動や地域での活動を通じて、子どもの自主性を伸ばす取組を促進します。</li> <li>○PTAを中心とし、地域と連携を図り、家庭教育を支える取組を進めます。</li> <li>○社会教育関係団体と連携し、青少年の健全育成に取り組めます。</li> </ul>				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 学校運営協議会設置校		校	7	7	7			④			
② 夢の体験塾参加者数(年間)		人	0	30	27	④						

施策 評価	B	<p>A: 施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B: 施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C: 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D: 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(教育総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学校運営協議会を設置し、地域住民や保護者等の学校運営への参画や、地域住民等による学校運営への支援協力を促進することで、学校と地域住民等との信頼関係を築き、相互の教育力を高め、児童生徒の健全育成に取り組む。</li> </ul> <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの体験活動や地域での活動は、子どもたちの成長や郷土愛を育てる貴重な機会であり、体験活動を通じた特色ある教育は、町の魅力向上にもつながるため、引き続き子どもたちの体験活動や地域での活動を支援する。特に夢の体験塾については、宿泊数を伸ばすなど効果的な事業の在り方を青少年健全育成町民会議と協議する。</li> </ul>
	評価理由	<p>(教育総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会を7校全てに設置しており、各学校において地域住民等と学校運営に係る協議を行うことで、学校と地域のつながりを深めることができた。</li> </ul> <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学合宿「夢の体験塾」については、以前より期間短縮した形ではあるが、事業を再開し、3回の日程で実施された。</li> <li>・国内短期留学事業は受入年度であり、ホームステイ受入れを実施した。長野県からの研修生を受け入れたホストファミリーにおいて、風土の違いを体験する機会となった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症からの事業の再開に向けて、青少年健全育成町民会議と連携を図りながら、各種事業を再開し、青少年の健全育成に取り組んだ。</li> <li>・家庭・学校・地域が集い懇談する場として地区懇談会を開催したほか、PTAの家庭教育講演会の支援や啓発リーフレットの配布などを行い、家庭教育を支える取り組みを進めた。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①岡垣町青少年健全育成町民会議による「夢の体験塾」実行委員会の編成やスタッフの拡大			
	②地域の住民及び保護者等(以下、「地域住民等」という。)の学校運営への参画や、地域住民等による学校運営への支援協力を推進する			
評価	B	<p>A: 設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた</p> <p>B: 住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C: 設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D: 設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の体験塾の運営スタッフ確保については、引き続き、青少年健全育成町民会議と協議する。</li> </ul> <p>(教育総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学校運営協議会を設置し、地域住民や保護者等が学校運営に関わりやすい機会をつくることで、児童生徒の健全育成に取り組む。</li> <li>・学校の日などを設けることができない場合においても、オンライン配信等を活用し、地域住民等が学校に行かなくても学校の様子を確認、講演会に参加できるような仕組みを検証する。</li> </ul>
	評価理由	<p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症からの事業再開にあたり、青少年健全育成町民会議のネットワークにより一定の協力スタッフが確保されている。</li> </ul> <p>(教育総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、学校運営協議会等の活動も徐々に回復しつつある。</li> </ul>		

### 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

#### 施策24 家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます

課・係	教育総務課 学校教育係
	生涯学習課 社会教育係

#### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）														
国内短期留学事業 (生涯学習課)  <予算科目> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">款</td> <td style="width: 33%;">項</td> <td style="width: 33%;">目</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table>	款	項	目	2	8	2	文化・環境・生活習慣の異なる地域と相互ホームステイなどの交流を行うことで、ジュニアリーダーの育成や子どもたちの自主性を伸ばすとともに、郷土愛の醸成を図る。	○長野県上田市真田町との相互ホームステイによる交流 ・訪問と受入れを隔年で実施 ・訪問する年度は、参加児童生徒を募集し、訪問団を編成する。 ・4泊5日の本研修のほか、事前事後の研修を経て、報告会を開催。 ・受入する年度は、ホームステイのホストファミリーを募集し、真田町の児童生徒を受け入れる。  ※令和5年度は受入年	○事業日程 7月29日～8月2日（4泊5日） ○事業概要 13家庭のホストファミリーに協力いただき、13名の研修生を受け入れた。ホームステイは2泊、若潮荘に2泊の行程で、研修や交流事業を実施した。 また、実行委員として過去の研修生4名の協力があった。	財源内訳	国庫支出金							
	款	項	目															
	2	8	2															
	県支出金																	
その他の特定財源																		
町費	起債																	
	一般財源	700																
	計	700																
				合計	700													
学校運営協議会 推進事業 (教育総務課)  <予算科目> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">款</td> <td style="width: 33%;">項</td> <td style="width: 33%;">目</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table>	款	項	目	10	1	2	10	2	1	10	3	1	学校・家庭・地域による連携のもと開かれた学校づくりを進め、家庭や地域の声を学校運営に反映させるという趣旨に基づき、各学校で取り組みを推進する。	学校運営協議会で、学校運営や支援に関する協議が実施され、地域等と相互の信頼関係や教育力の向上が図られ、協働して児童・生徒の健全育成に取り組む。	○設置学校 全小中学校（7校）  ○関連する取り組み ・読み聞かせ・家庭読書支援 ・安心・安全活動、あいさつ運動支援 ・米・野菜作り支援 ・環境保全・美化・奉仕活動 ・学習指導補助・学習活動・体験活動支援 ・文化祭等学校行事支援	財源内訳	国庫支出金	
	款	項	目															
	10	1	2															
	10	2	1															
10	3	1																
県支出金																		
その他の特定財源																		
町費	起債																	
	一般財源	1,334																
	計	1,334																
				合計	1,334													

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
青少年健全育成 一般事業 (生涯学習課)	町外の児童たちとの交流体験活動の実施や、自治区等が実施する教育活動・体験活動などを支援することで、未来を担う子どもたちの健全育成の充実にを図る。	1. 津幡町交流事業 町外の児童達との交流体験活動を実施し、郷土愛をもった青少年を育成する。  2. 地域による教育・体験活動 自治区等が実施する教育活動や体験活動を支援し、地域の教育力向上を図る。  3. 青少年問題協議会による育成 青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成に係る施策を調査審議する。  4. 青少年健全育成町民会議への支援 青少年健全育成町民会議が実施する事業(青少年の主張大会などの開催)を支援し、健全育成を図る。	1. 津幡町交流事業 災害時相互応援協定を締結している石川県津幡町の小学生18名が訪れ、内浦小学校5、6年生23名とお互いのふるさと紹介やペタンクによる交流を実施した。  2. 地域による教育・体験活動 地域での自主的、主体的な体験活動を通じて、子どもたちの考える力や活動する力、表現する力などの育成を目的に実施した。 ・子ども体験活動補助金 2件 40千円(夏休み体験キャンプ、夏休み夕涼み会)  3. 青少年問題協議会 関係団体から選出された委員により、町が取り組む青少年健全育成事業についての協議を行った。  4. 青少年健全育成町民会議への支援 ・事業運営経費を補助(1,520千円) 【青少年の主張大会】(300千円) 実行委員会において、大会出場者の選考を行い、10月7日に青少年の主張大会を開催した。岡垣中学校の生徒は会場で観覧し、岡垣東中学校の生徒は自校でオンラインにより視聴した。	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	起債
	一般財源	2,004				
	計	2,004				
合計		2,004				
<予算科目>						
款	項	目				
10	4	3				
通学合宿「夢の体験塾」補助 事業 (生涯学習課)	ふるさとの良さにふれる体験活動や地域での活動を通じて、子どもの自主性を伸ばす取組を促進するとともに、故郷を思う心を醸成する。	○通学合宿「夢の体験塾」 ・青少年健全育成町民会議が主体となった実行委員会を支援する。 ・3泊4日で小学校に通学しながら、夜は共同生活を送り、生活習慣や自主性を身につける。 ※令和元年度までは5泊6泊で実施	【夢の体験塾】(602千円) 実行委員会において、参加児童の募集や事業運営を行い、5月14日から6月7日にかけて3泊4日の通学合宿を計3回実施し、小学校4年生から6年生まで計27名が参加した。	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	起債
	一般財源	602				
	計	602				
合計		602				
<予算科目>						
款	項	目				
10	4	3				

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
家庭教育啓発事業 (生涯学習課)			P T Aを中心とした地域連携や家庭教育への支援などを行うことで、子育てに悩む家庭等を減らし、家庭教育の教育力向上を図る。	<p>1. 家庭教育支援 家庭教育の支援として、子育てにおける家庭での取り組みやスマホ使用におけるルールについての啓発を実施する。</p> <p>2. 家庭・学校・地域の連携 地域の子は地域で育てるの考え方を踏まえ、家庭・学校・地域の集いの機会を設けるほか、家庭教育の中心的役割を担うP T Aが行う講演会等の取り組みを支援する。</p>	<p>1. 家庭教育支援 スマホの使い方に関する啓発チラシ等を町内小中学校の児童・生徒に配布した。 【啓発チラシ配布】 ・「子育て7か条」「スマホの使い方」 配布先 各校の講演会や入学式等</p> <p>2. 学校・家庭・地域の連携 学校・家庭・地域が連携して子どもたちの教育について考える機会として、全小学校で地区懇談会を開催した。</p> <p>3. 家庭教育講演会 P T Aが開催する家庭教育講演会の経費を支援した。</p>	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
<予算科目>						町費	その他の特定財源	
							起債	
款	項	目					一般財源	264
10	4	3					計	264
							合計	264

施策の成果報告書

施策25 住民が学び、育つ生涯学習の環境をつくります

課・係	地域づくり課 コミュニティ係
	生涯学習課 社会教育係
	生涯学習課 公民館係

1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	3	住民がともに学び、ふれあうまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 体育協会会員数		人	1,988	2,100	③ 岡垣サンリーアイ文化講座年間受講者数		人	8,637	9,000
② 岡垣サンリーアイ年間施設利用者数		人	415,249	420,000	④ 公民館講座の新規受講者率		%	12	30	

施策名	(1) 住民が学び、育つ生涯学習の環境をつくります	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容	○余暇を楽しみ、職業能力の向上や地域課題を解決するための知識の習得など、生涯学習のニーズに応えるため、岡垣サンリーアイや公民館などを中心とし、多様な学習機会を提供します。			

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① ボランティア活動等参加率		%	26	50	29	③ 町民文化祭来場者数		人	2,947	3,000	2,794
② 講座受講生の満足度		%	95	95	96	④ 文化協会会員数		人	439	500	439	

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(生涯学習課) ・公民館講座や町民文化祭などを開催するとともに、多様な学習機会を提供し、各種団体の会員数の増加や、住民の生涯学習の推進、人材育成につなげる。 ・コロナ禍で減少した岡垣サンリーアイの利用者について、フィットネスジム・ランニングコースの利用者が回復傾向にあるほか、岡垣歴史ギャラリーの設置により利用者増加を図る。 ・民間のスイミング施設を誘致し、町民のスポーツ振興や健康増進につなげる。 ・岡垣サンリーアイ長寿命化計画の実行のため、財源等を確保したうえで、計画的な改修を実施する。 ・文化・スポーツの拠点施設である岡垣サンリーアイについて、社会情勢等を踏まえた施設の機能充実について検討する。
	評価理由	(生涯学習課) ・公民館講座や町民文化祭は予定通り実施できた。 ・岡垣サンリーアイでは、岡垣歴史ギャラリーのオープンやキッズコーナーの設置、ウエーブアリーナの床改修などを実施し、施設の魅力を高めるための整備を進めた。 ・多様な生涯学習の場となる岡垣サンリーアイを安心して使用できるよう、施設の長寿命化を図るための岡垣サンリーアイ長寿命化計画を策定した。 ・電子図書館の広域運営により、規模を拡大することができ、電子コンテンツを充実化することができた。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①公民館講座を通じて、まちづくりやボランティア活動への参加を促進する。			
	②			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	(生涯学習課) ・まちづくりやボランティア活動への参加を促進するため、公民館講座やボランティア活動の場を提供し、まちづくりに参画する人材を育成する。
	評価理由	(生涯学習課) ・令和3年度に公民館講座を全面リニューアルし、「文化ボランティア養成講座」を開始した。町民文化祭でのボランティア活動を実施するとともに、講座参加者にボランティアセンターの紹介を行い、ボランティアとしての登録に繋げた。		

## 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

### 施策 2 5 住民が学び、育つ生涯学習の環境をつくります

課・係	地域づくり課 コミュニティ係
	生涯学習課 社会教育係
	生涯学習課 公民館係

### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
草の根交流 (国際交流) 事業 (地域づくり課)  <予算科目>	町民の国際理解や国際感覚などを向上させ、国際化の進展に柔軟かつ的確に対応できる人材育成を目的とする。	住民の国際感覚や国際理解を高めることを目的に活動する岡垣国際交流協会を支援する。	岡垣国際交流協会事業 ・韓国固城国際交流協会、在ポリビア福岡県人会との交流 ・岡垣国際交流協会による外国語文化講座の実施 受講者：前期49名、後期48名 延べ179回/年 開催 ※収入から支出を差引いた不足分を委託料として支出 ・岡垣中学校への世界の民族衣装貸し出し	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	
起債						
一般財源	2,894					
計	2,894					
				合計	2,894	
款	項	目				
2	8	3				

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)			
サンリーアイ施設 管理運営事業 (生涯学習課)	地域住民の学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進を図ること で、住民同士の交流を広げるとともに、生涯学習の推進に繋げる。	<p>1. サンリーアイ施設管理運営 指定管理者により岡垣サンリーアイの施設運営を行う。施設にはサンリーアイ図書館も含まれており、電子図書館も運営している。</p> <p>2. 自主事業 生涯学習の拠点施設として、多様な文化講座や文化講演会を実施するなど、住民が地域社会の一員として豊かな人生を送ることができるような場を提供する。</p> <p>3. サンリーアイ図書館事業 サンリーアイ図書館には、一般図書や児童書コーナー、AVコーナーなどを設置している。また、子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児期から本に親しめる環境づくりを行っているほか、電子図書館を運営している。</p>	<p>1. サンリーアイ施設管理運営 ・施設管理運営、使用料の収納、講座等の自主事業の実施、図書館の運営などを指定管理で行った。 指定管理料 213,771千円</p> <p>2. 岡垣歴史ギャラリー 歴史や文化財に関する展示室として、岡垣歴史ギャラリーを設置し、令和6年3月にオープンした。</p> <p>3. 自主事業 35事業を実施した。鑑賞事業として「いちご塾」「カンタービレ・サロン・コンサート」を実施。参加事業として「ホールでピアノを弾こう」「町民吹奏楽団と岡垣中学校吹奏楽部のジョイントコンサート」「まちキャンプおかがき」などが開催された。また、スポーツ事業として「福岡県空手道選手権大会」「くまもと再春館製菓所バドミントンクリニック」を実施。講座事業は、感染症対策を行いながらレギュラー89講座、スポット等134講座を実施した。</p> <p>4. サンリーアイ図書館事業 本に親しむ機会を増やすため、図書館まつりを実施。図書ボランティアの5団体と連携し、本の管理や読み聞かせなどに取り組み、読書活動を推進した。図書館の魅力やサービスに関する情報を伝えるため、図書館だよりやサンリーアイ機関紙、ホームページ、SNSを利用した周知活動を行った。また、雑誌の充実を図るため雑誌スポンサー制度を開始した。また、12月から電子図書館を遠賀郡内の広域運用とし、コンテンツの充実を図った。 ・図書購入費 4,399千円 (購入 書籍2,156冊、CD12枚、DVD32枚) ・電子図書館 1,177千円 (コンテンツ数: 9,811/貸出回数: 4,098) &lt;参考&gt; サンリーアイ年間施設利用者数 295,906人 (前年283,344人) 図書館利用者数 89,590人 (前年 82,527人) レギュラー講座 講座数: 85 受講者: 471 (人/月) スポット講座 講座数: 169 受講者: 793 (人/年) その他の講座 開催回数: 13 参加者: 3,192人</p>	財 源 内 訳	国庫支出金		
					県支出金		
					その他の特定財源	107,838	
					町 費	起債	
						一般財源	112,871
計	112,871						
合計	220,709						
<予算科目>							
款	項	目					
2	8	4					

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位:千円)		
サンリーアイ大規模 改修事業 (生涯学習課)			施設を安定的かつ安全に使用できるよう、計画的に改修工事等を行うことで、地域住民の学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進を図る。	<p>○サンリーアイ施設を維持するための改修事業であり、躯体そのものを長寿命化するための工事のほか、貸館施設として必要な各種設備の改修や更新を行う。</p> <p>○第1期施設は築31年、第2期施設は築24年を経過しており、設備等の多くが更新時期を迎えているため、計画的に設備改修を行う。</p>	<p>1. アリーナ床改修工事 アリーナ床の劣化状況を踏まえ、床の張替え工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計 913千円</li> <li>・改修工事 75,013千円 (スポーツ振興くじ助成金 43,523千円 公共施設適性管理推進事業債 28,400千円)</li> </ul> <p>2. キッズスペース等改修工事 アリーナ1階にキッズスペースと授乳室を新たに設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズスペース等設置工事 5,830千円</li> </ul> <p>3. 長寿命化計画の策定 施設の現状調査を踏まえ、今後の施設改修の基礎となる長寿命化計画を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画策定 7,590千円</li> </ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・207会議室改修工事 4,763千円</li> <li>・駐車場拡張工事測量・実施設計 1,899千円</li> </ul>	財 源 内 訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	53,523
							町費	
起債	28,400							
一般財源	16,426							
計	44,826							
合計	98,349							
<予算科目>								
款	項	目						
2	8	4						
公民館講座事業 (生涯学習課)			多様な学習機会を提供することで、地域交流の促進、学習した成果を活かした地域活動など、住民の生涯学習の推進や人材育成に繋げる。	<p>子どもや大人、親子等を対象とした定期講座やスポット講座を実施する。</p> <p>1. ボランティア講座 ボランティア活動や町主催事業等への参加を促すための講座、地域活動を支援するための講座などを実施する。</p> <p>2. 教育講座 青少年健全育成講座や親子ふれあい、家庭教育の向上を図るための講座を実施する。</p> <p>3. 独自講座 町民のニーズや社会情勢に応じた講座を実施する。</p>	<p>1. ボランティア講座 ・文化ボランティア養成講座わかしお6コース 14回 (108人)</p> <p>2. 教育講座 ・親子読み聞かせ教室 15回 (18組38人) ・家庭教育講座 3回 (内容)食育、親子体操、木のおもちゃ遊び ・キッズ三味線教室 14回 (12人) ・ふれあいチャレンジ教室 5回 (4コース: ヨガ、ラジオ、絞り染め、紙手紙) (78人)</p> <p>3. 独自講座 ・ライフスタイル講座 6回 (113人) (5コース: リフォーム洋裁、登山、アロマ、整理収納、料理教室2回) ・出前講座 38回 (1,025人)</p> <p>※新規受講者率 ・文化ボランティア養成講座わかしお 新規受講者16人 (受講者総数81人) 新規受講者率20% ・キッズ三味線教室 新規受講者6人 (受講者総数12人) 新規受講者率50%</p>	財 源 内 訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	93
							町費	
起債								
一般財源	5,748							
計	5,748							
合計	5,841							
<予算科目>								
款	項	目						
10	4	2						

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
文化推進事業 (生涯学習課)	自主的な文化活動や芸術活動を促進することで、住民や各団体相互の交流を生み、まちづくりの輪を広げ、文化を通じて住民の暮らしを豊かにする。	<p>住民が定期的に文化芸術活動を行い、健康増進や個人・団体間の交流の輪を広げるため、また、文化芸術によるすそ野を広げるため、岡垣町文化協会を通じた支援を行う。また、発表の場を提供することで、文化芸術にふれる機会や文化芸術活動の更なる活性化を図るため、実行委員会形式による町民文化祭の開催や駅前ぎやらりーでの作品展示を行う。</p> <p>1. 町民文化祭 住民(実行委員会)による手づくりの町民文化祭を開催する。</p> <p>2. 文化協会補助金 文化芸術の振興に関する事業及び会員や住民相互の親睦を深める事業等を支援する。</p> <p>3. 駅前ぎやらりー作品展示 住民(実行委員会)による駅前ぎやらりー作品展示を実施する。</p>	<p>1. 町民文化祭(参加者数 2,794人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町民文化祭補助金 2,055千円</li> <li>作品の部 3日間開催(11/3~11/5)</li> <li>歌唱、歌謡の部 11/5開催</li> <li>芸能の部 11/4開催</li> <li>実行委員会や部会の開催</li> </ul> <p>2. 文化協会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌の発行</li> <li>文化協会補助金交付額 776千円</li> <li>定期発表会(6/9~6/11)、会員交流事業</li> <li>盆踊り講習会7/17</li> </ul> <p>3. 駅前ぎやらりー等作品展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前ぎやらりーと地域交流センターに作品を展示した。</li> <li>合計26作品(団体)</li> <li>駅前ぎやらりー 20作品(団体)</li> <li>地域交流センター 6作品(団体)</li> <li>※地域交流センター閉館に伴い、展示は9月末まで駅前ぎやらりー作品展示委託料 373千円</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	起債
	一般財源	3,204				
	計	3,204				
合計		3,204				
<予算科目>						
款	項	目				
10	4	2				
公民館施設整備事業 (生涯学習課)	公民館施設を安定的かつ安全に使用できるよう、計画的に改修工事を行うことで、地域住民に学習・文化活動の場を提供し、生涯学習を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化のための改修工事を実施する。</li> <li>・施設を安全に使用するために、各種設備の改修、更新を行う。</li> </ul>	<p>【委託料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館外壁等改修工事実施設計委託 2,374千円</li> <li>(※緊急防災・減災事業債 1,300千円)</li> <li>(※公共施設等適正管理推進事業債 800千円)</li> </ul> <p>【工事請負費 21,702千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部公民館空調設備改修工事 18,425千円</li> <li>・東部公民館第2会議室空調機器更新工事 968千円</li> <li>・東部公民館備品倉庫改修工事 880千円</li> <li>・東部公民館印刷コーナー設置工事 72千円</li> <li>・中央公民館電話更新工事 770千円</li> <li>・西部公民館空調改修工事 587千円</li> <li>(※緊急防災・減災事業債 18,400千円)</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	起債
	一般財源	3,576				
	計	24,076				
合計		24,076				
<予算科目>						
款	項	目				
10	4	2				

## 施策の成果報告書

### 施策26 住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げます

課・係	生涯学習課 公民館係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	3	住民がともに学び、ふれあうまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標			
	① 体育協会会員数	単位	現状値	R12目標値	③ 岡垣サンリーアイ文化講座年間受講者数	単位	現状値
② 岡垣サンリーアイ年間施設利用者数	人	1,988	2,100	④ 公民館講座の新規受講者率	人	8,637	9,000
	人	415,249	420,000		%	12	30

施策名	(2)	住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げます	重点テーマ	○	地方創生
施策の内容	○体育協会などと連携を図り、住民がスポーツ活動に参加する機会をつくるなど、健康増進とスポーツを通じた住民の交流の輪を広げます。				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標					
	① ウォーキング大会・マラソン大会参加者数	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③ 連盟大会参加者数	単位	R4実績値	R5目標値
② スポーツを始めるきっかけになった人の率	人	174	200	282	④	人	5,278	6,000	6,176
	%	100	100	98					

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・体育協会やスポーツ推進委員などと連携しながら、各種イベントの企画・運営を行い、スポーツ活動への参加機会を創出し、町民の健康増進と参加者同士の交流促進につなげる。 ・屋外トイレなど老朽化した施設の改修工事を計画的に行い、利用者の利便性の向上を図る。 ・ツール・ド・九州2024の開催を契機に、サイクリング人口の増加及び町民の健康増進を図る。
	評価理由	・感染症対策に十分に注意しながら、各種イベント等を開催することができ、各イベント等におけるアンケートでは、参加者から「きっかけづくりになった」「内容に満足した」などの意見をいただいた。		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 2 6 住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げます

課・係	生涯学習課 公民館係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
				財源内訳	合計	
保健体育推進事業 (生涯学習課)	住民がスポーツ活動をする機会をつくることで、スポーツをはじめめるきっかけづくりや、住民の健康の増進、交流の輪を広げるとともに、生涯学習の推進に繋げる。	子どもや大人、親子等を対象としたスポーツ教室などを実施する。また、体育協会などと連携した事業を実施する。 ①教育委員会主催の各種スポーツ教室 ②スポーツ推進委員の研修会等 ③体育協会や九州共立大学との連携事業 ④実行委員会形式によるスポーツ事業 ⑤県主催スポーツ事業への協力 など	①教育委員会主催の各種スポーツ教室 ・ノルディックウォーキング教室3回 ・ノルディックウォーキング練習会10回 (※地域における運動習慣定着促進事業費補助金142千円) ・ふれあいファミリースポーツ教室3回 ・柔剣道教室 257回 (柔道：120回/剣道：137回) ・新体力測定 ふれあいファミリー体力測定会1回 ②スポーツ推進委員の研修会等 4回実施 ③【体育協会共催事業】 ウォーキング大会・マラソン大会1回 実施日：令和5年10月9日 場 所：内浦小学校 参加者：282人 ④実行委員会形式によるスポーツ事業 ・チャリティゴルフ大会1回 実施日：令和5年10月18日 場 所：玄海ゴルフクラブ 参加者：176人 ⑤県主催スポーツ事業への協力など ・市町村駅伝大会への参加1回 実施日：令和5年11月19日 場 所：筑後広域公園 参加者：15人	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	142
				町費	その他の特定財源	
					起債	
一般財源	2,951					
計	2,951					
合計	3,093					
<予算科目>						
款	項	目				
10	5	1				
体育協会育成事業費 (生涯学習課)	住民が主体的に運営する岡垣町体育協会や遠賀郡体育協会が行うスポーツの振興のための活動への支援を行うことで、スポーツを通じた住民相互による交流の輪を広げるとともに、生涯学習の推進に繋げる。	住民が定期的にスポーツを行うことで、健康増進や各種競技の競技力の向上を図るとともに、スポーツ活動による青少年健全育成や交流の輪を広げるため、岡垣町体育協会や遠賀郡体育協会を支援する。 ○岡垣町体育協会補助金 連盟の各種スポーツ大会の開催、郡民・県民体育大会参加者への支援、スポーツ少年団活動の推進など ○遠賀郡体育協会負担金 郡連盟の各種スポーツ大会の開催、郡体協主催事業の開催、県民体育大会参加者への支援など	○岡垣町体育協会 ・連盟加入者数 1,823人 (89クラブ) ・連盟のスポーツ大会等の開催 89回 ・スポーツ少年団 5団体 ・補助金 3,320千円 ○遠賀郡体育協会 ・協会のイベント等の開催 0回 ・連盟主催事業 5回 ・負担金 1,542千円	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
				町費	その他の特定財源	
					起債	
一般財源	4,862					
計	4,862					
合計	4,862					
<予算科目>						
款	項	目				
10	5	1				

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
保健体育施設整備事業 (生涯学習課)  <予算科目>			体育施設を安定的かつ安全に使用できるよう計画的に改修工事等を行うことで、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、住民の健康増進、交流機会の創出に繋げる。	施設の長寿命化や安全性を確保するため、各種設備の改修や更新工事を計画的に行う。	<b>【委託料】</b> ・総合グラウンド照明鉄塔調査 396千円 <b>【工事請負費】</b> ・町民武道館屋根改修工事 11,536千円 (公共施設等適正管理推進事業債 10,200千円) ・町民武道館多目的室空調更新工事 1,848千円 (緊急防災・減災事業債 1,800千円) ・町民武道館非常放送設備更新工事 963千円 ・相撲場更衣室解体工事 429千円 ・総合グラウンド鋼管内クラウド材充填 550千円 <b>【備品購入費】</b> ・町民武道館ソファ他 136千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
						町費	その他の特定財源	
							起債	12,000
							一般財源	3,858
							計	15,858
						合計		15,858
款	項	目						
10	5	1						

施策の成果報告書

施策27 郷土の歴史・文化を育むまちをつくりま

課・係	生涯学習課 社会教育係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	3	人・つながりが育つまち
政策	3	住民がともに学び、ふれあうまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標				
	① 体育協会会員数	単位	現状値	R12目標値	③ 岡垣サンリーアイ文化講座年間受講者数	単位	現状値	R12目標値
	② 岡垣サンリーアイ年間施設利用者数	人	415,249	420,000	④ 公民館講座の新規受講者率	%	12	30

施策名	(3) 郷土の歴史・文化を育むまちをつくりま	重点テーマ	地方創生
施策の内容	○町の歴史や過去の人々の営みを伝えるため、町の文化財にふれる機会をつくりま。		

2. 施策の成果

成果指標	指標				指標					
	①	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	②					④				

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡垣歴史ギャラリーの展示内容の充実に努めながら、岡垣歴史ギャラリーを拠点として、町内外の幅広い世代に対して町の歴史・文化を発信していく。</li> <li>文化財保管庫（西部浄化センター）に移設した文化財資料の活用方法についても検討しながら、未来へ継承できるよう適切に保管する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流センターの廃止に伴い、町の歴史や文化財等に関する展示コーナーとして、岡垣歴史ギャラリーを岡垣サンリーアイ内に新たに整備し、町民の文化財等にふれる機会を提供した。</li> <li>児童生徒向けの体験教室として、勾玉づくりを実施するとともに、その他町民向けに出前講座を開催するなど、町民が町の文化や歴史に触れる機会を提供した。</li> <li>小学校授業で展示室見学が行われたほか、昔の生活民具の学校への貸し出しにより、学校において歴史や文化に直接触れる機会が提供された。</li> <li>町内埋蔵文化財の試掘確認調査を実施し、開発予定地における埋蔵文化財の現状把握に努め、開発との調整を図った。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		今後の 方向性
	②		
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性
	評価理由		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策27 郷土の歴史・文化を育むまちをつくります

課・係	生涯学習課 社会教育係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）																		
				財源内訳	合計																	
文化財保護事業 (生涯学習課)	町の文化財を適切に保護することで、町民の財産として町の歴史や過去の人々の営みを後世に伝承する。	<p>○町の文化財を適切に保護保存するための保存施設の管理のほか、文化財や歴史について町民に伝える機会となる企画展や体験教室を実施する。</p> <p>○文化財保護や指定等に関する審議等を行うための文化財専門委員会の運営費用のほか、文化財を保存又は伝承するための活動の支援を行う。</p>	<p>○展示室運営 【企画展】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 4月1日～12月29日 テーマ：岡垣の大民俗資料展</li> <li>・第2回 1月26日～2月27日 テーマ：岡垣町文化財パネル展</li> <li>・来館者（年間）2,095人 （前年：2,033人）</li> </ul> <p>【小学校見学】 海老津小 112名</p> <p>○岡垣歴史ギャラリー整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事請負費 9,434千円 （地域活性化事業債 8,400千円）</li> <li>・文化財展示活用業務委託 7,810千円 （地域の特色ある埋蔵文化財活用事業補助金 3,942千円）</li> </ul> <p>○体験教室 【夏休み勾玉づくり教室】 開催日 8月21日（月） 参加者26名 【出前講座】 2回開催 参加延べ人数 127人</p> <p>○文化財保護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存施設移転業務委託費 4,460千円</li> <li>・埋蔵文化財試掘 試掘確認調査 7件 工事立会 9件</li> <li>・町資料の貸出 6件</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>3,942</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の特定財源</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">町費</td> <td>起債</td> <td>8,400</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>12,441</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,841</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>24,794</td> </tr> </table>	財源内訳	国庫支出金	3,942	県支出金		その他の特定財源	11	町費	起債	8,400	一般財源	12,441	計	20,841	合計		24,794	
				財源内訳		国庫支出金	3,942															
県支出金																						
その他の特定財源	11																					
町費	起債	8,400																				
	一般財源	12,441																				
計	20,841																					
合計		24,794																				
<予算科目>																						
款	項	目																				
10	4	4																				

## 施策の成果報告書

### 施策28 住民の健康づくりを支援し、健康意識を高めます

課・係	健康づくり課 健康増進係
-----	--------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	1	住民が健康で暮らせるまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標				
	① 特定健康診査受診率	%	40.8	43	③ 要介護認定率	%	18.9	23
	② がん検診受診率	%	28.5	32	④ 地域で定期的に健康づくり活動や介護予防活動などを行う自治区数	自治区	15	20

施策名	(1) 住民の健康づくりを支援し、健康意識を高めます	重点テーマ	○	地方創生
施策の内容	<p>○生涯にわたり心身ともに健康で自立した生活が送れるように広報活動などを通じ、住民一人ひとりの健康に対する意識を高めます。</p> <p>○特定健診やがん検診などに関する情報提供、受診勧奨を進めるほか受診結果に基づく相談・指導体制の充実を図り、早期発見・早期治療につなげます。</p> <p>○地域で健康づくり活動ができる担い手を養成し、住民が参加しやすい環境づくりを進めます。</p>			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標				
	① 結果説明会出席率	%	66.7	68	③	64	25.3	④
	② 健診結果がHbA1c7.0以上の者のうち、医療機関未受診者の割合	%	27.4	26.0				

施策 評価	<b>B</b>	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度に第3次健康増進計画及び第2次自殺対策計画を策定し、健康づくりの基本目標や基本方針、基本施策等を定め、住民の健康維持・増進に取り組む。</li> <li>・引き続き、広報などを通じ、健康に対する意識を高める取り組みを推進する。特に、血圧に関する意識を高めるため、8月号の広報特集から来年度9月までの1年間、高血圧対策の記事を掲載する。</li> <li>・受診率の向上につながる健診方法を検討するとともに、効果的な受診勧奨を行うことで、健診受診率の向上を図り、生活習慣病等の早期発見・早期治療につなげる。</li> <li>・令和6年度から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」を開始し、ハイリスクアプローチとして、高齢者の生活習慣病重症化予防事業や健康状態不明者の把握事業を実施する。</li> <li>・集団健診については、現状ハガキで申込みとしているが、住民の利便性の向上のため、WEBを活用した申込受付方法を検討していく。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な感染症対策を行いながら、集団健診や健診結果説明会を実施するとともに、受診勧奨を継続して実施することで、コロナ前までの受診率を維持できた。</li> <li>・地域での健康づくり活動ができる担い手の養成講座を、3年ぶりに実施し、新たな人材を育成した。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①住民の健康意識を高めるため、元気の輪を広げる団体の強化やその団体が行う活動へ参加しやすい機会をつくります			
	②			
評価	<b>B</b>	<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気の輪を広げる団体の会員の高齢化が進んでいるため、養成講座を継続して実施し人材を発掘・育成していく。</li> <li>・また、元気の輪を広げる団体が無理なく継続した活動が行えるよう支援するとともに、団体を中心に、住民が参加しやすい健康づくり活動の機会をつくる。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体で作成したウォーキングマップを活用したウォーキング会や、会員を対象とした学習会の一般開放等、一般住民が活動に参加する機会をつくり、一緒に健康づくりに取り組むことができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた食を中心とする町の事業を再開したことに伴い、元気の輪を広める団体の活動の場も再開され活動の機会が増えた。</li> </ul>		

## 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

### 施策28 住民の健康づくりを支援し、健康意識を高めます

課・係	健康づくり課 健康増進係

#### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
健康啓発事業 (健康づくり課)	健康講座の実施や広報誌等により、健康づくりに関する情報を発信していくことで、住民一人ひとりの健康に対する知識を高める。	1. 健康づくり講演会 健康に関する知識の普及啓発のため、健康づくり講演会を実施する。  2. ゲートキーパー講座 ストレス社会に対応できるよう、住民や事業所等を対象にゲートキーパー講座を行う。こころの健康づくりについて啓発する。  3. 健康づくり事業の周知 健康増進計画の健康づくり10か条や、季節に合わせた健康づくり、国の啓発週間等に合わせた内容をテーマとし、広報に健康づくりの記事を掲載する（健康info）。その他、必要に応じて、季節に合わせた注意事項や、講座などの町の健康づくり事業を周知する。  4. 出前講座 住民の希望に応じて、食生活や年代、季節に応じた健康づくりの出前講座を行う。  5. 若い世代への健康アプローチ 若い世代に健康づくりを意識づけるため、成人式でパンフレットを配布する。	1. 健康づくり講演会 血圧をテーマに、講演会等を実施した。 ・医師による講演会2回  2. ゲートキーパー講座 コロナ禍で不安を抱える人からの相談対応の方法や、自身や周囲の人のこころの健康づくりを学ぶため、町職員等に対し、ゲートキーパー講座（年1回）を実施した。  3. 健康づくり事業の周知 住民の健康意識を高めるため、健康づくりに関する内容を定期的に周知した。 ・広報誌の健康infoで、健康づくりに関する内容を毎月掲載。 ・熱中症や食中毒など、季節に応じた健康上の注意事項や講座の周知等（月に1～2件の記事を掲載） ・健康づくり事業や救急医療に関するリーフレットを作成し、4月号広報に折り込み。  4. 出前講座 自治区サロン等から申し込み4件  5. 若い世代への健康アプローチ 若い世代に健康づくりを意識づけるために、成人式で生活習慣病予防やこころの健康づくりに関するパンフレットを配布した。	財 源 内 訳	国庫支出金	
					県支出金	115
					その他の特定財源	
					町費	起債
				一般財源	280	
				計	280	
				合計	395	
<予算科目>						
款	項	目				
4	1	6				
地域健康づくり 推進事業 (健康づくり課)	住民が参加しやすい地域での健康づくり活動の担い手を養成することで、地域での健康づくりの輪を広げ、住民の健康増進を図る。	1. 元気の「わ」広め隊 健康増進計画の「健康づくりを担う人材・団体の育成と活用拡大」に基づき、地域健康づくり推進団体である「保健推進委員会」「食生活改善推進会」「運動普及推進会」の会員の養成及び、自主組織活動を支援するための補助金の交付や、活動の場の提供などを行う。  2. 地域での健康づくり活動 健康増進計画の「地域活動における健康づくりの推進」に基づき、身近な地域で集まる高齢者等の活動を支援する。	1. 元気の「わ」広め隊 元気の「わ」広め隊養成講座を実施し、地域健康づくり推進団体の会員の養成を行った。 ・健康づくりコース 終了4名 保健推進委員会加入3名 ・食生活コース 終了5名 食生活改善推進会加入4名 ・健康体操コース 終了5名 運動普及推進会加入4名 ※健康づくり推進団体会員数（令和5年4月） 保健推進委員会 60名 食生活改善推進会 39名 運動普及推進会 24名 ・広報の健康infoに、3団体の活動を年1回、その他ウォーキング会や講座の開催などを年9回程度掲載し、会の活動への住民の参加を促した。  2. 地域での健康づくり活動 ・健康食の調理実習を行う「お出かけヘルシークッキング」を8地区実施した。	財 源 内 訳	国庫支出金	
					県支出金	384
					その他の特定財源	
					町費	起債
				一般財源	412	
				計	412	
				合計	796	
<予算科目>						
款	項	目				
4	1	6				

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
健診等事業 (健康づくり課)			特定健診やがん検診などを実施することで、疾病の早期発見、早期治療につなげ、医療費の抑制・適正化を図るとともに、健康維持・増進に寄与する。	1. がん検診 がんを早期発見し、早期治療につなげるために、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんの検診を実施する。前立腺がんについては、法対象外だが、増加傾向にあるため実施する。  2. 歯周病検診 口腔の健康を維持するため、特定の年齢に対し歯周病検診を実施する。  3. 特定健診等 生活習慣病の早期発見、重症化予防のために健診を実施する。 ①特定健診: 40～74歳の国保被保険者を対象に、集団健診と個別健診を実施。 ②生活習慣病予防健診: 19～39歳と生活保護受給者を対象に特定健診と同様の健診を集団で行う。 ③後期高齢者健診: 実施主体は、後期高齢者医療広域連合だが、他のがん検診と合わせて受診しやすい環境を整えるため、集団健診を行う。  4. 健診結果説明 集団での特定・予防・後期の受診者に対して、健診結果と生活習慣の関係を理解し、自ら生活習慣の改善ができるよう、健診結果をもとにその人に合わせた生活習慣の見直しの助言や、医療機関への受診勧奨を行う。実施形態や対象者により、(1)健診結果説明会、(2)訪問指導に分けて行う。  5. 糖尿病性腎症重症化予防事業 糖尿病が進行すると複数の合併症を発症し、それにより日常生活が制限される。また、合併症により高額な医療費や介護給付費を要することから、特定健診の受診者に対して糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。  6. 特定健診受診者生活習慣病改善教室 国保被保険者で集団特定健診受診者を対象に、運動や栄養を学び、自分にあった生活習慣改善の定着を図るための教室を行う。	1. がん検診 ・集団健診 5月～11月に21回 (大雨で中止1回) ※特定健診や予防健診等と同時実施。うち6日間は土日に実施し、受診しやすい環境を整えた。 ・個別検診 10～3月の間に、医療機関で実施。 ・各種がん検診受診率の平均29.6%。  2. 歯周病検診 ・対象者 40・50・60・70歳 ・受診者数 102人 ・受診率 6.3%  3. 特定健診等 ①特定健診: 集団健診を5～11月に19回実施。個別健診は8～3月の間に実施。 受診率42.1% (R6年5月末) ※特定健診は国民健康保険事業で実施 ②生活習慣病予防健診: 集団健診を7月～11月に5回実施。うち2日間は託児サービスを付け、また土日に1日ずつ行うことで受診しやすい環境を整えた。受診者155人。 ③後期高齢者健診: 集団健診を4回実施。受診者163人。 ④健診結果 (特定・予防・後期の集団健診受診者の健診結果) がHbA1c7.0以上の者のうち、医療機関未受診者の割合 25人/99人=25.3%  4. 健診結果説明 (1) 健診結果説明会 (特定・予防・後期) いこいの里等で27日間、個人面談で実施。 結果説明会出席率 (特定・予防・後期) 出席者1,247人/受診者1,948人=64.0% (2) 訪問事業 (特定) 結果説明会欠席者で、血圧、糖尿病、脂質異常症、腎機能に関する検査値が基準に該当している人に対し、保健指導を実施。 ・対象者32人のうち、26人 (延べ58回) ・医療機関受診者22人/医療機関未受診者32人=68.8%  5. 糖尿病性腎症重症化予防事業 国保被保険者で集団特定健診受診者のうち、糖尿病や腎機能の検査値が基準に該当した人に対して、医師の指示により保健指導を実施。 ・対象者96人のうち、17人 (延べ24回)  6. 特定健診受診者生活習慣病改善教室 国保被保険者で集団特定健診受診者のうち、糖尿病や糖尿病予備群の人に、運動の講義と実技や栄養指導を実施。 ・全10回コース、23名参加	財源内訳	国庫支出金	701
							県支出金	639
							その他の特定財源	
							町費	
							起債	
一般財源	30,693							
計	30,693							
合計	32,033							
<予算科目>								
款	項	目						
4	1	6						

施策の成果報告書

施策29 感染症を予防します

課・係	健康づくり課 健康増進係
-----	--------------

1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	1	住民が健康で暮らせるまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標				
	① 特定健康診査受診率	単位	現状値	R12目標値	③ 要介護認定率	単位	現状値	R12目標値
	② がん検診受診率	%	40.8	43	④ 地域で定期的に健康づくり活動や介護予防活動などを行う自治区数	%	18.9	23
		%	28.5	32		自治区	15	20

施策名	(2) 感染症を予防します	重点テーマ	地方創生
施策の内容	○既存の感染症に対する予防活動を推進するとともに、新たな感染症の発生に備え、関係機関と連携し、危機管理体制の充実を図ります。		

2. 施策の成果

成果指標	指標			指標		
	① 高齢者インフルエンザ予防接種率 (65歳以上)	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③
	② 高齢者肺炎球菌予防接種率 (65歳以上)	%	61.1	60	57	
		%	26.8	30	27.2	④

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>接種率を向上させるため、引き続き適切な時期や回数を周知することや周知方法を工夫することで、予防活動を推進する。</li> <li>感染症の流行状況や国や県の動向を注視し、住民へ感染症に関する情報を広く周知するとともに、保健所などの関係機関と連携し、状況に応じた危機管理体制を構築する。</li> <li>令和6年度から新たに開始する新型コロナワクチンの定期接種について、遠賀郡中間市及び医師会と調整し、体制を整える。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、高齢者インフルエンザ予防接種の接種率は令和4年度に比べ低下したが、新型コロナウイルス感染症流行前の接種率（55%程度）よりも高い接種率を維持している。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①健康づくりに関する関係団体等の活動を通じて、住民の感染症予防対策の意識を高めます。			
	②			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節により流行しやすい感染症については、健康づくりに関する団体等が地域で活動する際に、適切な時期に予防方法を周知していくことで、地域住民の意識を高めていく。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりに関する関係団体が、状況に応じた感染防止対策を講じながら活動することで、活動に参加する住民の感染症対策の意識が向上した。</li> <li>また、あらゆる機会を活用し、基本的な感染防止対策を周知したことで、住民の意識が向上した。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 2 9 感染症を予防します

課・係	健康づくり課 健康増進係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
感染症予防事業 (健康づくり課)	既存の感染症に対する予防活動を推進するとともに、新たな感染症の発生に備え、関係機関と連携し、危機管理体制の充実を図ることで、感染症の発生を予防し、まん延の防止を図り、住民の健康を守る。	1. ワクチン接種（インフルエンザ・肺炎球菌） 予防接種法に基づき、重症化予防のため65歳以上の高齢者等に、インフルエンザと肺炎球菌のワクチン接種を行う。また、非課税世帯に属する人等に自己負担額の補助を行う。  2. 肝炎ウイルス検査 健康増進法に基づき、肝炎ウイルスが原因による肝臓がんを予防するため、肝炎ウイルス検査を行う。  3. 風疹抗体検査及び予防接種 先天性風しん症候群の発生を予防するため、特定の年齢の男性に無料で、風疹抗体検査と予防接種を行う。  4. 風しん予防接種費用の助成 風疹抗体価の低い妊娠を希望する人などに、風しん予防接種の費用を助成する。	1. ワクチン接種（インフルエンザ・肺炎球菌） 【高齢者インフルエンザ】：65歳以上 接種者数 6,021人（接種率57.0%） 【肺炎球菌ワクチン】：65歳以上 65歳と70.75.80.85.90.95.100歳で未接種の人 接種者数 362人（接種率27.2%）  2. 肝炎ウイルス検査 過去に町の肝炎検査を受けた事の無い40～65歳の希望者 受診者 53人  3. 風疹抗体検査及び予防接種 特定の年齢の男性に無料クーポンを発送し、風しん抗体検査を行った。また、抗体価の低い人には予防接種を行った。 令和5年度末までの実績 ・抗体検査受検率40.6%（1,395人／3,431人） うち、令和5年度 69人 ・抗体検査陰性者率21.8%（304人／1,395人） うち、令和5年度 13人 ・予防接種率80.6%（245人／304人） うち、令和5年度 14人  4. 風しん予防接種費用の助成 風疹抗体価の低い妊娠希望者や妊婦の家族からの申請により、予防接種を実施。 接種者数11人	国庫支出金 912 県支出金 39 その他の特定財源	
				町費	起債 一般財源 24,826 計 24,826
<予算科目>					
款	項	目			
4	1	2			

施策の成果報告書

施策30 安心して医療が受けられる環境を整えます

課・係	健康づくり課 健康増進係
	健康づくり課 医療年金係

1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	1	住民が健康で暮らせるまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標				
	① 特定健康診査受診率	単位	現状値	R12目標値	③ 要介護認定率	単位	現状値	R12目標値
	② がん検診受診率	%	40.8	43	④ 地域で定期的に健康づくり活動や介護予防活動などを行う自治区数	%	18.9	23
		%	28.5	32		自治区	15	20

施策名	(3) 安心して医療が受けられる環境を整えます	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師会などの関係機関と連携し、救急医療体制や休日・夜間の医療体制を維持するとともに、住民のニーズにあった情報を発信します。</li> <li>○国民健康保険税の収納率向上を目指すとともに、特定健診の受診勧奨や保健指導などを進めることにより、医療費の抑制・適正化を図ります。</li> <li>○県や広域連合と連携し、国民健康保険や後期高齢者医療制度などの医療保険制度について適正な運営を図ります。</li> </ul>		

2. 施策の成果

成果指標	指標			指標		
	① 救急医療の情報提供	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③
	②	回	14	14	14	④

施策 評価	A	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療については、医師会などの関係機関と連携して、医療体制を維持するとともに、住民の評価を適切に把握し、様々な機会を通じて、住民に寄り添った情報を提供する。</li> <li>・引き続き、国民健康保険税の収納率向上を目指すとともに、特定健診の受診勧奨や保健指導を進めることで、医療費の抑制・適正化を図り、医療保険制度を適正に運営する。</li> <li>・国民健康保険特別会計の決算状況や今後の見込みを踏まえて国民健康保険税の税率改正や法定外繰入の削減を検討する。</li> <li>・令和6年10月から子ども医療等の自己負担額を見直すため、実施に向けて取組みを進める。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日急病センターについて、広報やSNSを通じて周知するとともに、小児救急等については、赤ちゃん訪問時等にチラシを配布するなど、様々な手法で住民のニーズにあった情報を発信することで、安心して医療が受けられる環境を提供した。</li> <li>・被保険者数の減少が大きく国保税は減となったが、収納率は微減であった。また、重複受診の抑制やジェネリック医薬品使用の推奨、療養費患者調査、第三者行為求償等により、医療費の抑制や適正化を図りつつ、医療保険制度を適正に運営した。</li> <li>・子育て世代の経済的支援の充実を図るため、子ども医療の今後の拡充について子育て応援パッケージの取り組みの中で検討した結果、令和6年10月から子ども医療等の自己負担額を500円に見直すため、条例を改正した。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①救急医療体制の情報を住民に適切に発信するため、関係機関（医療機関等）との連携を強化します			
	②			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会などの関係機関と連携し、今後も継続した体制を確保するとともに、周知方法等を検討し、よりわかりやすい内容で住民に情報発信する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末年始や盆の救急医療体制についての情報を適切な時期に周知し、医師会や歯科医師会などの関係機関と連携することで、体制を維持した。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策30 安心して医療が受けられる環境を整えます

課・係	健康づくり課 健康増進係
	健康づくり課 医療年金係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
国保特別会計繰出金 (健康づくり課)  <予算科目> 款 項 目 3 1 1	国民健康保険財政の安定的な運営を行うことで、被保険者が安心できる医療を提供する。	国民健康保険法等に基づき、事務費繰出金及び保険基盤安定繰出金を国民健康保険事業特別会計に繰り出しする。 11月と3月に繰出金を支出し、出産育児一時金は年度末に実績に合わせて精算する。 令和6年1月から産前産後保険税の減額措置が施行され、財源として国1/2、県1/4、町一般会計1/4負担で国保会計に繰り出しする。	○事務費等繰出金 ・職員給与費等 42,165千円 職員3名分の給与分+物件費 ・出産育児一時金 5,615千円 1人当たり50万円の3分の2を繰出(精算有) ・未就学児均等割保険料 1,170千円 ・産前産後保険税 41千円 ・財政安定化支援事業 48,134千円 低所得者負担能力・一定以上の高齢被保険者を抱える被保険者に対する支援措置 ・その他 36,677千円 ○保険基盤安定繰出金 ・軽減分 111,763千円 保険税軽減分について財政援助を行う仕組み(県3/4、町1/4負担) ・支援分 53,633千円 保険税軽減対象一般被保険者数に応じて平均保険税の一定割合を補填する制度(国1/2、県1/4、町1/4負担) <参考> 被保険者数 ・年度平均 6,011人 3,971世帯 ・年度末 5,825人 3,864世帯	財源内訳	27,422
				町費	97,533
				合計	299,198
ひとり親家庭等医療事業費 (健康づくり課)  <予算科目> 款 項 目 3 1 1	県の補助事業を活用し、安心して医療を受けられる環境を整え、ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進を図る。	岡垣町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例に基づき、申請に対して医療証を発行し、医療の現物給付を行う。 医療証の有効期間は10月から翌年9月末までのため、9月に一斉更新を行う。 県の補助(1/2)を受けて実施する。  <b>【県が定める自己負担額】</b> 通院 800円/月 入院 500円/日 ※月7日限度	離婚・転入等に基づく申請に対し、新規に医療証を発行する。また、医療証の年度更新を行う。 ※2つの公費医療分の更新業務経費を、本事業に計上 ○対象者 町内に在住する医療保険加入者のうち ・母子家庭の母及び児童 ・父子家庭の父及び児童 ・父母のない児童 R5末 581人 ○所得制限 児童扶養手当準拠 ○自己負担額 通院：800円/月(上限) 入院：高校生まで 無し 親500円/日(月上限7日) ※令和6年10月から18歳未満は500円/月 ○県補助1/2	財源内訳	8,881
				町費	12,068
				合計	20,949

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
後期高齢者事業 (健康づくり課)  <予算科目>			後期高齢者医療制度の安定的な運営を行うことで、被保険者が安心できる医療を提供する。	高齢者の医療の確保に関する法律等に基づき、事務費繰出金及び保険基盤安定繰出金を後期高齢者医療特別会計に繰り出しする。 療養給付費負担金の町負担分を後期広域連合に支出する。	○特別会計等事務費繰出金 ・職員給与等繰入金 (一般会計→町特別会計) 12,596千円 ・事務費負担金 15,737千円 (一般会計→町特別会計→後期広域連合) ○基盤安定繰出金 127,981千円 (一般会計→町特別会計→広域連合) 低所得者にかかる保険料軽減分を公費で補填することで、後期高齢者医療制度の財政の安定化を図る。 (軽減分の公費負担割合 県3/4:町1/4) ○後期広域連合療養給付費負担金529,415千円 (一般会計→後期広域連合) <参考> 被保険者数 6,024人 (R5年度末)	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	95,986
							その他の特定財源	
							町費	起債
款	項	目				一般財源	589,743	
3	1	1				計	589,743	
						合計	685,729	
重度障がい者医療事業費 (健康づくり課)  <予算科目>			県の補助事業を活用し、安心して医療を受けられる環境を整え、障がい者の保健の向上と福祉の増進を図る。	岡垣町重度障がい者医療費の支給に関する条例に基づき、申請に対して医療証を発行し、医療の現物給付を行う。 医療証の有効期間は10月から翌年9月末までのため、9月に一斉更新を行う。 県の補助 (1/2) を受けて実施する。  <b>【県が定める自己負担額】</b> 通院 3歳以上 500円/月 入院 3歳から中学生 500円/日 ※月7日限度 高校生以上 500円/日 ※月20日限度	申請に基づき医療証を発行する。また、医療証の年度更新を行う。 ○対象者 町内に在住する一定の障がいがある医療保険加入者 (身体障がい者、知的障がい者、重複障がい者、精神障がい者) R5末 617人 ○所得制限 特別障害者手当準拠 ○自己負担額 ・通院: 500円/月 ・入院: 高校生まで 無し 一般 500円/日 (月上限20日) 低所得 300円/日 ( " ) ○県補助1/2	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	29,259
							その他の特定財源	
							町費	起債
款	項	目				一般財源	29,839	
3	1	5				計	29,839	
						合計	59,098	
子ども医療事業費 (健康づくり課)  <予算科目>			岡垣町子ども医療費の支給に関する条例に基づき、申請に対して医療証を発行し、医療の現物給付を行う。 県の補助 (1/2) を受けて実施する。  <b>【県が定める自己負担額】</b> 通院 3歳未満 なし 3歳～就学前 800円/月 小学生 1,200円/月 中学生 1,600円/月 入院 3歳未満 なし 3歳～中学生 500円/日 ※月7日限度 ※高校生は補助対象外	出生・転入等に基づく申請に対し、新規に医療証を発行する。 ○対象児童 町内に在住する高校生までの医療保険加入の児童 R5末 4,841人 ○所得制限 なし (R2改正) ○自己負担額 就学前 なし 小～高 通院: 1,200円/月 入院: なし ※令和6年10月から500円/月 ○県補助1/2	財源内訳	国庫支出金		
						県支出金	61,514	
						その他の特定財源	20,600	
						町費	起債	
款	項	目				一般財源	79,144	
3	2	1				計	79,144	
						合計	161,258	

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
養育医療事業費 (健康づくり課)  <予算科目>			母や乳児・幼児が安心して医療を受けられる環境を整えるため、自己負担が安価な養育医療手続を実行する。	平成25年に県から権限移譲された事務。 岡垣町未熟児養育医療給付実施要綱に基づき、申請に対して医療券を発行し、医療の現物給付を行う。  (負担割合) 国1/2、県1/4、町1/4	申請及び医師の意見書をもとに医療券を発行する。  ○対象者 未熟児であり指定養育医療機関で入院養育を要する1歳未満のもの(体重2000g以下又は発達が未熟な状態で出生)  ・認定 12人、14件 ・支給 39件、3,556千円	財源内訳	国庫支出金	1,403
							県支出金	701
その他の特定財源								
町費	起債							
	一般財源	1,563						
計		1,563						
款 項 目 3 2 1			合計		3,667			
地域医療施設等対策事業 (健康づくり課)  <予算科目>			医師会などの関係機関と連携し、地域に必要な初期救急体制や休日・夜間医療体制を整備・維持するとともに、住民のニーズにあった情報を発信することで、住民の生命と健康を守る。	各事業費は中間市及び遠賀郡4町で按分  1. 休日急病センター運営事業 第1次救急体制として、遠賀中間医師会に委託し、おんが病院で実施する。  2. 病院郡輪番制度 第2次救急体制として、遠賀中間医師会に委託する。  3. 休日急病歯科診療補助金 年末年始などの歯科の急患の診療を遠賀中間歯科医師会に委託する。	中間市および遠賀郡4町で初期救急医療体制を構築し、提供している。また、休日や盆、年末年始に対応できる医療機関について、広報やホームページ、SNS等で周知した。  1. 休日急病センター運営事業 ・日曜、祭日、年末年始の昼間の入院の必要がない内科と小児科の診療。 ・平日、日曜、祭日の夜間(午後10時まで)の電話による相談業務 (実績) ・開設71日、利用者1,436人(うち、岡垣町利用者358人(内科296人、小児科62人))  2. 病院郡輪番制度 平日夜間と休日の急患で、入院が必要な人を5医療機関が輪番で受入した。 (実績) ・70日、利用者数307人  3. 休日急病歯科診療補助金 年末年始・盆休み・5月大型連休の歯科の急患の診療を遠賀中間歯科医師会加入の歯科医院が受入した。 (実績) ・12日、利用者数71人	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
その他の特定財源								
町費	起債							
	一般財源	5,062						
計		5,062						
款 項 目 4 1 1			合計		5,062			

施策の成果報告書

施策3 1 みんながつながるお互いさまの地域をつくります

課・係	福祉課 人権・地域福祉係
-----	--------------

1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	2	誰もが安心して暮らせるまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標			
	単位	現状値	R12目標値	単位	現状値	R12目標値	
① 近所で困っている人がいるときの対応で「積極的に手助けをする」「頼まれたら可能な範囲で手助けをする」人の割合	%	60	66	③ 地域で定期的に健康づくり活動や介護予防活動などを行う自治区数	自治区	15	20
② 要介護認定率	%	18.9	23	④			

施策名	(1) みんながつながるお互いさまの地域をつくります	重点テーマ	○	地方創生
施策の内容	○子どもから高齢者まで地域の全ての人たちが地域福祉の担い手として、お互いさまの心で支えあうネットワークづくりを支援します。 ○福祉の心を育む意識の醸成と啓発に努め、社会福祉協議会と連携し、地域福祉活動を支えるボランティアなどの人材育成やコーディネートに取り組みます。			

2. 施策の成果

成果指標	指標					指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	②	③	④	⑤					
① ふれあいサロン実施回数(1自治区あたりの平均)	回	13.5	12.0	10.6	③					
② ふれあいサロン取組自治区数	区	33	35	37	④					

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・「岡垣町福祉総合計画」に定めた施策を着実に実行することで、みんなが互いに支えあいながら自分らしく活躍できる地域づくりを進める。 ・みんながつながるお互いさまの地域をつくるという目標を達成するため、引き続き社会福祉協議会と連携しながら、社会福祉協議会職員の派遣や補助金の交付等によるふれあいサロン活動の支援を行う。また、多くの自治区でふれあいサロン活動やお互いさま命のネットワーク活動の充実が図られるよう、将来的に補助制度の見直しについて検討を行う。 ・今後も引き続き、人材育成講座を行うことで、地域福祉活動を支える新たな人材の確保及び育成を図るとともに、有償ボランティア等の身近な地域での取組が始まった際には必要な支援を行う。
	評価理由	・福祉分野の総合計画となる「岡垣町福祉総合計画」を策定し、これまで分野別に進めてきた施策を地域共生社会の構築の観点から見直した。 ・ふれあいサロンに取り組む自治区は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度(23自治区)、令和3年度(25自治区)と活動が停滞する状況が続いていたが、社会福祉協議会と連携しながらサロン活動の支援を継続したことで、前年度と比較し4自治区増加し37自治区となり、目標値を達成することができた。 ・社会福祉協議会への委託により人材育成講座を実施し、地域福祉活動を支えるボランティア等の育成を図り、講座の実施をきっかけとして有償ボランティアの取組が始まった。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①ふれあい交流活動の強化(ふれあいサロン活動等を推進させることでお互いに支えあうつながりをつくる)			
	②			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	・今後もふれあいサロンに対して人的・金銭的な支援を継続することで、活発に活動しやすい環境づくりを行い、お互いに支えあうつながりをつくる。
	評価理由	・コロナ禍を脱し、ふれあいサロンに取り組む自治区が増加するなど、ふれあい交流活動の強化が図られた。また、1自治区あたりの平均実施回数も7回となり、目標値を達成できた。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策3-1 みんながつながるお互いさまの地域をつくります

課・係	福祉課 人権・地域福祉係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
地域共生社会推進事業 (福祉課)  <予算科目> 款 項 目 3 1 1			近年、少子高齢化や核家族化の進展など社会情勢の変化に伴い、地域におけるニーズや困りごとは複雑、多様化し、複合的な課題を抱える世帯が増加している。 制度や分野ごとの縦割りや支え手や受け手という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創っていく地域共生社会の実現に寄与する。	これまで対象者別、分野別に策定していた福祉分野の計画を統合し、分野別に進めてきた施策を地域共生社会構築の観点から見直し、領域を横断した総合的な視点で施策を進めるため、「岡垣町福祉総合計画」を策定する。	○計画策定年度 令和4年度から令和5年度までの2年間 ○計画期間 令和6年度から令和11年度までの6年間 ○経過等（令和5年度） ・福祉総合計画検討委員会の開催 3回 ・地域共生社会推進協議会の開催 3回 ・協議会各部会の開催 8回 ・パブリックコメントの実施 ・全員協議会における報告 ・策定（令和6年3月）	財源内訳	
						国庫支出金	
						県支出金	
						その他の特定財源	
町費		起債					
		一般財源	847				
		計	847				
		合計	847				
重層的支援体制整備事業 (福祉課)  <予算科目> 款 項 目 3 1 1			地域共生社会の実現を目的として、既存の相談支援や地域づくり支援の取組みを活かし、介護、障がい、子ども、生活困窮といった各分野別の制度では対応しきれない複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築する。町、社会福祉協議会、地域で暮らす住民、関係機関が連携することにより、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施し、複雑化・複合化した福祉課題に対応する。	<b>【重層的支援体制整備事業】</b> 1. 包括的相談支援事業 既存の相談支援機関の機能充実を図るとともに連携を強化し、福祉課題を抱える人（世帯）の包括的相談窓口としての体制を整備する。 2. 多機関協働事業 多機関が参加する重層的支援会議を開催し、福祉課題を抱えている相談者（世帯）の情報を共有し、解決に向けた連携する。 3. 参加支援事業 既存の支援では対応が困難な人（世帯）に対し、福祉サービス事業所などの地域の社会資源を活用し、社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。 4. 地域づくり事業 地域人材育成講座を開催し、隣近所や地域で、日常的に見守り合い助け合う体制や、住民相互の助け合いや協力により、生活上の困りごとを支援する取り組みを進める。	1. 包括的相談支援事業 相談件数 総合福祉相談窓口 703件 法律相談 76件 2. 多機関協働事業 支援会議（コアメンバー会議）の開催 毎月1回 重層的支援会議 2回 3. 参加支援事業 既存の社会資源の拡充 アウトリーチ等を通じた継続的な支援を実施 4. 地域づくり事業 地域人材育成講座の開催 12回開催 延べ 411人参加	財源内訳	
						国庫支出金	4,404
						県支出金	670
						その他の特定財源	
町費		起債					
		一般財源	2,812				
		計	2,812				
		合計	7,886				



事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
いこいの里運営経費 (福祉課)  <予算科目>			住民の総合的な福祉と健康の増進や、ふれあい交流の場の拠点として、施設の管理運営を行う。	町の保健福祉の拠点施設である「いこいの里」の管理運営について、地方自治法に基づき、社会福祉協議会を指定管理者として指定し、効果的な運営を行う。	○いこいの里指定管理料 54,882千円 ○施設利用者数 106,460人 (前年度比 +11,098人) うち、入浴施設利用者数 40,670人 (前年度比 + 1,828人) ※令和6年1月から入浴施設の開館時間を以下の通り見直した。 見直し前：午前11時から午後8時まで 見直し後：午後3時から午後8時まで	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	32,463
							町費	
款	項	目				起債		
3	1	6				一般財源	23,512	
						計	23,512	
						合計	55,975	
いこいの里施設整備事業 (福祉課)  <予算科目>			町の保健・福祉の拠点施設であるいこいの里の設備等について計画的に更新を行うことで、町民の福祉の向上を図る。	公共施設等総合管理計画において長寿命化を図る施設と位置付けられており、施設を計画的に更新することで長寿命化を図る。	○いこいの里駐車場用地購入 17,500千円 購入手数料 178千円  ○岡垣町寿会連合会事務所移転経費 114千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	
款	項	目				起債		
3	1	6				一般財源	17,792	
						計	17,792	
						合計	17,792	

施策の成果報告書

施策3 2 高齢者の暮らしを支える福祉環境をつくりま

課・係	長寿あんしん課 長寿支援係
	長寿あんしん課 地域包括支援係

1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	2	誰もが安心して暮らせるまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標		
	現状値	R12目標値	③	現状値	R12目標値	④
①	近所で困っている人がいるときの対応で「積極的に手助けをする」「頼まれたら可能な範囲で手助けをする」人の割合	%	60	66	③ 地域で定期的に健康づくり活動や介護予防活動などを行う自治区数	自治区 15 20
②	要介護認定率	%	18.9	23	④	

施策名	(2) 高齢者の暮らしを支える福祉環境をつくりま	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<p>○要介護状態になっても高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体となった地域包括ケアシステムの充実を図り、介護保険サービスや各種福祉サービスを推進します。</p> <p>○認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう成年後見制度の活用やサポート体制などの充実を図ります。</p> <p>○健康づくり事業と介護予防事業の連携を強化し、地域での介護予防活動の拡大を図ります。</p> <p>○高齢者が生きがいをもって暮らせるよう、様々な地域活動を通じた交流の場の充実や、高齢者の知識・経験を活かすことができる場の拡大を図ります。</p>		

2. 施策の成果

成果指標	指標			指標				
	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
①	高齢者の介護予防活動への参加率	%	5.6	6	5.9	③		
②	介護予防サポーター養成講座受講者数	人	8	8	15	④		

施策 評価	A	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進展に伴い、認知症の高齢者や要介護認定者の増加が見込まれることから、地域包括ケアシステムの充実を図るため、地域包括支援センターの機能維持及びセンター全体の人員配置等の検討を進める。</li> <li>・持続可能な福祉サービスを提供するために利用者負担の見直しを行うとともに、社会資源情報を「見える化」することで、高齢者やその支援者の適切なサービス利用につなげる。</li> <li>・認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、引き続き成年後見制度の中核機関である北九州市成年後見支援センターと連携した制度周知や適切な支援を行う。また、必要に応じてチームオレンジの取組を支援し、サポート体制の構築を図る。</li> <li>・引き続き医療と介護予防事業の連携を強化し、ポピュレーションアプローチやハイリスクアプローチによる取組がより効果的になるよう、地域における介護予防活動の充実・拡大を図るとともに、スイミング施設を活用した介護予防事業の導入を検討する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援認定者に対し、適切な介護サービスやインフォーマルサービスを提供できるよう、包括的継続的ケアマネジメントに努め、住み慣れた地域で暮らせる環境をつくった。</li> <li>・成年後見制度の広報紙での周知や研修会の実施により住民の制度への理解の向上を図った。また、北九州成年後見センターへの業務委託の継続により、制度の相談対応や支援体制の充実につなげることができた。</li> <li>・健康づくり及び介護予防事業の連携を図るため、関係課と今後の介護予防教室等の事業内容を決定した。</li> <li>・地域と介護予防サポーターのマッチングを行うなどの住民主体の介護予防活動団体を支援することにより、地域活動の推進を図ることができた。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①介護予防活動の人材育成などを通じ、各地域に住民による介護予防活動団体を立ち上げる。			
	②地域住民による生活支援サービス提供団体を立ち上げる。			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、「伝える”育”てる”広”げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き介護予防サポーターを中心とした活動を展開し、定期的に介護予防活動を行う自治区を増やすとともに、地域での活動につながっていない自治区については、その課題を整理し、必要な対策を講じる。</li> <li>・生活支援コーディネーターによる地域活動への支援や地域のニーズと支援者とのマッチングを継続して行う。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サポーターの活動により、定期的な介護予防活動を行う自治区数が増加した。</li> <li>・社会福祉協議会の生活支援コーディネーターを中心とした地域活動支援（福祉ツクル講座）により、3つの自治区で助け合いの仕組みづくりの取組が開始された。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策3-2 高齢者の暮らしを支える福祉環境をつくります

課・係	長寿あんしん課 長寿支援係
	長寿あんしん課 地域包括支援係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）													
				財源内訳	合計												
高齢者福祉事業 (長寿あんしん課)	高齢者が住み慣れた地域で、自立し安心して生活できる環境を確保するため、必要な福祉サービスを提供する。	1. 寝具洗濯乾燥消毒事業 寝具を衛生的に保つために、洗濯・乾燥・消毒し配達する。 2. 軽度生活援助事業 自立した生活を継続するために、外出時の援助や庭木の手入れなどの軽度な生活支援サービスを提供する。 3. 緊急通報システム事業 緊急時の連絡手段の確保及び安否確認のために、装置を貸与する。 4. 配食サービス事業 栄養改善や見守り、食の確保のために、夕食の弁当を配達する。 5. 買い物支援事業 買い物に困っている人を支援するために、移動販売を行う土地を借り上げる。 6. 老人日常生活用具給付事業 生活の安全性を保つために、火災報知器や電磁調理器等を給付する。 7. 在宅高齢者等住宅改造助成事業 介護を要する高齢者等の身体状況に見合った住環境を整えるために、住宅改造を助成する。 8. 高齢者運転免許証自主返納支援事業 高齢者による交通事故の防止及び公共交通機関の利用促進を図るため、免許を自主返納した人に対して公共交通機関の利用券等を給付する。 9. 介護用品給付サービス事業 在宅介護を支援するために、紙おむつなどを自宅まで配達する。 10. 在日外国人高齢者福祉手当 公的年金を受給していない外国人高齢者に手当を支給する。	※ () は前年度実績 1. 寝具洗濯乾燥消毒事業 利用者数 24人 (42人) 事業費 224千円 (287千円) 2. 軽度生活援助事業 利用者数 0人 (0人) 事業費 0千円 (0千円) 3. 緊急通報システム事業 延利用者数 890人 (1,002人) 事業費 1,252千円 (1,279千円) 4. 配食サービス事業 利用者数 214人 (237人) 総配食数 22,152食 (26,393食) 事業費 11,650千円 (10,955千円) 5. 買い物支援事業 延利用者数 3,303人 (4,117人) 実施箇所 12箇所 (13箇所) 駐車場所借り上げ 2箇所 (2箇所) 事業費 120千円 (120千円) 6. 老人日常生活用具等給付事業 利用者数 0人 (1人) 事業費 0千円 (59千円) 7. 在宅高齢者等住宅改造助成事業 利用者数 2人 (2人) 金額 600千円 (516千円) 8. 高齢者運転免許証自主返納支援事業 申請者数 110人 (127人) 事業費 1,348千円 (1,441千円) (内訳) コミュニティバス回数券 16人・224千円 (20人・280千円) ICカード 28人・441千円 ※nimoca(15,500円)14名、SUGOCA(16,000円)14名 (21人・326千円) タクシー初乗券 66人・687千円 (86人・835千円) 乗合タクシー回数券 0人・0千円 (R5.12～) ※令和5年12月より支援内容見直し 9. 介護用品給付サービス事業 延利用人数 827人 (776人) 事業費 3,720千円 (3,495千円) 10. 在日外国人高齢者福祉手当 ※実績なし	財源内訳	18,912												
				町費	18,912												
<table border="1"> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>479</td> </tr> <tr> <td>その他の特定財源</td> <td>9,981</td> </tr> <tr> <td>起債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,452</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,452</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18,912</td> </tr> </table>				国庫支出金		県支出金	479	その他の特定財源	9,981	起債		一般財源	8,452	計	8,452	合計	18,912
国庫支出金																	
県支出金	479																
その他の特定財源	9,981																
起債																	
一般財源	8,452																
計	8,452																
合計	18,912																
<予算科目>																	
款	項	目															
3	1	2															

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
老人クラブ事業 (長寿あんしん課)	単位クラブや寿会連合会が実施する事業を支援することで、高齢者の交流の場を広げるとともに、生きがいや健康づくり活動を通して、地域活動を促進する。	1. 単位老人クラブ <b>【クラブ補助金】</b> 地域における高齢者の生きがいと健康づくりを促進することを目的とし、補助金を交付する。  2. 町寿会連合会 <b>【活動推進事業】</b> 単位クラブの親睦と発展に寄与することを目的とし、補助金を交付する。 <b>【ネットワーク推進等事業】</b> 町全体の高齢者福祉の向上、高齢者の見守り活動等を推進するため、補助金を交付する。 <b>【健康づくり事業補助金】</b> 健康づくり・介護予防の啓発を目的とし、健康づくり事業を実施する町寿会連合会に補助金を交付する。	※ () は前年度実績 1. 単位老人クラブ ・会員数 1,270人 (1,476人) ・助成事業 1,791千円 (2,082千円)  2. 町寿会連合会 ・県認定クラブ数 29 (31) ・活動促進事業 479千円 (646千円) ・ネットワーク等推進事業 400千円 (400千円) ・健康づくり事業補助金 450千円 (450千円) ・事務お助け隊 31千円 (令和5年度のみ)	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	1,509
					その他の特定財源	
					町費	
	起債					
	一般財源	1,640				
	計	1,640				
合計		3,149				
<予算科目>						
款	項	目				
3	1	2				
シルバー人材センター事業 (長寿あんしん課)	高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う公益社団法人岡垣町シルバー人材センターに対し、運営等に要する経費を補助することにより、同センターの経営の安定を図り、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりに資する。	公益社団法人岡垣町シルバー人材センター及び会員互助会の活動を支援するために補助金を交付する。あわせて全国及び県連合会の会員として負担金を支出する。	※ () は前年度実績 <b>【会員数】</b> 330人 (324人) <b>【就業開拓提供事業】</b> ・就業実人数 281人 (288人) ・就業延人数 34,484人 (33,904人) ・契約金額 172,010千円 (170,798千円) <b>【労働者派遣事業】</b> ・就業実人数 42人 (34人) ・就業延人数 3,273人 (3,119人) ・契約金額 11,975千円 (10,967千円) <b>【補助金交付額】</b> ・活動補助額 13,339千円 (13,000千円) ・会員互助会補助額 600千円 (600千円) <b>【全国及び県連合会会員負担金】</b> ・全国 30千円 (30千円) ・県 160千円 (160千円)	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	
	起債					
	一般財源	14,129				
	計	14,129				
合計		14,129				
<予算科目>						
款	項	目				
3	1	2				

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
敬老事業 (長寿あんしん課)			多年にわたり社会のために尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、町民が敬老に対する関心と理解を深め、高齢者自身も明るく楽しい生活を営むことを目的とし、敬老事業を実施する。	1. 敬老会事業 老人の日・老人週間の行事として、敬老会を実施した行政区及び施設に対して補助金を交付する。  2. 敬老祝金事業 88歳及び100歳を迎える高齢者に対して祝金を給付する。	※ () は前年度実績 1. 敬老会事業 ・補助金 20,490千円 (15,942千円) ・対象者 7,410人 (7,296人) 【敬老会実施】 団体数 43区・4施設 (12区・4施設) 対象者数 6,193人 (1,547人) 参加者数 1,599人 (413人) 補助金額 18,056千円 (4,440千円) 【記念品配布】 団体数 12区・1施設 (43区・1施設) 対象者数 1,285人 (5,878人) 補助金額 2,434千円 (11,502千円) ・令和2年度から対象年齢を2年ごとに1歳ずつ引き上げ、令和10年度以降は75歳以上を対象とする。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、敬老会が実施困難なため、記念品配布も交付対象とした。  2. 敬老祝金事業 【祝金交付】 ・88歳 177人・1,776千円 (198人・1,985千円) ・100歳 16人・480千円 (12人・360千円)	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	22,789						
	計	22,789						
合計		22,789						
<予算科目>								
款	項	目						
3	1	2						
認知症施策推進事業 (長寿あんしん課)			認知症に対する理解の向上、及び認知症の人とその家族への支援や関係機関のサポート体制を充実させることで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる地域をつくる。	1. 認知症初期集中支援事業 認知症の疑いのある高齢者に医療職と介護職による認知症初期集中支援チームが対応することで必要なサービスと機関に繋ぐ。  2. 認知症地域支援・ケア事業 認知症地域支援推進員を中心に認知症の人を支援する関係者の連携を図るほか、認知症カフェ運営費の助成を行う。  3. 認知症施策推進体制整備事業 専門職、地域、団体等で構成する懇話会での意見等により、効果的な認知症施策を進める。  4. 認知症予防事業 認知症予防や現状維持のための脳を活性化させる脳若トレーニング教室を開催する。  5. 認知症サポーター養成事業 認知症の人を見守り支援するサポーターを養成するための講座を開催し、認知症高齢者やその家族を支援する体制整備を進める。  6. 徘徊高齢者等家族支援サービス事業 認知症等により徘徊のおそれのある高齢者にGPS機器の貸与や二次元コードが印字されたシールの支給を行い、行方不明時の探索に活用することで早期発見、身元特定を図る。	※ () は前年度実績 1. 認知症初期集中支援事業 ・支援対象者 2人 (3人)  2. 認知症地域支援・ケア向上事業 ・認知症地域支援推進員 4人 (前年度から増減なし) ・認知症カフェ補助団体 6団体 (7団体) ・認知症カフェ補助金交付額 372千円 (401千円)  3. 認知症施策懇話会委員の任期満了により、懇話会による協議を終了した。今後は高齢者福祉計画とあわせ評価や見直しを行う。  4. 認知症予防事業 ・脳若トレーニング教室 全12回 (全12回) 参加者 22人 (14人)  5. 認知症サポーター養成事業 ・実施回数 8回 (1回) ・受講者数 345人 (11人) ・総養成者数 2,864人 (2,519人)  6. 徘徊高齢者等家族支援サービス事業 (1) 徘徊高齢者等位置探索サービス事業 ・利用者数 0名 (0名) (2) 高齢者等おでかけ見守りシール支給事業 ・登録者数 18名 (8名)	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	1,851
							町費	起債
	一般財源							
	計							
合計		1,851						
<予算科目>								
款	項	目						
3	1	2						

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)																											
<p style="text-align: center;">介護保険事業 (長寿あんしん課)</p> <p>&lt;予算科目&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">款</td> <td style="width: 33%;">項</td> <td style="width: 33%;">目</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </table>	款	項	目	3	1	7	<p>要介護状態になっても、尊厳を保持し、その人の能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスを提供することで、住民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る。</p>	<p>介護保険法に規定する市町村の事務のうち、資格管理・認定・給付・介護保険事業計画策定・保険料の賦課及び徴収等について、町が関係市町村と組織している福岡県介護保険広域連合が適正に業務を執行できるよう、運営に必要な費用を負担する。</p>	<p>※ ( ) 前年度実績</p> <p><b>【介護保険運営に関する実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末認定者数 2,035人 (1,982人)</li> <li style="padding-left: 20px;">1号被保険者 2,006人 (1,952人)</li> <li style="padding-left: 20px;">2号被保険者 29人 (30人)</li> <li>・年度末認定率 ※1号被保険者のみ</li> <li style="padding-left: 20px;">岡垣町 18.64% (18.64%)</li> <li style="padding-left: 20px;">遠賀郡平均 19.21% (18.71%)</li> <li style="padding-left: 20px;">連合全体平均 18.32% (18.18%)</li> <li>・介護給付費総額 3,149,395千円 (3,119,696千円)</li> <li>・福岡県介護保険広域連合負担金 507,222千円 (484,761千円)</li> </ul> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①共通経費 94,425千円 (82,872千円)</li> <li>②認定経費 25,317千円 (30,912千円)</li> <li>③介護給付費387,480千円 (370,977千円)</li> <li>・負担金 (低所得者保険料軽減公費負担金) 10,788千円 (10,560千円)</li> <li>・遠賀支部運営経費負担金 579千円 (578千円)</li> </ul> <p><b>【介護保険及び介護予防に関する啓発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険被保険者証交付会 (毎月1回開催)</li> <li style="padding-left: 20px;">参加人数 73人 (99人)</li> <li style="padding-left: 20px;">参加率 17.2% (21.3%)</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">財 源 内 訳</td> <td style="text-align: center;">国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">その他の特定財源</td> <td style="text-align: right;">32,830</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">町費</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">起債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">一般財源</td> <td style="text-align: right;">499,959</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">499,959</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">532,789</td> </tr> </table>	財 源 内 訳	国庫支出金		県支出金		その他の特定財源	32,830	町費			起債			一般財源	499,959		計	499,959	合計		532,789
	款	項	目																												
3	1	7																													
財 源 内 訳	国庫支出金																														
	県支出金																														
	その他の特定財源	32,830																													
	町費																														
	起債																														
	一般財源	499,959																													
	計	499,959																													
合計		532,789																													

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)																						
介護予防・日常生活支援 総合事業 (長寿あんしん課)	高齢者の社会参加の推進と生活支援の充実により、要介護状態になることを予防する。	1. 介護予防・生活支援サービス事業 高齢者の要介護状態の予防及び重症化防止のため、要支援者等の方に必要なサービスを提供する。  2. 一般介護予防事業 住民主体の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。 ①介護予防把握事業 高齢者宅の訪問により、虚弱高齢者を把握し、必要な社会資源につなぐ。 ②介護予防普及啓発事業 高齢者の社会活動や介護予防促進のため各種イベントや介護予防教室を実施する。 ③地域介護予防活動支援事業 地域の住民主体の介護予防活動の育成と支援。 ④地域リハビリテーション支援事業: 住民主体の通いの場に専門職等を派遣し、介護予防活動の機能強化を図る。 (任意事業) ・認知症高齢者見守り事業 地域からの情報により把握した徘徊高齢者等への定期的な見守りによる状況把握を行い、徘徊高齢者の早期発見、対応を行い支援につなぐ。	※ () は前年度実績 1. 介護予防・生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメントB 12件 (12件) ・訪問型サービスA 利用者実人数8人 (9人) 利用延回数275回 (349回) ・通所型サービスC 利用者実人数20人 (28人) ・訪問型サービスD 利用者実人数 26人 (20人) 利用延回数 269回 (244回)  2. 一般介護予防事業 ①介護予防把握事業 ・介護予防事業対象者把握事業 ※基本チェックリストによるアセスメントの実施 基本チェックリスト調査延件数 581人 (711人) ・要配慮者定期訪問事業 ※要配慮者の自宅を定期的に訪問 訪問延件数 159人 (182人) ②介護予防普及啓発事業 ・出前楽しく健康教室 実人数 273人 (200人) 延人数 4,692人 (4,213人) ・ケアランボリン運動教室 ・実人数 61人(63人)、延人数 722人 (975人) ・ヨガ健康教室 実人数 166人 (130人) 延人数 1,554人 (1,145人) (高齢者の生きがいと健康づくり推進事業) ・高齢者スポーツ大会 339人 (中止) ・散歩で健康大作戦 実人数 735人 (810人) ・ねんりんスポーツ・文化祭 延人数 364人 (490人) ③地域介護予防活動支援事業 ・介護予防サポーター養成講座 養成者数 15人 (8人) 養成者総数 150人 (136人) ・介護予防サポーター地区活動支援 地区活動団体数 17団体 (14団体) 地区活動自治区数 19区 (17区) 立上げ、フォローアップ等支援団体数 9回 (9回) ・介護予防サポーターのつどい (サポーターの活動支援) 1回目 40人、2回目 45人 (1回目 45人、2回目 42人) ・サロン活動支援 44回、22団体 (41回、16団体) ④地域リハビリテーション活動支援事業 出前講座9回、参加251人 (2回、参加22人) (任意事業) 【認知症高齢者見守り事業】 ・高齢者等モニタリング事業延人数1,873人 (2,304人)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の特定財源</td> <td>32,798</td> </tr> <tr> <td>町費</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>起債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>6,180</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>6,180</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>38,978</td> </tr> </table>	財源内訳	国庫支出金		県支出金		その他の特定財源	32,798	町費			起債			一般財源	6,180		計	6,180	合計		38,978	
						財源内訳	国庫支出金																			
県支出金																										
その他の特定財源	32,798																									
町費																										
	起債																									
	一般財源	6,180																								
	計	6,180																								
合計		38,978																								
<table border="1"> <tr> <td colspan="3">&lt;予算科目&gt;</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>	<予算科目>			款	項	目	3	1	7																	
<予算科目>																										
款	項	目																								
3	1	7																								

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)			
包括的支援事業 (長寿あんしん課)			高齢者等からの総合相談に対応することで、適切な保険・医療・福祉サービス等の利用に繋ぐとともに、高齢者の権利を擁護し住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくる。	1. 総合相談支援業務 地域の関係者とのネットワークの構築や、高齢者の心身や生活状況の把握により、相談に対して適切な医療や介護サービス等の利用に繋げる支援を行う。  2. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ケアマネジャーによる支援について、より最適な手法と地域課題を関係者間で共有するためのケア会議を実施し、ケアマネジャーの日常的個別指導、相談、支援困難事例等への指導・助言を行う。	※ () 前年度実績 1. 総合相談支援業務 ・総合相談 相談総延件数3,657件 (延3,884件) 包括分 延1,253件 (延 964件) 相談センター 延2,404件 (延2,920件) ・権利擁護相談件数 83件 (81件) ・包括的継続的ケアマネジメント相談件数 20件 (6件) ・高齢者相談センター業務<2か所> 高齢者相談センター 東部高齢者相談センター  2. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 【地域ケア会議】 ・R5. 5. 25 (2事例)、参加者8名 ・R5. 7. 27 (2事例)、参加者8名 ・R5. 9. 28 (2事例)、参加者8名 ・R5. 11. 16 (3事例)、参加者8名 ・R6. 3. 21 (2事例)、参加者8名 ※事例提供者(ケアマネジャー)、助言者(理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士、県保健福祉環境事務所、生活支援コーディネーター)、事例の関係事業所 【地域包括ケアシステム推進会議】 ・開催回数 2回 (1回)	財源内訳	国庫支出金		
							県支出金		
							その他の特定財源	3,514	
							町費	起債	
								一般財源	
計									
合計	3,514								
<予算科目>									
款	項	目							
3	1	7							
指定介護予防支援事業 (長寿あんしん課)			要支援者・総合事業対象者への適切なマネジメントにより、高齢者自身の介護予防への意識の向上と介護状態や重症化を予防・改善する。	○介護予防ケアマネジメント業務 介護保険サービス及び福祉サービス等を適切に利用できるよう、要支援者の介護予防または生活支援サービスによる支援計画を作成する。  ・介護予防支援 介護保険サービスを利用する要支援1~2の要支援者を支援する。 ・介護予防ケアマネジメントA 介護保険の予防給付の利用がない要支援認定者、及び基本チェックリストに該当する総合事業対象者を支援する。	※ () 前年度実績 (プラン作成件数) ・介護予防支援 総件数 4,443件 (4,478件) (内訳) 包括2,305件 (2,195件) 委託2,138件 (2,283件) ・介護予防ケアマネジメントA 総件数 2,021件 (1,971件) (内訳) 包括1,159件 (1,075件) 委託 862件 (896件)	財源内訳	国庫支出金		
							県支出金		
							その他の特定財源	14,880	
							町費	起債	
								一般財源	
計									
合計	14,880								
<予算科目>									
款	項	目							
3	1	7							

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)								
生活支援体制整備事業 (長寿あんしん課)			高齢者の日常生活を支える多様なサービスの提供体制の整備により、地域住民の社会参加と介護予防活動の促進、及び地域住民による地域課題の解決ができる地域づくりを進める。	<p>1. 生活支援コーディネーター業務 町と社会福祉協議会に生活支援コーディネーター (SC) を配置し、地域課題と課題に対応した必要なサービスの開発を行う。</p> <p>2. 協議体の運営 【第2層協議体】 小学校区単位の地域住民等により構成する第2層協議体において、地域課題の抽出とその解決に向けた協議により、必要な社会資源を創出するとともに、解決できない地域課題を第1層協議体に移行し解決を図る。</p> <p>【第1層協議体】 町内全域からの住民等で構成する第1層協議体が、第2層協議体からの地域課題等の情報を踏まえ、地域の社会資源の創出や公的支援の制度化等のための協議を行う。</p>	<p>※ () 前年度実績</p> <p>1. 生活支援コーディネーター業務 ・生活支援コーディネーターの配置 第1層: 7名 &lt;長寿あんしん課3名、地域づくり課1名、福祉課1名、社会福祉協議会2名&gt; 第2層: 2名 &lt;社会福祉協議会※第1層との兼務&gt; ・各自治区での相談・活動支援 地域活動への参加・支援、助けあいに関する協議 34区 (32区) 福祉ツクル講座の実施 4回 (参加自治区: 野間一区、野間二区、東高倉区) ・自治区以外での相談・活動支援 活動への参加・支援 3団体 (1団体) ・地域ケア個別会議への参加 5回 ・各種研修会への参加 3回 (2回) ・SC連絡会 10回 (10回) ・地域の居場所応援事業所リストの改訂</p> <p>2. 協議体の運営 ・第1層協議体 (話し合いの場) 2回 (1回) テーマ 第1回目: 福祉ツクル講座3自治区の取組みから学ぶ、地域×事業所=? ?? 第2回目: 「地域の居場所応援事業所リスト」交流会 参加者 第1回目: 48名 第2回目: 63人 ・第2層協議体 (校区別懇談会) テーマ 「ふれあいサロン」に関する情報交換</p>	財源内訳	国庫支出金							
							県支出金							
							その他の特定財源	8,943						
<p>&lt;予算科目&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>			款	項	目	3	1	7				町費	起債	
款	項	目												
3	1	7												
							一般財源							
							計							
						合計	8,943							
在宅医療・介護連携 推進事業 (長寿あんしん課)			切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築により、住民が住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らすことができる環境をつくる。	<p>遠賀郡4町と中間市で遠賀中間医師会に業務を委託して事業を実施する。また、1市4町及び各関係機関により構成する在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、多職種による事業連携と在宅医療・介護の一体的な提供体制の構築を推進する。</p> <p>1. 地域医療・介護の資源の把握</p> <p>2. 在宅医療・介護連携の課題の抽出</p> <p>3. 医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <p>4. 在宅医療・介護関係者に関する相談支援</p> <p>5. 医療・介護関係者の研修</p> <p>6. 地域住民への普及啓発</p>	<p>※ () は前年度実績</p> <p>1. 地域医療・介護の資源の把握 ・資源マップの整備 ・1市4町の事業所情報のホームページでの公開</p> <p>2. 在宅医療・介護連携の課題の抽出 ・協議会開催 1回 (1回) ・専門部会開催 3回 (3回) ・管理者協議開催 1回 (3回) ・事業アンケート調査の実施 4回 (4回)</p> <p>3. 医療・介護関係者の情報共有の支援 ・入院時情報共有シート等様式見直しの実施</p> <p>4. 在宅医療・介護関係者に関する相談支援 ・在宅医療介護の相談支援件数 45件 (64件) ・在宅総合支援センターだよりの発行、配布 3回 (3回)</p> <p>5. 医療・介護関係者の研修 ・出前講座 5回 (4回) ・多職種研修会 3回 (1回)</p> <p>6. 地域住民への普及啓発 ・出前講座 6回 (10回) ・住民公開講座 1回 (1回)</p>	財源内訳	国庫支出金							
							県支出金							
							その他の特定財源	2,836						
<p>&lt;予算科目&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>			款	項	目	3	1	7				町費	起債	
款	項	目												
3	1	7												
							一般財源							
							計							
						合計	2,836							

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
成年後見制度利用 促進事業 (長寿あんしん課)			認知症等により、判断能力が十分でない 人が、制度を早い段階から適切に利用でき るよう支援を行い、地域で安心して暮らし 続けることができる環境をつくる。	1. 成年後見制度利用支援事業 成年後見制度の利用が必要な人への相談 対応や、成年後見の申立てに関する支援等 を行う。  2. 成年後見制度利用促進事業 制度の利用促進に向け、権利擁護支援の ための地域連携ネットワーク及び中核機関 として4つの機能を担い事業を行う。 ①広報機能 (制度の活用等の周知啓発) ②相談機能 (制度利用に関する相談体制) ③成年後見制度利用促進機能 (後見人等候補者への支援及び関係者間の 情報共有) ④後見人支援機能 (後見人等からの相談対応及びチームによ る支援)	1. 成年後見制度利用支援事業 ・町長申立件数 1件 (3件) ・制度利用の費用助成 件数 4件 (2件) 助成金額 552千円 (252千円)  2. 成年後見制度利用促進事業 中核機関の機能を一般社団法人北九州成年後見セン ターに委託して実施した。 ①講演会 1回 (1回) 研修会 1回 (1回) ②相談件数 24件 (33件) 出張相談実施回数 6回 (6回) ③後見人候補者への支援体制構築 家裁、後見センター、近隣市町村による 連絡会 4回 (4回) ④相談～随時対応 協議会実施 実績なし (実績なし)	財 源 内 訳	国庫支出金	322
							県支出金	161
<予算科目>						町 費	その他の特定財源	556
							起債	
款	項	目					一般財源	948
3	1	7					計	948
							合計	1,987

施策の成果報告書

施策33 障害のある人の暮らしと自立を支援します

課・係	福祉課 障がい者支援係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	2	誰もが安心して暮らせるまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標				
	単位	現状値	R12目標値	単位	現状値	R12目標値		
①	近所で困っている人がいるときの対応で「積極的に手助けをする」「頼まれたら可能な範囲で手助けをする」人の割合	%	60	66	③ 地域で定期的に健康づくり活動や介護予防活動などを行う自治区数	自治区	15	20
②	要介護認定率	%	18.9	23	④			

施策名	(3) 障害のある人の暮らしと自立を支援します	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<p>○障害のある人が地域社会の中で自立して生活できるよう、関係機関と連携し、適切に障害福祉サービスなどを提供するとともに、相談支援体制の充実を図ります。</p> <p>○障害のある人の社会参加を支援するとともに、住民の障害に対する住民の理解を促進します。</p> <p>○障害のある人の権利を守るため、成年後見制度の活用を促進します。</p>		

2. 施策の成果

成果指標	指標			指標				
	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
①	障害のある人の地域活動等への理解が「ある」「まあまあある」の割合	%	27.4	—	—	③		
②						④		

施策 評価	A	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、事業所及び関係機関と連携を取りながら相談支援体制を維持し、適切に障害福祉サービスを提供することで、障がいのある人の地域移行を促す。また、広報や街頭啓発など、様々な機会をとらえ、障がいに対する理解を促進する。</li> <li>「福祉総合計画」に基づき、障がいのある人のための各計画における施策等の進捗を管理し、障がい福祉施策推進部会で審議を行いながら、各目標に向けた事業を実施する。</li> <li>遠賀中間地域障がい者支援協議会を活用し、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けた協議を進める。</li> <li>高齢者部局と連携しながら、研修や勉強会を通じて成年後見制度の利用促進を図るとともに、成年後見人等への報酬助成を実施する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係課や計画相談事業所、サービス事業所など関係機関と連携しながら、適切に障害福祉サービスを提供するとともに、相談支援体制の充実を図った。</li> <li>12月の障害者週間の街頭啓発により、住民の障がいに対する理解促進に努めた。</li> <li>「障がいのある人のための基本計画」「障がいのある人・児童のための福祉計画」を盛り込んだ「福祉総合計画」を策定した。</li> <li>権利擁護が必要な障がいのある人に対して成年後見制度の利用を促し、後見人等への報酬助成等を行うことで、被後見人等の負担軽減に努めた。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①町行事等で障害のある人と住民が交流し、相互理解を深める		
	②		
評価	<p>B</p> <p>A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人と住民との交流の場や福祉教育などを活用し、相互理解を深める機会づくりに努める。</li> </ul>
	評価理由		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策33 障害のある人の暮らしと自立を支援します

課・係	福祉課 障がい者支援係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）																			
				財源内訳	合計																		
自立支援医療（更生医療・育成医療）・補装具等給付事業 (福祉課)	適切に障害福祉サービスを提供することで、障がいのある人や児童が、自立した日常生活または社会生活を営めるようにする。	<p>1. 自立支援医療（更生医療・育成医療）給付 障がいのある人や児童が心身の障がい除去・軽減するための医療を指定自立支援医療機関で受けた場合に、医療費を公費で負担し、自己負担額を軽減する。</p> <p>2. 身体障害者（児）補装具費給付 障がいのある人や児童の身体機能を補完または代替し、長期にわたり継続して使用する義肢や装具、車椅子などの購入費や修理費の給付を行う。</p>	<p>身体に障がいのある人の日常生活能力の向上・回復を図るため、更生医療・育成医療及び補装具の給付・修理の給付を行った。</p> <p>1. 自立支援医療（更生医療・育成医療）給付 (1) 更生医療 92,085千円 合計173件 心臓疾患 4件、腎臓疾患 164件 肝臓疾患 1件、免疫機能 3件、 肢体不自由 1件 (2) 育成医療 151千円 心臓疾患1件、肢体不自由1件 合計2件</p> <p>2. 身体障害者（児）補装具費給付 (1) 身体障害者補装具給付・修理 6,117千円 合計 45件 義肢 4件、装具 7件、座位保持装置 1件、 杖 1件、眼鏡 2件、補聴器 17件、 車椅子 11件、電動車椅子 2件 (2) 身体障害児補装具給付・修理 3,107千円 合計 16件 装具 1件、座位保持装置 4件、車椅子 6件、 座位保持椅子 4件、起立保持具 1件</p> <p>3. 療養介護給付 6,749千円</p> <p>4. その他 1,765千円 レセプト点検委託料 125千円 国県返還金（過年度） 1,640千円</p>	国庫支出金	52,923																		
				町費	30,590																		
				合計	109,975																		
<table border="1"> <tr> <td colspan="6">&lt;予算科目&gt;</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>5</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						<予算科目>						款	項	目				3	1	5			
<予算科目>																							
款	項	目																					
3	1	5																					

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)																																
地域生活支援事業 (福祉課)			地域の特性や利用者の状況に応じ、柔軟な形態により事業を効果的・効率的に実施することで、障がいのある人や児童が自立した日常生活または社会生活を営むことができるようにする。	<p>市区町村や都道府県が地域の実情に合わせて独自に行うサービス。</p> <p>1. 必須事業 理解促進研修・啓発事業、自発的活動支援事業、成年後見制度利用支援事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、手話奉仕員養成研修事業、移動支援事業</p> <p>2. 任意事業 訪問入浴サービス、日中一時支援、巡回支援専門員整備、医療的ケア児等総合支援事業、成年後見制度普及啓発事業</p> <p>3. 重層的支援体制整備事業対象事業 (R4～) 相談支援事業、地域活動支援センター (機能強化分のみ)</p> <p>※巡回支援専門員整備及び医療的ケア児等総合支援事業は子育てあんしん課の児童虐待防止対策等総合支援事業補助金へ</p>	<p>障害者総合支援法に基づき、障がいのある人が能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、地域の実情に合わせた各種サービス事業を実施した。</p> <p>★地域生活支援事業補助金対象事業</p> <p>1. 必須事業</p> <table border="0"> <tr><td>・理解促進研修・啓発</td><td>92千円</td><td></td></tr> <tr><td>・自発的活動支援</td><td>220千円</td><td></td></tr> <tr><td>・成年後見制度利用支援</td><td>201千円</td><td>1人</td></tr> <tr><td>・意思疎通支援</td><td>551千円</td><td>141回</td></tr> <tr><td>・日常生活用具給付等</td><td>7,365千円</td><td>702件</td></tr> <tr><td>・手話奉仕員養成研修</td><td>145千円</td><td></td></tr> <tr><td>・移動支援</td><td>2,127千円</td><td>637時間</td></tr> </table> <p>2. 任意事業</p> <table border="0"> <tr><td>・訪問入浴サービス</td><td>984千円</td><td>82回</td></tr> <tr><td>・日中一時支援</td><td>382千円</td><td>72回</td></tr> <tr><td>・成年後見制度普及啓発</td><td>645千円</td><td></td></tr> </table> <p>★重層的支援体制整備事業交付金対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業 5,091千円</li> <li>・地域活動支援センター (機能強化) 1,997千円</li> </ul> <p>うち、はまゆう機能強化分1,711千円</p> <p>※さくら機能強化分補助金286千円は知的障がい者デイサービス事業負担金 (P132) で計上 (国95千円、県47千円)</p> <p>★児童虐待防止対策総合支援事業補助金対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児在宅レスパイト事業 97千円</li> </ul> <p>3. その他 (補助対象外) 5,884千円 地域活動支援センター (基礎分)、障害支援区分認定調査委託料等</p>	・理解促進研修・啓発	92千円		・自発的活動支援	220千円		・成年後見制度利用支援	201千円	1人	・意思疎通支援	551千円	141回	・日常生活用具給付等	7,365千円	702件	・手話奉仕員養成研修	145千円		・移動支援	2,127千円	637時間	・訪問入浴サービス	984千円	82回	・日中一時支援	382千円	72回	・成年後見制度普及啓発	645千円		財源内訳	国庫支出金	6,626
						・理解促進研修・啓発	92千円																															
・自発的活動支援	220千円																																					
・成年後見制度利用支援	201千円	1人																																				
・意思疎通支援	551千円	141回																																				
・日常生活用具給付等	7,365千円	702件																																				
・手話奉仕員養成研修	145千円																																					
・移動支援	2,127千円	637時間																																				
・訪問入浴サービス	984千円	82回																																				
・日中一時支援	382千円	72回																																				
・成年後見制度普及啓発	645千円																																					
県支出金	3,223																																					
<予算科目>		その他の特定財源																																				
		町費	起債																																			
款	項	目	一般財源	16,678																																		
3	1	5	計	16,678																																		
		合計		26,527																																		

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
在宅福祉給付サービス事業 (福祉課)			在宅の障がいのある人に対し、日常生活の利便性の向上や、社会活動の範囲の拡大等を図る。	1. 身体障がい者介護用品給付サービス事業 前年度の住民税課税状況により、月3千円又は6千円の紙おむつを現物支給する。  2. 重度障がい者タクシー初乗り利用券給付事業 前年度の住民税課税状況により、タクシー利用券を交付する。  3. 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業 身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対して、補聴器購入費の助成を行う。  4. 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 小児慢性特定疾患児に対し、用具を給付する。	在宅の障がいのある人に対し、日常生活の利便性の向上や社会活動の範囲の拡大を支援するため、介護用品(紙おむつ)の給付、タクシー初乗り利用券の交付を行った。  1. 身体障がい者介護用品給付サービス事業 ・介護用品(紙おむつ)給付 120件    463千円  2. 重度障がい者タクシー初乗り利用券給付事業 ・タクシー初乗り利用券 306冊    2,309千円  3. 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業 0件    0千円  4. 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 0件    0千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	2,772						
	計	2,772						
合計		2,772						
<予算科目>								
款	項	目						
3	1	5						
自立支援サービス事業費 (福祉課)			障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを提供することで、障がいのある人等の個々の障がいの程度や状況に応じた日常生活の援助、自立のための訓練等により、自立や社会参加の促進を支援する。	1. 介護給付 自宅での暮らしや外出、施設での昼間の活動や介護する家族の支援などを行う。 (サービスの種類) ・居宅介護・行動援護・同行援護・重度訪問介護・重度障害者等包括支援・療養介護・生活介護・短期入所・施設入所支援  2. 訓練等給付 自立や就労の支援を行う。 (サービスの種類) ・共同生活援助 ・自立訓練 ・就労移行支援 ・就労継続支援(A型、B型) ・就労定着支援 ・計画相談支援 ・地域移行支援 ・自立生活援助	障害者総合支援法に基づき、個々の障がいの程度や状況に応じた日常生活の援助、自立のための訓練等のサービスを実施し、障がいのある人の自立や社会参加の促進を支援した。  1. 介護給付 利用延人員 ・居宅介護    23,322千円    381人 ・同行援護    2,322千円    44人 ・療養介護    30,315千円    108人 ・生活介護    232,184千円    1,131人 ・短期入所    24,066千円    224人 ・施設入所支援    51,669千円    435人  2. 訓練等給付 ・共同生活援助    120,009千円    662人 ・自立訓練        1,089千円    17人 ・就労移行支援    32,137千円    138人 ・就労継続支援    211,165千円    1,553人 ・就労定着支援    2,127千円    79人  3. 計画相談支援    12,519千円    893人  4. その他          13,691千円 ※地域移行支援・特別障害者特別給付費・やむを得ない措置費等	財源内訳	国庫支出金	383,065
							県支出金	191,533
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	182,017						
	計	182,017						
合計		756,615						
<予算科目>								
款	項	目						
3	1	5						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
知的障がい者デイサービス事業負担金 (福祉課)  <予算科目> 款 項 目 3 1 5			就労が困難な知的障がいのある人等が通所して、文化的活動、機能訓練等を行う施設を遠賀郡4町で運営することで、身体能力や日常生活能力の維持・向上を図る。	遠賀郡4町で共同設置・運営している「障がい者支援センターさくら」について、自立支援給付及び地域生活支援事業の不足する運営費用を4町で負担している。  (利用対象者) 1. 生活介護事業 障害支援区分3～6の18歳以上の人  2. 地域活動支援センター事業 15歳以上の就労困難な障がいのある人  3. 重層的支援体制整備事業対象事業 (R4～) 地域活動支援センター (さくら機能強化)	在宅の知的障がいのある人に対し、通所により創作活動・生産活動の機会の提供、社会交流の促進等を行うことにより、日常生活の支援を行った。令和6年度からは民間移譲により、負担金ではなく委託契約に基づく運営となる。  1. 生活介護事業 ・負担金 482千円 (町内利用者13名)  2. 地域活動支援センター事業 ・負担金 1,249千円 うち、機能強化分286千円 ※機能強化分のみ重層的支援体制整備事業交付金対象対象 (国95千円、県47千円) ※R5町内利用者0名  3. その他 121千円 ※前年度生活介護不足精算分	財源内訳	国庫支出金	95
							県支出金	47
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	1,710						
	計	1,710						
合計		1,852						
障害児通所支援事業 (福祉課)  <予算科目> 款 項 目 3 1 5			町内に居住する心身に発達の遅れがあるなど療育が必要と認められる児童及び保護者に対し、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練などの必要な訓練を行うことで、放課後や休日における生活能力の向上や社会との交流の促進を行う。	○障害児通所支援 児童福祉法に基づき、日常生活や集団生活のために必要な訓練などで発達や自立を支援する。  (サービス内容) ・児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・保育所等訪問支援 ・障害児相談支援 ・高額障がい児通所給付費	町内に居住する心身に発達の遅れがあるなど療育が必要と認められる児童及び保護者に対し、日常生活における動作の指導や集団生活への適応訓練、また放課後や休日に生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を促進した。  利用延人数 ・児童発達支援 102,759千円 739人 ・放課後等デイサービス 167,703千円 1,604人 ・保育所等訪問支援 8,781千円 322人 ・障害児相談支援 8,113千円 520人 ・高額障がい児通所給付費 71千円 ・その他 1千円	財源内訳	国庫支出金	139,550
							県支出金	69,775
							その他の特定財源	
							町費	起債
	一般財源	78,104						
	計	78,104						
合計		287,429						

施策の成果報告書

施策34 互いに支えあい、人権を尊重するまちをつくります

課・係	福祉課 人権・地域福祉係
	福祉課 障がい者支援係
	生涯学習課 社会教育係

1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	3	互いに支えあい、ともに歩むまちをつくる

まちづくりの成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	審議会などの女性登用率	%	34.9	40	③				
②					④					

施策名	(1) 互いに支えあい、人権を尊重するまちをつくります	重点テーマ	地方創生
施策の内容	○差別のない社会を目指し、人権に対する正しい理解を深める啓発・教育活動を推進するとともに、人権に関する様々な相談に対応できる相談体制を維持します。 ○地域の諸団体における女性の積極的な登用を促進し、男女共同参画のまちづくりを推進します。 ○様々な立場の人がともに認めあい、ともに活躍できる職場環境をつくるため、社会情勢に応じた働き方などを促進します。		

2. 施策の成果

成果指標	指標					指標						
	①	②	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③	④	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	広報等による周知回数		回	10	10	16	③					
	障害があることで、差別や嫌な思いをする(した)ことが「ほとんどない」「まったくない」の割合		%	65.9	-	-	④					

施策評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の方向性	(福祉課) ・女性人材リストの活用等により女性登用率の向上を図るなど、引き続き第3次男女共同参画基本計画に定める施策を着実に進め、男女が共に活躍できる環境づくりを進める。 ・性的指向や性自認にかかわらず人生を共にしたい人と安心して生活できるよう「福岡県パートナーシップ宣誓制度」に継続して協力するほか、現在実施している同性パートナーの町営住宅の入居以外の内容についても検討を行う。 ・人権擁護委員と連携のうえ、引き続き人権に関する様々な相談に対応できる相談体制を維持する。 ・障がいのある人への差別を防ぐため、新規採用職員研修での講義や成人(20歳)式でのリーフレット配布などを継続して実施するとともに、合理的配慮等の対応について職員や障害福祉サービス事業所などの関係機関へ周知する。 (生涯学習課) ・岡垣町人権教育推進協議会や法務局のほか、他の市町村とも情報共有しながら、啓発や教育活動を継続し、人権に対する正しい理解を深める。 ・令和6年度は、法務局と連携し、例年開催している人権講演会を拡大し、人権フェスティバルとして開催する。
	評価理由	(福祉課) ・審議会等における女性登用率は、令和5年度には37.2%となり、令和4年度の34.5%から増加した。また、第3次男女共同参画基本計画に定める事業についても、「実施できた」「概ね実施できた」とする事業が89%となり順調に進捗している。 ・「LGBTへの理解について」というテーマで研修を実施し、窓口対応等で様々な人と接する職員に対し啓発を行った。 ・介護保険証交付会や民生委員児童委員協議会定例会等の機会に、男性の介護への意識啓発や無意識の思い込みについて啓発を行った。 ・新規採用職員研修において、障害者差別解消法や合理的配慮についての講義を行うほか、成人(20歳)式で障がい者差別解消に向けた啓発リーフレットを配布するなど、障がいのある人への理解促進に努めた。 (生涯学習課) ・岡垣町人権教育推進協議会や法務局と連携し、人権講演会や啓発冊子の作成などにより、人権意識の高揚につなげた。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①第一生命保険(株)など、企業とも協力しながら男女共同参画に関する啓発活動を強化し、意識の向上を図る。 ②町内企業に障害者差別解消条例を周知し、合理的配慮の提供に関する理解を促進する。			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の方向性	(福祉課) ・連携協定を締結している第一生命保険(株)と連携し、男女共同参画のまちづくりを進めていくための意識啓発のための講座を開催する。また、講座の内容に関しては、より男女共同参画についての啓発に繋がる内容を検討する。 ・研修会などを通じ、障がいを理由とする差別の解消についての周知を図ることで、障がいへの理解や合理的配慮の提供に関する理解を深める。
	評価理由	(福祉課) ・協定を締結している第一生命保険(株)と連携し、長い人生をより幸せに生きていくため、ライフプランに対する意識向上を図ることを目的とした講座を開催したうえで、参加者に対し男女共同参画についての啓発を行った。 ・差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供について、町ホームページや広報、20歳式においてリーフレットを配布するなど周知し、理解の促進につなげた。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策34 互いに支えあい、人権を尊重するまちをつくります

課・係	福祉課 人権・地域福祉係
	生涯学習課 社会教育係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
核兵器廃絶平和の町 宣言事業 (福祉課)  <予算科目>			戦争は、生存する権利さえも脅かす人権侵害であり、平和であることにより人権が守られる。戦争という過ちを二度と繰り返さないため、住民を対象に平和事業を実施することで、戦争の悲惨さ、平和の大切さを次世代に引き継ぐ。	<b>【平和事業】</b> ・事業を実施することで、命の尊さや平和の大切さについて考え、平和を願う機会とする。 <b>【千羽鶴事業】</b> ・住民が折った折鶴で千羽鶴を作成し、長崎に献納する。 <b>【原爆写真パネル展】</b> ・原爆による被害状況を伝え、核兵器廃絶の意識啓発を図る。	<b>【平和事業】</b> ・命の尊さや平和の大切さについて考え、平和を願う機会として事業を実施。また、3年に一度は、岡垣サンリーアイを使用した大規模イベントを実施。 <事業の概要> 日程 令和5年9月15日（金） 内容 RKBアナウンサーによる音読教室 実施校 吉木小学校（6年生） <b>【千羽鶴事業】</b> ・町公共施設に折鶴作成コーナーを設置。千羽鶴を作成し長崎に献納。（7～8月） <b>【原爆写真パネル展】</b> ・いこいの里及び地域交流センターで原爆写真パネル展を実施。（8月）	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
款	項	目				一般財源	184	
2	8	1				計	184	
						合計	184	
男女共同参画事業 (福祉課)  <予算科目>			住民・事業者に対し、講座や啓発事業を行うとともに、地域の諸団体における女性の積極的な登用を促進することで、男女共同参画社会の推進を図る。	1. 男女共同参画講座 住民を対象とした講座を行い、男女共同参画を学ぶ機会とする。  2. 啓発事業 男女共同参画やDV防止等に向け、広報やホームページ、SNS、男女共同参画週間の街頭啓発、まつり岡垣など、様々な機会を捉え啓発を行う。  3. 政策・方針決定の場への女性の参画推進 町における政策・方針決定の場への女性の参画を促すため、審議会等における女性委員登用率の目標を設定し、目標を達成できるよう各課及び関係団体に協力を依頼する。	1. 男女共同参画講座 第一生命保険（株）との連携協定に基づいた事業を実施。 ・参加者 27名  ○女性人材リスト登録者交流会 登録者の交流及び意識向上を目的とし、「防災」をテーマに実施。 ・参加者 16名  2. 啓発事業 ・まつり岡垣において、男女共同参画のブースを設置し啓発物品の配布を実施。 ・町公式ホームページやSNSの他、介護保険被保険者証交付時などで啓発を実施。  3. 政策・方針決定の場への女性の参画推進 ・町審議会等における女性登用率向上のため、必要に応じ審議会等の改選時に所管課にヒアリングを行うなど、委員構成の見直しや、選出団体等への協力の働きかけを行った。 審議会等の女性登用率 37.2%（令和6年4月1日現在）	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
款	項	目				一般財源	200	
3	1	3				計	200	
						合計	200	

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)	
人権教育啓発事業 (生涯学習課)	人権に対する正しい理解を深める啓発・教育活動を推進することで、差別のない社会を目指す。	1. 人権教育推進協議会への支援 人権教育推進協議会の運営支援を行い、町民の人権教育を推進する。  2. 人権啓発活動・人権講演会 人権教育推進協議会と連携し、人権啓発冊子の作成や町民への全戸配布のほか、街頭啓発の実施、人権講演会の開催などに取り組む。	1. 人権教育推進協議会への支援 ・人権教育推進協議会補助金 350千円 ・総会 7月1日開催 (参加者数: 73名) ・役員会 6回開催 ・人権啓発活動について連携  2. 人権啓発活動・人権講演会 <b>【人権啓発活動】</b> ・人権啓発冊子作成 (全戸配布) ・人権街頭啓発 (6月・12月) ・のぼり旗 ・人権の花ひまわり運動 (海老津小3年生) ・児童生徒の人権作品募集・展示 (岡垣サンリーアイ) <b>【人権講演会】</b> 開催日: 12月2日 (土) 会場: 岡垣サンリーアイ小ホール 講師: 石川結貴さん 参加者: 102名 <b>【財源】</b> ・県人権・同和問題啓発事業費補助金 368千円 ・人権啓発活動地方委託事業委託金 39千円	国庫支出金	
				県支出金	407
<予算科目>				その他の特定財源	
款	項	目	財源内訳 町費 起債 一般財源 967 計 967		
3	1	3			

施策の成果報告書

施策35 相談体制を強化し、DVや虐待被害者に寄り添い、支援します

課・係	福祉課 人権・地域福祉係
	福祉課 障がい者支援係
	長寿あんしん課 地域包括支援係
	子育てあんしん課 こども家庭支援係
	こども未来課 保育・幼稚園係

1. 総合計画の内容

基本目標	4	誰もが元気で自分らしく暮らせるまち
政策	3	互いに支えあい、ともに歩むまちをつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標				指標			
	① 審議会などの女性登用率	単位	現状値	R12目標値	③	単位	現状値	R12目標値
		%	34.9	40				
	②				④			

施策名	(2) 相談体制を強化し、DVや虐待被害者に寄り添い、支援します	重点テーマ	地方創生
施策の内容	○DVや児童虐待・障害のある人への虐待・高齢者虐待などの被害を防止するため、啓発活動や社会全体での見守りを進めるとともに、関係機関との連携体制を強化し、被害者を支援します。 ○相談体制を強化するため、子ども家庭総合支援拠点や地域包括支援センターなどで相談を受ける職員のスキルアップを図ります。		

2. 施策の成果

成果指標	指標					指標				
	① 児童虐待による死亡事案発生件数	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
		件	0	0	0					
	② 障害者虐待に関する常時相談窓口の設置数	箇所	3	3	3	④				

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(福祉課・長寿あんしん課・子育てあんしん課・こども未来課) ・重層的支援体制整備事業や相談センターとの連絡会などを活用し、障がいや貧困、DV、子育てなど、重複した課題を抱えている世帯への寄り添った支援を継続することで、必要な情報共有及び関係課・関係機関の連携強化を図り、課題解決に向けた取組みを継続する。 (子育てあんしん課) ・子ども家庭センターを設置し、母子保健・児童福祉双方の観点から支援が必要な世帯に対する支援プランの作成や定期的なケース会議を開催することで、切れ目ない支援を展開する。 ・子育て世帯にとって身近な相談機関として、こども未来館を地域子育て相談機関として位置づけ、子育て相談事業の充実を図る。また、相談内容の状況に応じてこども家庭センターへ情報を提供し、適切な支援につなげる。
	評価理由	(福祉課・長寿あんしん課) ・障がい者虐待や高齢者虐待については、相談センターなどの関係機関と連携し、情報確認を迅速に行うなど、虐待に伴う養護者等の課題解決に向け、支援した。また、月1回連絡会議を実施し、障がいのある人や高齢者に対する困難な相談事例を共有した。 (福祉課・長寿あんしん課・子育てあんしん課・こども未来課) ・令和4年度から引き続き重層的支援体制整備事業に取り組み、福祉課・長寿あんしん課・こども未来課・子育てあんしん課・社会福祉協議会において、月1回コアメンバー会議を開催し、複合的な課題を抱える世帯の状況等の共有や今後の支援方針等についての協議を行った。また、特に多機関の関与が必要なケースについて、2回の重層的支援会議を開催し、関係機関も含めた情報共有及び支援計画の検討・協議を行った。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①地域住民や民間団体による子どもの見守り活動の推進（子ども食堂など子どもの居場所づくりに取り組む個人・団体の増加） ②児童・障害のある人・高齢者虐待に関する相談窓口を周知する。（住民に相談窓口の存在を認知してもらうことで、社会全体での見守り体制が強化される）			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	(福祉課・子育てあんしん課・長寿あんしん課) ・引き続き広報紙への啓発記事の掲載に加え、SNSを活用した啓発活動を実施することで、住民の虐待等に対する知識を深め、社会全体での見守り体制の強化につなげる。 (子育てあんしん課) ・地域資源開拓・運営支援コーディネーターを配置し、子ども食堂の継続的な運営支援や居場所づくり事業実施に向けた支援、官民間わが子育て支援サービスの情報集約を行い、各家庭の状況に応じた適当なサービスにつなげられる体制を整える。 ・母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金の活用など、特定財源の確保に努めることで、支援団体への継続的な財政支援が可能な体制を構築する。
	評価理由	(福祉課・子育てあんしん課・長寿あんしん課) ・広報紙への啓発記事の掲載やチラシの配布など、あらゆる機会を通じて、虐待に関する相談窓口を周知することで、社会全体での見守り体制の強化を図った。 (子育てあんしん課) ・子ども食堂に関する財政的支援や子どもの見守りに関する情報共有、対応に関する助言などを積極的に実施し、地域での見守り活動の推進につなげた。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策35 相談体制を強化し、DVや虐待被害者に寄り添い、支援します

課・係	福祉課 人権・地域福祉係
	福祉課 障がい者支援係
	長寿あんしん課 地域包括支援係
	子育てあんしん課 家庭支援係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	町費
DV・障がい者虐待防止 対策事業 (福祉課)	啓発活動や関係機関と連携した相談体制等を強化することで、被害者を支援し、配偶者間の暴力（DV）、障がいのある人への虐待などの被害を防止する。	1. DV等相談窓口連絡会議 DVの防止並びに被害者の保護に関し、庁内の関係部署が相互に連携し、被害者への的確な支援を行う。  2. DV相談受付・防止啓発 DV被害者の相談受付や専門機関の案内、DVの防止について周知・啓発を図る。  3. 障がい者虐待防止対策 障がい者虐待の解決に向け、関係課や専門チームと連携し、被害者を支援する。	1. DV等相談窓口連絡会議 ・庁舎内関係課による会議開催（年3回）  2. DV相談受付・防止啓発 ・個別ケース会議 随時開催 ・相談受付件数 4件 ・支援措置者名簿登録数 134人（68世帯） ・相談連絡先周知カードを公共施設、病院や商業施設の女性トイレ等に配置。 ・20歳式においてデートDVに関するリーフレットを配布  3. 障がい者虐待防止対策（相談件数 0件） ・通報に基づく事実確認、調査、ケース会議開催（随時） ・専門チームのケース会議出席、助言（困難案件発生時）  ※事業費は、「施策33：地域生活支援事業（P130）」及び「施策34：男女共同参画事業（P134）」に計上	国庫支出金	
				財源内訳	町費
				起債	
				一般財源	
				計	
				合計	
<予算科目>					
款	項	目			
3	1	3			
3	1	5			
権利擁護推進事業 (長寿あんしん課)	関係機関と連携し、相談体制や見守りを強化することで、虐待を未然に防ぐとともに、被害者を支援し、高齢者虐待などの被害を防止する。	○高齢者虐待対応 虐待疑いの相談・通報に対する事実確認等により、虐待の有無・緊急性を判断し、高齢者本人や養護者を支援する。	○高齢者虐待対応※（）は前年度実績 ・通報件数 3件（16件） ・虐待認定 2件（6件） (内訳) 心理的虐待 0件（2件） 介護・世話の放棄・放任 1件（0件） 身体的虐待 1件（5件） 経済的虐待 0件（0件） 性的虐待 0件（0件）  ※事業費は、成年後見制度利用促進事業（P127）に計上	国庫支出金	
				財源内訳	町費
				起債	
				一般財源	
				計	
				合計	
<予算科目>					
款	項	目			
3	1	7			

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
要保護児童対策 地域協議会事業 (子育てあんしん課)			啓発活動や関係機関と連携した見守り体制を強化するとともに、被害者を支援し、児童虐待などの被害を防止する。また、相談対応職員のスキルアップを図ることで、相談体制を強化する。	1. 要保護児童対策地域協議会 (1) 支援対象児童の継続的な支援に向け、定期的に関係機関との情報共有を行い、支援方針の検討を行う。 (2) 相談対応職員や関係機関スタッフの児童虐待対応に関する研修会、講演会への参加を促進することで、相談対応職員のスキルアップを図る。  2. 支援対象児童等見守り強化事業 支援対象児童の定期的な見守りを行う子ども食堂に対して事業費の一部を補助する。	1. 要保護児童対策地域協議会 ・代表者会議 年1回 (5/25) 開催 ・実務者会議 年3回 (5/25・10/27・2/22) 開催 ・庁舎内連絡会議 月1回開催 ・個別ケース会議 年間18回開催 ・相談受付件数 122件 (前年度比+21件) ・要対協登録児童数 (令和5年度末時点) 85件 (前年度比-17件) ※要対協登録には至らない家庭環境等に関する児童家庭相談が増加傾向にある。 <b>【職員への参加支援】</b> ・児童福祉司任用前研修 ・要保護児童地域対策協議会調整担当者研修 ・児童家庭相談業務に資する研修会 ・講演会の情報提供 等  2. 支援対象児童等見守り強化事業 月1回の支援対象児童の報告、要保護児童地域対策協議会への参画 (補助限度額 600千円) ・補助団体 1件 600千円  ※事業費は、子ども家庭総合支援拠点事業 (P71) に計上	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	
						起債		
一般財源								
計								
合計								
< 予算科目 >								
款	項	目						
3	2	1						

施策の成果報告書

施策36 都市の再生に向けた土地利用を進めます

課・係	都市建設課 都市計画係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	1	成熟した都市の再生を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	用途地域内人口	人	24,698	24,005	③				
②					④					

施策名	(1)	都市の再生に向けた土地利用を進めます	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	○人口減少下における町全体の土地利用の方向性を定めるため、国土利用計画や都市計画マスタープランの見直しを行います。 ○地域の特性に応じ、計画的な土地利用による持続可能な都市づくりを進めるため、立地適正化計画を策定します。					

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①						③					
②						④						

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・第2次都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、居住・福祉・医療・商業・公共施設等の都市機能の立地を誘導するための施策に長期的な視点で取り組む。 ・立地適正化計画に掲げる土地利用の方向性と整合を図るため、適時、用途地域の見直しを行っていく。 ・第2次都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づく都市再生整備計画を策定し、駅前周辺整備事業等の整備を推進する。 ・令和5年3月に条例制定した「まちなか居住地創設奨励金制度」を効果的に活用し、定住人口の増加を促進する。
	評価理由	・岡垣町第2次都市計画マスタープランにおいて、JR海老津駅周辺を「駅前都市拠点」に位置付けていることから、様々な都市機能の集積・充実を図るため、第一種居住地域から商業地域へ用途の見直しを行った。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策36 都市の再生に向けた土地利用を進めます

課・係	都市建設課 都市計画係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
都市計画策定等事業 (都市建設課)  <予算科目>	人口減少下において、地域の特性に応じた土地利用、都市施設の整備に関する都市関連計画の見直しや策定を行うことで、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るとともに、持続可能な都市づくりを推進する。	○都市計画審議会 都市計画に関する事項について、審議を行う。  ○用途地域の見直し 立地適正化計画での誘導方針に基づき、居住や都市施設の立地誘導を行う地域を定めるため、用途地域の見直しを行う。	令和5年度は、都市計画審議会を3回開催し、用途地域の見直しに関する審議を行った。また、駅前の用途地域を商業地域に変更し、特別用途地区の条例を制定した。（令和6年3月施行）  （主要な業務） ・用途地域部分見直し業務 1式 3,366千円 ・遠賀広域都市計画総括図印刷業務 1式 440千円	国庫支出金	
				県支出金	63
				その他の特定財源	7
				町費	
				起債	
一般財源	4,292				
計	4,292				
合計	4,362				
款	項	目			
8	5	1			

施策の成果報告書

施策37 新しい公共交通体系を構築します

課・係	都市建設課 都市計画係
-----	-------------

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	1	成熟した都市の再生を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	用途地域内人口	人	24,698	24,005	③				
②					④					

施策名	(2)	新しい公共交通体系を構築します	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	○民間路線バスやコミュニティバスは、住民のニーズを反映した利用状況や民間事業者の動向を踏まえ、新しい公共交通体系を構築します。					

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	コミュニティバス年間利用者数	人	105,123	120,000	131,720	③					
②						④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な受益者負担の設定による持続可能な公共交通の構築を図ることを目的とした運賃改定や、令和4年9月の再編後の公共交通体系の利用状況の把握による再編効果の検証を行う。</li> <li>岡垣町第4次公共交通体系整備計画に基づく施策に取り組むとともに、住民の移動ニーズに合わせたコミュニティバス路線などの幹線軸の維持、乗合タクシーなどの支線交通の運行効率の改善に取り組む。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標としているコミュニティバスの年間利用者数は、目標値を達成することができた。</li> <li>近年の社会情勢の変化に伴い、住民の移動ニーズが大きく変化しているため、乗降調査等の結果を踏まえ、公共交通協議会において今後の方針、経過等を協議した。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策37 新しい公共交通体系を構築します

課・係	都市建設課 都市計画係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
公共交通体系整備事業 (都市建設課)	住民の利用状況や民間事業者の動向を踏まえ、住民ニーズを反映した路線の再編やダイヤ改正を行い、住民の交通手段を確保する。	<p>1. コミュニティバス・乗合タクシー運行業務 運行事業者と委託契約を締結し、年間を通した確実な運行と安全に利用できる環境づくりを行う。</p> <p>2. 地域公共交通協議会 今後の持続可能な地域公共交通の維持・確保に向け、関係者（行政、有識者、交通事業者）が公共交通の目指す姿とその実現に向けた施策の方向性を広く共有し、一体的に取り組みを実施していく。</p>	<p>令和5年度は、令和4年9月から実施したコミュニティバス路線の再編、乗合タクシー運行区域の拡大による運行状況を注視し、情報の収集に努めた。</p> <p>1. コミュニティバス・乗合タクシー運行業務 運行日：令和5年4月1日～令和6年3月31日 【コミュニティバス】 波津系統、松ヶ台循環線（ポンチョ2台運行） (輸送人員計：84,446人) 運行委託料：15,408千円 岡垣循環線（ジャンボ3台運行） 運行エリア：中央公民館を発着とし、元松原、糠塚、高陽、海老津駅、サンリーアイ等を経由 (輸送人員計：47,274人) 運行委託料：19,684千円 【乗合タクシー】 運行エリア：上畑、上高倉、海老津、戸切、戸切百合、駅南、龍王団地など 輸送人員計：6,189人 運行委託料：5,685千円</p> <p>2. 地域公共交通協議会 【地域公共交通協議会】 協議会負担金：20,496千円 うち西鉄バス運行補填金：14,960千円</p>	国庫支出金	
				町費	83,541
<予算科目>				県支出金	5,261
				その他の特定財源	9,470
				起債	
				一般財源	68,810
				計	68,810
				合計	83,541
款	項	目			
8	5	5			

施策の成果報告書

施策38 定住を促進するための支援に取り組みます

課・係	こども未来課	こども未来係
	都市建設課	建築住宅係

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	1	成熟した都市の再生を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 用途地域内人口		人	24,698	24,005	③				
②					④					

施策名	(3) 定住を促進するための支援に取り組みます	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容	<p>○計画的な土地利用による住宅開発の誘導を行うとともに、既存住宅の利活用や多世代の同居・近居に対する支援により、子育て世代を中心とした定住の促進に取り組みます。</p> <p>○空き家等対策計画に基づき、所有者・地域・民間事業者・行政が一体となった取組を行い、空き家の予防と解消に努めます。</p> <p>○老朽化が進む町営住宅は、入居状況や住民ニーズを踏まえ、中長期的な視点から、そのあり方を検証します。</p>			

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 純移動数の増加（流入人口と流出人口差）		人	186	200	162	③					
②						④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(こども未来課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者世代の結婚を後押しすることで、出生数や定住人口の増加に繋げるため、引き続き結婚新生活支援事業を実施する。</li> </ul> <p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい定住奨励金制度を周知し、定住促進や空き家の解消及び立地適正化計画における居住誘導区域への定住者の緩やかな誘導を図る。また、移住希望者を対象としたお試し居住について、制度設計し運用を開始する。</li> <li>第2次空き家等対策計画に基づき、空き家の予防、適正管理、解消に向けた取組みを進める。</li> <li>相続財産清算人の選任申立により、将来放置される可能性の高い空き家の解消に努める。</li> <li>町営住宅は、効果的な修繕により現在の施設機能の維持を図りながら、入退去にあわせて、適正な管理戸数となるよう適宜調整を行う。</li> </ul>
	評価理由	<p>(こども未来課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新婚世帯を対象とした経済的支援の実施により、結婚を実現できる環境を提供することで、転入に繋がった。</li> </ul> <p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画に即した定住促進施策になるよう、定住奨励金制度の見直しを実施した。</li> <li>新たな空き家が発生しているが、地域や民間事業者と連携した取組みにより、空き家は確実に解消していることから、空き家の総件数は減少した。</li> <li>相続人がいない空き家について、相続財産清算人の選任申立による対応を開始した。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①空き家化の予防と空き家の解消について住民意識の向上を図る。（空き家相談会や出前講座などを活用）			
	②			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の予防と解消を図るため、高齢者も参加しやすい自治区公民館での空き家相談会を開催するなど、住民意識の向上に向けた取組みを進める。</li> </ul>
	評価理由	<p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家相談会、出前講座・セミナーを実施するなど、空き家問題を考えるきっかけづくりを行った。また、自治区長や民生委員と連携し、適正な空き家管理や指導に取り組んだことで、空き家の予防と解消に努めた。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策38 定住を促進するための支援に取り組みます

課・係	こども未来課  こども未来係
	都市建設課  建築住宅係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	町費
定住促進対策事業 (都市建設課)	子育て世帯・若年世帯の中古住宅の利活用や解体新築に対し支援を行うことで、定住促進や中古住宅の流通促進、空き家の解消を図る。	1. 中古住宅購入補助 町内に居住するため、中古住宅を購入又は解体し新築した子育て世帯や若年世帯を対象とする。 <経過> ・第2期 解体新築、新築、中古住宅購入に5年間分割補助 ・第3期 解体新築、中古住宅購入に一括補助 ・第4期はR6.1～ 立地適正化計画に即して新築、解体新築、中古住宅購入に一括補助  2. 三大都市圏等からの移住支援 三大都市圏等から岡垣町に移住を希望する者を対象とする。	1. 中古住宅購入補助 定住奨励金 第2期定住奨励金 7件 670千円 (4年目：新築1件、中古購入1件 5年目：新築3件、解体・新築1件、中古購入1件) 第3期定住奨励金 27件 9,800千円 (解体新築4件、中古住宅購入23件)  2. 三大都市圏等からの移住補助 2件 1,600千円  3. 内浦、戸切民間賃貸住宅家賃補助 (R5.3まで) 8件 1,140千円	国庫支出金	1,286
				県支出金	1,200
				その他の特定財源	
				町費	起債
	一般財源	10,848			
	計	10,848			
合計				13,334	
結婚新生活支援事業 (こども未来課)	経済的な理由で結婚をあきらめている人たちを経済的に支援し、結婚を実現できる環境を提供することで、出生数の増加を図るとともに、定住人口の増加に繋げる。	○概要 新婚世帯の住居の購入費や家賃など、住まいに関する費用や引越に関する費用を婚姻時の夫婦の年齢に応じ、最大30万円（夫婦ともに29歳以下の場合60万円）まで補助する。  ○対象世帯 ①次に当てはまる新婚世帯 ・令和5年3月1日～令和6年3月31日に婚姻し、婚姻日時点で夫婦共に39歳以下 ・夫婦の所得を合算した額が500万円未満 ②前年度に交付決定を受け、補助上限額まで達していない新婚世帯。	○制度の周知 ・広報おかがき（年2回）、町公式ホームページによる周知 ・婚姻届提出時や住居購入に伴う転居・転入時における制度周知 ・定住促進に関する取り組みとともに移住希望者へ周知 ・町内不動産業者へ制度周知  ○補助金の交付件数 28件（合計：9,418千円） うち対象世帯① 22件 対象世帯② 6件  ----- 事業効果（対象世帯①分） [定住者] 44人（うち転入者34人） [出生児] 6人	国庫支出金	
				県支出金	6,280
				その他の特定財源	
				町費	起債
	一般財源	3,138			
	計	3,138			
合計				9,418	
<予算科目>					
款	項	目			
2	8	1			
3	1	1			

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
町営住宅維持管理事業 (都市建設課)  <予算科目>			町営住宅の老朽化に伴う損傷や不良箇所の修繕を行うことで、建物の長寿命化を図る。	<b>【修繕業務】</b> 室内外の不良箇所の修繕や退去時の室内改修を行う。 ・三吉団地 57戸 ・龍王団地 115戸 ・海老津団地 24戸	<b>【各種実績】</b> ・修繕料 3,486千円 ・保守点検 1,662千円 ・草刈委託 491千円 ・工事費 0千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
款	項	目					一般財源	6,420
8	4	1					計	6,420
							合計	6,420
空き家対策推進事業 (都市建設課)  <予算科目>			空き家対策の推進に関する特別措置法に基づき、所有者・地域・民間事業者・行政が一体となった空き家対策を促進することで、空き家の予防と解消を図り、住環境を守る。	1. 岡垣町空き家等対策計画の推進 空き家の利活用及び適正管理を推進するため、岡垣町空き家等対策計画を策定し、空き家化の予防と空き家の流通促進を図る。  2. 空き家等対策協議会 空き家の予防や解消に関する事項について審議を行う。  3. 空き家バンク制度 空き家所有者にアンケート調査を行い、売却希望者に空き家バンク登録を紹介する。  4. 老朽空き家等解体補助・固定資産税の減免 老朽空き家等の解体補助や固定資産税の減免による更地の流通を促進する。	1. 空き家等対策協議会 ・空き家の予防・解消について審議した(全2回)。 ・空き家の把握を強化し、新たに126件を把握した。(年度末871件把握) ・空き家所有者への相談会 6/18、9/23に開催(相談者21人) ・空き家の適正管理指導 52件 ・相続財産清算人選任申立 1件  2. 空き家バンク制度 空き家所有者にアンケート調査と啓発チラシの配布を行った。  3. 老朽空き家等解体補助・固定資産税の減免 老朽空き家等解体補助金 2件 544千円 固定資産税の減免 9件 475千円	財源内訳	国庫支出金	101
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
款	項	目					一般財源	1,425
8	4	2					計	1,425
							合計	1,526

## 施策の成果報告書

### 施策39 海老津駅周辺の活性化に取り組みます

課・係	おかがきPR課 商工観光係
	都市建設課 都市計画係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	1	成熟した都市の再生を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標		
	① 用途地域内人口	単位	現状値	R12目標値	③	R12目標値
②		人	24,698	24,005		④

施策名	(4)	海老津駅周辺の活性化に取り組みます	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	<p>○JR海老津駅周辺は、民間活力を活用して交通拠点機能の強化、まちなか居住の推進、回遊・交流・集いの場づくりをテーマとして、活性化に取り組みます。</p> <p>○JR海老津駅を快適に利用できる環境整備に取り組みます。</p>					

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標		
	① JR海老津駅の利用者数	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③
②		人	6,356	8,000	未定	④

施策 評価	C	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海老津駅前周辺整備事業については、引き続き関係課間で連携しながら、地権者との協議を行い、用地確保に努める。また、金融機関等に対して情報提供を求めるとともに、民間事業者の誘致を促進する。</li> <li>・快適に利用できる海老津駅の環境整備を進めるため、トイレやシェルターなどを定期的に清掃するとともに、駅前ロータリーの交通混雑の解消に向けた施策の検討を継続する。</li> </ul>
	評価理由	<p>(都市建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海老津駅前周辺整備事業の進捗状況や課題等について、関係課で情報共有しながら整備促進に向けて取り組んだが、地権者との用地交渉協議が難航し、用地取得に遅れが生じている。</li> <li>・駅前広場を快適に利用できるよう、公衆トイレの改修工事を行った。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策39 海老津駅周辺の活性化に取り組みます

課・係	おかがきPR課 商工観光係
	都市建設課 都市計画係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
駅前イルミネーション 整備事業 (おかがきPR課)  <予算科目>			町の玄関口であるJR海老津駅をイルミネーションで装飾することで、町の交流人口を増やすとともに、駅周辺の活性化を図る。	町玄関口であるJR海老津駅を華やかにするため専門業者に委託してイルミネーションを設置する。  <b>【設置箇所】</b> 駅前ぎやらり～ 駅前中央広場 駅前樹木4本	○設置場所及び設置期間 <b>【駅前中央広場及び駅前樹木4本】</b> 令和5年12月1日～令和6年1月31日 <b>【駅前ぎやらりー】</b> 令和5年12月1日～令和5年12月25日	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
一般財源	738							
計	738							
合計		738						
海老津駅前周辺 整備事業 (都市建設課)  <予算科目>			民間活力を活かした交通拠点機能の強化、まちなか居住の推進、回遊、交流、集いの場づくりなどをテーマとしたまちづくりを展開することで、まちの玄関口である海老津駅周辺の活性化を図る。	○海老津駅周辺整備計画 現在の駅前周辺の状況を踏まえ、「交通拠点の強化」「まちなか居住の促進」「回遊・交流・集いの場づくり」をテーマに掲げ、整備構想に基づく土地利用を行い活性化を図る。  (整備面積) 南街区：6,891㎡ 町営駐車場の集約化と残地の民間活用 北街区：4,972㎡ 民間マンションを主体とした複合施設整備	令和3年度に策定した整備計画案に基づき、整備用地取得に向けた用地測量、物件調査業務を実施し、その成果をもって、令和4年度より地権者と個別交渉を行っている。  ・海老津駅周辺物件調査業務 1式 4,587千円 ・海老津駅前周辺整備事業提案公募等支援業務 1式 2,200千円  (繰越：物件補償契約 1件 1,262千円)	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
一般財源	8,054							
計	8,054							
合計		8,054						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
駅前広場管理事業 (都市建設課)			駅前広場内の樹木管理や駐車場、エレベーターなどの施設を適切に管理することで、駅利用者の安全を確保するなど、駅を快適に利用できる環境を整備する。	<p>1. 駅前広場管理業務 樹木管理やトイレの清掃、関連施設(駐車場・自由通路・エレベーター)の点検管理を行う。</p> <p>2. 駅西側道路用地の有効活用 海老津駅に隣接する道路用地について、目的に応じた活用を促進する。</p>	<p>駅前広場内の樹木管理やトイレ清掃、各施設(駐車場・自由通路・エレベーター)の維持管理を行うとともに、北側トイレの改修を行った。また、ロータリー内の交通混雑解消に向け、看板を設置し利用者への注意喚起を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場管理業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>南北植栽剪定管理 南北トイレ清掃管理</li> <li>南側駐車場、自由通路、エレベーター管理</li> </ul> </li> <li>・海老津駅トイレ改修工事 (北側) 20,909千円</li> <li>・駅前広場道路工事 1,081千円</li> </ul> <p>※地域活性化事業債 充当率90% 交付税措置率30%</p>	財 源 内 訳	国庫支出金	
							県支出金	
その他の特定財源	1,425							
町 費	起債	18,300						
	一般財源	7,209						
計		25,509						
合計		26,934						
<予算科目>								
款	項	目						
8	5	2						

## 施策の成果報告書

### 施策40 利便性の高い道路交通ネットワークをつくります

課・係	都市建設課 都市計画係
-----	-------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	2	安全で便利な都市基盤をつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標		
	① 都市計画道路の整備率	単位	現状値	R12目標値	③	R12目標値
②					④	

施策名	(1) 利便性の高い道路交通ネットワークをつくります	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	<p>○国道3号岡垣バイパスの4車線化の早期完了に向けて、整備促進期成会と連携し、継続的に関係機関への働きかけを進めます。</p> <p>○都市計画道路など主要な幹線となる県道原・海老津線バイパスと県道岡垣・宗像線バイパスの整備に向けた取組を進めます。</p>				

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標		
	① 4車線化事業進捗率	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③
②						④

施策 評価	A	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>・県道原海老津線バイパスや県道岡垣宗像線バイパスについては、早期完成に向け、地元調整など県土整備事務所と連携し対応する。</p>
	評価理由	<p>・国道3号岡垣バイパス4車線化及び野間・山田ランプが完成し、令和6年2月に町民参加型の完成式典を開催した。完成に伴い、国道3号岡垣バイパス4車線化促進期成会(宗像市・福津市・遠賀町・水巻町・岡垣町)を解散した。</p> <p>・県道原海老津線バイパスは、計画的に工事が進捗しており、県道岡垣宗像線バイパスは、一部用地の取得に向け、地権者との協議が進められている。</p>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 4 0 利便性の高い道路交通ネットワークをつくります

課・係	都市建設課 都市計画係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				町費	合計
国道3号岡垣バイパス 4車線化推進事業 (都市建設課)  <予算科目>	国道3号岡垣バイパスの現行2車線区間の4車線化や、県道原・海老津線バイパスと県道岡垣・宗像線バイパスの整備を進め、交通渋滞や大規模災害に対応する機能を有する幹線にすることで、利便性の高い道路交通ネットワークをつくる。	○国道3号岡垣バイパス4車線化整備促進期成会支援 平成28年度に沿線市町（宗像市・福津市・水巻町・遠賀町、岡垣町）で設立された期成会による国・県などへの要望活動により、事業を促進する。	国道3号岡垣バイパス4車線化整備促進期成会において、国土交通省・財務省への要望活動、完成報告を行った。令和6年2月に事業完成。  ・福岡県、九州地方整備局 1回（8月） 12名参加 ・国土交通省・財務省 2回（7、2月） 7月：5名参加 2月：3名参加	国庫支出金	
				県支出金	
				その他の特定財源	
				起債	
款	項	目	町費	一般財源	1,216
8	5	1		計	1,216
				合計	1,216

施策の成果報告書

施策4 1 安全で快適な道路・橋梁を整備します

課・係	都市建設課 施設整備係
	都市建設課 都市計画係

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	2	安全で便利な都市基盤をつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	都市計画道路の整備率	%	68	95	③				
②						④				

施策名	(2)	安全で快適な道路・橋梁を整備します	重点テーマ		地方創生
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町道の計画的な補修や更新に取り組むとともに、橋梁の長寿命化計画に基づく補修など、効率的な維持管理を進め、道路の安全性を確保します。</li> <li>○街路樹の適切な管理を行い、道路美化に取り組めます。</li> </ul>				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	橋梁改修	本	1	1	1	③					
②	街路樹の伐採本数			222	55	49	④					

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な道路パトロールや自治区の要望に基づき、老朽化、損傷した道路を早期発見し、優先度の高い箇所から計画的に補修することで、安全性の向上を図る。</li> <li>・定期的に橋梁点検を行い、橋梁長寿命化修繕計画に基づく維持補修を行うことで、橋梁の長寿命化及び安全な道路機能を確認する。</li> <li>・自治区と協議し、計画的に街路樹の伐採を進めることで、維持管理費の縮減や道路美化に努める。</li> <li>・令和4年度にサイクリングや観光客の多い中西部地区、令和5年度に町全域を対象として、自転車ネットワーク計画を策定しており、今後、自転車ネットワーク計画に基づき、サイクリングロードの充実化を図っていく。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路パトロールや自治区要望に基づき、老朽化、損傷した道路を補修し、道路の安全性の確保に努めているが、インフラの老朽化が進み、修繕箇所が増加していることなどから、計画的な改修が必要である。</li> <li>・橋梁改修については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修するなど、安全な道路機能を確認した。</li> <li>・街路樹については、令和4年度に引き続き、自治区の要望や地域との協議により計画した路線の伐採を行った。また、根が腐敗した伐採跡については、コンクリートで塞ぐなど、歩行環境の改善を図った。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①	除草等の清掃活動や街路樹の管理など、道路美化や安全性について、企業・自治区・ボランティア活動団体などと連携した取り組みを行う。		
	②			
評価	C	<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も自治区等に対し、除草や清掃活動に必要な除草剤や土嚢袋などを提供するほか、清掃活動時に発生したゴミ等の片付けを行うなど、地域との協力体制の維持・強化を図る。また、高齢化等による担い手不足に対応するため、若者やボランティア団体の参加を促進する施策を検討する。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治区等と連携し、除草や清掃活動により道路環境の美化に努めている。また、窓口等で協力依頼をしているが、自治区の加入率の低下や高齢化等により、担い手が不足している地域もあることから、今後の協力体制の維持が課題である。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策4 1 安全で快適な道路・橋梁を整備します

課・係	都市建設課 施設整備係
	都市建設課 都市計画係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
道路維持補修事業 (都市建設課)	町道等の計画的な補修や更新、街路樹などの適切な管理により、町の景観や道路の安全性を確保するとともに、住みやすさの向上を図る。	1. 道路（車道・歩道）の除草・伐採 道路の除草・伐採を行うことにより、道路の景観をよくするとともに、車両運転手、歩行者の視認性を確保し、安全に通行できる空間を確保する。  2. 道路（車道・歩道）の維持管理 老朽化、損傷した道路の維持補修を行い、車両事故、歩行中の事故を防止する。	1. 道路（車道・歩道）の除草・伐採 ・主要な路線の街路・緑道について、シルバー人材センターと年間契約を行い、除草・消毒を実施した。 ・主要な路線について、車両・歩行者の通行に支障となる樹木について、剪定・伐採を実施した。（街路樹の伐採本数49本）  2. 道路（車道・歩道）の維持管理 自治区要望や道路パトロールを基に、老朽化・損傷した道路や排水路の整備を行った。 【道路維持管理】 年間要望件数 301件 年間処理件数 265件 【道路工事】 ・熊原・矢口線道路舗装工事 15,950千円 工事延長 L=128m 舗装面積 A=950㎡  ・国道3号側道4号線舗装工事 25,144千円 工事延長 L=128m 舗装面積 A=950㎡  ※公共施設等適正管理推進事業債 充当率90% 交付税措置率43%	財源内訳	12,167
				国庫支出金	
				町費	118,518
				合計	130,685
<予算科目>					
款	項	目			
8	2	2			
特定防衛施設周辺整備 調整交付金事業 (都市建設課)	老朽化した道路を計画的に整備することで、道路の安全性を確保し、事故を防止するとともに、住みやすさの向上を図る。	○道路の適正管理 老朽化した道路の整備を行い、車両事故、歩行中の事故を未然に防止し、交通の安全性と道路の機能回復を図る。	・海老津・戸切線道路舗装工事 9,350千円 工事延長 L=80m 舗装面積 A=500㎡ 対象地域 戸切白谷	財源内訳	9,200
				国庫支出金	
				町費	640
				合計	9,840
<予算科目>					
款	項	目			
8	2	3			

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
町道改良事業 (都市建設課)			老朽化した道路や未舗装の道路整備を計画的に行うことで、道路の安全性を確保し、事故を防止するとともに、住みやすさの向上を図る。	○道路の適正管理 老朽化した道路や未舗装の道路の整備を行い、車両事故、歩行中の事故を未然に防止する。また、道路幅員が狭小な道路について改修を行い、安全性・利便性を向上させる。	○道路の適正管理 自治区要望や道路パトロールを基に、老朽化した道路や狭小な道路の改修を行う。 【道路改良事業】 調査・測量・設計 3路線 道路改良工事 4路線 下傘田・町線 4,730千円 間知ブロック A=37.76㎡ 法面工 A= 44.0㎡ 他3路線 対象地区 糠塚 山田 吉木 【上下水道関連事業】 小規模工事 1件 対象地区 東松原	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	6,800
							町費	起債
<予算科目>							一般財源	6,857
款	項	目					計	6,857
8	2	3					合計	13,657
町道改良事業 (社会資本整備 総合交付金) (都市建設課)			道路幅員の確保や道路法面の改修など、適切な管理により道路の安全性を確保し、車両や歩行者を事故から守る。	1. 道路側溝の改修 道路幅員5m未満の道路の側溝を蓋付きに改良することで、道路幅員を5m以上確保し、通行者の安全性の向上を図る。 2. 道路法面の改修 定期的に点検を行い、通行者に危険性のある道路法面を計画的に改修する。	1. 道路側溝の改修 高陽団地内の道路幅員の狭小な路線について、側溝の改修を実施した。 高陽団地1号線 2,200千円 工事延長 L=11.38m 舗装面積 A=44㎡ カラー舗装 A=7㎡ 2. 道路法面の改修 道路法面について、点検結果を踏まえ改修した。 高倉・上畑線法面補修工事 33,826千円 ※社会資本整備総合交付金 補助率50% ※公共事業等債 充当率90% 交付税措置率20%	財源内訳	国庫支出金	18,202
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
<予算科目>							一般財源	1,940
款	項	目					計	18,240
8	2	3					合計	36,442
橋梁維持改良事業 (都市建設課)			道路パトロールや自治区要望等に基づき、簡易的な補修・補強など、橋梁を適切に維持管理することで、橋梁の安全性を確保し、事故を防止するとともに、住民の利便性の向上を図る。	○橋梁の維持補修 橋梁本体や手摺等の一部損傷箇所について、簡易的な補修・補強を行う。	○橋梁の維持補修 自治区要望や道路パトロールを基に、橋梁の簡易的な補修・補強を行った。 町内橋梁数 145橋 【橋梁維持補修工事】 金久曾橋 東黒山2号橋 今橋	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
<予算科目>							一般財源	3,403
款	項	目					計	3,403
8	2	4					合計	3,403

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
道路メンテナンス事業 (都市建設課)  <予算科目> 款 項 目 8 2 4			橋梁長寿命化計画に基づき、老朽化した橋梁の修繕や掛替を行うことで、道路の安全性を確保し、事故を防止するとともに、住みやすさの向上を図る。	○橋梁の修繕・掛替 橋梁点検結果(5年に1度実施)を基に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋梁から計画的に修繕する。	○橋梁の修繕・掛替 橋梁点検の結果を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画に基づき、緊急性の高い橋梁から計画的に修繕を行った。 ①今橋2号橋補修設計 11,510千円 ②千手寺田1号橋補修設計 6,248千円 ③橋梁点検 9,350千円 ④中村橋補修工事 25,748千円  ※社会資本整備総合交付金 補助率55% ※公共事業等債 充当率90% 交付税措置率20%	財源内訳	国庫支出金	28,995
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
							一般財源	7,671
							計	25,171
							合計	54,166
後退道路用地に関する 整備事業 (都市建設課)  <予算科目> 款 項 目 8 5 1			建築基準法第42条第2項に係る後退道路用地を適正に確保することで、生活環境の向上と安全で住みよいまちづくりに寄与する。	○後退道路整備事業 狭あい道路の解消による安全な市街地の形成と、建築物など老朽ストックの建て替えを円滑化するため、後退道路用地の取得などにより、将来的に良好な市街地の形成を図る。 <b>【主な実施概要】</b> ・舗装・用地の取得・工作物の移設補償・測量、登記業務	申請件数 2件 (主な実施業務) ・用地測量	財源内訳	国庫支出金	499
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
							一般財源	500
							計	500
							合計	999

## 施策の成果報告書

### 施策4 2 地域が求める公園づくりを進めます

課・係	都市建設課 都市計画係
-----	-------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	2	安全で便利な都市基盤をつくる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			指標		
	① 都市計画道路の整備率	単位	現状値	R12目標値	③	R12目標値
		%	68	95		
	②				④	

施策名	(3)	地域が求める公園づくりを進めます	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<p>○老朽化している遊具などの施設点検を行い、公園を安全に利用できるよう整備します。</p> <p>○誰もが利用しやすい公園になるよう、地域の実態にあった施設整備と住民との協働による維持管理に取り組みます。</p>			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標			指標		
	① 遊具改修率	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	③
		%	68	68	67	
	②					④

施策 評価	<b>B</b>	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園遊具の施設点検を継続し、不良個所の改修など適切な施設管理により、公園を安全に利用できるよう整備する。</li> <li>・地域との連携により、地域の発想で公園の利用や維持管理ができる新たな制度を計画する。</li> <li>・やすらぎや景観向上など、本来の公園機能の維持に努めるとともに、整備計画に沿って公園樹木の管理に取り組む。</li> <li>・公園の屋外トイレについては、計画的に洋式化を進める。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設点検結果を基に老朽度の高い公園遊具から改修するなど、安全性を確保し、住民が利用しやすい環境を整備した。</li> <li>・松ヶ台東区とふれあい公園の今後の整備や維持管理について協議調整を行なった。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①	地域が主体性をもって地域の公園を管理し、利用する制度の導入。(コミュニティパーク制度)		
	②			
評価	<b>C</b>	<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園を地域が主体性をもって利用、管理できるよう町と自治区が連携し、運用できる新たな制度に取り組む。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松ヶ台東区とふれあい公園の利用実態や今後の整備、維持管理の手法について協議を行なった。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策4-2 地域が求める公園づくりを進めます

課・係	都市建設課 都市計画係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）								
公園等改修整備事業 (都市建設課)  <予算科目> <table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </table>			款	項	目	8	5	2	住宅地の開発行為に伴い整備され、経年劣化が進行している公園施設などの維持管理を適切に行うことで、公園機能を維持回復させ、安全性を確保する。	1. 維持改良工事 緊急性や防犯面などを考慮し、安全に利用できる施設を維持する。  2. 遊具新設工事 地域の利用ニーズから、新設が必要となる遊具を設置する。	憩いやレクリエーションなどの場となる公園を安全かつ効果的に利用できるよう、公園施設の工事や遊具の改修を行った。  1. 維持改良工事 ・野間公園フェンス設置工事 10m ・一丁ため池公園防犯カメラ設置工事 1台 ・新海老津公園入口改良工事 1式 ・施設維持工事 1式  2. 遊具新設工事 ・高尾公園 スプリング遊具2基	財源内訳	国庫支出金	
			款	項	目									
			8	5	2									
			県支出金	170										
			その他の特定財源											
町費	起債													
町費	一般財源	3,431												
		計	3,431											
		合計	3,601											
公園等管理事業 (遊具管理・樹木伐採) (都市建設課)  <予算科目> <table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </table>			款	項	目	8	5	2	公園遊具の機能を損ねないように、毎年、遊具施設の点検を行い計画性をもった予防保全型の管理を行う。また、大木や古木化した樹木について、倒木などの危険性が高いものを処理するなど、公園利用者の安全性を確保する。	1. 公園遊具管理 全公園を対象に遊具の点検を行い老朽度の判定を行う。また、遊具施設点検結果に基づき、危険判定遊具を修繕する。  2. 樹木伐採 公園毎に伐採計画を定め、大木や古木を整備する。	公園遊具の施設点検を通じて、老朽化箇所を維持補修を行った。また、危険な樹木の伐採や支障枝の剪定を行った。  1. 公園遊具管理 ・公園遊具定期点検業務 1式  2. 樹木伐採 ・高木伐採業務 40本 一丁ため池公園、旭西公園、新海老津公園	財源内訳	国庫支出金	
			款	項	目									
			8	5	2									
			県支出金											
			その他の特定財源	105										
町費	起債													
町費	一般財源	20,524												
		計	20,524											
		合計	20,629											

施策の成果報告書

施策4 3 計画的に災害対策を強化します

課・係	地域づくり課 安全安心係
-----	--------------

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	3	災害から住民を守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 自主防災組織の設立自治区数		自治区		32	44	③			
② 避難行動要支援者制度登録者のうち、支援員がいる人の割合		%		35.6	50	④				

施策名	(1) 計画的に災害対策を強化します	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<p>○「地域防災計画」に基づき、頻発する自然災害から住民の生命・財産を守るため、防災関係機関や地域との連携強化に取り組みます。</p> <p>○大規模な自然災害から住民の生命や生活を守ることができるよう「国土強靱化地域計画」を策定し、「事前防災・減災」の取組を強化します。</p>		

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①						③					
②						④						

施策 評価	A	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土強靱化地域計画に基づく個別事業に取り組むとともに、その進捗を管理することで災害対策を強化する。</li> <li>・施設や地域等の避難訓練などの取組みを支援し、地域の防災力の向上を図ることで、減災につなげる。</li> <li>・更新した総合防災マップやハザード内の人口数・世帯数を活用し、住民の防災意識を高める。</li> </ul>
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなハザード情報や自助・共助活動に役立つ防災情報を追加した防災マップを全戸配布することで、住民の防災意識を高めた。</li> <li>・地域を絞った避難情報の発令を行うことや、地域で適切な避難行動をとってもらうため、また、平常時からの訓練等に役立ててもらったため、ハザード内の人口数・世帯数を抽出した。</li> <li>・災害に対して適切な対応が取れるよう、計画的な備蓄資材・備蓄食料の更新により、防災力の向上を図った。</li> <li>・災害時に迅速で適切な対応が取れるよう、関係機関と連携した災害対策本部運営訓練を行うなど、事前防災に取り組んだ。</li> <li>・R5年度から新たに追加となった災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の避難確保計画の作成に向けた支援を行った。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、「伝える」「育てる」「広げる」の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策4-3 計画的に災害対策を強化します

課・係	地域づくり課 安全安心係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）																	
				財源内訳	合計																
消防・防災一般経費 (地域づくり課)	地域防災計画に基づき、防災関係機関や地域との連携強化、国土強靱化地域計画に基づく事前防災・減災の取組の強化など、危機管理体制を強化することで、自然災害から住民の生命、身体及び財産を守る。	住民の生命・身体・財産を災害から守ることを目的として策定した地域防災計画に基づき、防災訓練や情報収集手段の充実による行政の災害対応能力の向上、大規模災害に備えた備蓄品の充実等を図る。	<p>1. 総合防災マップの更新及び配布 新たに公表された小規模河川の洪水浸水想定区域（4河川）の反映や、避難行動判定フロー、マイタイムライン、避難所での過ごし方など、自助・共助活動に役立つ情報を追加し、住民の防災意識を高めるための防災マップを全戸配布した。 事業費 5,907千円 ・R6年3月号広報誌と同時配布（配布数約13,700部）</p> <p>2. ハザード内の人口数・世帯数の抽出 地域を絞った避難情報の発令を行うことや、地域の災害リスクを把握し、適切な避難行動や平常時からの訓練等に役立ててもらうため、ハザード内の人口数・世帯数を抽出した。 事業費 484千円</p> <p>3. 危機管理専門員の配置 地域の防災力の向上や災害対策本部機能の充実、関係機関との連携を図るなど、本町の災害対応能力の維持及び強化を図るため専門員を引き続き配置した。 ・出前講座等の実施（防災）8回 R2（0回）、R3（2回）、R4（4回）</p> <p>4. 職員による防災訓練の実施（R5.5.19） 災害を想定して状況に応じた対応力の強化を図るため、災害対策本部運営訓練を実施した。</p> <p>5. 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援 R5年度中に追加となった16施設中15施設が作成（93.75%） ・残り1施設はR5年度中に対象事業を廃止</p> <p>6. 備蓄計画に基づく備蓄食料等の更新 備蓄食料等を計画的に更新し、避難所運営の対応力を維持した。なお、防災意識の向上を図るため、消費期限の近づいている備蓄食料を関係団体に提供した。 (備蓄食料) 事業費 565千円 ・備蓄用アルファ米、保存水、乳幼児粉ミルク (備蓄食料の配布) ・自治区等17団体に配布 (備蓄資材) 事業費 478千円 ・災害用簡易トイレ</p>	<table border="1"> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>2,342</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>391</td> </tr> <tr> <td>その他の特定財源</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>町費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    起債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    一般財源</td> <td>5,321</td> </tr> <tr> <td>    計</td> <td>5,321</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,554</td> </tr> </table>	国庫支出金	2,342	県支出金	391	その他の特定財源	500	町費		起債		一般財源	5,321	計	5,321	合計	8,554	
				国庫支出金	2,342																
県支出金	391																				
その他の特定財源	500																				
町費																					
起債																					
一般財源	5,321																				
計	5,321																				
合計	8,554																				
<予算科目>																					
款	項	目																			
9	1	4																			

## 施策の成果報告書

### 施策4 4 災害に強いインフラを整備します

課・係	都市建設課 施設整備係
	都市建設課 建築住宅係
	農林水産課 工務係

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	3	災害から住民を守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 自主防災組織の設立自治区数		自治区		32	44	③			
② 避難行動要支援者制度登録者のうち、支援員がいる人の割合		%		35.6	50	④				

施策名	(2) 災害に強いインフラを整備します	重点テーマ	○	地方創生
施策の内容	○自然災害に備え、必要に応じて河川の護岸工事や浚渫工事、治山事業などのインフラの強靱化を推進します。また、既存団地内の計画的な排水路の改修に取り組みます。 ○林地災害やため池の決壊などの災害を防止するため、県と連携し、改修を推進します。 ○公共施設や住宅などの耐震化を計画的に進めます。			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 防災重点農業用ため池の豪雨耐性及び劣化評価		箇所		6	6	6	③				
②							④					

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(都市建設課) ・定期的な河川パトロールや自治区の要望に基づき、河川の不良箇所を早期に発見し、適切に維持管理するとともに、排水路の改修や住宅などの耐震化を計画的に進めることで、安全性を確保するなど、インフラの強靱化を推進する。 (農林水産課) ・ため池の評価診断については、補助事業の動向を踏まえ、速やかに取り組むとともに、対策工事が必要と判断されたものについては、国・県と協議を進めながら早期着手・完了できるように改修を推進する。
	評価理由	(都市建設課) ・河川の浚渫や計画的な排水路の改良により、雨水の排水能力を確保し、河川氾濫等の災害を防止するためのインフラの強靱化を推進した。 ・地震などの自然災害に備えるため、耐震性能を満たさない住宅や危険なブロック塀撤去工事の一部を補助し、耐震化を進めた。 (農林水産課) ・ため池の評価診断は国の補助事業を活用して事業を進めており、要望どおり補助金が配分されたため、計画どおり豪雨耐性及び劣化評価の診断を行った。		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		今後の 方向性	
	②			
評価		A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策4-4 災害に強いインフラを整備します

課・係	都市建設課 施設整備係
	都市建設課 建築住宅係
	農林水産課 工務係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
ため池（農村環境） 整備事業 （農林水産課）  <予算科目>			ため池を良好な状態に保つことで、 農業生産の基盤を守るとともに、林地 災害やため池の決壊などの自然災害か ら住民の生命や財産を守る。	○農村整備総合事業 老朽化等により整備が必要なため池 の改修工事を行う。  負担割合：県50%、町50%  事業要件 対象受益：農用地 受益面積：5.0ha以上 総事業費：500千円以上	○農村整備総合事業 清崎ため池は、護岸浸食が進み隣接する住宅地 に影響を及ぼす恐れがあることから、護岸整備を 行った。 門田ため池周辺は、森林公園として位置づけら れ、多くの方がため池横の通路を利用されてい ることから、景観に配慮した擬木柵を設置し、安全 に配慮した環境整備を行った。  清崎ため池護岸改良 L=14.1m 5,786千円 門田ため池護岸整備 L=78.0m 8,634千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	7,187
							その他の特定財源	
							町費	
起債								
一般財源	8,254							
計	8,254							
合計		15,441						
款	項	目						
6	1	7						
地域ため池（県営） 総合整備事業 （農林水産課）  <予算科目>			ため池を良好な状態に保つことで、 農業生産の基盤を守り、安定した農業 生産活動を支援するとともに、ため池 の決壊などの自然災害から住民の生命 や財産を守る。	【農村地域防災減災事業】 老朽化等により整備が必要な塚田た め池の改修工事を行う。  負担割合：国55%、県30%、町15%  事業要件 農村地域防災減災総合計画（県策 定）への位置付け 堤体、取水設備、洪水吐の整備を伴 う事業 対象受益：農用地 対象面積：2.0ha以上 総事業費：8,000千円以上	【農村地域防災減災事業】 西黒山地区にある塚田（観音）ため池は、老朽 化等により漏水が激しく、ため池下流が湿田化し ていることから、ため池の改修工事を県営事業に て実施した。  地区名：塚田（観音） かんがい面積：6.0ha 工 期：R5～R6予定 工事概要：堤体工、取水設備工、仮設工 事業費：101,500千円 負担金：15,225千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	
起債	14,400							
一般財源	951							
計	15,351							
合計		15,351						
款	項	目						
6	1	7						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)							
ため池防災減災対策事業 (農林水産課)  <予算科目> <table border="1"> <tr><td>款</td><td>項</td><td>目</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td><td>7</td></tr> </table>			款	項	目	6	1	7	劣化状況評価や地震耐性評価などを行い、災害に強いため池の把握や整備をすることで、ため池の決壊などの災害から住民の生命や財産を守る。	○ため池防災減災対策事業 防災重点農業用ため池に係る防災工事等について、令和12年度末までに集中的かつ計画的な推進を図り、災害に強いため池の整備を実施する。  負担割合：国100%  評価対象箇所数 劣化状況評価 51箇所 地震耐性評価 19箇所	○ため池防災減災対策事業 <b>【評価診断業務】</b> 県が策定する防災工事等推進計画に必要な劣化状況評価及び地震耐性評価を6箇所実施した。 ・劣化状況評価 2,817千円 森(中)、森(下)、清崎、清崎(下)、新松原、ゼゼ町 ・地震耐性評価 38,054千円 森(中)、森(下)、清崎、清崎(下)、新松原、金蔵  実施済箇所数 (R3~R5) 劣化状況評価 15箇所 地震耐性評価 14箇所	財源内訳	
			款	項	目								
			6	1	7								
			国庫支出金										
県支出金	40,870												
その他の特定財源													
町費		起債											
		一般財源	1										
		計	1										
		合計	40,871										
河川維持補修事業 (都市建設課)  <予算科目> <table border="1"> <tr><td>款</td><td>項</td><td>目</td></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>2</td></tr> </table>			款	項	目	8	3	2	河川を適切に維持管理することで、災害に強い施設機能を保ち、自然災害から住民の生命と財産を守る。	河川の維持補修や堆積土の浚渫を行い、流下能力の向上を図るとともに、施設の機能回復を図る。	自治区要望や道路パトロールを基に、緊急浚渫推進事業債を活用し、河川の浚渫を行った。  <b>【河川浚渫工事】</b> 海蔵寺川浚渫 1,912千円 工事延長 L=120m 浚渫土砂 V=48.8m <sup>3</sup> 前田川浚渫 943千円 工事延長 L=45m 浚渫土砂 V=21m <sup>3</sup> ※緊急浚渫推進事業債 充当率100% 交付税措置率70%	財源内訳	
款	項	目											
8	3	2											
国庫支出金													
県支出金													
その他の特定財源													
町費		起債	2,800										
		一般財源	57										
		計	2,857										
		合計	2,857										
排水路整備事業 (都市建設課)  <予算科目> <table border="1"> <tr><td>款</td><td>項</td><td>目</td></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table>			款	項	目	8	3	3	団地内の老朽化した側溝の改良や新設により、道路幅員を確保するとともに排水機能の向上を図る。	古くに造成された団地内の老朽化した側溝を蓋付きに改良し、排水機能の向上と道路幅員の確保を図る。また、未整備の地域を対象に排水路を整備することで、雨水排水の円滑化を図る。	<b>【特定防衛周辺整備調整交付金事業】</b> 工事費 23,117千円 4路線 側溝改良延長 L=363.7m 対象地域：東松原 西高陽 南高陽 南山田  <b>【町単独】</b> 委託費 2,937千円 4路線 測量・設計 1式 対象地域：東松原 西高陽 南高陽 南山田  工事費 13,710千円 対象地域：南高陽 東山田 東松原 高陽 山田峠 旭台 他	財源内訳	
款	項	目											
8	3	3											
国庫支出金	21,684												
県支出金													
その他の特定財源	18,000												
町費		起債											
		一般財源	80										
		計	80										
		合計	39,764										

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)								
河川改良事業 (都市建設課)  <予算科目> <table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>			款	項	目	8	3	4	河川護岸の改修を行い、施設の機能を高めることで、自然災害を未然に防止し、住民の生命や財産を守る。	老朽化や損傷した河川護岸の補修・強化を行い、施設の機能を高め、自然災害を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波津地内護岸改修工事 946千円 工事延長 L=8m</li> <li>・湯川地内護岸復旧工事 938千円 工事延長 L=4m</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金	
			款	項	目									
			8	3	4									
			県支出金											
その他の特定財源														
町費	起債													
	一般財源	1,885												
	計	1,885												
合計		1,885												
耐震改修促進事業 (都市建設課)  <予算科目> <table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </table>			款	項	目	8	5	1	耐震基準に満たない木造戸建ての耐震改修工事や道路に面する危険なブロック塀の撤去などを促進し、地震などの自然災害時の家屋やブロック塀の倒壊を防止し、住民の生命や財産を守る。	1. 木造戸建て住宅耐震改修事業 耐震改修工事後に住む見込みがある木造戸建て住宅を対象に耐震改修工事費の一部を補助する。 <b>【補助金額】</b> 補助対象工事費の1/2 最大90万円  2. ブロック塀等撤去費補助 道路に面する1m以上の危険なブロック塀を対象に撤去費の一部を補助する。 <b>【補助金額】</b> 補助対象工事費の2/3 最大16万円	1. 木造戸建て住宅耐震改修事業 2件 1,069千円 ※補助率: 国32%、県25%  2. ブロック塀等撤去費補助 4件 512千円 ※補助率: 国50%、県25%	財源内訳	国庫支出金	345
			款	項	目									
			8	5	1									
			県支出金	636										
その他の特定財源														
町費	起債													
	一般財源	600												
	計	600												
合計		1,581												

施策の成果報告書

施策4 5 自助・共助による防災活動を促進します

課・係	地域づくり課 安全安心係
	福祉課 人権・地域福祉係

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	3	災害から住民を守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		現状値	R12目標値	指標	現状値	R12目標値
	① 自主防災組織の設立自治区数	自治区	32	44		③	
② 避難行動要支援者制度登録者のうち、支援員がいる人の割合	%	35.6	50	④			

施策名	(3) 自助・共助による防災活動を促進します	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	○災害時の情報伝達手段となる地域情報伝達無線システム（でんたつくん）や緊急防災無線システムを適切に運用します。 ○総合防災マップにより、災害のリスク・防災に関する情報を周知し、住民の防災意識を高めます。 ○災害時、地域での初動対応や避難に配慮が必要な人たちの避難などを円滑に進めることができるよう、防災訓練の実施を支援するなど各自治区における自主防災組織の活性化を図り、地域の防災力を強化します。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 校区コミュニティ主体の防災訓練の実施	回数	-	1	1	③					
②											④

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(地域づくり課) ・地域情報伝達無線システム（でんたつくん）などについて、適切に運用するとともに、維持管理を継続する。 ・危機管理専門員を中心に、自主防災組織の新規設置や既存組織の活動の充実を図るための支援を行うことで、自助・共助による地域の防災力を高める。 ・自主防災組織の新規設置や既存組織の防災活動の充実を図るため、更新した総合防災マップの更なる周知やハザード内の人口数・世帯数の情報を自治区に提供し、地域の防災意識を高める。 (福祉課) ・今後も、避難行動要支援者制度登録者のうち支援者がいる人の割合の増加に努めることで、行政、自治区、民生委員・児童委員、地域の近隣住民等が連携し、避難に配慮が必要な人たちの避難などを円滑に進めることができる体制づくりを進める。
	評価理由	(地域づくり課) ・緊急防災無線及び地域情報伝達無線システム（でんたつくん）の計画的な更新や定期的な点検などにより、システムを安定稼働し、事前防災に努めた。また、でんたつくんでは、災害や防犯等の情報だけでなく、イベント情報など、町や地域から多くの情報を発信し、防災意識を高めるとともに、地域の活性化につながった。 ・自主防災組織の新規設置はできなかったが、出前講座等による避難訓練実施の勧奨を行い、地域の防災力を高めるきっかけづくりを行った。また、消防団の派遣を行うことで地域の防災力を高めた。 ・新たなハザード情報や自助・共助活動に役立つ防災情報を追加した防災マップを全戸配布することで住民の防災意識を高めた。（再掲） ・地域を絞った避難情報の発令を行うことや、地域で適切な避難行動をとってもらうため、また、平常時からの訓練等に役立てってもらうため、ハザード内の人口数・世帯数を抽出した（再掲）。 (福祉課) 避難行動要支援者制度登録者のうち、支援員がいる人の割合は令和4年度の52.6%から令和5年度は60.8%となり、支援者がいる人の割合が増加した。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①地域主体の防災訓練の手引きを活用した、地域住民を主体とした避難所運営			
	②自治区や民生委員などと連携を図り、避難支援が必要な人の登録と支援者の確保に努める			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	(地域づくり課) ・今後も、地域が行う防災訓練の必要性について勧奨し、住民の防災意識を高めるとともに、自治区単位・コミュニティ単位で災害に対応できる体制づくりを促進する。 (福祉課) ・災害時の避難支援を実効性のあるものにするため、今後も自治区や民生委員・児童委員などと連携し、支援者の確保に努める。
	評価理由	(地域づくり課) ・R4年度に作成した地域主体の防災訓練の手引きを活用し、校区コミュニティ等で避難訓練や避難所運営訓練が行われ、地域防災力を高めることができた。 (福祉課) ・自治区長会等での制度説明等を行い支援者の確保に努めた結果、支援者がいる人の割合は60.8%となった。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策45 自助・共助による防災活動を促進します

課・係	地域づくり課 安全安心係
	福祉課 人権・地域福祉係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	町費
地域情報伝達無線システム 管理運営事業 (地域づくり課)	緊急情報を発信し、自然災害等から住民の生命や財産を守る。また、行政や自治区等による行政情報等の伝達を行うことで地域コミュニティの運営を支援する。	1. 戸別受信機の設置 戸別受信機を屋内に設置することで、大雨時などでも確実に災害情報等が伝達できるため、転入者に対し設置を推進する。  2. 設備機器等の点検・障害対応 設備機器・システムの定期的な点検、また、戸別受信機の障害対応を迅速に行うことにより、当該事業の安定稼働を図る。	1. 戸別受信機の設置、返還の実施 ・受信機設置 369件（転入者等） ・受信機返還 328件（転出者等） ・地域放送登録者数 258人 <参考> ・戸別受信機設置数（R6年3月末日現在） 一般 11,360台 事業所 716台  2. 設備機器・システムの保守点検等の実施 ・総合保守点検 1回（R5.11.6～10） ・障害対応 66件 ・基地局、戸別受信機等改修  3. 緊急防災無線システムとの連携確認の実施 ・計5回	国庫支出金	
				財源内訳	町費
				その他の特定財源	3,000
				起債	
一般財源	3,476				
計	3,476				
合計	6,476				
<予算科目>					
款	項	目			
2	1	14			
避難行動要支援者 避難支援事業 (福祉課)	要介護（要支援）認定者、障がいのある人など災害発生時に支援を必要とする人に対し、地域や関係機関等と連携した支援や自助・共助による防災活動を促進することで、災害時に円滑に避難できる体制を強化し、住民の生命や財産を守る。	要支援者の登録や避難支援等関係者との情報共有、個別計画作成の推進を図るほか、作成した名簿は日頃の見守り活動に活用する。	・自治区長会、民協定例会での制度の周知及び支援員確保の依頼（5月） ・民協定例会、自治区長会議時に台帳を更新（5月） ・消防署等への情報提供（6月以降） ・12月1日を基準日として対象者に更新・新規登録案内を発送  【対象者】新規1,783人、更新749人 ※変更は随時受付 【避難行動要支援者名簿登録数】（令和6年3月末） ・支援を希望する人 778人 ・避難を支援する人 473人	国庫支出金	
				財源内訳	町費
				その他の特定財源	
				起債	
一般財源	1,200				
計	1,200				
合計	1,200				
<予算科目>					
款	項	目			
3	1	1			

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
緊急防災無線管理 運営事業 (地域づくり課)			屋外に設置する緊急防災無線システム(86子局)について、計画的な更新や点検などにより、適切に運用することで、住民に確実な情報伝達を行い、自助・共助による防災活動を促進するとともに、武力攻撃・自然災害から住民の生命や財産を守る。	設備機器・システムの計画的な更新や定期的な点検、Jアラートとの連携訓練への参加等により、システムの安定稼働を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>システムの保守点検や障害対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>総合点検1回 (R5.9.6~9.25、10.12)</li> <li>障害対応 必要時</li> </ul> </li> <li>子局の錆補修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>錆補修7か所</li> </ul> </li> <li>Jアラートとの連携訓練への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>国民保護、緊急地震速報訓練への参加(計5回)</li> </ul> </li> <li>自動起動装置更新工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>H23年に導入しサポートが終了した当該装置を機能強化させ更新した(ハードディスク2重化)。(緊急防災・減災事業債 6,800千円)</li> </ul> </li> </ol>	財 源 内 訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町 費	起債
	一般財源	7,207						
	計	14,007						
合計		14,007						
<予算科目>								
款	項	目						
9	1	2						
自主防災組織活動等 支援事業 (地域づくり課)			<p>自治区等における防災訓練の実施を支援するなど、自主防災組織の活性化を図り、自助・共助の地域防災力を強化することで、災害時での避難などを円滑に進め、住民の生命や財産を守る。</p> <p>自主防災組織等の防火対策や防災活動に対し、消防団の派遣や研修情報の提供などの支援を行い、活動の充実を図る。また、自治区が設置する消防資機材の購入を支援し、地域の防災力を高める。</p> <p>○自主防災組織の設立自治区数 R5年度末設置区数 32自治区</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>消火訓練への消防団の派遣や消防資材購入の補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の派遣(21自治区)</li> <li>消防資機材購入補助(2自治区、補助額46千円:補助率2/3)</li> </ul> </li> <li>自主防災組織への防災資機材等購入の補助(2自治区、補助額70千円:補助率2/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>補助した1つの自治区は民間事業所と避難所の協定を締結し、今回購入した防災資機材等を保管している。</li> </ul> </li> <li>出前講座等の実施(防災)8回 <ul style="list-style-type: none"> <li>3自治区、2校区コミュニティ、3団体</li> </ul> </li> <li>総合防災マップの更新及び配布【再掲】 <p>新たに公表された小規模河川の洪水浸水想定区域(4河川)の反映や、避難行動判定フロー、マイタイムライン、避難所での過ごし方など、自助・共助活動に役立つ情報を追加し、住民の防災意識を高めるための防災マップを全戸配布した。</p> </li> <li>ハザード内の人口数・世帯数の抽出【再掲】 <p>地域を絞った避難情報の発令を行うことや、地域の災害リスクを把握し、適切な避難行動や平時からの訓練等に役立ててもらうため、ハザード内の人口数・世帯数を抽出した。</p> </li> </ol>	財 源 内 訳	国庫支出金		
						県支出金		
						その他の特定財源		
						町 費	起債	
	一般財源	116						
	計	116						
合計		116						
<予算科目>								
款	項	目						
9	1	4						

施策の成果報告書

施策46 地域の犯罪を抑止します

課・係	地域づくり課 安全安心係
	地域づくり課 コミュニティ係

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	4	犯罪・事故から住民を守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	交通事故件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	5	4位以内	③				
②	刑法犯認知件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	9	8位以内	④					

施策名	(1) 地域の犯罪を抑止します	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	○犯罪を防止する環境を整えるため、防犯意識の高揚に向けた啓発活動、防犯灯の維持管理や防犯カメラの整備を進めます。 ○各団体で取り組んでいる防犯パトロール活動を引き続き支援します。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	刑法犯認知件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	11	8	3	③					
②						④						

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・町管理防犯灯のLED化や幅員が広く通行量の多い道路での防犯灯の両側設置など、犯罪を防止する環境の整備を計画的に進める。(令和6年度が計画最終年度) ・令和6年度から新たな支援策(自治区管理防犯灯に係る電気代一部補助)に取り組むことで、自治区の負担軽減に繋げるとともに、より安全に暮らせるまちづくりを推進していく。 ・様々な手法での防犯啓発を行うとともに、各団体が取り組んでいる防犯パトロールや講習の実施などを引き続き支援することで、地域の犯罪を抑止する。 ・ニセ電話詐欺等の被害を抑止するため、広報等による周知・啓発を継続して実施する。
	評価理由	・町が管理する防犯灯のLED化と幅員の広い道路の両側設置、自治区が設置する防犯灯への補助を行うことで、犯罪を防止する環境を整備した。 ・自治区管理の防犯灯に関し、令和6年度から新たな支援(電気代一部補助)を決定した。 ・広報誌やでんたつくんによる防犯啓発や各団体が取り組んでいる防犯パトロール活動を支援することで、犯罪を防止し、刑法犯認知件数の低水準につながった。 ・ニセ電話詐欺等の犯罪が町内で発生した際に、住民へ即時に周知する体制を警察と協働で構築し、でんたつくんによる緊急放送を行うことで犯罪抑止につなげた。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①住民、関係機関、団体が連携した防犯対策の実施による安全に暮らせるまちの推進			
	②			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	・各団体が取り組んでいる防犯パトロールや講習の実施などを引き続き支援し、犯罪を抑止するとともに、各団体の取り組みが継続的に実施できるよう、人材確保に向けた取組を検討する。 ・ニセ電話詐欺等の犯罪が町内で発生した際に、住民へ即時に周知をする仕組みの運用により、自治区長をはじめとした住民をあげて、被害の拡大抑止につなげる。
	評価理由	・ニセ電話詐欺等の犯罪が町内で発生した際に、住民へ即時に周知する体制を警察と協働で構築した。また、その情報を自治区長に情報提供することで、被害の拡大抑止につなげた。 ・校区コミュニティ等の防犯パトロール活動により、刑法犯認知件数は低水準で維持したが、各団体とも担い手の確保が課題となっている。		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策4 6 地域の犯罪を抑止します

課・係	地域づくり課 安全安心係
	地域づくり課 コミュニティ係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）																			
				財源内訳	町費																		
防犯対策推進事業 (地域づくり課)	住民、関係機関、団体が連携し、防犯パトロールなどの対策に取り組むことで、地域の犯罪を防止する。	<p>1. 啓発事業 被害防止のため、振込め詐欺などの犯罪の発生情報について、でんたつくんなどで周知する。</p> <p>2. 防犯パトロール事業 防犯活動を行う団体への活動経費の補助や、公用車の貸出などの支援を行う。また、登校時の子どもを見守るため、職員による早朝パトロールを実施するとともに、公用車の青パト化により、犯罪の抑止効果を高める。</p> <p>3. 防犯カメラ整備事業 防犯カメラの維持管理を行い、犯罪を抑止する。</p>	<p>1. 啓発事業 ・定期的な啓発（広報5件、でんたつくん5件） ・緊急放送5件（でんたつくん、SNS、区長連絡） ニセ電話詐欺等の犯罪が町内で発生した際に、住民へ即時に周知する体制を警察と協働で構築し、緊急放送等の対応を行った。</p> <p>2. 防犯パトロール事業 ・防犯パトロール活動補助金（里山宮の森、OSP） ・公用車の青パト化を進め、職員による勤務中のながら防犯を実施 ・各団体、職員による青パトでの見守り活動の実施 内浦コミュニティ 毎週水曜 吉木コミュニティ 毎週火曜、土曜 海老津コミュニティ 毎週水曜 山田コミュニティ 毎週月曜 戸切コミュニティ 毎週木曜または金曜 里山宮の森 登録車（8台）で随時 OSP 毎週金曜 職員 月曜、水曜、金曜の登校時</p> <p>3. 防犯カメラ整備事業 海老津駅周辺及びびょうさぎ坂に設置している防犯カメラの維持管理 ・駅周辺等11台、公共施設、公園等143台</p> <p>&lt;参考&gt; 刑法犯認知件数 H19：378件、H20：386件 (校区コミュニティ設立時) ⇒H30：105件、R1：116件 R2：82件、R3：85件 R4：95件、R5：96件</p>	国庫支出金																			
				町費	1,311																		
				合計	1,311																		
<table border="1"> <tr> <td colspan="6">&lt;予算科目&gt;</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>13</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						<予算科目>						款	項	目				2	1	13			
<予算科目>																							
款	項	目																					
2	1	13																					

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
防犯灯整備事業 (地域づくり課)			防犯灯の維持管理、新たな防犯灯の設置、LED化や幅員が広い道路への両側設置を計画的に実施するとともに、自治区が設置する防犯灯への補助などにより、夜間の視認性を高めることで、地域の犯罪を防止し、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	<p>1. 町が管理する防犯灯 暗い道でも安心して通行できるよう、防犯灯の維持管理、設置認定路線への防犯灯の設置、LED化や幅員が広い道路への両側設置を行う。</p> <p>2. 自治区が管理する防犯灯 自治区が設置する防犯灯への補助を行う。</p>	<p>1. 町が管理する防犯灯 ・防犯灯の維持管理 (電気料金、修繕費) 3,719千円</p> <p>・設置認定路線への防犯灯の設置 高尾、高倉、塚原、海老津、吉木7灯 806千円</p> <p>・LED化及び幅員が広い道路への両側設置工事 169灯 5,940千円 ⇒LED化 (糠塚、山田、山田峠、西山田、東山田、南山田、茅原、緑ヶ丘、高尾、旭西、旭中、旭東、旭南、野間一、野間二) ⇒両側設置 (JA北九岡垣支店～吉木小南交差点) (赤井手交差点～西山田公民館前) ※脱炭素化推進事業債 4,900千円</p> <p>2. 自治区が管理する防犯灯 ・防犯灯設置補助金 (新設9灯、更新13灯、移設4灯) 571千円</p> <p>&lt;参考&gt; 自治区管理防犯灯 (LED化率) 99.7%</p>	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
<予算科目>						町費	その他の特定財源	45
							起債	4,900
款	項	目					一般財源	6,130
2	1	13					計	11,030
							合計	11,075

施策の成果報告書

施策4 7 交通事故から運転者・歩行者などを守ります

課・係	地域づくり課 安全安心係
	地域づくり課 コミュニティ係
	都市建設課 施設整備係

1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	4	犯罪・事故から住民を守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	交通事故件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	5	4位以内	③				
②	刑法犯認知件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	9	8位以内	④					

施策名	(2) 交通事故から運転者・歩行者などを守ります	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<p>○子どもや高齢者を中心とした住民の交通安全意識の高揚に向けた取組を進めます。</p> <p>○安全な道路環境を維持するため、カーブミラーなどの交通安全施設の整備を進めます。</p>		

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	交通事故件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	19	4	7	③					
②	小中学校の登下校時の事故件数	回	3	0	1	④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(地域づくり課)</p> <p>・事故発生件数は前年を下回ったが、県内順位は目標値に達していないため、今後も警察や地域住民等と連携して、交通安全意識の高揚に向けた取組みを進め、事故を抑制する。</p> <p>(都市建設課)</p> <p>・交通安全プログラムに基づき、引き続き関係機関と合同点検を行いながら、国や県の補助金等を最大限に活用し、安全な道路環境を維持する。</p>
	評価理由	<p>(地域づくり課)</p> <p>・交通安全指導員や地域住民による街頭指導など、交通安全意識の高揚に取り組んだ。</p> <p>・定期的に応報誌やでんたつくんによる交通安全啓発を行った。</p> <p>・昨年と比較して交通事故発生件数は減少した。</p> <p>(都市建設課)</p> <p>・交通安全プログラムに基づき、道路管理者、教育部局、警察等と合同点検を実施し、老朽化したカーブミラーや防護柵等の新設・修繕を行った。また、千葉県八街市の事故に伴う緊急合同点検を踏まえ、危険性が高い施設について早急に対策を行い、安全な道路環境を整備した。</p>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①住民、関係機関、団体が連携した交通安全対策の実施による地域の安全安心の推進			
	②道路環境を整備するため、自治区、PTA等からの要望を基に、道路管理者、警察等の関係者と合同点検を実施し、交通安全施設の整備を行う。			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(地域づくり課)</p> <p>・引き続き、交通安全指導員や地域による見守り活動が行われるよう、地域の安全につながる取組みを支援する。</p> <p>・地域による見守り活動の安全を確保するため、交通安全講習会を開催するなど地域の活動が継続して行えるよう支援する。</p> <p>(都市建設課)</p> <p>・交通安全プログラムに基づき、引き続き自治区やPTA、警察などの関係者との連携を図る。</p>
	評価理由	<p>(地域づくり課)</p> <p>・交通安全指導員や住民による見守り活動などの取組みが行われたことで、地域の安全安心につながった。</p> <p>(都市建設課)</p> <p>・交通安全プログラムに基づき、道路管理者、教育部局、警察などの関係者と合同点検を実施し、効果的な安全対策を行うことができた。</p>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策47 交通事故から運転者・歩行者などを守ります

課・係	地域づくり課 安全安心係
	地域づくり課 コミュニティ係
	都市建設課 施設整備係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）																		
				財源内訳	合計																	
交通安全対策一般事業 (地域づくり課)	警察等と連携した啓発活動や地域コミュニティの見守り活動などを実施することで、住民の交通安全意識を高めるとともに、交通事故を防止し、地域の安全安心を推進する。	1. 啓発事業 交通安全への意識を高めてもらうため、でんたつくんの放送や、広報車で啓発を行う。 2. 街頭指導 指導員により小中学生に町内10箇所の交差点において交通指導を行う。 3. 交通災害共済事業 交通事故等にあつた時の補償制度として、北九州市民共済生活協同組合の交通災害共済への町民の加入について支援する。	1. 啓発事業 ・でんたつくんの放送（5回） ・広報車巡回啓発（11回） ・広報おかがき記事掲載（2回） 2. 街頭指導 ・指導員による街頭指導（11回） 3. 交通災害共済 ・申し込みの取りまとめ（1,091世帯、2,622口） ・共済金の請求事務（26件、1,860千円） <参考> 特に啓発している町内事故の統計 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>R5</td> <td>R4</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>高齢者の事故</td> <td>26件</td> <td>38件</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>飲酒運転による事故</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>子どもの事故</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> </table>		R5	R4	R3	高齢者の事故	26件	38件	46件	飲酒運転による事故	0件	1件	1件	子どもの事故	2件	2件	3件	財源内訳	国庫支出金	
					R5	R4	R3															
				高齢者の事故	26件	38件	46件															
				飲酒運転による事故	0件	1件	1件															
子どもの事故	2件	2件	3件																			
県支出金																						
その他の特定財源	132																					
町費																						
起債																						
一般財源	945																					
計	945																					
合計	1,077																					
<予算科目>																						
款	項	目																				
2	7	1																				
交通安全対策施設整備事業 (都市建設課)	老朽化した施設の更新や新たに必要となる交通施設の整備を行うことで、安全な道路環境を維持し、交通事故を未然に防止し、住民を事故から守る。	自治区要望や道路パトロールを基に、老朽化した施設の更新や新たに必要となる施設を整備する。 【主な整備内容】 ・カーブミラー ・路面標示 ・区画線 転落防止柵 等	自治区要望や道路パトロールを基に、老朽化した施設の更新や新たに必要となる施設の整備を行った。 ・カーブミラー 新設1基 ・区画線 19路線 工事延長 L=18,757m ・路面標示 18路線 工事延長 L= 2,869m ・ガードパイプ 14路線 工事延長 L= 629m ・ガードレール 2路線 工事延長 L= 34m ・ポストコーン 1路線 N= 14本 ・手摺 1路線 工事延長 L= 55m ※交通安全対策特別交付金 3,842千円	財源内訳	国庫支出金																	
					県支出金																	
					その他の特定財源	3,842																
					町費																	
起債																						
一般財源	5,493																					
計	5,493																					
合計	9,335																					
<予算科目>																						
款	項	目																				
2	7	1																				

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
交通安全対策施設整備事業 (社会資本整備総合交付金) (都市建設課)			通学路において、老朽化した施設の更新や新たに必要となる交通施設を整備することで、安全な道路環境を維持し、交通事故を未然に防止するとともに、子どもを事故から守る。	小中学校、PTA及び自治区要望等を基に、道路管理者、警察等と合同点検を実施し、老朽化した施設の更新や新たに必要となる施設を整備する。  <b>【主な整備内容】</b> ・カーブミラー ・路面標示 ・区画線 転落防止柵 等	毎年、小中学校・PTA・自治区要望や交通安全プログラムによる合同点検を実施し、危険箇所への検討と対策を実施した。  ・転落防止柵 工事延長 L=269m (元松原・源十郎線、海老津・早崎線他1)  ・吉木・海老津線歩道改良工事 工事延長 L=150m  ※社会資本整備総合交付金 補助率55% ※公共事業等債 充当率90% 交付税措置率20%	財源内訳	国庫支出金	10,068
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
<予算科目>							一般財源	842
款	項	目					計	8,242
2	7	1					合計	18,310
交通安全対策施設整備事業 (通学路緊急対策) (都市建設課)			千葉県八街市の通学路での事故を受け、教育部局、道路管理者、警察等と緊急合同点検を実施し、老朽化した施設の更新や新たに必要となる交通施設を整備することにより、子どもを交通事故から守る。	<b>【交通安全施設整備】</b> 緊急合同点検の結果をもとに、老朽化した施設の更新や新たに必要となる施設の整備を行う。 ・カーブミラー 路面標示 区画線 転落防止柵 等	<b>【交通安全施設整備】</b> 千葉県八街市の事故に伴う緊急合同点検の結果をもとに、老朽化した施設の更新や新たに必要となる施設の整備を行った。  吉木・海老津線歩道拡幅工事 (3工区) L=81m 海老津・戸切線路面標示改良工事 L=54m 白谷・戸切線路面標示改良工事 L=123m 矢口・中曽根線路面標示改良工事 L=21m 吉木・海老津線路面標示設置工事 L=77m  ※交通安全対策事業補助金 (通学路緊急対策) 55% ※公共事業等債 充当率90% 交付税措置率20%	財源内訳	国庫支出金	7,531
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
<予算科目>							一般財源	677
款	項	目					計	6,177
2	7	1					合計	13,708

## 施策の成果報告書

### 施策4 8 消費生活問題に対応します

課・係	地域づくり課 安全安心係
-----	--------------

#### 1. 総合計画の内容

基本目標	5	安全・快適に暮らせる持続可能なまち
政策	4	犯罪・事故から住民を守る

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	交通事故件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	5	4位以内	③				
②	刑法犯認知件数人口千人当たりの発生件数の県内順位	位	9	8位以内	④					

施策名	(3)	消費生活問題に対応します	重点テーマ	地方創生
施策の内容	○遠賀郡4町、中間市との広域連携による相談体制を維持するとともに、消費者被害を未然に防止するため、消費者への意識啓発に取り組みます。			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	消費生活相談における相談解決率	%	100	100	100	③					
②						④						

施策 評価	A	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	・現在の相談環境を維持することで消費者被害を防ぐとともに、消費者被害の情報などについて周知し、消費者の意識啓発に取り組む。 ・相談員の減少が著しいため、相談環境の維持に向けた検討を行う。
	評価理由	・消費者からの苦情・相談への対応や、その処理のためのあっせん等を行い、消費者を保護することができた。また、定期的に広報やでんたつくん等により消費者情報の発信を行い、意識の啓発に取り組むことで、消費者被害の未然防止に努めた。		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策 4 8 消費生活問題に対応します

課・係	地域づくり課 安全安心係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）																																	
				財源内訳	合計																																
消費生活対策経費 (地域づくり課)	消費者への啓発や広域連携による相談体制を維持し対応することで、消費者の消費生活における被害を未然に防止し、住民生活を守る。	<p>1. 相談事業 専門相談員による事業者に対する消費者からの苦情相談対応や苦情処理のためのあっせん等を行う。</p> <p>2. 啓発事業 広報おかがきやでんたつくんにより、消費者トラブルの事例などを紹介し啓発を行う。</p>	<p>1. 相談事業 【専門相談による相談対応】 (週5日：10時～17時) ・相談件数 258件 ・相談事案に係る救済金額 R5 4,722千円 (258件) R4 29,762千円 (265件) R3 8,148千円 (220件)</p> <p>2. 啓発活動 【消費生活情報の発信】 ・でんたつくんでの放送 12回 ・広報掲載 6回 ・出前講座 1回 (啓発物品配布)</p> <p>【広域化の実績】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>R5</td> <td>R4</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>* 岡垣住民からの相談</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 芦屋町</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・ 遠賀町</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>・ 水巻町</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>・ 中間市</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>* 町外 (郡内、中間市) 住民からの相談</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 岡垣町</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table>		R5	R4	R3	* 岡垣住民からの相談				・ 芦屋町	0件	0件	1件	・ 遠賀町	1件	4件	4件	・ 水巻町	0件	1件	0件	・ 中間市	0件	0件	0件	* 町外 (郡内、中間市) 住民からの相談				・ 岡垣町	2件	0件	0件	国庫支出金	
					R5	R4	R3																														
* 岡垣住民からの相談																																					
・ 芦屋町	0件	0件	1件																																		
・ 遠賀町	1件	4件	4件																																		
・ 水巻町	0件	1件	0件																																		
・ 中間市	0件	0件	0件																																		
* 町外 (郡内、中間市) 住民からの相談																																					
・ 岡垣町	2件	0件	0件																																		
				県支出金	1,982																																
				その他の特定財源																																	
				町費	起債																																
					一般財源	1,961																															
					計	1,961																															
				合計	3,943																																
<p>&lt;予算科目&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </table>						款	項	目	7	1	3																										
款	項	目																																			
7	1	3																																			

## 施策の成果報告書

### 施策49 地域のコミュニティ活動を促進します

課・係	地域づくり課 コミュニティ係
	生涯学習課 公民館係

#### 1. 総合計画の内容

		<b>計画推進の基盤</b>
政策	1	住民とともにまちづくり活動を広げる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	<b>自治区加入率</b>		%	<b>81.7</b>	<b>88</b>	③			
②						④				

施策名	(1)	地域のコミュニティ活動を促進します	重点テーマ	地方創生	○
施策の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ活動の基盤となる自治区への加入促進を図るとともに、自治区の自主的な活動を支援します。</li> <li>○校区の実情にあわせ、自治区単位では解決しづらい課題に対して、課題解決に向けた取組を行っている校区コミュニティを支援します。</li> <li>○自治区と連携し、住民が地域コミュニティ活動に参加しやすい環境整備や人材育成に取り組みます。</li> </ul>			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	<b>自治公民館活動数</b>		回	110	150	149	③				
②							④					

施策 評価	<b>B</b>	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(地域づくり課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な自治区の実現に向け、自治区の負担軽減に向けた取組を引き続き推進していくとともに、自治区の加入率向上に向けた取組を自治区長会とともに検討し、実施する。</li> <li>・校区コミュニティについては、校区別懇談会で整理された優先取組事項等への今後の対応方針を各コミュニティと確認するとともに、必要に応じて校区別懇談会や部会情報交換会を開催する。また、町としての地域人材の確保・育成に関する施策案の検討を行う。</li> </ul> <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動の研修や、自治公民館同士の意見交換会を実施し、各区が工夫して公民館活動をするための支援を行う。</li> </ul>
	評価理由	<p>(地域づくり課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な自治区の実現に向け令和4年度に実施した自治区懇談会の結果、町からお願いしている業務の負担が大きいことが判明したことから、自治区の負担を軽減するため、すぐに見直し可能な業務を令和5年度から見直すとともに、業務委託料の交付金など予算を伴うものに関しては、令和6年度からの見直しを決定した。</li> <li>・校区コミュニティでは、役員連絡協議会等を実施し、校区間の情報共有を行った。また、令和4年度に引き続き校区別懇談会を開催し、各校区の現状や課題、今後の優先取組事項などを整理した。</li> </ul> <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館活動は年間150事業程度となり、新型コロナウイルス感染症流行前の活動状況と同程度に回復した。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①提案公募型事業の推進			
	②			
評価	<b>B</b>	<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(地域づくり課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、提案公募型事業を実施し、民間のアイデア等を活用しながら、協働のまちづくりを推進する。</li> </ul>
	評価理由	<p>(地域づくり課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案公募型事業を実施した結果、活発な提案が多くなされ、町の賑わい創出のための取組や町の景観向上を図る取組が行われた。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策49 地域のコミュニティ活動を促進します

課・係	地域づくり課 コミュニティ係
	生涯学習課 公民館係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）															
				町費	合計														
地域振興事業 (地域づくり課)	住みよい地域となるよう、災害時の助け合いや高齢者、子どもの見守り、生活環境の向上など、様々な取組みを行う自治体を支援する。	<p>1. 行政事務委託 広報配布や文書の回覧等について、各自治体に事務を委託する。</p> <p>2. 自治体長会の取組み 岡垣町内各自治体相互の情報交換を図ることにより、各自治体の取組みが発展することを目的として、自治体長会に補助金を交付する。</p> <p>3. 自治体加入促進の取組み 自治体への加入に向けて、チラシ等を配布するなど、加入促進のための取組みを行う。</p>	<p>1. 行政事務委託 21,262千円 広報配布や文書の回覧等を委託した。</p> <p>2. 自治体長会の取組み ・自治体活動の発展のため新年意見交換会を実施（1月）自治体長32名参加 ・郡内での情報交換等を目的に開催された遠賀郡区長会連合会役員会に出席 ・先進地の取組を学ぶため視察研修（うきは市、大分県国東市）を実施。自治体長23名参加</p> <p>3. 自治体加入促進の取組み ・加入率調査の実施 ・チラシ配布（まつり岡垣） ・転入した全世帯に区加入の案内 ・関係課や自治体長会との協議</p> <p>（その他） 【自治体長会議の開催】2回/年 自治体活動の発展のため、自治体からの要望等についての意見交換を行った。</p> <p>【自治体の負担軽減に向けた取組み】 令和4年度に実施した自治体懇談会の結果を受け、町が自治体に依頼している業務の見直しを行い、自治体の負担軽減に取り組んだ。すぐに取り組めるものについては、令和5年度から見直しを実施し、業務委託料の交付金化など予算を伴うものについては、令和6年度からの実施を決定した。</p> <p>&lt;参考&gt; ■自治体加入率 H12 93.6% H21 90.5% R2 81.7% R3 79.6% R4 79.0% R5 78.3% ■R5自治体負担軽減取組 ・組回覧の町による仕分 ・緑の羽根、赤い羽根の配布の廃止 ・自治体加入証明書様式変更 など</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>その他の特定財源</td><td></td></tr> <tr><td>起債</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>22,985</td></tr> <tr><td>計</td><td>22,985</td></tr> <tr><td>合計</td><td>22,985</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		その他の特定財源		起債		一般財源	22,985	計	22,985	合計	22,985	
				国庫支出金															
県支出金																			
その他の特定財源																			
起債																			
一般財源	22,985																		
計	22,985																		
合計	22,985																		
<予算科目>																			
款	項	目																	
2	1	13																	

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
コミュニティ活動 支援事業 (地域づくり課)			校区コミュニティの活動を支援することで、自治区単位よりも校区単位で取り組んだ方が効果的な課題に対し、課題解決に向けた取組みを進め、住みよい地域につなげる。また、民間団体が実施する公益的活動の実施のきっかけとなる環境をつくり、協働のまちづくりを進める。	1. 校区コミュニティ支援 各校区コミュニティ運営協議会のまちづくり活動のために地域づくり交付金を交付する。また、活動の充実や課題の解消のため、各校区で意見交換等を行う役員連絡協議会を開催する。  2. 提案公募型事業 町民の自主的な活動を支援するために、提案公募型事業を実施する。  3. コミュニティ活動災害補償保険 自治区、校区コミュニティやボランティア団体が地域づくり活動に安心して取り組めるよう、事故発生時の補償を行う。	1. 校区コミュニティ支援 ・地域づくり交付金の交付 (5校区) 4,386千円 ・役員連絡協議会の開催 (3回/年) ・部会情報交換会の開催 (1回/年) ・先進地視察研修の実施 (須恵町) ・各校区の役員会に職員が出席し、運営について助言を行った。 ・令和4年度に引き続き校区毎に校区別懇談会を開催して、関係団体で校区の目指すべき姿や課題等を共有した。  2. 提案公募型事業 【協働のまちづくり部門】 (2団体) 564千円 ・「海の見える屋外イベント」 ・「チャリティーマルシェin岡垣2023」  【花いっぱい部門】 (7団体) 559千円 団体に町道などへ花を植えてもらい、地域の景観向上を行った。  3. コミュニティ活動災害補償保険 1,706千円 R5事故件数…22件 R5支払保険金額…2,277千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	152
							その他の特定財源	7,400
							町費	起債
	一般財源	94						
	計	94						
合計		7,646						
<予算科目>								
款	項	目						
2	1	13						
自治公民館活動支援事業 (生涯学習課)			自治区の自主的な活動を支援することで、自治区への加入促進、地域活動への参加促進、人材育成など、地域コミュニティ活動を中心とした住民自治を促進し、地域の活性化を図る。	1. 自治公民館活動費補助金、専任公民館長補助金 自治区が行うソフト事業等と専任公民館長設置に対する補助  2. 類似公民館建設費補助金、自治公民館活性化補助金 自治公民館の新築・改築や備品購入に対する補助  3. 自治公民館連絡協議会補助金 協議会の活動費等に対する補助	1. 自治公民館活動費補助金、専任公民館長補助金 ・自治公民館活動費補助金 1,911千円 149回 (50区) ・専任公民館長補助金 1,650千円 55区 (56区のうち1区は兼任のため)  2. 類似公民館建設費補助金、自治公民館活性化補助金 ・類似公民館建設費補助金 411千円 2件 (新海老津区、新松原区) ・自治公民館活性化補助金 225千円  3. 自治公民館連絡協議会補助金 68千円 役員会 5回、研修会 2回	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	3,600
							町費	起債
	一般財源	665						
	計	665						
合計		4,265						
<予算科目>								
款	項	目						
10	4	2						

施策の成果報告書

施策50 自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します

課・係	福祉課 人権・地域福祉係
	おかがきPR課 商工観光係

1. 総合計画の内容

計画推進の基盤	
政策	1 住民とともにまちづくり活動を広げる

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	① 自治区加入率		%	81.7	88	③				
②										④

施策名	(2) 自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します	重点テーマ		地方創生	○
施策の内容	<p>○ボランティアセンターを中心に、ボランティア人材の育成、様々なボランティア団体への住民参加や地域コミュニティを含む団体間の連携拡大に向けた取組などをコーディネートします。</p> <p>○若い世代などを中心に、これまで参加経験がない住民のボランティア活動への参加を促進します。</p>				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① ボランティアのコーディネート件数		回	24	24	38	③					
② まつり岡垣来場者数		人	20,000	22,000	22,000	④						

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(福祉課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンターと福祉課で定期的を実施しているボランティアセンター連絡会議において情報共有を継続し、ボランティアセンターの効果的な運営を図るとともに、地域の多様な関係機関や団体と連携することで、ボランティア活動の一層の充実を図る。</li> <li>ボランティア登録団体は最も多かった令和2年度の51団体から令和5年度には44団体に減少しているため、今後は企業や事業所によるボランティアやボランティアクラブの活動推進など、多様な主体がボランティアに参加しやすい環境づくりを進める。</li> </ul>
	評価理由	<p>(福祉課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度からボランティアセンター業務を委託している社会福祉協議会において、ボランティアの育成として運転ボランティアの養成講座や子ども向けのボランティア講座を実施した。</li> <li>ボランティア活動に関する情報収集や情報提供を継続して行い、ボランティアのコーディネート件数は、令和4年度の24件から38件に増加している。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①地域活動を支える担い手の育成			
	②			
評価	B	<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”育てる“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	<p>(福祉課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンターと連携して若い世代を含めた多様な主体がボランティア活動に取り組みやすくなる環境を整え、人材育成につなげる。</li> <li>身近な地域での取組みにつながるものとするため、社会福祉協議会を中心に地域住民、民生委員・児童委員、ボランティア団体などの多種多様な主体が協働して、地域課題の解決に取り組む人材の育成や支援を行う。</li> </ul>
	評価理由	<p>(福祉課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンターにおいてボランティア育成に資する講座を行うとともに、社会福祉協議会において地域活動を支える人材育成講座を12回行った。</li> </ul>		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策50 自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します

課・係	福祉課 人権・地域福祉係
	おかがきPR課 商工観光係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
ボランティアセンター 運営事業 (福祉課)  <予算科目> 款 項 目 2 1 13			ボランティアに関する意識啓発、人材育成や応援を求める人と応援したい人をコーディネートすることで、ボランティア活動を通じた協働の輪を広げ、まちづくり活動の活性化につなげる。	○実施概要 【ボランティア活動】 ・情報の収集及び提供 ・相談及び助言 ・調査及び研究 【ボランティア活動団体】 ・相互交流及び連携の促進 ・登録及び需給調整	・ボランティアセンターだより発行（年間6回） ・広報おかがき・ボランティアのススメコーナー（毎月） ・ボランティアに関する各種相談・対応（随時） ・出張ボランティアなんでも相談会 5回 ・ボランティアのコーディネート件数 38件 ・ボランティア登録団体 44団体 ・ボランティア交流会 17団体31人参加 ・ボランティア講座 4回開催 延べ54人参加 ・ボランティアクラブの育成と活動推進	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	3,254
							町費	起債
	一般財源	4,085						
	計	4,085						
合計		7,339						
福祉ボランティア ポイント事業 (福祉課)  <予算科目> 款 項 目 3 1 1			ボランティアを始める「きっかけ」や、継続的に活動をされている方への感謝の気持ちを町から還元することで、住民と行政の協働によるまちづくり活動の活性化につなげる。	福祉ボランティア活動のうち、町が主催する事業や社会福祉協議会が主催する事業への支援、町長が必要と認めた活動に対し、ポイントを付与する。前年度中に貯まったポイントは翌年4～5月に還元申請してもらい、町の特産品等に交換する。	・福祉ボランティア登録者数 609人 ・受入機関登録数 33施設・団体 ・ボランティア実施人数 延4,901人 ・還元申請者数 120人 ・還元額 402千円	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	421
							町費	起債
	一般財源							
	計							
合計		421						

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)			
まつり岡垣補助金 交付事業 (おかがきPR課)			住民が主体となったまつりを実施することで、住民に「潤い」と「憩い」の場所を提供するとともに、地域振興への参加意識の向上と参加者同士の交流を図り、まちづくりの活性化につなげる。	まつり岡垣は、住民が主体的に参加し交流する機会をつくることや、地域振興に対する意識の高揚、一人ひとりの融和を図ることを目的とする。 住民主体で構成されている「まつり岡垣実行委員会」に対して、実施支援の目的で毎年補助を行っている(実行委員会事務局:おかがきPR課)。	第30回まつり岡垣を次の内容で実施した。前回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部のイベントを縮小して開催していたが、今回はコロナ禍前に戻した形で実施した。町民をはじめ多くの来場があり、住民が主体となったまつりの実施により、地域の活性化につながった。 また、開催30回を記念してスマホゲーム北斗の拳LEGENDS ReVIVEとコラボしたイベントや、フィナーレに航空自衛隊芦屋基地のジェット機(T4)が会场上空を飛行するなどの催しを開催。  ○実施日 令和5年10月15日(日) ○来場者数 約 22,000人 ○イベント内容  <b>【屋外イベント】</b> 出店(40団体)、フリーマーケット(25団体)、キッチンカー(9台)、玄関前イベント(海鳴り太鼓、紙芝居、ダンス、九州プロレスイベント)、もちつき、オープニング・フィナーレ(もちまき、吉木思案橋踊り) <b>【屋内イベント】</b> ハミングホールイベント(町民吹奏楽団、岡垣中学校吹奏楽部、トワラズコミュ、スーパーライブ) 精華女子高等学校吹奏楽部マーチング 北斗の拳LEGENDS ReVIVEとコラボしたイベント お茶会 健康度測定 展示・キャンペーン(環境衛生キャンペーン、男女共同参画推進キャンペーン、金融機関の催し、いちご塾の展示) びわりん&びわすけの出演	財源内訳	国庫支出金		
							県支出金		
							その他の特定財源		
							町費	起債	
								一般財源	5,699
						計	5,699		
合計		5,699							
<予算科目>									
款	項	目							
7	1	2							

## 施策の成果報告書

### 施策5 1 社会変化に対応できる組織をつくります

課・係	企画政策室 人事秘書係
	デジタル推進課 デジタル推進係
	住民環境課 住民生活係

#### 1. 総合計画の内容

		計画推進の基盤
政策	2	社会変化に対応した行財政運営を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標			R12目標値	指標			R12目標値
	①	②	③		④	⑤	⑥	
	①	まちへの愛着度※「とても好き」を10点、「嫌い」を0点として調査	点	6.96	増加	③		
	②	まちの認知度(県内)※まちを「知っている」と回答した割合	%	21.9	増加	④		

施策名	(1)	社会変化に対応できる組織をつくります	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会変化に迅速に対応し、柔軟な行政運営ができるよう組織力を高めます。</li> <li>○ICT技術を活用し、住民の利便性の向上と業務効率化を図ります。</li> </ul>			

#### 2. 施策の成果

成果指標	指標					指標				
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	①					③				
	②					④				

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(企画政策室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢の変化や多様なニーズに対応するための人材確保と育成に向けて、人材育成基本方針の見直しを検討する。</li> <li>・信頼される行政運営を目指し、一層の公務員倫理の確立と内部統制の体制整備に向けて取り組む。</li> </ul> <p>(デジタル推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報システムの保守や既存システムの法改正等に対応し、安定的な環境やセキュリティを確保する。</li> <li>・DX推進計画に基づき、自治体情報システム標準化・共通化への対応やデジタル技術を活用した施策を効果的に推進することで、住民の利便性向上や業務の効率化につなげる。また、DX推進本部を設置し、全庁的な取組を実施していく。</li> <li>・マイナンバーカードの利活用を推進し、行政手続きをオンライン化やキャッシュレスの導入で、住民の利便性の向上させ、窓口改善を図る。</li> </ul> <p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードを活用した各種証明書発行のオンライン化など、今後はマイナンバーカードの利活用面を高めていくことで、カードの普及促進に繋げる。また、窓口でのキャッシュレス化や「行かなくてもよい窓口」等の実現に向け、デジタル技術を活用した取組みを検証し、住民の利便性向上や事務の効率化を図る。</li> </ul>
	評価理由	<p>(企画政策室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和5年度岡垣町職員研修計画」を策定し、クレーム対応研修などの独自研修や、福岡県市町村職員研修所などへの派遣研修を計画的に実施することで、職員の資質や能力の向上につなげた。</li> </ul> <p>(デジタル推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムの保守や既存システムの法改正対応等を適切に実施し、安定的な環境を整え、業務の効率化を図った。また、DX推進計画策定、自治体情報システムの標準化・共通化への対応、ChatGPTの実証実験を行った。</li> </ul> <p>(住民環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカード専用窓口設置による申請支援やマイナポイント申込み支援、夜間開庁や休日開庁を実施するなどし、マイナンバーカードの普及促進を図ったことで、R6年6月末でマイナンバーカードの保有率が77.0%となり、国や県よりも高い水準となった。</li> </ul>		

#### 協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		今後の 方向性
	②		
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性
	評価理由		

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策5-1 社会変化に対応できる組織をつくります

課・係	企画政策室 人事秘書係
	デジタル推進課 デジタル推進係
	住民環境課 住民生活係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
				財源内訳	合計
職員研修事業 (企画政策室)	職員に様々な研修機会を提供することで、組織力を高めるとともに、住民サービスの質の向上を図り、効果的な行財政運営を推進する。	第2次人材育成基本方針で定めた「めざすべき職員像」に向け、職員の資質や能力を向上させるための研修を職員研修計画に基づき実施する。	<b>【独自研修】</b> ・新規採用職員研修（接遇） 22人 ・人事考課研修（被考課者） 23人 ・議会答弁書作成研修 59人 ・クレーム対応研修 202人  <b>【派遣研修】</b> ・市町村職員研修所研修 44人 ・連携中枢都市圏研修 2人 ・市町村職員実務研修者事後研修 4人 ・土木技術研修 8人  <b>【職場内研修（全庁OJT）】</b> ・岡垣町のふるさと納税、ブランド戦略、財政について 183人 ・岡垣町の立地適正化計画、公共交通について 172人  <b>【自己啓発研修】</b> 専門研修補助 2人  ※新型コロナウイルス感染症の影響により、独自研修の一部（新規採用職員の自衛隊体験入隊）が中止となった。  <参考> 職員研修は、企画政策室所管の上記研修のほか、担当課による以下の独自研修を実施。  ・法制支援システム研修 54人 ・人権研修 196人 ・GISシステム操作研修 15人 ・ゲートキーパー講座 212人	国庫支出金 県支出金 その他の特定財源 300	
				町費 起債 一般財源 1,314 計 1,314	1,614
<予算科目>					
款	項	目			
2	1	1			

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
電子計算機関連事業 (デジタル推進課)  <予算科目>			システムの維持管理や新たなシステムの導入を着実にいき、ICT技術を活用することで、業務の効率化を図るとともに、住民サービスの向上に繋げる。	1. 既存システムの維持管理 各システムの保守をはじめ、計画に基づく機器更新や、法・制度改正に伴うシステム改修を行う。  2. 新たなシステムの検討 デジタル化を推進し、住民の利便性向上のため、AI・RPAなど、新たな技術の活用を検討する。	1. 既存システム・サービスの維持管理 総合行政システム等の法改正対応や機能強化、ソフト及びハードウェアの確実な稼働、セキュリティの確保などに関わる事業を実施し、安定的な業務システムの運用を行った。旧地域イントラネットワークの光ケーブルの撤去工事(第1工区)を実施した。 <b>【電算システム関連処理】</b> 印刷アウトソーシング、制度改正対応システム改修、発動発電機保守等 <b>【電子計算機器・システム保守】</b> 総合行政システム、文書管理、戸籍、GIS、地方電子申告・共通納税、議事録検索等 <b>【電子計算機器リース】</b> OA機器、住基ネット、戸籍、コンビニ交付・収納、ホームページ、図書館、GIS、地域イントラネットワーク更改等 <b>【システム利用料】</b> 総合行政、グループウェア、ホームページ、施設予約、図書館等  2. 新たなシステムの検討 デジタル政策に対応するため、情報収集や団体の研修等に参加した。 <b>【負担金等】</b> ・地方公共団体情報システム機構 ・福岡県自治体情報セキュリティ対策協議会 ・ふくおか電子自治体共同運営協議会	財源内訳	国庫支出金	8,197
							県支出金	
							その他の特定財源	17,379
							町費	
						起債		
一般財源	133,125							
計	133,125							
合計	158,701							
2 1 12								
DX推進事業 (デジタル推進課)  <予算科目>			デジタル技術の積極的な活用を行い、住民の利便性向上や行政運営の効率化、新たな行政サービスの構築を促進する。	1. 行政システムの標準化・共通化対応 国が示す標準仕様に準拠したシステムへ移行し、職員の業務改善と住民に対する利便性向上を図る。  2. 新たなシステムの検討 DX推進計画に基づき、デジタル化の推進や、住民の利便性向上のため、AI・RPAなど、新たな技術の活用を検討する。	DXの取り組み ・町のDX推進計画を策定した。 ・行政システムの標準化・共通化の対応 標準仕様書と現行システムとの分析等の実施 新システムへの移行準備作業の実施 ・生成AI(ChatGPT)の実証実験を行った。	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	
						起債		
一般財源								
計								
合計								
計上科目なし								

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)			
戸籍住民登録経費 (マイナンバーカード普及促進経費) (住民環境課)			マイナンバー制度は国の重要な施策の一つであり、マイナンバーカードを普及促進することで、行政の効率化や住民の利便性の向上に繋げる。	○マイナンバーカード専用窓口設置による申請等支援 事業者に委託し、専用窓口を設けることで、マイナンバーカードの申請・更新の受付やマイナポイント申込み支援などを行い、マイナンバーカードの普及を促進する。	人口に対する保有枚数率 岡垣町: 77.0%(R6.6月末) 福岡県: 74.2%(R6.6月末) 全 国: 74.0%(R6.6月末)	○マイナンバーカード専用窓口設置による申請等支援	国庫支出金	12,428	
							県支出金		
							その他の特定財源		
							町費	起債	
								一般財源	
計									
合計		12,428							
<予算科目>									
款	項	目							
2	3	1							

施策の成果報告書

施策5 2 将来を見据えた計画的な行政運営を推進します

課・係	企画政策室 企画政策係
	デジタル推進課 デジタル推進係
	総務課 財政係
	税務課 収納係

1. 総合計画の内容

計画推進の基盤	
政策	2 社会変化に対応した行政運営を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標	単位	現状値	R12目標値
	①	まちへの愛着度※「とても好き」を10点、「嫌い」を0点として調査	点	6.96	増加	③			
②	まちの認知度(県内)※まちを「知っている」と回答した割合	%	21.9	増加	④				

施策名	(2) 将来を見据えた計画的な行政運営を推進します	重点テーマ	地方創生
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢の変化、国や県の施策の動向などを踏まえ、中・長期的な財政計画による計画的な行政運営を推進します。</li> <li>○町税の適正な賦課・徴収を推進します。</li> <li>○公共施設の運営について、人口減少などを見据えた計画的な管理を推進します。</li> <li>○近隣自治体などとの広域連携を図り、町単独で取り組むことが困難な課題を解決するための取組を推進します。</li> </ul>		

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①	町税収納率(現年分)	%	98.88	98.50	98.83	③				
②	町税収納率(滞納繰越分)	%	19.36	19.81	17.92	④					

施策 評価	B	<p>A：施策の方向性に沿って順調に進行している</p> <p>B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している</p> <p>C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている</p> <p>D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている</p>	今後の 方向性	<p>(総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高騰による影響など直面する課題に対応しつつ、人口減少や少子高齢化など、町を取り巻く状況を踏まえ、持続可能なまちづくりのために必要な投資を行いながらも、中長期的な視点で健全な財政運営に努める。</li> </ul> <p>(税務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課税客体の正確な把握と町税の適正な賦課に引き続き取り組むとともに、収納率の向上に向け、口座振替の推進(キャンペーンの実施)、納付しやすい環境の整備(共通納税、スマホアプリ納付等)を進める。</li> <li>・滞納者に対し、督促状・催告状の送付及び適宜滞納処分を執行するなど、収納率の向上に努めるとともに、財産調査を確実に行った上で、担税力がない場合、執行停止処分を行い滞納率の圧縮に努める。</li> <li>・債権管理マニュアルの活用及び債権管理研修等への参加による職員のスキルアップを図り、収納率の向上に努める。</li> </ul> <p>(企画政策室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等総合管理計画推進委員会において、計画の進捗状況などを適切に管理するとともに、第2期計画の策定に向け、公共施設等の適切な管理のあり方や各施設の今後の方向性について検証を進める。また、施設コストの算出や適正な受益者負担率の再検証を行い、それらを基にした適正な施設使用料への見直しを検討する。</li> <li>・公共施設等の効率的な管理運営のため、一部の施設において、令和7年4月から稼働率の低い時間帯における開館及び使用時間の変更を行う。</li> </ul>
	評価理由	<p>(総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高騰対策や新たな子育て支援施策などを実施しながらも、特定財源の有効活用や予算の適切な執行管理により、基金残高の増加及び地方債残高の減少となり、健全な財政運営を図ることができた。</li> </ul> <p>(税務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納者に対して、夜間電話催告で納付を促すとともに、督促状・催告状の送付並びに適宜滞納処分を執行するなど収納率の向上に努めた結果、現年分は98.83%、滞納繰越分は17.92%となった。</li> </ul> <p>(企画政策室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少などを見据えた計画的な公共施設の管理運営に向け、公共施設等総合管理計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況や今後の方針等について審議するとともに、計画の一部改訂を行った。また、各公共施設等の利用実態を調査し、開館時間等の変更について検証した。</li> </ul>		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①		今後の 方向性	
	②			
評価		<p>A：設定した目標以上の成果があり、"伝える""育てる""広げる"の好循環が生まれた</p> <p>B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた</p> <p>C：設定した目標を一部達成することができた</p> <p>D：設定した目標を達成できなかった</p>	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策5-2 将来を見据えた計画的な行財政運営を推進します

課・係	デジタル推進課 デジタル推進係
	税務課 収納係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）		
				財源内訳	合計	
町税確保対策事業 (税務課)	町税の適正な賦課や滞納者に対して適宜滞納処分を執行するなど、収納率の向上に努めるとともに、納付しやすい環境を整えることで、税収を確保し、計画的な行財政運営を推進する。	<p>1. 収納率の向上及び納付環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞納者に督促状・催告状を送付するとともに、夜間電話催告や臨戸訪問により納付を促す。</li> <li>口座振替を推進するとともに、休日・夜間でも身近なコンビニやスマホアプリで税金や料金を支払うことができるサービスを継続する。</li> <li>口座振替の更なる加入推進を図るため、口座振替新規加入促進キャンペーンを実施する。</li> </ul> <p>2. 債権管理</p> <p>税外収入に対する各課における滞納処分の課題等の共有および支援を行い、適正な債権管理を行う。</p>	<p>1. 収納率の向上及び納付環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>督促状発送 毎月1回 発送件数 13,407件</li> <li>催告状発送 4月、6月、11月に実施 発送件数 4,672件</li> <li>夜間電話催告 7月、12月に実施 対象件数 641件</li> <li>臨戸訪問 月2回 県税職員同行 臨戸件数 48件</li> <li>口座振替促進(納付書送付時書類発送) 新規申込者数 947件/年</li> <li>口座振替キャンペーン実施(12月1日～2月29日) 期間中新規申込者数 113件</li> </ul> <p>【参考】口座振替実施率(前年比)</p> <p>町税 42.5%(△1.1)、国保 38.46%(12.4) 後期 18.5%(△1.4)</p> <p>2. 債権管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>債権研修等の情報共有</li> <li>債権保有課会議</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	
					町費	1,058
				計	1,058	
				合計	1,058	
<予算科目>						
款	項	目				
2	2	2				
情報プラザ施設管理経費 (デジタル推進課)	交流・ふれあい・にぎわいの創出、中心市街地活性化の促進、情報化推進の拠点を目的とし、町の地域情報化を推進するとともに、住民の交流の場を提供する。	<p>○指定管理者による管理運営</p> <p>民間のノウハウによる管理運営の効率化や利用者の増加を目指すため、平成27年度から指定管理者制度を導入。指定管理者制度の導入に合わせ、3階に「Book 座 Cafe」を設置するなど、一部運用形態を変更している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域情報の受発信及び情報化を通じた交流の促進</li> <li>地域情報の収集及び集積</li> <li>各種情報通信技術の普及促進</li> <li>その他目的達成のために必要な事業</li> </ul>	<p>○指定管理料 43,450千円</p> <p>指定管理者 JR九州サービスサポート・アクティオ共同企業体</p> <p>○〇A機器リース料 716千円</p> <p>○修繕料 693千円</p> <p>○空調入替工事設計 2,915千円 (緊急防災・減災事業債 2,900千円)</p> <p>&lt;運営実績&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことで、施設利用者数及び利用料収入は回復してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数 51,541人</li> <li>開館日数 309日</li> <li>利用料等収入 4,665千円 (貸館、カフェ等)</li> <li>PC講座 101回</li> <li>イベントの実施 3回 ミニ12回</li> </ul>	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	
					その他の特定財源	16
					町費	2,900
				計	45,117	
				合計	48,033	
<予算科目>						
款	項	目				
2	8	5				

施策の成果報告書

施策53 町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります

課・係	おかがきPR課 広報広聴係
	おかがきPR課 商工観光係
	都市建設課 建築住宅係

1. 総合計画の内容

計画推進の基盤	
政策	2 社会変化に対応した行財政運営を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標	単位	現状値	R12目標値
	① まちへの愛着度※「とても好き」を10点、「嫌い」を0点として調査		点	6.96	増加		③		
② まちの認知度(県内) ※まちを「知っている」と回答した割合		%	21.9	増加	④				

施策名	(3) 町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります	重点テーマ	○	地方創生	○
施策の内容	○マスコミやSNSなど幅広い手法を活用したプロモーションにより、町の魅力を広く、町内外へ発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります。 ○交通の利便性などをPRし、企業の進出など、町への投資拡大につなげます。				

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	① 町公式Facebookのファン数		人	1,006	1,050	1,018	③ おかがき応援寄附金寄附額		千円	430,870	500,000	408,036
② ホームページアクセス数(定住サイト)		回	10,305	16,000	9,406	④ 町公式Instagramのフォロワー数		人	461	1,000	716	

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(おかがきPR課) ・情報発信ツールの多様化やファン数等の増加により情報発信の受け手は増えているため、様々な媒体を活用したタイムリーな情報を発信し、幅広い年代に町の魅力を伝える。 ・ブランドブックやポスター、地下水ペットボトルなどを活用して町のイメージ作りや認知度向上の強化に取り組み、Instagramのリポスト等で行政と住民が一体となった情報発信を行いながら、戦略で定めたコアターゲットの方に行きたい・住みたいと思ってもらえるような町のブランディングを進める。 ・引き続き、ふるさと納税を通じて、町の特産品などの魅力を全国にPRし、寄附額を増加させることで関係人口の増加を図る。 ・寄附額増加の取組みとして、返礼品の開発やポータルサイト内での露出拡大など、あらゆる手段を講じるとともに、全職員一丸となった営業活動を推進する。 ・令和6年8月1日からおかがきPR課に新たに特産品係を設置し、自然や食などの地域資源を生かした特産品のPRなどにより、町の魅力を高め広く発信する。
	評価理由	(おかがきPR課) ・町公式FacebookやLINE、Instagramを活用して、町の情報や魅力を町内外に広く発信した。Facebookのファン数は微増だった一方、LINEの友だち登録者数やInstagramのファン数は順調に増加した。 ・岡垣町ブランド戦略で定めたブランドイメージの定着に向けてブランドブックやポスター、地下水ペットボトルをはじめとする各種PRグッズを作成し、町のイメージ作りや認知度向上の強化に取り組んだ。 ・これまでの施策等が評価され、大東建託株式会社調べによる「いい部屋ネット街の幸福度ランキング&住み続けたい街ランキング(福岡県版)」で、2年連続高評価をいただいた。 ・おかがき応援寄附金の寄附額が昨年度より微減となったが、ふるさと納税制度を通じて、特産品などの町の魅力を全国に発信し、関係人口の拡大につながった。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①町公式Facebookのファン数や町公式LINEの友だち登録者数の増加(ファン、友だち登録者へ町の魅力を伝えることで町への愛着や認知度の向上につながる)			
	②先輩移住者による魅力の情報発信による新たな移住者の確保。			
評価	B	A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	(おかがきPR課) ・より多くの人に岡垣町への興味を持っていただけるよう、情報発信の手法や内容に工夫を凝らし、各種SNSを活用したプロモーション活動を行う。 (都市建設課) ・先輩移住者と協力し、様々な媒体を活用して町の魅力を発信することで、新たな移住者の確保につなげる。
	評価理由	(おかがきPR課) ・町公式Facebookや町公式LINE、Instagramで町の魅力や情報を発信することで、ファン数及び友だち登録者数の増加につながった。 (都市建設課) ・岡垣町への移住者が、移住体験等を踏まえた町の魅力を伝えたり、ふくおかよかとこ移住相談センターポータルサイトに事例掲載したりするなど、岡垣町への移住の魅力を発信したことで、新たな移住者の確保につながった。		

### 施策の成果報告書（事業ごとの実績）

#### 施策5-3 町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります

課・係	おかがきPR課 広報広聴係
	おかがきPR課 商工観光係

#### 3.各事業の実績

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）	
広報事業 (おかがきPR課)	住民が必要とする情報を迅速に分かりやすく発信することで、住民の利便性向上やまちづくりへの参画の促進に繋げる。	1. 広報おかがきの発行 町政情報などを広く住民にお知らせするとともに、特に住民に周知すべき事柄などを特集として取り上げ、広く啓発する。また、町内で行われた催しや町の話題などを広く取り上げることで、住んでいる町に関心を持ってもらい、まちづくりへの参画に繋げる。  2. 町公式ホームページ 生活に関する情報や町からのお知らせなどを町内外の利用者が必要な時にいつでも取得できるよう情報を掲載する。  3. 町公式LINE・町公式Facebook 町の取組みやイベント情報など、お知らせしたい情報を積極的に配信することで、岡垣町に興味を持ってもらい、まちづくりへの参画に繋げる。また、災害時などには緊急情報などをリアルタイムに発信する。  4. でんたつくん 災害などの緊急時に即時放送を行い、町民の生命財産を守る。また、毎週水曜日に定時放送を行い、町民に行政情報を迅速かつ的確にお知らせする。	1. 広報おかがき 毎月25日を発行日とし、年間12回発行。また、毎号掲載する特集については、前年度に各課と調整して作成する「特集計画」に基づき、住民に伝えるべき事業や取組みなどを掲載した。  2. 町公式ホームページ ページの作成・更新・削除などを適時に行うことでホームページを適切に管理し、正確な情報を公開した。 ・町公式ホームページ訪問数 516,801回 ・ページ作成・更新数 1,226回 ・ページ非公開・削除数 205回  3. 町公式LINE・町公式Facebook 町からのお知らせやイベントの開催情報、緊急情報などの利用者が必要とする情報を機を逸することなく適宜配信した。 ・町公式LINE 配信数 211 友だち数 6,734人 ・町公式Facebook 投稿数 198 ファン数 1,018人  4. でんたつくん ・定時放送 43回（お知らせ件数 97件） ・即時放送 127回（お知らせ件数 127件）	財源内訳	町費
				国庫支出金	
				県支出金	12
				その他の特定財源	2,030
				起債	
一般財源	6,083				
計	6,083				
合計	8,125				
<予算科目>					
款	項	目			
2	1	2			

事業名 (所管課)	事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)																													
岡垣町PR戦略推進事業 (おかがきPR課)	様々な手法の活用により町の魅力を広く、町内外に発信することで、定住・交流・関係人口などの増加を図る。	1. PRグッズの作成 オリジナルポロシャツを作成、販売することで、町を身近に感じてもらう、町への愛着度を高める。また、非売品の「びわりん&びわすけ」シール、缶バッジを各種イベントなどで配布することにより、町の認知度の向上や愛着に繋げる。  2. イメージキャラクター 町内外での各種イベントへのイメージキャラクターの出演や着ぐるみの貸し出し、デザインの使用許可により、町の認知度向上や魅力発信につなげる。  3. 町公式Facebook・町公式Instagram 町の取り組みや魅力を発信することにより、町内外の人に町に興味を持ってもらう。  4. 報道機関などへの情報提供 新聞やテレビなど、町内外の多くの人が目にするマスメディアに町が行う事業を取り上げてもらうことにより、町内外に町の魅力を広く発信する。  5. ブランド戦略に基づく情報発信 ブランド戦略で定めた方針に基づき、町の魅力を町内外の多くの人に戦略的に発信し、関係・交流・移住人口を増やす。	1. PRグッズの作成 オリジナルポロシャツを1,100枚、タオルハンカチを1,000枚作成し、販売した。また、過去のポロシャツや既存のPRグッズについても、引き続き町内各所で販売した。  2. イメージキャラクター ・イベントへの出演や着ぐるみの貸し出し 5回 ・デザインの使用許可 8件  3. 町公式Facebook・町公式Instagram 町内外の人に知ってもらいたい情報や町の魅力を投稿した。 ・町公式Facebook 投稿数 198 ファン数 1,018人 ・町公式Instagram 投稿 毎週火・金 フォロワー数 716人  4. 報道機関などへの情報提供 イベントの開催や町政情報などを新聞社やテレビ局へ提供した。 ・提供回数 25回 より多くのメディアなどに取り上げてもらうため、プレスリリース配信サイトを通じて情報を提供した。 ・提供回数 2回 3月及び9月議会に合わせて、新聞社を対象に記者発表を行い、町政情報などを提供した。 ・実施回数 2回 銀行が行う本店ロビー展などの企画に参加し、町の魅力を積極的に発信した。  5. ブランド戦略に基づく情報発信 情報発信等に知見のある住民等で組織した「まちの魅力発信を語る会」で岡垣町ブランド戦略に基づく情報発信のあり方を協議し、実行した。 また、ブランドイメージの浸透に向けて、各種PRグッズを作成した。 <b>【実績】</b> ・ブランドブック、ポスターの作成 ・地下水ペットボトル化(岡垣の美味しい水) ・「岡垣の美味しい水」のランディングページ作成 ・バックボード、のぼりの作成 ・ビニール袋、クリアファイル、カラー封筒の作成	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>県支出金</td> <td>1,426</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>その他の特定財源</td> <td>1,829</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td rowspan="3">町費</td> <td>起債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,038</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,038</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>11,293</td> </tr> </table>			国庫支出金				県支出金	1,426			その他の特定財源	1,829	財源内訳	町費	起債		一般財源	8,038	計	8,038	合計			11,293	<予算科目>				
							国庫支出金																										
		県支出金	1,426																														
		その他の特定財源	1,829																														
財源内訳	町費	起債																															
		一般財源	8,038																														
		計	8,038																														
合計			11,293																														
款	項	目																															
2	8	1																															

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額 (単位: 千円)		
おかがき応援寄附金 推進事業 (おかがきPR課)			おかがき応援寄附金を通じ、町の特産品などの魅力を町外に発信することで、関係人口の増加を図るとともに、寄附額の増加を図り、財源を確保し、効果的な行財政運営を推進する。	町内産の商品を中心に魅力ある返礼品を揃えて、ふるさと納税ポータルサイトを通じて寄附を募り、岡垣町の魅力を町外に発信することで、関係人口の増加を図る。	○寄附額増加に向けた取組概要 <b>【掲載サイトの追加】</b> ・新たに掲載サイトを5つ追加し、合計11のサイトで町の返礼品の情報発信を行った。 <b>【返礼品の充実】</b> ・「訳アリ」、「大容量」などの返礼品の追加、期間限定の増量キャンペーンを実施するなど、寄附者の傾向を捉えた返礼品の充実を図った。 <b>【PR活動】</b> ・ふるさと納税サイト上での広告掲載 ・サイト内のレビュー(口コミ)を増やすための岡垣レビューキャンペーンの実施 ・職員全員に「ふるさと納税営業活動員任命書」の交付及び庁舎内研修の実施 ・ふるさと納税専用SNSの開始 <b>【寄附実績】</b> (個人) 寄附件数 31,633件 (R4 36,596件) 寄附金額 396,336千円 (R4 418,670千円) (企業版) 企業版ふるさと納税により、13社から11,700千円の寄附を受け、企業とのパートナーシップの構築を図った。 寄附件数 13件 (R4 4件) 寄附金額 11,700千円 (R4 12,200千円)	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金	
							その他の特定財源	
							町費	起債
							一般財源	208,465
	計	208,465						
		合計	208,465					
<予算科目>								
款	項	目						
2	8	1						

施策の成果報告書

施策54 住民の意見をまちづくりに取り入れます

課・係	企画政策室 企画政策係
	おかがきPR課 広報広聴係

1. 総合計画の内容

計画推進の基盤	
政策	2 社会変化に対応した行財政運営を推進する

まちづくりの 成果指標 (政策)	指標		単位	現状値	R12目標値	指標		単位	現状値	R12目標値
	①	まちへの愛着度※「とても好き」を10点、「嫌い」を0点として調査	点	6.96	増加	③				
②	まちの認知度(県内)※まちを「知っている」と回答した割合	%	21.9	増加	④					

施策名	(4) 住民の意見をまちづくりに取り入れます	重点テーマ	地方創生
施策の内容	○各種審議会やSNS、住民から寄せられる声などにより、まちづくりに対するニーズを把握し、今後の政策につなげます。		

2. 施策の成果

成果指標	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値	指標		単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値
	①							③				
②							④					

施策 評価	B	A：施策の方向性に沿って順調に進行している B：施策の方向性に沿って概ね順調に進行している C：施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている D：施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている	今後の 方向性	(企画政策室) ・引き続き、各審議会をはじめ、あらゆる媒体や手法を用いて住民から幅広い意見を聴く機会をつくり、その意見に適切に対応しながら、まちづくりにおける課題解決に向けた取り組みや、まちの将来像を実現するための取り組みを検討することで、協働のまちづくりのさらなる推進を図る。 (おかがきPR課) ・協働のまちづくりを推進するため、町に寄せられた住民の声に適切に対応し、町政への反映に努める。
	評価理由	(企画政策室) ・令和5年度まち・ひと・しごと創生審議会を開催し、持続可能な自治区に向けた取り組みや岡垣町ブランド戦略などについて、住民や学識経験者など様々な分野の方から意見を聴取し、今後の事業の展開などにつなげた。 ・各審議会などを通じて住民からの意見を聴取し、まちづくりに対するニーズを把握するとともに、それらの意見に適切に対応しながら、まちづくりにおける課題の解決や新たな事業の展開、事務改善などにつなげた。 (おかがきPR課) ・町民相談箱や町公式ホームページの問い合わせフォームに寄せられる問い合わせや意見などを全庁的に共有し、事務の改善などにつなげた。		

協働のまちづくりの推進に関する事項

目標	①			
	②			
評価		A：設定した目標以上の成果があり、“伝える”“育てる”“広げる”の好循環が生まれた B：住民・関係団体・企業・行政において設定した目標を達成することができた C：設定した目標を一部達成することができた D：設定した目標を達成できなかった	今後の 方向性	
	評価理由			

施策の成果報告書（事業ごとの実績）

施策54 住民の意見をまちづくりに取り入れます

課・係	企画政策室 企画政策係
	おかがきPR課 広報広聴係

3.各事業の実績

事業名 (所管課)			事業目的 (施策の実行により期待される効果)	事業概要 (事業別の目的と実施概要)	事業実績 (活動実績)	決算額（単位：千円）							
政策推進事業 (企画政策室)  <予算科目>			各種審議会やSNSを通じて住民の意見を把握し、今後の政策に繋げるとともに、将来を見据えた計画的な行財政運営を推進する。	1. まち・ひと・しごと創生 審議会を開催し、まち・ひと・しごと創生の全般（コミュニティ、町の魅力発信など、あらゆるまちづくりの重要課題）について審議し、地方創生の推進を図る。  2. 公共施設検討委員会 長期的な視点を持って、今後の公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを踏まえた実施方針等を定める公共施設等総合管理計画の策定、変更及び推進に関する重要事項を調査審議する。	1. まち・ひと・しごと創生審議会 令和5年度は、持続可能な地域コミュニティに向けた取組みの実施状況や今後見直しを進める事項、また、岡垣町ブランド戦略に基づく施策や今後の展開などについて、審議会の意見を聴き、それぞれの施策の検討に活用した。 ●第1回審議会 日時：令和6年3月26日（火）13時30分～15時  2. 公共施設検討委員会 令和5年度は開催なし	財源内訳	国庫支出金						
							町費	52					
<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </table>			款	項	目	2	8	1				その他の特定財源	
款	項	目											
2	8	1											
						起債							
						一般財源	52						
						計	52						
						合計	52						
広聴事業 (おかがきPR課)  <予算科目>			住民から寄せられる意見や提言など、まちづくりに対するニーズを把握することで、効果的な政策に繋げ、住みやすさの向上を図る。	町内3か所（役場・中央公民館・東部公民館）に設置している町民相談箱や町公式ホームページの問い合わせフォームに寄せられる問い合わせや意見などから住民ニーズを把握し、事務の改善や政策立案などに繋げる。なお、情報の一元化、進捗管理のため広聴管理台帳を作成し運用する。	○問い合わせ等件数 ホームページ問い合わせフォーム及び町民相談箱 593件 うち、回答希望 435件  ※寄せられた意見等のうち回答を希望するものについては、すべて回答済。	財源内訳	国庫支出金						
							町費						
<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td colspan="3">計上科目なし</td> </tr> </table>			款	項	目	計上科目なし						その他の特定財源	
款	項	目											
計上科目なし													
						起債							
						一般財源							
						計							
						合計							

地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

令和5年度(決算)

1 歳入

(単位:千円)

款	項	目	項目	金額	内訳	
					社会保障財源化分の地方消費税交付金	通常分の地方消費税交付金
7	1	1	地方消費税交付金	678,301	414,507	263,794

2 歳出

(単位:千円)

分野	款	項	目	事業名	事業費	財源内訳				
						特定財源			一般財源	
						国庫支出金	県支出金	その他	社会保障財源化分の地方消費税交付金	その他
社会福祉	3	1	1	社会福祉総務費 社会福祉協議会活動支援事業 いこいの里運営経費 等	121,787	6,129	6,960	34,818	10,030	63,850
社会福祉	3	1	2	老人福祉費 高齢者福祉事業 敬老事業 等	72,702		1,988	12,021	5,988	52,705
社会福祉	3	1	5	障害者福祉費 自立支援サービス事業費 障害児通所支援事業 等	1,201,881	576,505	288,458	124	98,981	237,813
社会福祉	3	2	1	児童福祉総務費 届出保育施設保育料補助金支給事業 児童手当支給事業費 等	493,637	329,445	72,982	303	40,653	50,254
社会福祉	3	2	2	児童福祉施設費 民間保育所等運営委託事業 中部保育所管理運営経費 等	1,032,421	467,409	182,862	70,760	85,025	226,365
社会福祉	3	2	3	放課後児童健全育成事業費 学童保育所管理運営事業	64,796	19,486	19,576		5,336	20,398
社会福祉	3	2	4	児童センター施設管理運営費 こども未来館運営事業 等	29,846	5,580	5,585	2,168	2,458	14,055
社会保険	3	1	1	国民健康保険事業費 国民健康保険事業特別会計繰出金	299,198	27,422	97,533		24,640	149,603
社会保険	3	1	1	後期高齢者医療事業費 後期高齢者事業	685,729		95,986		56,473	533,270
社会保険	3	1	4	国民年金事業費 国民年金事業	1,896	1,896				
社会保険	3	1	7	介護保険事業費 介護保険事業 等	603,927	116	153	76,529	49,736	477,393
保健衛生	3	1	1	医療費助成事業費						
保健衛生	3	1	5	子ども医療事業費	244,972	1,403	100,355	20,600	20,175	102,439
保健衛生	3	2	1	重度障害者医療事業費 等						
保健衛生	4	1	1	保健衛生総務費 地域医療施設等対策事業 等	5,204			83	429	4,692
保健衛生	4	1	2	感染症予防費 乳幼児感染症予防事業 等	92,166	279	39	4,900	7,590	79,358
保健衛生	4	1	5	母子衛生費 乳幼児・妊産婦健康診査事業 等	49,910	16,159	3,937	35	4,110	25,669
保健衛生	4	1	6	健康対策事業費 各種検診事業 等	35,010	701	1,014	188	2,883	30,224
合計					5,035,082	1,452,530	877,428	222,529	414,507	2,068,088

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の主な実績・効果等について（令和5年度）

No.	所管課	事業名	事業の概要	決算額 (単位：千円)			主な実績	
				交付金 充当額	国庫支出金	一般財源等		
1	福祉課	電力・ガス・食料品等価格 高騰緊急支援給付金事業 【低所得者世帯給付金】	コロナ禍における電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を特に受ける低所得世帯の生活を支援する。 ○給付額：30千円（対象1世帯あたり）	122,682	122,682	0	0	○給付件数：3,775件（世帯） ○給付金額：30千円（対象1世帯あたり） ○給付総額：113,250千円 ○事務費（報酬、需用費等）：9,432千円
2	おかがきPR課 こども未来課	電力・ガス・食料品等価格 高騰対策商品券事業	消費の下支えを通じ、コロナ禍における電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている住民や子育て世帯の生活を支援する。 ○住民生活支援商品券負担金：12千円（対象1世帯あたり） ○子育て世帯支援商品券負担金：5千円（対象1人あたり）	130,107	95,820	0	34,287	○住民生活支援商品券負担金：96,550千円 ○子育て世帯支援商品券負担金：19,965千円 ○事務費（役務費、委託料等）：13,592千円
合 計				252,789	218,502	0	34,287	

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業の主な実績・効果等について（令和5年度）

No.	所管課	事業名	事業の概要	決算額 (単位：千円)			主な実績	
				交付金 充当額	国庫支出金	一般財源等		
1	福祉課	令和5年度岡垣町電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金（追加給付）【物価高騰対策給付金】	物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。 ○給付額：70千円（対象1世帯あたり）	266,168	254,838	0	11,330	○給付件数：3,684件（世帯） ○給付金額：70千円（対象1世帯あたり） ○給付総額：257,880千円 ○事務費（報酬、需用費等）：8,288千円  ※一般財源等分は、令和6年度に交付金歳入予定。
2	福祉課	令和5年度岡垣町物価高騰緊急支援給付金（住民税均等割のみ課税世帯への給付）【物価高騰対策給付金】	物価高が続く中で住民税均等割のみ課税世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。 ○給付額：100千円（対象1世帯あたり）	58,473	58,473	0	0	○給付件数：556件（世帯） ○給付金額：100千円（対象1世帯あたり） ○給付総額：55,600千円 ○事務費（役務費、委託料等）：2,873千円  ※令和5年度内に事業が完了しないため、令和6年度へ繰越。
3	福祉課	令和5年度岡垣町低所得者支援及び定額減税補足給付金（こども加算）【物価高騰対策給付金】	物価高が続く中で18歳未満の子どもがいる住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。 ○給付額：50千円（対象1人あたり）	26,623	26,623	0	0	○給付件数：525件（人） ○給付金額：50千円（対象1人あたり） ○給付総額：26,250千円 ○事務費（役務費）：373千円  ※令和5年度内に事業が完了しないため、令和6年度へ繰越。
4	おかがきPR課 こども未来課	電力・ガス・食料品等価格高騰対策商品券事業	コロナ禍における電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を特に受ける低所得世帯の生活を支援する。 ○住民生活支援商品券負担金：12千円（対象1世帯あたり） ○子育て世帯支援商品券負担金：5千円（対象1人あたり）	30,000	30,000	0	0	○住民生活支援商品券負担金：24,000千円 ○子育て世帯支援商品券負担金：6,000千円
5	こども未来課	物価高騰緊急支援子育て世帯生活応援電子クーポン事業	消費の下支えを通じ、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活支援及び町内での消費喚起を図ることで、住民及び事業者を支援する。 ○子育て世帯生活応援電子クーポン：5千円（対象1人あたり）	13,597	0	0	13,597	○対象件数：5,183件（人） ○負担金：9,226千円 ○事務費（需要費、役務費等）：4,371千円  ※令和5年度内に事業が完了しないため、令和6年度へ繰越。
6	おかがきPR課	物価高騰対応省エネ機器等導入支援事業補助金	電気・ガス等エネルギー価格高騰の影響を受けている町内の中小事業者等に対し、省エネ機器の導入による経営コストの低減促進及び効率的な経営の支援を行う。 ○対象機器の購入金額と設置に関する費用の1/2（上限10万円）を補助	314	0	0	314	○申請件数：5件、314千円  ※令和5年度内に事業が完了しないため、令和6年度へ繰越。
7	農林水産課	エネルギー価格高騰対策農漁業者支援金事業	エネルギー価格高騰の影響を受けている農業及び漁業活動に必要な燃料費の価格高騰分を支援することで、農漁業者の経費負担の軽減及び経営の安定化を図る。 ○農業用作物等に係る燃料価格高騰分 ○漁船の燃料使用にかかる燃料価格高騰分 ○電力で稼働する農業用揚水ポンプ及び井堰の電力使用料の一部	4,389	4,388	0	1	<農業者分> ○申請件数：140件、4,386千円  <漁業者分> ○申請件数：2件、3千円

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業の主な実績・効果等について（令和5年度）

No.	所管課	事業名	事業の概要	決算額 (単位：千円)				主な実績
				交付金 充当額	国庫支出金	一般財源等		
8	農林水産課	肥料価格高騰対策支援金事業	肥料価格の高騰により経営に影響を受けている農業者に対し、肥料価格上昇分の一部支援（肥料費の前年度からの増加分に対して、15%加算して支援）を行う。	1,893	1,892	0	1	○申請件数：111件、1,893千円
9	農林水産課	飼料価格高騰対策支援金事業	粗飼料の高騰により経営に影響を受けている畜産経営者に対し、飼料価格上昇分の一部支援（R5.4月からR5.12月までの飼料購入額）を行う。	500	500	0	0	○申請件数：1件、500千円
合 計				401,957	376,714	0	25,243	

## 新型コロナワクチン接種実績報告(全接種期間分)

### 1. 町のワクチン接種期間

令和3年5月から令和6年3月

### 2. 新型コロナワクチン接種件数(全接種期間/実施形態別)

#### (1) 12歳以上

	実施回数	接種人数							
		初回接種		追加接種					
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
<b>全期間合計</b>		118,173	25,812	25,689	22,558	16,907	12,377	8,682	6,148
①集団接種 [4か所]	154	79,187	19,065	18,761	14,716	10,001	7,666	5,061	3,917
岡垣サンリーアイ	139	76,799	17,677	17,761	14,716	10,001	7,666	5,061	3,917
戸切小学校	2	471	245	226					
内浦小学校	2	433	227	206					
おんが病院	11	1,484	916	568					
②個別接種 [12医療機関]	934	16,463	677	752	3,926	4,437	2,881	2,243	1,547
おかがき病院	131	5,767	91	94	1,740	2,127	868	580	267
柴山クリニック	93	3,761	157	204	871	904	735	498	392
白石龍クリニック	78	731			30	168	229	178	126
いほづ内科消化器科クリニック	102	559			1	4	81	252	221
ふじた医院	65	387	3	4		5	46	215	114
加藤医院	54	442				3	63	185	191
松永整形外科医院	63	1,148			31	316	332	291	178
吉村整形外科クリニック	63	321	17	18	3	71	110	44	58
やまがたクリニック	160	2,140		2	898	825	415		
公園通りクリニック	41	271	126	131	7	5	2		
田中ひろし小児内科医院	60	655	150	164	332	9			
くわのキッズクリニック	24	281	133	135	13				
③高齢者施設等(巡回接種等)	105	3,846	705	687	674	618	580	411	171
④訪問接種	7	30	1	1	4	5	8	5	6
⑤サテライト接種		2,513	459	461	454	390	336	251	162
⑥その他(住所地外接種/職域接種等)		16,134	4,905	5,027	2,784	1,456	906	711	345

#### (2) 小児(5~11歳)

	実施回数	接種人数						
		初回接種		追加接種				
		①	②	③	④	⑤	⑥	
<b>全期間合計</b>		1,253	454	451	217	83	48	
①集団接種 [2か所]	7	753	310	300	109	34		
岡垣サンリーアイ	4	610	310	300				
いこいの里	3	143			109	34		
②個別接種 [2医療機関]	80	490	140	147	106	49	48	
田中ひろし小児内科医院	59	354	73	78	106	49	48	
くわのキッズクリニック	21	136	67	69				
③訪問接種	3	7	3	3	1			
④その他(住所地外接種/職域接種等)		3	1	1	1			

(3) 乳幼児(生後6カ月～4歳)

	実施回数	接種人数						
		初回接種				追加接種		
		①	②	③	④			
全期間合計		164	51	50	47	16		
①集団接種【実施なし】								
②個別接種【2医療機関】	40	161	50	49	46	16		
田中ひろし小児内科医院	20	60	20	20	18	2		
くわのキッズクリニック	20	101	30	29	28	14		
③訪問接種【実施なし】								
④その他(住所地外接種/職域接種等)		3	1	1	1			

※(1)～(3)は 全接種期間内の実際の接種件数で、町外者(町内医療機関や高齢者施設の従事者、医療機関や高齢者施設の入所者等)、転出者、死亡者を含む件数。

3.. 年齢階層別接種率

【予防接種台帳システムデータ抽出日】令和06年06月17日

区分	基準日(04/01)現在		1回目接種		2回目接種		3回目接種		4回目接種		5回目接種		6回目接種		7回目接種	
	年齢階層	人口	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率								
<b>100歳以上</b>		44	39	88.6%	39	88.6%	39	88.6%	40	90.9%	39	88.6%	35	79.5%	22	50.0%
90歳代	99～95	238	213	89.5%	213	89.5%	211	88.7%	200	84.0%	188	79.0%	161	67.6%	103	43.3%
	94～90	669	617	92.2%	614	91.8%	606	90.6%	590	88.2%	544	81.3%	441	65.9%	320	47.8%
80歳代	89～85	1,118	1,031	92.2%	1,030	92.1%	1,025	91.7%	966	86.4%	907	81.1%	770	68.9%	587	52.5%
	84～80	1,777	1,704	95.9%	1,701	95.7%	1,682	94.7%	1,620	91.2%	1,548	87.1%	1,377	77.5%	1,130	63.6%
70歳代	79～75	2,203	2,095	95.1%	2,091	94.9%	2,060	93.5%	1,949	88.5%	1,830	83.1%	1,587	72.0%	1,316	59.7%
	74～70	2,477	2,293	92.6%	2,288	92.4%	2,245	90.6%	2,118	85.5%	1,970	79.5%	1,675	67.6%	1,366	55.1%
60歳代	69～65	2,062	1,869	90.6%	1,866	90.5%	1,809	87.7%	1,639	79.5%	1,453	70.5%	1,176	57.0%	823	39.9%
	64～60	1,766	1,567	88.2%	1,567	88.2%	1,515	85.8%	1,273	72.1%	952	53.9%	546	30.9%	136	7.7%
<b>65歳以上小計</b>		10,588	9,861	93.1%	9,842	93.0%	9,677	91.4%	9,122	86.2%	8,479	80.1%	7,222	68.2%	5,667	53.5%
<b>60歳以上小計</b>		12,354	11,428	92.5%	11,409	92.4%	11,192	90.6%	10,395	84.1%	9,431	76.3%	7,768	62.9%	5,803	47.0%
50歳代	59～55	1,859	1,627	87.5%	1,629	87.6%	1,530	82.3%	1,136	61.1%	647	34.8%	182	9.8%	76	4.1%
	54～50	2,304	1,950	84.6%	1,942	84.3%	1,754	76.1%	1,168	50.7%	540	23.4%	148	6.4%	56	2.4%
40歳代	49～45	2,092	1,727	82.6%	1,720	82.2%	1,434	68.5%	881	42.1%	407	19.5%	134	6.4%	49	2.3%
	44～40	1,906	1,485	77.9%	1,476	77.4%	1,215	63.7%	630	33.1%	235	12.3%	69	3.6%	22	1.2%
30歳代	39～35	1,626	1,136	69.9%	1,132	69.6%	904	55.6%	462	28.4%	183	11.3%	55	3.4%	21	1.3%
	34～30	1,344	779	58.0%	784	58.3%	632	47.0%	292	21.7%	94	7.0%	24	1.8%	7	0.5%
20歳代	29～25	1,147	632	55.1%	630	54.9%	513	44.7%	241	21.0%	88	7.7%	30	2.6%	12	1.0%
	24～20	1,301	892	68.6%	882	67.8%	629	48.3%	240	18.4%	47	3.6%	3	0.7%	2	0.2%
<b>19～18歳</b>		600	498	83.0%	496	82.7%	311	51.8%	142	23.7%	27	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
<b>17～12歳</b>		1,855	1,055	56.9%	1,040	56.1%	627	33.8%	286	15.4%	80	4.3%	0	0.0%		
<b>59～12歳小計</b>		16,034	11,781	73.5%	11,731	73.2%	9,549	59.6%	5,478	34.2%	2,348	14.6%	651	4.1%	245	1.5%
<b>12歳以上小計</b>		28,388	23,209	81.8%	23,140	81.5%	20,741	73.1%	15,873	55.9%	11,779	41.5%	8,419	29.7%	6,048	21.3%
小児	11～5	1,999	266	13.3%	263	13.2%	156	7.8%	67	3.4%	42	2.1%	0	0.0%		
<b>5歳以上小計</b>		30,387	23,475	77.3%	23,403	77.0%	20,897	68.8%	15,940	52.5%	11,821	38.9%	8,419	27.7%		
乳幼児	4～0	1,121	30	2.7%	29	2.6%	28	2.5%	11	1.0%						
<b>合計(全年齢)</b>		31,508	<b>23,746</b>	<b>74.6%</b>	<b>23,684</b>	<b>74.4%</b>	<b>20,825</b>	<b>66.4%</b>	<b>15,837</b>	<b>50.6%</b>	<b>11,821</b>	<b>38.9%</b>	<b>8,419</b>	<b>27.7%</b>	<b>6,048</b>	<b>19.9%</b>
対象者数			23,208		23,138		20,398		15,837		11,821		8,419		6,048	

※「接種者数」は、「死亡者」「転出確定者」「転出予定者」「削除者」への接種分を除く。  
 ※他市町村で接種後に転入した者については、「対象人口」には含まれるが、「接種者数」に含まれないため、当該分の接種率が低くなる。  
 ※乳幼児の0歳のうち、接種対象となるのは生後6か月以上の者であるが、「対象人口」には生後6か月未満の者を含む。

基礎疾患を有する者等に限る

令和5年度 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書(概要)

1 点検・評価の対象

(1)対象範囲

地方教育行政の組織及び運営に関する法第21条に規定する教育委員会の職務権限に属する事務及び地方自治法第180条の2の規定に基づき、町長から補助執行を受け教育委員会において実際に管理・執行している事務を対象とします。

(2)対象施策

「岡垣町教育基本構想 令和5年度の教育施策と主な内容」に掲載している77の施策(具体策)を対象とします。

2 点検・評価の概要

基本理念

<b>「学校・家庭・地域がつながり、みんなで学び伸びるまち 岡垣」</b>	
○輝き	知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した町民の育成
○誇り	我が国や郷土の文化と伝統を大切にすることを基盤にして、国際社会を生きる心豊かな町民の育成
○つながり	公共の精神を尊び、国家や社会の形成者として主体的に町づくりに参画する町民の育成

基本方針	具体策数	R5				R4				
		達成状況				達成状況				
		A	B	C	D	A	B	C	D	
I 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を推進します	24	3	17	4	0	24	3	18	3	0
II 持続的な社会の発展を牽引するための多様な力・生きる力を養います	12	4	8	0	0	12	3	4	4	1
III 郷土を愛し歴史・文化を育む教育・学習を推進します	7	3	4	0	0	7	3	3	1	0
IV 町民が学び、楽しみ、交流する生涯学習を推進します	11	11	0	0	0	11	5	6	0	0
V 地域や社会の変化に応じて安全で快適な教育環境・基盤を整備します	10	4	6	0	0	9	3	4	2	0
VI 子どもの育ちを支える地域教育力の向上を図ります	13	7	5	1	0	13	1	10	2	0

評価	
①施策の方向性に沿って順調に進行している……	A
②施策の方向性に沿って概ね順調に進行している……	B
③施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている……	C
④施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている……	D

上記評価は、教育基本構想内の教育施策ごとの評価です。町の成果報告資料では、総合計画の施策に基づく評価をしています。

### 3 教育委員会の活動状況

#### (1)教育委員会会議

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、付議案及び懸案事項などの審議を行い、教育行政の方針等を決定しています。

##### 【開催状況等】

開催回数：18回(定例会：12回、臨時会：6回)

- 議決事項 — 基本方針、人事案件、予算関係、規則・規程の制定・改正等
- 協議事項 — 主要施策、懸案事項、人事案件等
- 報告事項 — 学級編制、教育総務課・生涯学習課が関連する会議・行事等

#### (2)総合教育会議

総合教育会議は、町長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、教育行政の推進を図るために設置されています。

##### 【開催状況等】

日程：令和5年9月5日(火)

場所：岡垣町役場新館2階庁議室

議事：①いじめ防止対策推進法に基づく重大事態の報告について

②学校施設の適正配置に向けた検討について

③教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策に関する意見交換

#### (3)その他の活動

教育委員は、教育委員会会議以外にも、教育現場の状況等を把握するため様々な活動を行っています。

### 4 学識経験を有する者からの意見(総括)

#### 意見書

福岡教育大学教授 伊藤 克治

(総括)

岡垣町の教育基本構想に挙げられた6つの基本方針の下で取り組まれた77の施策について、ていねいな点検・評価がされています。この中で、令和5年度の小学校と中学校の点検・評価に加え、今回は全体評価について令和4年度からの経年変化も示されています。このような詳細かつていねいな評価が町民目線で分かりやすくまとめており、しかも、77の施策のうち、72が順調または概ね順調と評価されていることは高く評価できます。また、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえて、これまで制限されてきた様々な活動が再開されていることが窺えます。

令和 5 年度  
国民健康保険事業特別会計成果報告

歳入合計 3,456,045,004円

歳出合計 3,227,625,526円

差 引 228,419,478円

(歳入)

(単位：千円)

款		収入額	主な内容	
1	国民健康保険税	503,278	一般被保険者国民健康保険税	503,232
			退職被保険者等国民健康保険税	46
2	一部負担金	0	(収入実績なし)	0
3	使用料及び手数料	151	国民健康保険税督促手数料	151
4	国庫支出金	159	出産育児一時金臨時補助金	86
			社会保障・税番号制度補助金	73
5	県支出金	2,311,123	普通交付金	2,239,118
			特別交付金	72,005
6	連合会支出金	0	(収入実績なし)	0
7	財産収入	0	(収入実績なし)	0
8	寄附金	0	(収入実績なし)	0
9	繰入金	299,198	保険基盤安定繰入金	165,396
			職員給与費等繰入金	42,165
			未就学児均等割保険税繰入金	1,170
			産前産後保険税繰入金	41
			出産育児一時金等繰入金	5,615
			財政安定化支援事業繰入金	48,134
			その他一般会計繰入金	36,677
10	繰越金	333,520	前年度繰越金	333,520
11	諸収入	8,616	一般・退職被保険者延滞金	1,744
			一般被保険者第三者納付金	4,921
合計		3,456,045		

(歳出)

(単位：千円)

款・項・目	目の名称	支出額	主な内容	事業効果
1・1・1	一般管理費	39,458	国民健康保険事業にかかる経常的な経費を支出した ・共同電算処理委託料 1,833 ・レセプト点検委託料 3,267	医療費が適正に 処理されている か点検を行った
1・1・2	国民健康保険団体連合会 負担金	1,780	国保連合会負担金	
1・2・1	賦課徴収費	5,138	国民健康保険税の賦課徴収にかかる経費を支出した	
1・3・1	運営協議会費	312	国保運営協議会の運営にかかる経費を支出した 協議会 4回開催	予算・決算、税 率改定等につい て協議を行った
2・1・1	一般被保険者療養給付費	1,954,259	一般被保険者療養給付費	
2・1・2	退職被保険者等療養給付 費	0	(実績なし)	
2・1・3	一般被保険者療養費	30,681	一般被保険者療養費	
2・1・4	退職被保険者等療養費	0	(実績なし)	
2・1・5	審査支払手数料	4,687	審査支払手数料	国保連合会へ審 査支払手数料を 支出した
2・2・1	一般被保険者高額療養費	288,970	一般被保険者高額療養費	医療費が高額と なった被保険者 の負担を軽減し た
2・2・2	退職被保険者等高額療養 費	0	(実績なし)	
2・2・3	一般被保険者高額介護合算 療養費	46	一般被保険者高額介護合算療養費	医療費及び介護 費が高額となっ た被保険者の負 担を軽減した
2・2・4	退職被保険者等高額介護合 算療養費	0	(実績なし)	
2・3・1	一般被保険者移送費	0	(実績なし)	
2・3・2	退職被保険者等移送費	0	(実績なし)	
2・4・1	出産育児一時金	8,422	出産育児一時金 1件当り 500,000円(最大) 17件	出産に要する経 費の負担軽減が 図られた
2・5・1	葬祭費	1,110	葬祭費 1件当り 30,000円 37件	国保被保険者の 葬祭にかかる経 費を支出した

款・項・目	目の名称	支出額	主な内容	事業効果
3・1・1	一般被保険者医療給付費分	573,233	一般被保険者医療給付費分	
3・1・2	退職被保険者等医療給付費分	117	退職被保険者等医療給付費分	
3・2・1	一般被保険者後期高齢者支援金等分	185,821	一般被保険者後期高齢者支援金負担金	
3・2・2	退職被保険者等後期高齢者支援金等分	64	退職被保険者等後期高齢者支援金負担金	
3・3・1	介護納付金分	56,377	介護納付金分	
4・1・1	共同事業拠出金	0	退職者医療共同事業拠出金	
5・1・1	財政安定化基金拠出金	0	(実績なし)	
6・1・1	保健衛生普及費	2,394	優良家庭表彰、はり・きゅう施術料補助金	
6・2・1	特定健康診査等事業費	21,532	特定健康診査等事業費	
7・1・1	基金積立金	0	(実績なし)	
8・1・1	利子	0	(実績なし)	
8・2・1	償還金	0	(実績なし)	
9・1・1	一般被保険者保険税還付金	2,142	一般被保険者保険税還付金	国民健康保険税の過年度にかかる還付を行った
9・1・2	退職被保険者等保険税還付金	0	(実績なし)	
9・1・3	一般被保険者保険税還付加算金	0	(実績なし)	
9・1・4	退職被保険者等保険税還付加算金	0	(実績なし)	
9・1・5	保険給付費等交付金償還金	49,966	保険給付費等交付金償還金	49,966
9・1・6	その他償還金	1,117	特別調整交付金過年度分返還金 努力支援交付金過年度分返還金	651 466
9・2・1	延滞金	0	(実績なし)	
10・1・1	前年度繰上充用金	0	(実績なし)	
11・1・1	予備費	0	(実績なし)	
合計		3,227,626		

# 令和5年度 岡垣町国民健康保険事業実績報告書（成果報告）

## 1 一般状況

年間平均（国保）		年度末（国保）		年度末	
世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数	世帯数	人口
世帯 3,971	人 6,011	世帯 3,864	人 5,825	世帯 14,447	人 31,496

国保加入率		年間異動状況			年度末職員数	
世帯数	人口	被保険者数増	被保険者数減	差引	専任	兼任
% 26.75	% 18.49	人 1,176	人 1,417	人 △241	人 2	人 1

## 2 被保険者等適用状況

（単位：人）

被保険者数		年度末現在	年間平均	割合（%）	
総数		5,825	A 6,011		
一般被保険者		5,825	B 6,011	B/A	100.00
	（再掲）前期高齢者	2,890	C 3,040	C/A	50.57
退職被保険者等	本人	0	D 0	(D+E)/A	
	被扶養者	0	E 0		

## 3 国民健康保険税

令和6年5月31日現在（単位：円）

期別	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	収納率（%）		
						現年度	前年度	
現年度計	507,585,900	482,250,529	0	25,255,371	1,019,200	94.81	95.09	
内訳	普通徴収	416,029,500	391,285,529	0	24,663,971	939,200	93.83	94.19
	特別徴収	85,656,500	85,736,500	0	△80,000	80,000	100.00	100.00
	過年度	5,899,900	5,228,500	0	671,400	0	88.62	75.02
滞納繰越分	113,881,440	21,027,552	2,819,265	92,853,888	11,300	18.45	23.34	
合計	621,467,340	503,278,081	2,819,265	118,109,259	1,030,500	80.82	82.32	

※収納率：（収入済額－還付未済額）／調定額×100

#### 4 保険税賦課状況（一般被保険者＋退職被保険者等）

##### (1)医療給付費分

（単位：千円）

保険税算定額 (イ+ロ+ハ+ニ)	保険税軽減額 (ホ)	災害等による減免額	その他減免額	限度額を越えるもの (ヘ)	年度中増減額 (ト)	年度末保険税調定額 (イ+ロ+ハ+ニ-ホ-ヘ+ト)
430,597	63,067	0	0	6,006	-25,626	336

##### 上記の保険税額算定内訳

	所得割額 (イ)	資産割額 (ロ)	平等割額 (ハ)	均等割額 (ニ)	保険税軽減額 (ホ)	限度額 (ヘ)	年度中異動分 (ト)
課税対象	千円 3,147,928	千円	世帯 4,015	人 6,063	世帯 2,201	世帯 18	
税率	6.2/100		円 26,100	円 22,700		千円 650	
税額	千円 195,000	千円	千円 98,189	千円 137,408	千円 63,067	千円 6,006	千円 △ 25,626円

##### (2)後期高齢者支援分

（単位：千円）

保険税算定額 (イ+ロ+ハ+ニ)	保険税軽減額 (ホ)	災害等による減免額	その他減免額	限度額を越えるもの (ヘ)	年度中増減額 (ト)	年度末保険税調定額 (イ+ロ+ハ+ニ-ホ-ヘ+ト)
156,127	22,437	0	0	2,227	-9,374	122,089

##### 上記の保険税額算定内訳

	所得割額 (イ)	資産割額 (ロ)	平等割額 (ハ)	均等割額 (ニ)	保険税軽減額 (ホ)	限度額 (ヘ)	年度中異動分 (ト)
課税対象	千円 3,147,928	千円	世帯 4,015	人 6,063	世帯 2,201	世帯 18	
税率	2.3/100		円 9,400	円 8,000		千円 220	
税額	千円 72,338	千円	千円 35,363	千円 48,426	千円 22,437	千円 2,227	千円 △ 9,374

##### (3)介護納付金分（介護保険第2号被保険者分）

（単位：千円）

保険税算定額 (イ+ロ+ハ+ニ)	保険税軽減額 (ホ)	災害等による減免額	その他減免額	限度額を越えるもの (ヘ)	年度中増減額 (ト)	年度末保険税調定額 (イ+ロ+ハ+ニ-ホ-ヘ+ト)
48,651	7,152	0	0	1,113	△ 2,728	37,658

##### 上記の保険税額算定内訳

	所得割額 (イ)	資産割額 (ロ)	平等割額 (ハ)	均等割額 (ニ)	保険税軽減額 (ホ)	限度額 (ヘ)	年度中異動分 (ト)
課税対象	千円 1,041,628	千円	世帯 1,567	人 1,817	世帯 805	世帯 11	
税率	2.1/100		円 7,000	円 8,700		千円 170	
税額	千円 21,874	千円	千円 10,969	千円 15,808	千円 7,152	千円 1,113	千円 △ 2,728

## 5 経理関係(被保険者1人当たり)

平均世帯数	3,971世帯
平均被保険者数	6,011人

1世帯当たり保険税調定額(現年分)	126,337円
1人当たり保険税調定額(現年分)	83,461円
1人当たり保険税収納額(現年分)	79,358円

(単位：円)

収入				支出				
国民健康保険税				83,726	総務費		7,767	
使用料及び手数料				25	保険給付費		380,665	
県支出金	普通交付金			372,503	(内訳)	療養給付費		325,114
	特別交付金			11,979		療養費		5,104
	(内訳)	保険者努力支援分		2,944		高額療養費		48,081
		特別調整交付金分		3,529		移送費		0
		県繰入金(2号分)		4,390		出産育児諸費		1,401
		特定健診等負担金		1,116		葬祭諸費		185
	繰入金					49,775	審査支払手数料	
(内訳)	保険基盤安定		27,516	国民健康保険事業費納付金		135,687		
	未就学児均等割		195	(内訳)	医療給付費分		95,383	
	産前産後保険税		7		後期高齢者支援金等分		30,924	
	職員給与費等		7,015		介護納付金分		9,379	
	出産育児一時金等		934	保健事業費		3,980		
	財政安定化支援事業		8,008	その他の支出		8,854		
	その他		6,102					
その他の収入				56,945				
合計				574,953	合計		536,953	

## 6 特定健康診査等事業状況

(単位：人)

特定健康診査						特定保健指導			
対象者数	受診者数			受診率(%)		対象者数	終了者数	利用率(%)	
	集団	個別	計	目標	実績			目標	実績
4,222	1,520	258	1,778	60.0	42.1	199	120	60.0	60.3

※R6.5月末現在

## 7 給付の内訳

項目		件数	日数	総費用額	保険者負担額	一部負担金	他法負担分	
		件	日	円	円	円	円	
療養の給付等	医科	入院	1,763	29,791	1,045,303,357			
		入院外	60,207	94,272	864,373,989			
	歯科		13,313	23,168	178,427,160			
	小計		75,283	147,231	2,088,104,506			
	調剤費		41,116	(50,137)	475,082,545			
	食事療養・生活療養		(1,704)	(81,308)	53,616,332			
	訪問看護		346	2,352	25,151,990			
	計		116,745	149,583	2,641,955,373			
療養費等	食事療養		6			56,208	-56,208	0
	療養費	診療費	31		6,133,787	4,294,441	1,839,346	0
		その他	4,317		35,798,692	26,343,025	9,216,175	239,492
		小計	4,348		41,932,479	30,637,466	11,055,521	239,492
	移送費		0		0	0	0	0
	計		4,354		41,932,479	30,693,674	10,999,313	239,492
出産育児一時金		17			8,422,440			
葬祭費の支給		37			1,110,000			
高額療養費		6,358			288,764,133			

※ 調剤費の日数欄には、処方箋枚数を表示しており、合計に含まれない。

※ 食事療養・生活療養の件数及び日数は再掲であり、合計に含まれない。

※ 療養の給付等の一部負担金は、高額療養費を含んだ額。

令和 5 年度  
後期高齢者医療特別会計成果報告

歳入合計 643,519,904円

歳出合計 616,274,176円

差 引 27,245,728円

(歳入)

(単位：千円)

款	収入額	主な内容	
1 後期高齢者医療 保険料	463,187	特別徴収保険料 普通徴収保険料	296,530 166,657
2 使用料及び手数料	9	督促手数料	9
3 繰入金	156,314	事務費繰入金 保険基盤安定繰入金	28,333 127,981
4 繰越金	23,435	前年度繰越金	23,435
5 諸収入	575	雑入	575
合計	643,520		

(歳出)

(単位：千円)

款・項・目	支出額	主な内容	事業効果
1・1・1 一般管理費	9,870	人件費 管理費	5,825 4,045 後期高齢者医療事業 にかかる経常的な経 費を支出した
1・2・1 徴収費	1,089	徴収費	1,089
2・1・1 後期高齢者医療 広域連合納付金	604,591	保険料等負担金 事務費負担金	588,855 15,736 町民の保険料軽減分 を基盤安定負担金に より負担した
3・1・1 療養関係事業費	269	はり、きゅう施術料補助金	269 後期高齢者医療被保 険者のはり・きゅう にかかる経費の一部 を補助した
4・1・1 保険料還付金	151	保険料還付金	151
4・1・2 還付加算金	0	(実績なし)	
4・1・3 その他償還金	304	事務費繰入金過年度分返還金	304
5・1・1 予備費	0	(実績なし)	
合計	616,274		

### 1 後期高齢者医療受給者証の交付状況

区分	年度末	年平均
75歳以上	5,870人	5,756人
法第50条第1項 第2号該当者 ※	154人	157人
計	6,024人	5,913人

※65歳以上75歳未満の者であって、政令で定める程度の障がいの状態にある旨の当該後期高齢者医療広域連合の認定を受けた者

### 2 診療月別医療費（保険者負担分：現物給付）

（単位：円）

4月	500,598,379
5月	474,659,376
6月	475,422,771
7月	498,795,916
8月	468,833,429
9月	502,127,616
10月	471,603,351
11月	480,155,431
12月	459,565,963
1月	489,235,556
2月	458,739,677
3月	466,602,396
合計	5,746,339,861

※高額療養費は含まない

### 3 後期高齢者医療保険料

令和6年5月31日現在（単位：円）

	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	収納率(%)		
						現年度	前年度	
現年度分計	462,784,440	462,110,870	0	673,570	544,380	99.74	99.75	
内 訳	普通徴収	166,215,350	165,039,960	0	1,175,390	42,560	99.27	99.30
	特別徴収	296,028,460	296,529,340	0	△ 500,880	500,880	100.00	100.00
	過年度	540,630	541,570	0	△ 940	940	100.00	99.70
滞納繰越分	2,238,374	1,075,674	72,730	1,162,700	8,440	47.68	51.50	
合計	465,022,814	463,186,544	72,730	1,836,270	552,820	99.49	99.48	

4 医療給付の内訳（R5.3月～R6.2月診療分）

項目		件数 件	日数 日	総医療費 円	保険者負担分 円	一部負担金 円	他法負担分 円
療養給付費	医 入院	5,998	111,031	3,579,090,490			
	科 入院外	96,613	165,658	1,683,005,780			
	歯科	16,696	30,172	256,223,890			
	小計	119,307	306,861	5,518,320,160			
	調剤費	67,259	(83,952)	832,178,250			
	食事療養 ・生活療養	(5,808)	(300,424)	202,731,252			
	訪問看護	445	4,489	52,553,090			
	計	187,011	311,350	6,605,782,752			
療養費	柔道整復	3,405	21,401	30,943,971	27,093,158	3,684,460	166,353
	その他	0	0	0	0	0	
	計	3,405	21,401	30,943,971	27,093,158	3,684,460	166,353
高額療養費		8,804			306,498,764		

※ 調剤費の日数欄には、処方箋枚数を表示しており、合計に含まれない

※ 食事療養・生活療養の件数及び日数は再掲であり、合計に含まれない

※ 療養給付費の一部負担金は、高額療養費を含んだ額